



## show コマンド

---

この章のコマンドは、Cisco MDS 9000 ファミリのマルチレイヤディレクタおよびファブリック スイッチに対応しています。ここでは、コマンドモードに関係なく、すべてのコマンドがアルファベット順に記載されています。各コマンドの適切なモードを確認するには、「コマンドモード」を参照してください。詳細については、『*Cisco MDS 9000 Family CLI Configuration Guide*』を参照してください。

# show aaa accounting

アカウントिंग コンフィギュレーションを表示するには、**show aaa accounting** コマンドを使用します。

**show aaa accounting**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、アカウントング ログ コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show aaa accounting
      default: local
```

関連コマンド	コマンド	説明
	aaa accounting default	デフォルトのアカウントング方式を設定します。

# show aaa authentication

設定されている認証情報を表示するには、**show aaa authentication** コマンドを使用します。

```
show aaa authentication [login {error-enable | mschap}]
```

シンタックスの説明	login error-enable	認証ログインエラーメッセージイネーブル コンフィギュレーションを表示します。
	login mschap	認証ログイン MS-CHAP イネーブル コンフィギュレーションを表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.3(1)	このコマンドが導入されました。
	2.0(x)	<b>login error-enable</b> オプションが追加されました。
	3.0(1)	<b>loginmschap</b> オプションが追加されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、設定された認証パラメータを表示する例を示します。

```
switch# show aaa authentication
      default: group TacServer local none
      console: local
      iscsi: local
      dhchap: local
```

次に、認証ログイン エラー メッセージ イネーブル コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show aaa authentication login error-enable
disabled
```

次に、認証ログイン MS-CHAP イネーブル コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show aaa authentication login mschap
disabled
```

# show aaa authentication login password-aging

パスワードエージング通知のステータスを表示するには、**show aaa authentication login password-aging** コマンドを使用します。

```
show aaa authentication login password-aging
```

シンタックスの説明	このコマンドには、引数またはキーワードはありません。	
デフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC モード	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.2(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	なし	
例	次に、パスワードエージング通知のステータスを表示する例を示します。 switch(config)# <b>show aaa authentication login password-aging</b>	
関連コマンド	コマンド	説明
	<b>aaa authentication login password-aging enable</b>	AAA サーバからのパスワードエージング通知を設定します。

## show aaa groups

設定されているサーバグループを表示するには、**show aaa groups** コマンドを使用します。

```
show aaa groups
```

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.3(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、設定されているサーバグループを表示する例を示します。

```
switch# show aaa groups
radius
TacServer
```

# show accounting log

アカウントティングのログ内容を表示するには、**show accounting log** コマンドを使用します。

**show accounting log** [*size*]

シンタックスの説明	<i>size</i>	表示するログのサイズをバイト単位で指定します。有効範囲は 0 ~ 250000 です。
デフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC モード	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	なし	

例 次に、アカウントティング ログ全体を表示する例を示します。

```
switch# show accounting log
2002:stop:snmp_1033151784_171.71.49.83:admin:
Fri Sep 27 18:36:24 2002:start:_1033151784:root
Fri Sep 27 18:36:28 2002:update:::fcc configuration requested
Fri Sep 27 18:36:33 2002:start:snmp_1033151793_171.71.49.83:admin
Fri Sep 27 18:36:33 2002:stop:snmp_1033151793_171.71.49.83:admin:
Fri Sep 27 18:39:28 2002:start:snmp_1033151968_171.71.49.96:admin
Fri Sep 27 18:39:28 2002:stop:snmp_1033151968_171.71.49.96:admin:
Fri Sep 27 18:39:28 2002:start:_1033151968:root
Fri Sep 27 18:39:31 2002:update:::fcc configuration requested
Fri Sep 27 18:39:37 2002:start:snmp_1033151977_171.71.49.96:admin
Fri Sep 27 18:39:37 2002:stop:snmp_1033151977_171.71.49.96:admin:
Fri Sep 27 18:39:37 2002:start:snmp_1033151977_171.71.49.96:admin
Fri Sep 27 18:42:12 2002:start:snmp_1033152132_171.71.49.96:admin
Fri Sep 27 18:42:12 2002:stop:snmp_1033152132_171.71.49.96:admin:
Fri Sep 27 18:42:12 2002:start:snmp_1033152132_171.71.49.96:admin
Fri Sep 27 18:42:40 2002:start:snmp_1033152160_171.71.49.96:admin
...
```

次に、400 バイトのアカウントティング ログを表示する例を示します。

```
switch# show accounting log 400

Tue Dec 8 22:06:59 1981:start:/dev/pts/2_376697219:admin:
Tue Dec 8 22:07:03 1981:stop:/dev/pts/2_376697219:admin:shell terminated
Tue Dec 8 22:07:13 1981:start:/dev/pts/2_376697233:admin:
Tue Dec 8 22:07:53 1981:stop:/dev/pts/2_376697233:admin:shell terminated
Tue Dec 8 22:08:15 1981:update:/dev/ttyS0_376628597:admin:iSCSI Interface Vsan
Enabled
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>clear accounting log</b>	アカウントティング ログを消去します。

# show arp

Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) エントリを表示するには、**show arp** コマンドを使用します。

**show arp**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、ARP テーブルを表示する例を示します。

```
switch# show arp
Protocol Address          Age (min)   Hardware Addr  Type   Interface
-----
Internet 171.1.1.1             0           0006.5bec.699c ARPA   mgmt0
Internet 172.2.0.1             4           0000.0c07.ac01 ARPA   mgmt0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear arp-cache	arp-cache テーブル エントリを消去します。

# show autonomous-fabric-id database

Autonomous Fabric ID (AFID) データベースの内容を表示するには、EXEC モードで **show fabric-binding** コマンドを使用します。

**show autonomous-fabric-id database**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.1(1a)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、AFID データベースの内容を表示する例を示します。

```
switch# show autonomous-fabric-id database
SWITCH WWN                               Default-AFID
-----
20:00:00:0c:91:90:3e:80                   5

Total: 1 entry in default AFID table

SWITCH WWN                               AFID      VSANS
-----
20:00:00:0c:91:90:3e:80                   10       1,2,5-8

Total: 1 entry in AFID table
```

関連コマンド	コマンド	説明
	autonomous-fabric-id (IVR トポロジ データベース設定)	AFID を Inter-VSAN Routing (IVR) トポロジ データベースに設定します。
	autonomous-fabric-id (IVR サービス グループ設定)	AFID を IVR サービス グループに設定します。
	autonomous-fabric-id-database	AFID データベースを設定します。

# show banner motd

MoTD (Message-of-The-Day) バナーを表示するには、**show banner motd** コマンドを使用します。

**show banner motd**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.3(4)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** 設定した MoTD バナーは、ユーザがスイッチにログインする際、ログイン プロンプトの前に端末に表示されます。

**例** 次に、設定されたバナー メッセージを表示する例を示します。

```
switch# show banner motd
Testing the MOTD Feature
```

設定されたメッセージは、次回スイッチにログインしたときに表示されます。

```
Testing the MOTD Feature
switch login:
```

関連コマンド	コマンド	説明
	banner motd	必要なバナー メッセージを設定します。

# show boot

ブート変数またはモジュールを表示するには、**show boot** コマンドを使用します。

```
show boot [module [slot | variable-name] | sup-1 | sup-2 | variables]
```

シンタックスの説明	説明
<b>module</b>	モジュールのブート変数を表示します。
<i>slot</i>	モジュールをスロット番号で指定します。
<i>variable-name</i>	変数を指定します。1 最大 80 文字まで可能です。
<b>sup-1</b>	上位スーパーバイザ コンフィギュレーションを表示します。
<b>sup-2</b>	下位スーパーバイザ コンフィギュレーションを表示します。
<b>variables</b>	ブート変数のリストを表示します。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、ブート変数の現在の内容を表示する例を示します。

```
switch# show boot
kickstart variable = bootflash:/kickstart-image
system variable = bootflash:/system-image
Module 2
asm-sfn variable = bootflash:/asm-image
```

次に、指定したモジュールのイメージを表示する例を示します。

```
switch# show boot module
Module 2
asm-sfn variable = bootflash:/asm-image
```

次に、ブート変数の現在の内容をすべて表示する例を示します。

```
switch# show boot variables
List of boot variables are:
asm-sfn
system
kickstart
```

# show boot auto-copy

自動コピー機能の状態を表示するには、**show boot auto-copy** コマンドを使用します。

**show boot auto-copy [list]**

シンタックスの説明	<b>list</b>	自動コピーされるファイルのリストを表示します。
デフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC モード	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	なし	

**例** 次に、自動コピー機能をイネーブルにする際にコンソールに表示されるメッセージの例を示します。

```
switch(config)# boot auto-copy
Auto-copy administratively enabled
```

次に、自動コピー機能をディセーブルにする際にコンソールに表示されるメッセージの例を示します。

```
switch(config)# boot auto-copy
Auto-copy administratively disabled
```

次に、自動コピー機能がイネーブルになっている場合の自動コピー機能の現在の状態を表示する例を示します。

```
switch# show boot auto-copy
Auto-copy feature is enabled
```

次に、自動コピー機能がディセーブルになっている場合の自動コピー機能の現在の状態を表示する例を示します。

```
switch# show boot auto-copy
Auto-copy feature is disabled
```

次に、スタンバイ スーパーバイザ モジュールのブートフラッシュにコピーされる **ilc1.bin** イメージを表示する例を示します。これが正常に実行されると、次のファイルは **lasilc1.bin** となります。このコマンドは、アクティブ スーパーバイザ モジュールのファイルのみを表示します。

```
switch# show boot auto-copy list
File: /bootflash/ilc1.bin
Bootvar: ilce
```

```
File:/bootflash/lasilc1.bin
Bootvar: lasilc
```

次に、自動コピー オプションがディセーブルの場合、またはファイルがコピーされていない場合の一般的なメッセージを表示する例を示します。

```
switch# show boot auto-copy list
No file currently being auto-copied
```

## show callhome

スイッチに設定されている関連 Call Home 情報を表示するには、**show callhome** コマンドを使用します。

```
show callhome [destination-profile [profile {profile | full-txt-destination | short-txt-destination |
XML-destination}]] | last {action status | merge status} | pending | pending-diff | transport-email
| user-def-cmds]
```

### シンタックスの説明

<b>destination-profile</b>	Call Home 宛先プロファイル情報を表示します。
<b>profile</b>	宛先プロファイルを指定します。
<i>profile</i>	ユーザ定義の宛先プロファイルを指定します。
<b>full-txt-destination</b>	フル テキストの宛先プロファイルを指定します。
<b>short-txt-destination</b>	ショート テキストの宛先プロファイルを指定します。
<b>XML-destination</b>	XML 宛先プロファイルを指定します。
<b>last action status</b>	最終 CFS 確定または廃棄操作の状態を表示します。
<b>last merge status</b>	最終 CFS 結合操作のステータスを表示します。
<b>pending</b>	未決定 Call Home コンフィギュレーションの状態を表示します。
<b>pending-diff</b>	実行中の Call Home コンフィギュレーションと未決定 Call Home コンフィギュレーションの差異を表示します。
<b>transport-email</b>	Call Home 電子メール転送情報を表示します。
<b>user-def-cmds</b>	各アラート グループ用に設定された CLI コマンドを表示します。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。
2.0(x)	<b>last action status</b> 、 <b>pending</b> 、および <b>pending-diff</b> オプションが追加されました。
3.0(1)	<b>user-def-cmds</b> 引数が追加されました。

### 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、設定された Call Home 情報を表示する例を示します。

```
switch# show callhome
callhome enabled
Callhome Information:
contact person name:who@where
contact person's email:person@place.com
contact person's phone number:310-408-4000
street addr:1234 Picaboo Street, Any city, Any state, 12345
site id:Site1ManhattanNewYork
customer id:Customer1234
contract id:Andiamo1234
switch priority:0
duplicate message throttling : enabled
periodic inventory : disabled
periodic inventory time-period : 7 days
distribution of callhome configuration data using cfs : disabled
```

次に、すべての宛先プロファイル情報を表示する例を示します。

```
switch# show callhome destination-profile
XML destination profile information
maximum message size:250000
email addresses configured:
findout@.cisco.com

Short-txt destination profile information
maximum message size:4000
email addresses configured:
person1@epage.company.com

full-txt destination profile information
maximum message size:250000
email addresses configured:
person2@company2.com
```

次に、フルテキストの宛先プロファイルを表示する例を示します。

```
switch# show callhome destination-profile profile full-txt-destination
full-txt destination profile information
maximum message size:250000
email addresses configured:
person2@company2.com
```

次に、ショートテキストの宛先プロファイルを表示する例を示します。

```
switch# show callhome destination-profile profile short-txt-destination
Short-txt destination profile information
maximum message size:4000
email addresses configured:
person2@company2.com
```

次に、XML 宛先プロファイル情報を表示する例を示します。

```
switch# show callhome destination-profile profile XML-destination
XML destination profile information
maximum message size:250000
email addresses configured:
findout@.cisco.com
```

次に、電子メールおよび Simple Mail Transfer Protocol (SMTP; シンプル メール転送プロトコル) 情報を表示する例を示します。

```
switch# show callhome transport-email
from email addr:user@company1.com
reply to email addr:pointer@company.com
return receipt email addr:user@company1.com
smtp server:server.company.com
smtp server port:25
```

次に、アラート グループ用のユーザ定義 CLI コマンドを表示する例を示します。

```
switch# show callhome user-def-cmds
User configured commands for alert groups :
alert-group test user-def-cmd "show version"
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>alert-group</b>	ユーザ定義の <b>show</b> コマンドを使用して Call Home アラート グループをカスタマイズします。
<b>callhome</b>	Call Home を設定します。
<b>callhome test</b>	ダミーのテスト メッセージを設定された 1 つまたは複数の宛先へ送信します。

# show cdp

特定のインターフェイスでグローバルに設定されている Cisco Discovery Protocol (CDP) パラメータを表示するには、**show cdp** コマンドを使用します。

```
show cdp {all | entry [all | name cdp-name] | global | interface [gigabitethernet slot/port | mgmt 0] |
neighbors [detail | interface {gigabitethernet slot/port | mgmt 0}] | traffic interface
[gigabitethernet slot/port | mgmt 0]}
```

## シンタックスの説明

<b>all</b>	すべてのイネーブルな CDP インターフェイスを表示します。
<b>entry</b>	CDP データベース エントリを表示します。
<b>all</b>	データベース内のすべての CDP エントリを表示します。
<b>name <i>cdp-name</i></b>	指定した名前と一致する CDP エントリを表示します。1 最大 256 文字まで可能です。
<b>global</b>	グローバル CDP パラメータを表示します。
<b><i>gigabitethernet slot/port</i></b>	スロット番号およびポート番号をスラッシュ (/) で区切って、ギガビットイーサネットインターフェイスを指定します。
<b><i>mgmt 0</i></b>	イーサネット管理インターフェイスを指定します。
<b>neighbors</b>	すべての CDP ネイバーを表示します。
<b>detail</b>	すべての CDP ネイバーの詳細情報を表示します。
<b>interface</b>	指定したインターフェイス上の CDP 情報を表示します。
<b>traffic</b>	インターフェイスの CDP トラフィック統計を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、Cisco MDS 9500 シリーズのアクティブ スーパーバイザ モジュールでのみ利用できます。

## 例

次に、すべての CDP 対応インターフェイスおよびパラメータを表示する例を示します。

```
switch# show cdp all
GigabitEthernet4/1 is up
  CDP enabled on interface
  Sending CDP packets every 60 seconds
  Holdtime is 180 seconds
GigabitEthernet4/8 is down
  CDP enabled on interface
  Sending CDP packets every 60 seconds
  Holdtime is 180 seconds
mgmt0 is up
  CDP enabled on interface
  Sending CDP packets every 100 seconds
  Holdtime is 200 seconds
```

次に、すべての CDP ネイバー エントリを表示する例を示します。

```
switch# show cdp entry all
-----
Device ID:Switch
System Name:
Interface address(es):
Platform: cisco WS-C2950T-24, Capabilities: Switch IGMP Filtering
Interface: mgmt0, Port ID (outgoing port): FastEthernet0/24
Holdtime: 152 sec

Version:
Cisco Internetwork Operating System Software
IOS (tm) C2950 Software (C2950-I6Q4L2-M), Version 12.1(19)EA1c, RELEASE SOFTWARE
(fc2)
Copyright (c) 1986-2004 by cisco Systems, Inc.
Compiled Mon 02-Feb-04 23:29 by yenanh

Advertisement Version: 2
Native VLAN: 1
Duplex: full
```

次に、指定した CDP ネイバーを表示する例を示します。

```
switch# show cdp entry name 0
-----
Device ID:0
Entry address(es):
  IP Address: 0.0.0.0
Platform: DS-X9530-SF1-K9, Capabilities: Host
Interface: GigabitEthernet4/1, Port ID (outgoing port): GigabitEthernet4/1
Holdtime: 144 sec

Version:
1.1(0.144)

Advertisement Version: 2
Duplex: full
```

次に、グローバル CDP パラメータを表示する例を示します。

```
switch# show cdp global
Global CDP information:
  CDP enabled globally
  Sending CDP packets every 60 seconds
  Sending a holdtime value of 180 seconds
  Sending CDPv2 advertisements is enabled
```

次に、管理インターフェイスの CDP パラメータを表示する例を示します。

```
switch# show cdp interface mgmt 0
mgmt0 is up
  CDP enabled on interface
  Sending CDP packets every 60 seconds
  Holdtime is 180 seconds
```

次に、ギガビットイーサネットインターフェイスの CDP パラメータを表示する例を示します。

```
switch# show cdp interface gigabitethernet 4/1
GigabitEthernet4/1 is up
  CDP enabled on interface
  Sending CDP packets every 80 seconds
  Holdtime is 200 seconds
```

次に、CDP ネイバー（概略）を表示する例を示します。

```
switch# show cdp neighbors
Capability Codes: R - Router, T - Trans-Bridge, B - Source-Route-Bridge
                  S - Switch, H - Host, I - IGMP, r - Repeater

Device ID          Local Intrfce  Hldtme  Capability  Platform      Port ID
0                  Gig4/1        135     H           DS-X9530-SF1- Gig4/1
069038732(Kiowa2  mgmt0        132     T S         WS-C5500      8/11
069038747(Kiowa3  mgmt0        156     T S         WS-C5500      6/20
069038747(Kiowa3  mgmt0        158     T S         WS-C5500      5/22
```

次に、CDP ネイバー（詳細）を表示する例を示します。

```
switch# show CDP neighbor detail
-----
Device ID:Switch
System Name:
Interface address(es):
Platform: cisco WS-C2950T-24, Capabilities: Switch IGMP Filtering
Interface: mgmt0, Port ID (outgoing port): FastEthernet0/24
Holdtime: 137 sec

Version:
Cisco Internetwork Operating System Software
IOS (tm) C2950 Software (C2950-I6Q4L2-M), Version 12.1(19)EA1c, RELEASE SOFTWARE
(fc2)
Copyright (c) 1986-2004 by cisco Systems, Inc.
Compiled Mon 02-Feb-04 23:29 by yenanh

Advertisement Version: 2
Native VLAN: 1
Duplex: full
```

次に、指定した CDP ネイバー（詳細）を表示する例を示します。

```
switch# show CDP neighbors interface gigabitethernet 4/1 detail
-----
Device ID:0
Entry address(es):
  IP Address: 0.0.0.0
Platform: DS-X9530-SF1-K9, Capabilities: Host
Interface: GigabitEthernet4/1, Port ID (outgoing port): GigabitEthernet4/1
Holdtime: 144 sec

Version:
1.1(0.144)

Advertisement Version: 2
Duplex: full
```

次に、管理インターフェイスの CDP トラフィック統計を表示する例を示します。

```
switch# show cdp traffic interface mgmt 0
-----
Traffic statistics for mgmt0
Input Statistics:
  Total Packets: 1148
  Valid CDP Packets: 1148
    CDP v1 Packets: 1148
    CDP v2 Packets: 0
  Invalid CDP Packets: 0
    Unsupported Version: 0
    Checksum Errors: 0
    Malformed Packets: 0

Output Statistics:
  Total Packets: 2329
    CDP v1 Packets: 1164
    CDP v2 Packets: 1165
  Send Errors: 0
```

次に、ギガビットイーサネットインターフェイスの CDP トラフィック統計を表示する例を示します。

```
switch# show cdp traffic interface gigabitethernet 4/1
-----
Traffic statistics for GigabitEthernet4/1
Input Statistics:
  Total Packets: 674
  Valid CDP Packets: 674
    CDP v1 Packets: 0
    CDP v2 Packets: 674
  Invalid CDP Packets: 0
    Unsupported Version: 0
    Checksum Errors: 0
    Malformed Packets: 0

Output Statistics:
  Total Packets: 674
    CDP v1 Packets: 0
    CDP v2 Packets: 674
  Send Errors: 0
```

# show cfs

Cisco Fabric Services (CFS) 情報を表示するには、**show cfs** コマンドを使用します。

```
show cfs {application [name app-name] | lock [name app-name] | merge status name app-name} | peers
[name app-name] | status [name app-name]}
```

## シンタックスの説明

<b>application</b>	ローカルに登録されたアプリケーションを表示します。
<b>name app-name</b>	ローカル アプリケーション情報を名前指定します。1 最大 64 文字まで可能です。
<b>lock</b>	アプリケーションの論理ロックまたは物理ロックの状態を表示します。
<b>merge status</b>	CFS 結合情報を表示します。
<b>peers</b>	論理または物理 CFS ピアを表示します。
<b>status</b>	CFS 配信がイネーブルかディセーブルかを表示します。イネーブルがデフォルト設定です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
2.0(1b)	このコマンドが導入されました。
2.1(1a)	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>status</b> キーワードが追加されました。</li> <li>コマンド出力にあるアプリケーション フィールドの <b>fctimer</b> アプリケーション用に、<b>vsan</b> が <b>fctimer</b> に置き換えられました。</li> </ul>
3.0(1)	どのアプリケーションが IP とファイバ チャネルを介した CFS 配信をサポートし、どのアプリケーションがファイバ チャネルを介した CFS 配信のみをサポートするのを示す、 <b>show cfs application</b> の出力例が変更されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、すべてのアプリケーションの CFS 物理ピア情報を表示する例を示します。

```
switch# show cfs peers

Physical Fabric
-----
Switch WWN                IP Address
-----
20:00:00:05:30:00:61:de    172.22.46.223    [Local]
20:00:00:0d:ec:08:66:c0    172.22.46.233
20:00:00:05:30:00:f1:e2    172.22.46.225
20:00:00:05:30:00:eb:46    172.22.46.222
20:00:00:05:30:00:cb:56    172.22.46.224
20:00:00:05:30:00:5b:5e    172.22.46.182
20:00:00:05:30:00:34:9e    172.22.46.220

Total number of entries = 7
```

次に、スイッチ上のすべてのアプリケーションの CFS 情報を表示する例を示します。

```
switch# show cfs application
```

```
-----
Application      Enabled  Scope
-----
ntp              No      Physical-all
fscm             Yes     Physical-fc
role            No      Physical-all
rscn            No      Logical
radius          No      Physical-all
fctimer        No      Physical-fc
syslogd        No      Physical-all
callhome       No      Physical-all
fcdomain       Yes     Logical
device-alias   Yes     Physical-fc
```

```
Total number of entries = 10
```



**(注)** **show cfs application** コマンドは、CFS で登録されたアプリケーションのみを表示します。CFS を使用する条件付きサービスは、そのサービスが実行されていない限り出力には表示されません。

次に、デバイス エイリアス アプリケーションの CFS 情報を表示する例を示します。

```
switch# show cfs application name device-alias
```

```
Enabled          : Yes
Timeout          : 5s
Merge Capable    : Yes
Scope            : Physical
```

次に、デバイス エイリアス アプリケーションの CFS 結合操作情報を表示する例を示します。

```
switch# show cfs merge status device-alias
```

```
Physical Merge Status: Success
Local Fabric
-----
Switch WWN                IP Address
-----
20:00:00:05:30:00:34:9e  172.22.46.220  [Merge Master]
20:00:00:05:30:00:5b:5e  172.22.46.182
20:00:00:05:30:00:61:de  172.22.46.223
20:00:00:05:30:00:cb:56  172.22.46.224
20:00:00:05:30:00:eb:46  172.22.46.222
20:00:00:05:30:00:f1:e2  172.22.46.225
```

次に、CFS 配信がイネーブルかどうかを表示する例を示します。

```
switch# show cfs status
Fabric distribution Enabled
switch#
```

## show cfs regions

領域内の配信可能なアプリケーションとピアの一覧を表示するには、**show cfs region** コマンドを使用します。

```
show cfs regions [brief [ region-id ] | name [ name app-name ] | region [ region-id ]]
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<b>brief</b> <i>region-id</i>	全設定済領域およびアプリケーションをピアなしで表示します。
	<b>name</b> <i>app-name</i>	指定したアプリケーションの全ピアおよび領域情報を表示します。
	<b>region</b> <i>region-id</i>	全設定済アプリケーションとピアを表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、全ての領域情報とピアを表示する例を示します。

```
switch# show cfs regions
Region-ID : 1
Application: callhome
Scope : Physical-all
-----
Switch WWN          IP Address
-----
20:00:00:0d:ec:04:99:c0 10.64.66.48          [Local]
                        switch-
20:00:00:0d:ec:04:99:c1 10.64.66.48          switch-2.cisco.com
20:00:00:0d:ec:04:99:c2 10.64.66.48          switch-3.cisco.com
Total number of entries = 3
Region-ID : 1
Application: ntp
Scope : Physical-all
-----
Switch WWN          IP Address
-----
20:00:00:0d:ec:06:55:c0 10.64.66.47          [Local]
                        switch-1
Total number of entries = 1
```

次に、領域内にアプリケーションのリストをピアなしで表示する例を示します。

```
switch# show cfs regions brief
-----
Region          Application  Enabled
-----
1               callhome    yes
1               ntp         yes
```

次に、領域内の指定アプリケーションに関するピアおよび領域情報を表示する例を示します。

```
switch# show cfs regions name callhome
Region-ID : 1
Application: callhome
Scope     : Physical-all
-----
Switch WWN          IP Address
-----
20:00:00:0d:ec:06:55:c0 10.64.66.47 [Local]
                        switch 1
Total number of entries = 1
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>cfs regions</b>	選択されたスイッチにアプリケーション配信範囲を限定する領域を作成します。

# show cimserver

Common Information Models (CIM) のコンフィギュレーションおよび設定を表示するには、**show cimserver** コマンドを使用します。

```
show cimserver [certificateName | HttpsStatus | HttpStatus | status]
```

シンタックスの説明	certificateName	インストールされた Secure Socket Layer (SSL) 証明書を表示します。
	HttpsStatus	CIM サーバの HTTPS (セキュア) プロトコルを表示します。
	HttpStatus	CIM サーバの HTTP (非セキュア) プロトコル設定を表示します。
	status	CIM サーバ状態を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.3(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

**例** 次に、CIM サーバ証明書ファイルを表示する例を示します。

```
switch# show cimserver certificateName
cimserver certificate file name is servcert.pem
```

次に、CIM サーバ コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show cimserver
cimserver is enabled
cimserver Http is not enabled
cimserver Https is enabled
cimserver certificate file name is servcert.pem
```

次に、CIM サーバの HTTPS 状態を表示する例を示します。

```
switch# show cimserver httpsstatus
cimserver Https is enabled
```

次に、CIM サーバの HTTP 状態を表示する例を示します。

```
switch# show cimserver httpstatus
cimserver Http is not enabled
```

# show cimserver indications

フィルタ、受信側、および加入などの CIM サーバの説明を表示するには、**show cimserver indication** コマンドを使用します。

## show cimserver indication

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.3(1a)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、CIM サーバの説明を表示する例を示します。

```
switch# show cimserver indication
Filter:          root/cimv2:Feb 7, 2008 2:32:11 PM
Query:          "SELECT * FROM CISCO_LinkUp"
Query Language: WQL
-----
Handler:        root/cimv2:CIM_ListenerDestinationCIMXML.Thu Feb 07 14:32:44 IST
20081202374964083
Destination:    http://10.77.91.110:59901
PersistenceType: Transient
-----
Namespace:     root/cimv2
Filter:        root/cimv2:Feb 7, 2008 2:32:11 PM
Handler:       root/cimv2:CIM_ListenerDestinationCIMXML.Thu Feb 07 14:32:44 IST
20081202374964083
Query:        "SELECT * FROM CISCO_LinkUp"
Destination:  http://10.77.91.110:59901
SubscriptionState: Enabled
```

次に、CIM サーバの説明フィルタを表示する例を示します。

```
switch# show cimserver indication filters
Filter:          root/cimv2:Feb 7, 2008 2:32:11 PM
Query:          "SELECT * FROM CISCO_LinkUp"
Query Language: WQL
```

次に、CIM サーバの説明の受信側を表示する例を示します。

```
switch# show cimserver indication recipients
Handler:        root/cimv2:CIM_ListenerDestinationCIMXML.Thu Feb 07 14:32:44 IST
20081202374964083
Destination:    http://10.77.91.110:59901
PersistenceType: Transient
```

次に、CIM サーバの加入について表示する例を示します。

```
switch# show cimserver indication subscriptions
Namespace:      root/cimv2
Filter:         root/cimv2:Feb 7, 2008 2:32:11 PM
Handler:        root/cimv2:CIM_ListenerDestinationCIMXML.Thu Feb 07 14:32:44 IST
                20081202374964083
Query:          "SELECT * FROM CISCO_LinkUp"
Destination:    http://10.77.91.110:59901
SubscriptionState: Enabled
```

## show cimserver logs

CIM サーバのログを表示するには、**show cimserver logs** コマンドを使用します。

### show cimserver logs

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.3(1a)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、CIM サーバのログを表示する例を示します。

```
switch# show cimserver logs
02/07/2008-16:38:14 INFO   cimserver: Sent response to: localhost
02/07/2008-16:38:26 INFO   cimserver: Received request from: 10.77.91.110
02/07/2008-16:38:27 INFO   cimserver: Sent response to: 10.77.91.110
```

関連コマンド	コマンド	説明
	cimserver loglevel	CIM サーバのログレベル フィルタを入力します。

# show cimserver status

CIM サーバのステータスを表示するには、**show cimserver status** コマンドを使用します。

**show cimserver status**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.3(1a)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、CIM サーバのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show cimserver status
cimserver is enabled
```

関連コマンド	コマンド	説明
	cimserver enable	CIM サーバを開始します。

# show cli alias

スイッチに設定されているエイリアスを表示するには、**show cli alias** コマンドを使用します。

```
show cli alias [name name]
```

シンタックスの説明	<b>name name</b> エイリアス名を指定します。名前は、最大 31 文字までです。				
デフォルト	なし				
コマンドモード	EXEC モード				
コマンド履歴	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">リリース</th> <th style="text-align: left;">変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.0(1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	3.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
3.0(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	<p><b>show cli alias</b> コマンドは、デフォルトのエイリアスと他のユーザ定義エイリアスを表示します。デフォルトエイリアスは <b>alias</b> で、<b>show cli alias</b> のことです。</p>				
例	<p>次に、CLI エイリアスを表示する例を示します。</p> <pre>switch# show cli alias CLI alias commands ===== alias  :show cli alias env    :show environment clock :show clock</pre> <p>次に、特定のエイリアスを名前別に表示する例を示します。</p> <pre>switch# show cli alias name qos qos :show qos</pre>				
関連コマンド	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">コマンド</th> <th style="text-align: left;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>cli alias name</b></td> <td>コマンドエイリアス名を定義します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	<b>cli alias name</b>	コマンドエイリアス名を定義します。
コマンド	説明				
<b>cli alias name</b>	コマンドエイリアス名を定義します。				

# show cli variables

ユーザ定義セッションおよび固定 CLI 変数を表示するには、**show cli variables** コマンドを使用します。

**show cli variables**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** **show CLI variables** コマンドは、全ての使用可能な CLI 変数を表示します。これには、ユーザ定義セッション CLI 変数、ユーザ定義固定 CLI 変数、システム定義 CLI 変数などが含まれています。出力で CLI 変数のタイプに区別はありません。

**例** 次に、CLI 変数を表示する例を示します。

```
switch# show cli variables
VSH Variable List
-----
TIMESTAMP="2005-10-24-21.29.33"
testinterface="fc 1/1"
```



**(注)** 前述の出力例で示されている **TIMESTAMP** 変数は、Cisco MDS SAN-OS でサポートされている事前定義変数です。**TIMESTAMP** 変数の詳細については、『*Cisco MDS 9000 Family CLI Configuration Guide*』を参照してください。

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>cli var name</b>	CLI セッション変数を定義します。
	<b>cli var name (設定)</b>	CLI 固定変数を定義します。

# show clock

システムの日付と時間を表示し、タイムゾーンを確認するには、**show clock** コマンドを使用します。

**show clock**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、システム日付、時間、およびタイムゾーンの設定を表示する例を示します。

```
switch# show clock
Fri Mar 14 01:31:48 UTC 2003
```

# show cloud discovery

クラウドに関するディスカバリ情報を表示するには、**show cloud discovery** コマンドを使用します。

```
show cloud discovery {config | stats | status}
```

シンタックスの説明	config	stats	status
	グローバルディスカバリ設定情報を表示します。	ディスカバリ統計情報を表示します。	ディスカバリステータス情報を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、クラウドに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show cloud discovery config
Auto discovery: Enabled
```

The following example shows statistics about a cloud.

```
sswitch# show cloud discovery stats
Global statistics
  Number of Auto Discovery                = 4
  Number of Manual (demand) Discovery     = 0
  Number of cloud discovery (ping) messages sent = 17
  Number of cloud discovery (ping) success = 1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>cloud discover</b>	手動の、オンデマンドクラウドディスカバリを開始します。
	cloud discovery	クラウドディスカバリを設定します。
	cloud-discovery	クラウドメンバシップのディスカバリをイネーブルにします。
	show cloud membership	クラウドのメンバーに関する情報を表示します。

# show cloud membership

クラウドに関するメンバシップ情報を表示するには、**show cloud membership** コマンドを使用します。

```
show cloud membership [all | interface {gigabitethernet slot/port | port-channel number} |
unresolved]
```

## シンタックスの説明

<b>all</b>	全てのクラウドおよびクラウドメンバーを表示します。
<b>interface</b>	指定したインターフェイスに含まれているクラウドの全メンバーを表示します。
<b>gigabitethernet slot/port</b>	スロットおよびポート番号でギガビットイーサネットインターフェイスを指定します。有効範囲は 1～6 です。
<b>port-channel number</b>	ポートチャネルインターフェイスを指定します。有効範囲は 1～128 です。
<b>unresolved</b>	クラウドの未解決メンバーに関する情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
3.0(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、クラウドのメンバーを表示する例を示します。

```
switch# show cloud membershp
Undiscovered Cloud
  port-channel 1 [20:00:00:05:30:00:a7:9e] IP Addr fe80::205:30ff:fe00:a412
  port-channel 1.250 [20:00:00:05:30:00:a7:9e] IP Addr 3000:2::1
  port-channel 1.250 [20:00:00:05:30:00:a7:9e] IP Addr fe80::205:30ff:fe00:a412
#members=3
Cloud 2
  port-channel 1 [20:00:00:05:30:00:a7:9e] IP Addr 3000:1::1
#members=1
Cloud 3
  GigabitEthernet1/1 [20:00:00:05:30:00:a7:9e] IP Addr 10.10.10.1
#members=1
Cloud 4
  GigabitEthernet1/2 [20:00:00:05:30:00:a7:9e] IP Addr 10.10.60.1
#members=1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>cloud discover</b>	手動の、オンデマンドクラウドディスカバリを開始します。
<b>cloud discovery</b>	クラウドディスカバリを設定します。
<b>cloud-discovery enable</b>	クラウドメンバシップのディスカバリをイネーブルにします。
<b>show cloud discovery</b>	クラウドに関するディスカバリ情報を表示します。

# show copyright

SAN-OS ソフトウェアの著作権文を表示するには、EXEC モードで **show copyright** コマンドを使用します。

**show copyright**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** 現在の SAN-OS イメージの著作権文を確認するには、**show copyright** コマンドを使用します。

**例** 次に、SAN-OS ソフトウェアの著作権情報を表示する例を示します。

```
switch# show copyright
Cisco Storage Area Networking Operating System (SAN-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2006, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained herein are owned by
other third parties and are used and distributed under license.
Some parts of this software may be covered under the GNU Public
License or the GNU Lesser General Public License. A copy of
each such license is available at
http://www.gnu.org/licenses/gpl.html and
http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
```

# show cores

現在のアクティブ スーパーバイザからアップロード可能なすべてのコアを表示するには、**show cores** コマンドを使用します。

**show cores**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、アクティブ スーパーバイザ（スロット 5）で Fabric Shortest Path First（FSPF）コアが、スタンバイ スーパーバイザ（スロット 6）で Fibre Channel Congestion（FCC）コアが、モジュール（スロット 8）で acltcam および fib が生成される例を示します。

switch# **show cores**

Module-num	Process-name	PID	Core-create-time
-----	-----	---	-----
5	fspf	1524	Jan 9 03:11
6	fcc	919	Jan 9 03:09
8	acltcam	285	Jan 9 03:09
8	fib	283	Jan 9 03:08

# show crypto ca certificates

設定済のトラスト ポイント証明書を表示するには、**show crypto ca certificates** コマンドを使用します。

**show crypto ca certificates** *trustpoint-label*

<b>シンタックスの説明</b>	<i>trustpoint-label</i>	トラスト ポイント名を指定します。最大文字サイズは 64 です。
------------------	-------------------------	----------------------------------

<b>デフォルト</b>	なし
--------------	----

<b>コマンド モード</b>	EXEC モード
-----------------	----------

<b>コマンド履歴</b>	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドは、ID 証明書内の重要フィールドを表示するもので、存在する場合、その後に CA 証明書（またはチェーンになっている場合は、下位証明書から自己署名ルート証明書までの各 CA 証明書）内のフィールドやトラスト ポイントが続きます。トラスト ポイント名が指定されていない場合、全てのトラスト ポイント証明書詳細が表示されます。

## 例

次に、設定されたトラスト ポイント証明書を表示する例を示します。

```
switch# show crypto ca certificates
Trustpoint: admin-ca
certificate:
subject= /CN=switch160
issuer= /C=US/O=cisco/CN=Aparna CA2
serial=6CDB2D9E000100000006
notBefore=Jun  9 10:51:45 2005 GMT
notAfter=May  3 23:10:36 2006 GMT
MD5 Fingerprint=0A:22:DC:A3:07:2A:9F:9A:C2:2C:BA:96:EC:D8:0A:95
purposes: sslserver sslclient ike

CA certificate 0:
subject= /C=US/O=cisco/CN=Aparna CA2
issuer= /emailAddress=amandke@cisco.com/C=IN/ST=Maharashtra/L=Pune/O=cisco/OU=netstorage/CN=Aparna CA1
serial=14A3A877000000000005
notBefore=May  5 18:43:36 2005 GMT
notAfter=May  3 23:10:36 2006 GMT
MD5 Fingerprint=32:50:26:9B:16:B1:40:A5:D0:09:53:0A:98:6C:14:CC
purposes: sslserver sslclient ike

CA certificate 1:
subject= /emailAddress=amandke@cisco.com/C=IN/ST=Maharashtra/L=Pune/O=cisco/OU=netstorage/CN=Aparna CA1
issuer= /emailAddress=amandke@cisco.com/C=IN/ST=Karnataka/L=Bangalore/O=Cisco/OU=netstorage/CN=Aparna CA
serial=611B09A10000000000002
notBefore=May  3 23:00:36 2005 GMT
notAfter=May  3 23:10:36 2006 GMT
MD5 Fingerprint=65:CE:DA:75:0A:AD:B2:ED:69:93:EF:5B:58:D4:E7:AD
purposes: sslserver sslclient ike

CA certificate 2:
subject= /emailAddress=amandke@cisco.com/C=IN/ST=Karnataka/L=Bangalore/O=Cisco/OU=netstorage/CN=Aparna CA
issuer= /emailAddress=amandke@cisco.com/C=IN/ST=Karnataka/L=Bangalore/O=Cisco/OU=netstorage/CN=Aparna CA
serial=0560D289ACB419944F4912258CAD197A
notBefore=May  3 22:46:37 2005 GMT
notAfter=May  3 22:55:17 2007 GMT
MD5 Fingerprint=65:84:9A:27:D5:71:03:33:9C:12:23:92:38:6F:78:12
purposes: sslserver sslclient ike
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>crypto ca authenticate</code>	CA の証明書を認証します。
<code>show ca trustpoints</code>	トラスト ポイント設定を表示します。

# show crypto ca crl

設定済の Certificate Revocation List (CRL; 証明書失効リスト) を表示するには、**show crypto ca crl** コマンドを使用します。

**show crypto ca crl trustpoint-label**

<b>シンタックスの説明</b>	<i>trustpoint-label</i>	トラスト ポイント名を指定します。最大文字サイズは 64 です。
------------------	-------------------------	----------------------------------

<b>デフォルト</b>	なし
--------------	----

<b>コマンドモード</b>	EXEC モード
----------------	----------

<b>コマンド履歴</b>	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

<b>使用上のガイドライン</b>	このコマンドは、指定したトラスト ポイントの CRL にある失効済証明書のシリアル番号をリストします。
-------------------	---

<b>例</b>	次に、設定済 CRL を表示する例を示します。
----------	-------------------------

```
switch# show crypto ca crl admin-ca
Trustpoint: admin-ca
CRL:
Certificate Revocation List (CRL):
  Version 2 (0x1)
  Signature Algorithm: sha1WithRSAEncryption
  Issuer: /emailAddress=rviyyoka@cisco.com/C=IN/ST=Kar/L=Bangalore/O=Cisco
Systems/OU=1/CN=cisco-blr
  Last Update: Sep 22 07:05:23 2005 GMT
  Next Update: Sep 29 19:25:23 2005 GMT
  CRL extensions:
    X509v3 Authority Key Identifier:
      keyid:CF:72:E1:FE:14:60:14:6E:B0:FA:8D:87:18:6B:E8:5F:70:69:05:3F

    1.3.6.1.4.1.311.21.1:
      ...
Revoked Certificates:
  Serial Number: 1E0AE838000000000002
    Revocation Date: Mar 15 09:12:36 2005 GMT
  Serial Number: 1E0AE9AB000000000003
    Revocation Date: Mar 15 09:12:45 2005 GMT
  Serial Number: 1E721E50000000000004
    Revocation Date: Apr 5 11:04:20 2005 GMT
  Serial Number: 3D26E445000000000005
    Revocation Date: Apr 5 11:04:16 2005 GMT
  Serial Number: 3D28F8DF000000000006
    Revocation Date: Apr 5 11:04:12 2005 GMT
  Serial Number: 3D2C6EF3000000000007
    Revocation Date: Apr 5 11:04:09 2005 GMT
  Serial Number: 3D4D7DDC000000000008
    Revocation Date: Apr 5 11:04:05 2005 GMT
  Serial Number: 5BF1FE87000000000009
    Revocation Date: Apr 5 11:04:01 2005 GMT
  Serial Number: 5BF22FB300000000000A
    Revocation Date: Apr 5 11:03:45 2005 GMT
```

```

Serial Number: 5BFA4A4900000000000B
  Revocation Date: Apr  5 11:03:42 2005 GMT
Serial Number: 5C0BC22500000000000C
  Revocation Date: Apr  5 11:03:39 2005 GMT
Serial Number: 5C0DA95E00000000000D
  Revocation Date: Apr  5 11:03:35 2005 GMT
Serial Number: 5C13776900000000000E
  Revocation Date: Apr  5 11:03:31 2005 GMT
Serial Number: 4864FD5A00000000000F
  Revocation Date: Apr  5 11:03:28 2005 GMT
Serial Number: 48642E2E000000000010
  Revocation Date: Apr  5 11:03:24 2005 GMT
Serial Number: 486D4230000000000011
  Revocation Date: Apr  5 11:03:20 2005 GMT
Serial Number: 7FCB75B9000000000012
  Revocation Date: Apr  5 10:39:12 2005 GMT
Serial Number: 1A751900000000000013
  Revocation Date: Apr  5 10:38:52 2005 GMT
Serial Number: 20F1B000000000000014
  Revocation Date: Apr  5 10:38:38 2005 GMT
Serial Number: 436E43A9000000000023
  Revocation Date: Sep  9 09:01:23 2005 GMT
  CRL entry extensions:
    X509v3 CRL Reason Code:
      Cessation Of Operation
Serial Number: 152D3C5E000000000047
  Revocation Date: Sep 22 07:12:41 2005 GMT
Serial Number: 1533AD7F000000000048
  Revocation Date: Sep 22 07:13:11 2005 GMT
Serial Number: 1F9EB8EA00000000006D
  Revocation Date: Jul 19 09:58:45 2005 GMT
  CRL entry extensions:
    X509v3 CRL Reason Code:
      Cessation Of Operation
Serial Number: 1FCA9DC600000000006E
  Revocation Date: Jul 19 10:17:34 2005 GMT
  CRL entry extensions:
    X509v3 CRL Reason Code:
      Cessation Of Operation
Serial Number: 2F1B5E2E000000000072
  Revocation Date: Jul 22 09:41:21 2005 GMT
  CRL entry extensions:
    X509v3 CRL Reason Code:
      Cessation Of Operation
Signature Algorithm: sha1WithRSAEncryption
4e:3b:4e:7a:55:6b:f2:ec:72:29:70:16:2a:fd:d9:9a:9b:12:
f9:cd:dd:20:cc:e0:89:30:3b:4f:00:4b:88:03:2d:80:4e:22:
9f:46:a5:41:25:f4:a5:26:b7:b6:db:27:a9:64:67:b9:c0:88:
30:37:cf:74:57:7a:45:5f:5e:d0

```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>crypto ca cri request</code>	CRL を設定するか、既存のトラストポイント CA の 1 つを上書きします。

# show crypto ca trustpoints

ポイント設定を表示するには、**show crypto ca trustpoints** コマンドを使用します。

**show crypto ca trustpoints**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、設定されたトラスト ポイントを表示する例を示します。

```
switch# show crypto ca trustpoints
trustpoint: CAname; key:
revokation methods:  crl
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>crypto ca authenticate</b>	CA の証明書を認証します。
	<b>crypto ca trustpoint</b>	スイッチが信頼すべきトラスト ポイント認証局を宣言します。
	<b>show crypto ca certificates</b>	設定済トラスト ポイント証明書を表示します。

# show crypto global domain ipsec

グローバル Internet Protocol Security (IPSec) クリプト マップ セット情報を表示するには、**show crypto global domain ipsec** コマンドを使用します。

```
show crypto global domain ipsec [interface gigabitethernet slot/port | security-association lifetime]
```

<b>シンタックスの説明</b>	<b>interface gigabitethernet slot/port</b>	指定したギガビット イーサネット インターフェイスのスロットおよびポートのクリプト IPSec ドメイン情報を表示します。
	<b>security-association lifetime</b>	クリプト IPSec ドメインのセキュリティ アソシエーション 継続時間パラメータを表示します。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドを使用するには、**crypto ipsec enable** コマンドを使用して IPSec をイネーブルにする必要があります。

**例** 次に、クリプト グローバル ドメイン IPSec 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show crypto global domain ipsec
IPSec global statistics:
  Number of crypto map sets: 2
```

次に、インターフェイスのクリプト グローバル ドメイン IPSec 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show crypto global domain ipsec interface gigabitethernet 1/2
IPSec interface statistics:
  IKE transaction stats: 0 num
  Inbound SA stats: 0 num, 512 max
  Outbound SA stats: 0 num, 512 max
```

次に、クリプト グローバル ドメイン IPSec のセキュリティ アソシエーション 継続時間パラメータを表示する例を示します。

```
switch# show crypto global domain ipsec security-association lifetime
Security Association Lifetime: 4500 megabytes/3600 seconds
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>crypto global domain ipsec security-association lifetime</b>	IPSec のグローバル属性を設定します。
	<b>crypto ipsec enable</b>	IPSec をイネーブルにします。

# show crypto ike domain ipsec

Internet Key Exchange (IKE) プロトコル情報を表示するには、**show crypto ike domain ipsec** コマンドを使用します。

```
show crypto ike domain ipsec [initiator [address ip-address] | keepalive | key [address ip-address] |
policy [policy-number] | sa]
```

## シンタックスの説明

<b>initiator</b>	イニシエータ設定情報を表示します。
<b>address ip-address</b>	イニシエータ ピアの IP アドレスを指定します。
<b>keepalive</b>	IKE プロトコルのキープアライブを秒で表示します。
<b>key</b>	事前共有認証鍵を表示します。
<b>policy [policy-number]</b>	Internet Protocol Security (IPSec) の IKE コンフィギュレーション ポリシーを表示します。有効範囲は 1 ~ 255 です。
<b>sa</b>	IPSec の IKE セキュリティ アソシエーションを表示します。

## デフォルト

このコマンドを使用するには、**crypto ike enable** コマンドを使用して IKE プロトコルをイネーブルにする必要があります。

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
2.0(x)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、**crypto ike enable** コマンドを使用して IKE プロトコルをイネーブルにする必要があります。

## 例

次に、IKE キープアライブ値設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show crypto ike domain ipsec keepalive
keepalive 3600
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>crypto ike domain ipsec</b>	IKE コンフィギュレーション モードを開始します。
<b>crypto ike enable</b>	IKE プロトコルをイネーブルにします。

# show crypto key mypubkey rsa

任意の RSA 公開鍵設定を表示するには、**show crypto key mypubkey rsa** コマンドを使用します。

**show crypto key mypubkey rsa**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、RSA 公開鍵設定を表示する例を示します。

```
switch# show crypto key mypubkey rsa
key label: myrsa
key size: 512
exportable: yes
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>crypto ca enroll</b>	スイッチの RSA キー ペアの証明書を要求します。
	<b>crypto key generate rsa</b>	RSA キー ペアを生成します。
	<b>rsa keypair</b>	トラスト ポイント RSA キー ペア詳細を設定します。

# show crypto map domain ipsec

Internet Protocol Security (IPSec) の設定情報をマッピングするには、**show crypto map domain ipsec** コマンドを使用します。

```
show crypto map domain ipsec [interface gigabitethernet slot/port | tag tag-name]
```

シンタックスの説明	
<b>interface gigabitethernet slot/port</b>	特定のギガビットイーサネットインターフェイスの IPSec マッピング情報を表示します。
<b>tag tag-name</b>	特定のタグ名の IPSec マッピング情報を表示します。最大 63 文字まで可能です。

**デフォルト** すべての IPSec マッピング情報を表示します。

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドを使用するには、**crypto ipsec enable** コマンドを使用して IPSec をイネーブルにする必要があります。

## 例

次に、IPSec クリプト マップ情報を表示する例を示します。

```
switch# show crypto map domain ipsec
Crypto Map "cm10" 1 ipsec
  Peer = 10.10.10.4
  IP ACL = aclm10
    permit ip 10.10.10.1 255.255.255.255 10.10.10.4 255.255.255.255
  Transform-sets: 3des-md5, 3des-sha, des-md5, des-sha,
  Security Association Lifetime: 450 gigabytes/3600 seconds
  PFS (Y/N): N
Crypto Map "cm10" 2 ipsec
  Peer = Auto Peer
  IP ACL = acl10
    permit ip 10.10.10.0 255.255.255.0 10.10.10.0 255.255.255.0
  Transform-sets: 3des-md5, 3des-sha, des-md5, des-sha,
  Security Association Lifetime: 450 gigabytes/3600 seconds
  PFS (Y/N): N
Crypto Map "cm11" 1 ipsec
  Peer = 10.10.11.2
  IP ACL = aclany
    permit ip any any
  Transform-sets: 3des-md5, 3des-sha, des-md5, des-sha,
  Security Association Lifetime: 450 gigabytes/3600 seconds
  PFS (Y/N): N
Crypto Map "cm50" 1 ipsec
  Peer = 10.10.50.2
  IP ACL = aclany
    permit ip any any
  Transform-sets: 3des-md5,
  Security Association Lifetime: 450 gigabytes/3600 seconds
  PFS (Y/N): N
Interface using crypto map set cm50:
  GigabitEthernet1/2.1

Crypto Map "cm51" 1 ipsec
  Peer = 10.10.51.2
  IP ACL = aclany
    permit ip any any
  Transform-sets: 3des-md5,
  Security Association Lifetime: 450 gigabytes/3600 seconds
  PFS (Y/N): N
Interface using crypto map set cm51:
  GigabitEthernet1/2.2

Crypto Map "cm60" 1 ipsec
  Peer = 10.10.60.2
  IP ACL = acl60
    permit ip 10.10.60.0 255.255.255.0 10.10.60.0 255.255.255.0
  Transform-sets: 3des-md5,
  Security Association Lifetime: 450 gigabytes/3600 seconds
  PFS (Y/N): N
Interface using crypto map set cm60:
  GigabitEthernet1/2

Crypto Map "cm100" 1 ipsec
  Peer = 10.10.100.221
  IP ACL = aclm100
    permit ip 10.10.100.231 255.255.255.255 10.10.100.221 255.255.255.255
  Transform-sets: 3des-md5, 3des-sha, des-md5, des-sha,
  Security Association Lifetime: 450 gigabytes/3600 seconds
  PFS (Y/N): N
Crypto Map "cm100" 2 ipsec
  Peer = Auto Peer
  IP ACL = acl100
    permit ip 10.10.100.0 255.255.255.0 10.10.100.0 255.255.255.0
  Transform-sets: 3des-md5, 3des-sha, des-md5, des-sha,
  Security Association Lifetime: 450 gigabytes/3600 seconds
  PFS (Y/N): N
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
crypto ipsec enable	IPSec をイネーブルにします。
crypto map domain ipsec	IPSec マップ コンフィギュレーション モードを開始します。

# show crypto sad domain ipsec

Internet Protocol Security (IPSec) セキュリティ アソシエーション データベース情報を表示するには、**show crypto sad domain ipsec** コマンドを使用します。

```
show crypto sad domain ipsec [interface gigabitethernet slot/port [{inbound | outbound} sa-index index]]
```

シンタックスの説明	interface gigabitethernet slot/port	特定のギガビットイーサネットインターフェイスの IPSec セキュリティ アソシエーション情報を表示します。
	<b>inbound</b>	インバウンドアソシエーションを指定します。
	<b>outbound</b>	アウトバウンドアソシエーションを指定します。
	<b>sa-index index</b>	セキュリティ アソシエーション インデックスを指定します。有効範囲は 0 ~ 2147483647 です。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドを使用するには、**crypto ipsec enable** コマンドを使用して IPSec をイネーブルにする必要があります。

**例** 次に、IPSec セキュリティ アソシエーション情報を表示する例を示します。

```
switch# show crypto sad domain ipsec
interface: GigabitEthernet4/1
  Crypto map tag: cm10, local addr. 10.10.10.1
  protected network:
    local ident (addr/mask): (10.10.10.0/255.255.255.0)
    remote ident (addr/mask): (10.10.10.4/255.255.255.255)
    current_peer: 10.10.10.4
      local crypto endpt.: 10.10.10.1, remote crypto endpt.: 10.10.10.4
      mode: tunnel, crypto algo: esp-3des, auth algo: esp-md5-hmac
    current outbound spi: 0x30e000f (51249167), index: 0
      lifetimes in seconds:: 120
      lifetimes in bytes:: 423624704
    current inbound spi: 0x30e0000 (51249152), index: 0
      lifetimes in seconds:: 120
      lifetimes in bytes:: 423624704
```

関連コマンド	コマンド	説明
	crypto ipsec enable	IPSec をイネーブルにします。

# show crypto spd domain ipsec

Security Policy Database (SPD; セキュリティ ポリシー データベース) を表示するには、**show crypto spd domain ipsec** コマンドを使用します。

```
show crypto spd domain ipsec [interface gigabitethernet slot/port [policy number]]
```

シンタックスの説明	interface gigabitethernet slot/port	特定のギガビットイーサネットインターフェイスの SPD 情報を表示します。
	policy number	SPD ポリシー番号を指定します。

**デフォルト** 全ての SPD 情報を表示します。

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドを使用するには、**crypto ipsec enable** コマンドを使用して IPSec をイネーブルにする必要があります。

**例** 次に、SPD を表示する例を示します。

```
switch# show crypto spd domain ipsec
Policy Database for interface: GigabitEthernet1/1, direction: Both
# 0:      deny  udp any port eq 500 any
# 1:      deny  udp any any port eq 500
# 2:      permit ip any any
# 63:     deny  ip any any
Policy Database for interface: GigabitEthernet1/2, direction: Both
# 0:      deny  udp any port eq 500 any
# 1:      deny  udp any any port eq 500
# 3:      permit ip 10.10.50.1 255.255.255.255 10.10.50.2 255.255.255.255
# 4:      permit ip 10.10.51.1 255.255.255.255 10.10.51.2 255.255.255.255
# 63:     deny  ip any any
```

関連コマンド	コマンド	説明
	crypto ipsec enable	IPSec をイネーブルにします。

# show crypto transform-set domain ipsec

Internet Protocol Security (IPSec) のトランスフォーム セット情報を表示するには、**show crypto transform-set domain ipsec** コマンドを使用します。

```
show crypto transform-set domain ipsec [set-name]
```

シンタックスの説明	<i>set-name</i>	トランスフォーム セット名を指定します。1 最大 63 文字まで可能です。
デフォルト		すべてのトランスフォーム セットの情報を表示します。
コマンド モード		EXEC モード
コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン		このコマンドを使用するには、 <b>crypto ipsec enable</b> コマンドを使用して IPSec をイネーブルにする必要があります。
例		次に、すべての IPSec トランスフォーム セットの情報を表示する例を示します。  <pre>switch# show crypto transform-set domain ipsec Transform set: ipsec_default_transform_set {esp-aes-256-ctr esp-aes-xcbc-mac} will negotiate {tunnel}</pre>
関連コマンド	コマンド	説明
	crypto ipsec enable	IPSec をイネーブルにします。
	crypto transform-set domain ipsec	IPSec トランスフォーム セット情報を設定します。

# show debug

スイッチに設定されている **debug** コマンドを表示するには、EXEC モードで **show debug** コマンドを使用します。

```
show debug all /aaa | acl | arbiter | ascii-cfg | bootvar | callhome | capability | cdp | v | cimserver |
cloud | confcheck | core | device-alias | dstats | epp | ethport | exceptionlog |
fabric_start_cfg_mgr | fc-tunnel | fc2 | fc2d | fcc | fcdomain | fcfwd | fcns | fcs | fdmi | flogi |
fs-daemon | fspf | fvp | idehsd | ilc_helper | ipacl | ipconf | ipfc | kadb | kipfc | klm-scsi-target |
license | logfile | mcast | mip | module | ntp | platform | port | port-channel | qos | radius | rdl |
redundancy | rib | rlir | rscn | scsi-flow | scsi-target | security | sensor | snmp | span | system |
SystemHealth | tcap | tlport | ttyd | vni | vp | vrrp | vsan | vshd | wwn | xbar | xbc | zone]
```

## シンタックスの説明

<b>aaa</b>	301 のデバッグ フラグを表示します。
<b>acl</b>	ACL マネージャのデバッグ フラグを表示します。
<b>arbiter</b>	アービターのデバッグ フラグを表示します。
<b>ascii-cfg</b>	ascii-cfg のデバッグ フラグを表示します。
<b>bootvar</b>	bootvar のデバッグ フラグを表示します。
<b>callhome</b>	Call Home のデバッグ フラグを表示します。
<b>capability</b>	capability のデバッグ フラグを表示します。
<b>cdp</b>	Cisco Discovery Protocol (CDP; シスコ検出プロトコル) のデバッグ フラグを表示します。
<b>cfs</b>	Cisco Fabric Services (CFS) のデバッグ フラグを表示します。
<b>cimserver</b>	CIM サーバのデバッグ フラグを表示します。
<b>cloud</b>	クラウドのデバッグ フラグを表示します。
<b>confcheck</b>	confcheck のデバッグ フラグを表示します。
<b>core</b>	機能マネージャのデバッグ フラグを表示します。
<b>device-alias</b>	Distributed Device Alias Services (DDAS; 分散デバイス エイリアス サービス) のデバッグ フラグを表示します。
<b>dstats</b>	デルタ統計情報のデバッグ フラグを表示します。
<b>epp</b>	EPP のデバッグ フラグを表示します。
<b>ethport</b>	イーサネット ポートのデバッグ フラグを表示します。
<b>exceptionlog</b>	例外ログのデバッグ フラグを表示します。
<b>fabric_start_cfg_mgr</b>	ファブリック スタートアップ コンフィギュレーション マネージャのデバッグ フラグを表示します。
<b>fc-tunnel</b>	MPLS トンネルのデバッグ フラグを表示します。
<b>fc2</b>	FC2 のデバッグ フラグを表示します。
<b>fc2d</b>	FC 2 D のデバッグ フラグを表示します。
<b>fcc</b>	FCC のデバッグ フラグを表示します。
<b>fcdomain</b>	FC ドメインの内部デバッグ フラグを表示します。
<b>fcfwd</b>	FCFWD のデバッグ フラグを表示します。
<b>fcns</b>	ネーム サーバのデバッグ フラグを表示します。
<b>fcs</b>	Fabric Configuration Server (FCS) のデバッグ フラグを表示します。
<b>fdmi</b>	FDMI のデバッグ フラグを表示します。
<b>flogi</b>	F ポート サーバのデバッグ フラグを表示します。
<b>fs-daemon</b>	ファイル サーバデーモンのデバッグ フラグを表示します。
<b>fspf</b>	Fabric Shortest Path First (FSPF) のデバッグ フラグを表示します。
<b>fvp</b>	FVP マネージャのデバッグ フラグを表示します。

<b>idehsd</b>	IDEHSD のデバッグ フラグを表示します。
<b>ilc_helper</b>	ilc_helper のデバッグ フラグを表示します。
<b>ipacl</b>	IP-ACL のデバッグ フラグを表示します。
<b>ipconf</b>	IP コンフィギュレーションのデバッグ フラグを表示します。
<b>ipfc</b>	IP over Fibre Channel (IPFC) のデバッグ フラグを表示します。
<b>kadb</b>	カーネル ADB のデバッグ フラグを表示します。
<b>kipfc</b>	IPFC カーネルのデバッグ フラグを表示します。
<b>klm-scsi-target</b>	SCSI ターゲット ドライバのデバッグ フラグを表示します。
<b>license</b>	ライセンスのデバッグ フラグを表示します。
<b>logfile</b>	ログファイルの内容を表示します。
<b>mcast</b>	mcast のデバッグ フラグを表示します。
<b>mip</b>	mip カーネルのデバッグ フラグを表示します。
<b>module</b>	モジュールのデバッグ フラグを表示します。
<b>ntp</b>	NTP のデバッグ フラグを表示します。
<b>platform</b>	プラットフォーム マネージャのデバッグ フラグを表示します。
<b>port</b>	ポートのデバッグ フラグを表示します。
<b>port-channel</b>	ポート チャネルのデバッグ フラグを表示します。
<b>qos</b>	QoS のデバッグ フラグを表示します。
<b>radius</b>	RADIUS のデバッグ フラグを表示します。
<b>rdl</b>	RDL のデバッグ フラグを表示します。
<b>redundancy</b>	冗長ドライバのデバッグ フラグを表示します。
<b>rib</b>	rib のデバッグ フラグを表示します。
<b>rlir</b>	RLIR のデバッグ フラグを表示します。
<b>rscn</b>	RSCN のデバッグ フラグを表示します。
<b>scsi-flow</b>	SCSI フローのデバッグ フラグを表示します。
<b>scsi-target</b>	SCSI ターゲット デーモンのデバッグ フラグを表示します。
<b>security</b>	セキュリティおよびアカウントिंगのデバッグ フラグを表示します。
<b>sensor</b>	センサ マネージャのデバッグ フラグを表示します。
<b>snmp</b>	SNMP サーバのデバッグ フラグを表示します。
<b>span</b>	SPAN のデバッグ フラグを表示します。
<b>system</b>	システムのデバッグ フラグを表示します。
<b>SystemHealth</b>	システム ヘルス のデバッグ フラグを表示します。
<b>tcap</b>	例外ログのデバッグ フラグを表示します。
<b>tlport</b>	Translative Loop (TL) ポートのデバッグ フラグを表示します。
<b>ttyd</b>	TTYD のデバッグ フラグを表示します。
<b>vni</b>	仮想ネットワーク インターフェイスのデバッグ フラグを表示します。
<b>vp</b>	VP マネージャのデバッグ フラグを表示します。
<b>vrrp</b>	Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP) のデバッグ フラグを表示します。
<b>vsan</b>	VSAN マネージャのデバッグ フラグを表示します。
<b>vshd</b>	VSHD のデバッグ フラグを表示します。
<b>wwn</b>	WWN マネージャのデバッグ フラグを表示します。
<b>xbar</b>	XBAR のデバッグ フラグを表示します。
<b>xbc</b>	XBC のデバッグ フラグを表示します。
<b>zone</b>	ゾーン サーバのデバッグ フラグを表示します。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。
	3.0(1)	<b>cloud</b> オプションが追加されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、スイッチに設定されているすべてのデバッグ コマンドを表示する例を示します。

```
switch# show debug
Show Debug all

ILC helper:
  ILC_HELPER errors debugging is on

SCSI Flow Manager:
  Error debugging is on
switch#
```

次に、指定したデバッグ ログ ファイルのデバッグ メッセージを表示する例を示します。

```
switch# show debug logfile SampleFile
2004 Jun 28 00:14:17 snmpd[2463]: header_fspfLinkEntry : Sending GETNEXT request
  for fspfLsrTable for vsanIndex =0,fsfpLsrDomainId = 0, fspfLsrType = 0
2004 Jun 28 00:14:17 snmpd[2463]: header_fspfLinkEntry : Sending GETNEXT request
  for fspfLsrTable for vsanIndex =0,fsfpLsrDomainId = 0, fspfLsrType = 0
2004 Jun 28 00:14:17 snmpd[2463]: header_fspfLinkEntry : Recd rsp for GETNEXT fo
r entry (vsanIndex=1,fsfpLsrDomainId = 10, fspfLsrType=0, fspfLinkIndex = 1,fsfp
LinkNbrDomainId = 84, fspfLinkPortIndex = 67331,fsfpLinkNbrPortIndex = 66064, fs
pfLinkType = 1,fsfpLinkCost = 500
2004 Jun 28 00:14:17 snmpd[2463]: header_fspfLinkEntry : Sending GETNEXT request
  for fspfLsrTable for vsanIndex =1,fsfpLsrDomainId = 209, fspfLsrType = 0
2004 Jun 28 00:14:17 snmpd[2463]: header_fspfLinkEntry : Sending GETNEXT request
  for fspfLsrTable for vsanIndex =16777216,fsfpLsrDomainId = 3506438144, fspfLsr
Type = 0
2004 Jun 28 00:14:17 snmpd[2463]: header_fspfLinkEntry : Sending GETNEXT request
  for fspfLsrTable for vsanIndex =33554432,fsfpLsrDomainId = 4009754624, fspfLsr
Type = 16777216
```

# show debug npv

スイッチに設定されている N Port Virtualization (NVP; N ポート バーチャライゼーション) デバッグ コマンドを表示するには、**show debug npv** コマンドを使用します。

## show debug npv

シンタックスの説明	このコマンドには、引数またはキーワードはありません。
-----------	----------------------------

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	EXEC モード
----------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	なし
------------	----

例	次に、スイッチに設定されているすべての npv デバッグ コマンドを表示する例を示します。
---	---

```
switch# show debug npv
N_port Virtualizer:
  FC Receive Packets debugging is on
  FC Transmit Packets debugging is on
  FC Receive Packet header debugging is on
  FC Transmit Packet header debugging is on
  MTS Receive Packets debugging is on
  MTS Transmit Packets debugging is on
  MTS Receive Packet header/payload debugging is on
  MTS Transmit Packet header/payload debugging is on
  High Availability debugging is on
  FSM Transitions debugging is on
  Error debugging is on
  Warning debugging is on
  Trace debugging is on
  Trace Detail debugging is on
  Demux debugging is on
  Dequeue debugging is on
  Packets debugging is on
  Database debugging is on
  Timers debugging is on
  External Interface FSM Events debugging is on
  External Interface FSM Errors debugging is on
  External Interface FSM Trace debugging is on
  FLOGI FSM Events debugging is on
  FLOGI FSM Errors debugging is on
  FLOGI FSM Trace debugging is on
  Server Interface FSM Events debugging is on
  Server Interface FSM Errors debugging is on
  Server Interface FSM Trace debugging is on
  Events debugging is on
```

関連コマンド	コマンド	説明
	debug npv	NPV コンフィギュレーションのデバッグをイネーブルにします。

## show debug sme

スイッチに設定されている Cisco SME 関連のすべてのデバッグ コマンドを表示するには、**show debug npv** コマンドを使用します。

```
show debug {cluster {bypass | sap sap} | sme bypass }
```

シンタックスの説明	cluster	すべてのデバッグ フラグを表示します。
	bypass	バイパス フラグを表示します。
	sap sap	SAP のすべてのデバッグ フラグを表示します。SAP を 1 ~ 65535 の範囲で指定します。
	sme	Cisco SME のすべてのデバッグ フラグを表示します。
	bypass	Cisco SME のすべてのバイパス フラグを表示します。

デフォルト なし

コマンド モード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.2(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、スイッチに設定されているすべてのデバッグ コマンドを表示する例を示します。

```
switch# show debug
ILC helper:
  ILC_HELPER errors debugging is on
  ILC_HELPER info debugging is on
```

関連コマンド	コマンド	説明
	debug sme	Cisco SME 機能をデバッグします。

# show device-alias

デバイス名情報を表示するには、**show device-alias** コマンドを使用します。

```
show device-alias {database [pending | pending-diff] | name device-name [pending] | pwwn pwwn-id
[pending] | statistics | status}
```

## シンタックスの説明

<b>database</b>	デバイス名データベース全体を表示します。
<b>pending</b>	未決定のデバイス名データベース情報を表示します。
<b>pending-diff</b>	デバイス名データベース情報の未決定の差異を表示します。
<b>name device-name</b>	特定のデバイス名のデバイス名データベース情報を表示します。
<b>pwwn pwwn-id</b>	特定の pWWN のデバイス名データベース情報を表示します。フォーマットは <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> で、 <i>h</i> は 16 進数値です。
<b>statistics</b>	デバイス名データベースの統計情報を表示します。
<b>status</b>	デバイス名データベースのステータスを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
2.0(x)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

デバイス名として、暗号デバイス名の代わりに FC エイリアスを使用するには、各 FC エイリアスにメンバーを 1 つだけ追加します。

## 例

次に、デバイス エイリアス データベースの内容を表示する例を示します。

```
switch# show device-alias database
device-alias name efg pwwn 21:00:00:20:37:9c:48:e5
device-alias name fred pwwn 10:00:00:00:c9:2d:5a:de
device-alias name myalias pwwn 21:21:21:21:21:21:21:21
device-alias name test pwwn 21:00:00:20:37:6f:db:bb
device-alias name test2 pwwn 21:00:00:20:37:a6:be:35
```

Total number of entries = 5

次に、すべてのグローバル FC エイリアスおよびすべての VSAN 従属 FC エイリアスを表示する例を示します。

```
switch# show device-alias name efg
device-alias name efg pwwn 21:00:00:20:37:9c:48:e5
```

次に、すべてのグローバル FC エイリアスおよびすべての VSAN 従属 FC エイリアスを表示する例を示します。

```
switch# show device-alias statistics
      Device Alias Statistics
=====
Lock requests sent: 1
Database update requests sent: 1
Unlock requests sent: 1
Lock requests received: 0
Database update requests received: 0
Unlock requests received: 0
Lock rejects sent: 0
Database update rejects sent: 0
Unlock rejects sent: 0
Lock rejects received: 0
Database update rejects received: 0
Unlock rejects received: 0
Merge requests received: 5
Merge request rejects sent: 0
Merge responses received: 0
Merge response rejects sent: 0
Activation requests received: 5
Activation request rejects sent: 0
Activation requests sent: 0
Activation request rejects received: 0
v_226# pwnn 21:00:00:20:37:6f:dc:0e
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>device-alias name</b>	デバイス エイリアス名を設定します。
<b>device-alias database</b>	デバイス エイリアス情報を設定します。
<b>device-alias distribute</b>	デバイス エイリアス Cisco Fabric Services (CFS) 配信をイネーブルにします。

# show dpvm

Dynamic Port VSAN Membership (DPVM) 情報を表示するには、**show dpvm** コマンドを使用します。

```
show dpvm {database [active] | pending | pending-diff | ports [vsan vsan-id] | status}
```

シンタックスの説明	database	説明
	active	設定された DPVM データベースとアクティブ DPVM データベースの両方を表示します。
	active	アクティブ DPVM データベースのみを表示します。
	pending	未決定の DPVM 操作を表示します。
	pending-diff	未決定の DPVM 操作とアクティブ DPVM データベースの差異を表示します。
	ports	ポートの DPVM 情報を表示します。
	vsan vsan-id	VSAN (仮想 SAN) ID を指定します。有効範囲は 0 ~ 4093 です。
	status	DPVM ステータス情報を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドを使用するには、**dpvm enable** コマンドを使用して DPVM をイネーブルにする必要があります。

**例** 次に、DPVM データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show dpvm database
pwwn 00:00:00:00:00:00:00:01 vsan 1
pwwn 00:00:00:00:00:00:00:02 vsan 1
[Total 2 entries]
```

関連コマンド	コマンド	説明
	dpvm database	DPVM データベースを設定します。

# show environment

すべての環境関連スイッチ情報（シャーシクロックのステータス、シャーシファンモジュール、電源装置モジュール、電源装置冗長モードと電力使用状況の概要、モジュール温度のスレッシホールドおよびアラームステータスなど）を表示するには、**show environment** コマンドを使用します。

**show environment [clock | fan | power | temperature]**

シンタックスの説明	clock	シャーシクロックモジュールのステータスを表示します。
	fan	シャーシファンモジュールのステータスを表示します。
	power	電源装置モジュールのステータス、電源装置の冗長モード、および電力使用状況の概要を表示します。
	temperature	温度センサーでのモジュールの温度スレッシホールドおよびアラームステータスを表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、クロック、ファン、電源装置、温度センサーのステータスおよびアラーム状態を表示する例を示します。

```
switch# show environment
switch-180# show env
Clock:
-----
Clock          Model          Hw          Status
-----
A              DS-C9500-CL   0.0        ok/active
B              DS-C9500-CL   0.0        ok/standby

Fan:
-----
Fan           Model          Hw          Status
-----
Chassis      WS-9SLOT-FAN   0.0        ok
PS-1         --             --          ok
PS-2         --             --          ok

Temperature:
-----
Module  Sensor  MajorThresh  MinorThres  CurTemp  Status
        (Celsius)  (Celsius)  (Celsius)
-----
1       Outlet  75           60          38       ok
1       Intake  65           50          35       ok

5       Outlet  75           60          36       ok
5       Intake  65           50          36       ok

6       Outlet  75           60          40       ok
6       Intake  65           50          33       ok

9       Outlet  75           60          28       ok
9       Intake  65           50          40       ok

Power Supply:
-----
PS  Model          Power      Power      Status
    (Watts)      (Amp @42V)
-----
1   DS-CAC-2500W   1153.32   27.46     ok
2   WS-CAC-2500W   1153.32   27.46     ok

Mod Model          Power      Power      Power      Power      Status
    (Watts)      (Amp @42V)  (Watts)  (Amp @42V)
-----
1   DS-X9016       220.08    5.24      220.08    5.24     powered-up
5   DS-X9530-SF1-K9 220.08    5.24      220.08    5.24     powered-up
6   DS-X9530-SF1-K9 220.08    5.24      220.08    5.24     powered-up
9   DS-X9016       220.08    5.24      220.08    5.24     powered-up

Power Usage Summary:
-----
Power Supply redundancy mode:                non-redundant (combined)

Total Power Capacity                          2306.64 W

Power reserved for Supervisor(s) [-]         440.16 W
Power reserved for Fan Module(s) [-]         210.00 W
Power currently used by Modules [-]          440.16 W

-----
Total Power Available                          1216.32 W
-----
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show hardware	システム上の全ハードウェア コンポーネントを表示します。

## show fabric-binding

設定されたファブリック バインディング情報を表示するには、EXEC モードで **show fabric-binding** コマンドを使用します。

```
show fabric-binding {database [active] [vsan vsan-id] | efmd statistics [vsan vsan-id] |
statistics [vsan vsan-id] | status [vsan vsan-id] | violations [last number]}
```

シンタックスの説明	database	説明
	active	アクティブ データベース コンフィギュレーション情報を表示します。
	vsan vsan-id	Fibre Connection (FICON) イネーブル VSAN (仮想 SAN) ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
	efmd statistics	Exchange Fabric Membership Data (EFMD) 統計情報を表示します。
	statistics	ファブリック バインディング統計情報を表示します。
	status	ファブリック バインディング ステータスを表示します。
	violations	ファブリック バインディング コンフィギュレーションにおける違反を表示します。
	last number	最新の違反を指定します。有効範囲は 1 ~ 100 です。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.3(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、設定されたファブリック バインディング データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding database
-----
Vsan    Logging-in Switch WWN      Domain-id
-----
1       21:00:05:30:23:11:11:11    0x66 (102)
1       21:00:05:30:23:1a:11:03     0x19 (25)
1       20:00:00:05:30:00:2a:1e     0xea (234)
4       21:00:05:30:23:11:11:11    0x66 (102)
4       21:00:05:30:23:1a:11:03     0x19 (25)
61      21:00:05:30:23:1a:11:03     0x19 (25)
61      21:00:05:30:23:11:11:11    0x66 (102)
[Total 7 entries]
```

次に、アクティブ ファブリック バインディング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding database active
```

```
-----  
Vsan    Logging-in Switch WWN    Domain-id  
-----  
1       21:00:05:30:23:11:11:11    0x66 (102)  
1       21:00:05:30:23:1a:11:03    0x19 (25)  
1       20:00:00:05:30:00:2a:1e    0xea (234)  
61      21:00:05:30:23:1a:11:03    0x19 (25)  
61      21:00:05:30:23:11:11:11    0x66 (102)  
61      20:00:00:05:30:00:2a:1e    0xef (239)
```

次に、アクティブ VSAN 固有のファブリック バインディング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding database active vsan 61
```

```
-----  
Vsan    Logging-in Switch WWN    Domain-id  
-----  
61      21:00:05:30:23:1a:11:03    0x19 (25)  
61      21:00:05:30:23:11:11:11    0x66 (102)  
61      20:00:00:05:30:00:2a:1e    0xef (239)  
[Total 3 entries]
```

次に、設定されている VSAN 固有のファブリック バインディング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding database vsan 4
```

```
-----  
Vsan    Logging-in Switch WWN    Domain-id  
-----  
4       21:00:05:30:23:11:11:11    0x66 (102)  
4       21:00:05:30:23:1a:11:03    0x19 (25)  
[Total 2 entries]
```

次に、ファブリック バインディング統計を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding statistics
Statistics For VSAN: 1
-----
Number of sWWN permit: 0
Number of sWWN deny  : 0

Total Logins permitted : 0
Total Logins denied   : 0
Statistics For VSAN: 4
-----
Number of sWWN permit: 0
Number of sWWN deny  : 0

Total Logins permitted : 0
Total Logins denied   : 0
Statistics For VSAN: 61
-----
Number of sWWN permit: 0
Number of sWWN deny  : 0

Total Logins permitted : 0
Total Logins denied   : 0
Statistics For VSAN: 345
-----
Number of sWWN permit: 0
Number of sWWN deny  : 0

Total Logins permitted : 0
Total Logins denied   : 0
Statistics For VSAN: 346
-----
Number of sWWN permit: 0
Number of sWWN deny  : 0

Total Logins permitted : 0
Total Logins denied   : 0
Statistics For VSAN: 347
-----
Number of sWWN permit: 0
Number of sWWN deny  : 0

Total Logins permitted : 0
Total Logins denied   : 0
Statistics For VSAN: 348
-----
Number of sWWN permit: 0
Number of sWWN deny  : 0

Total Logins permitted : 0
Total Logins denied   : 0
Statistics For VSAN: 789
-----
Number of sWWN permit: 0
Number of sWWN deny  : 0

Total Logins permitted : 0
Total Logins denied   : 0
Statistics For VSAN: 790
-----
Number of sWWN permit: 0
Number of sWWN deny  : 0

Total Logins permitted : 0
Total Logins denied   : 0
```

次に、各 VSAN のファブリック バインディング ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding status
VSAN 1 :Activated database
VSAN 4 :No Active database
VSAN 61 :Activated database
VSAN 345 :No Active database
VSAN 346 :No Active database
VSAN 347 :No Active database
VSAN 348 :No Active database
VSAN 789 :No Active database
VSAN 790 :No Active database
```

次に、EFMD 統計を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding efmd statistics

EFMD Protocol Statistics for VSAN 1
-----
Merge Requests -> Transmitted : 0 , Received : 0
Merge Accepts  -> Transmitted : 0 , Received : 0
Merge Rejects  -> Transmitted : 0 , Received : 0
Merge Busy     -> Transmitted : 0 , Received : 0
Merge Errors   -> Transmitted : 0 , Received : 0

EFMD Protocol Statistics for VSAN 4
-----
Merge Requests -> Transmitted : 0 , Received : 0
Merge Accepts  -> Transmitted : 0 , Received : 0
Merge Rejects  -> Transmitted : 0 , Received : 0
Merge Busy     -> Transmitted : 0 , Received : 0
Merge Errors   -> Transmitted : 0 , Received : 0

EFMD Protocol Statistics for VSAN 61
-----
Merge Requests -> Transmitted : 0 , Received : 0
Merge Accepts  -> Transmitted : 0 , Received : 0
Merge Rejects  -> Transmitted : 0 , Received : 0
Merge Busy     -> Transmitted : 0 , Received : 0
Merge Errors   -> Transmitted : 0 , Received : 0
```

次に、指定した VSAN の EFMD 統計を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding efmd statistics vsan 4

EFMD Protocol Statistics for VSAN 4
-----
Merge Requests -> Transmitted : 0 , Received : 0
Merge Accepts  -> Transmitted : 0 , Received : 0
Merge Rejects  -> Transmitted : 0 , Received : 0
Merge Busy     -> Transmitted : 0 , Received : 0
Merge Errors   -> Transmitted : 0 , Received : 0
```

次に、ファブリック バインディング違反を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding violations
-----
VSAN Switch WWN [domain] Last-Time [Repeat count] Reason
-----
3 20:00:00:05:30:00:4a:1e [*] Nov 25 05:44:58 2003 [2] sWWN not found
3 20:00:00:05:30:00:4a:1e [0xeb] Nov 25 05:46:14 2003 [2] Domain mismatch
4 20:00:00:05:30:00:4a:1e [*] Nov 25 05:46:25 2003 [1] Database mismatch
```

# show fc-tunnel

設定された Fibre Channel (FC) トンネル情報を表示するには、**show fc-tunnel** コマンドを使用します。

```
show fc-tunnel [explicit-path name] | tunnel-id-map
```

シンタックスの説明	explicit-path	すべての設定された明示パスを表示します。
	<i>name</i>	明示パス名を指定します。最大 16 文字まで可能です。
	tunnel-id-map	出力インターフェイスのマッピング情報を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 複数のトンネル ID を同じインターフェイスで終わらせることができます。

例 次に、FC トンネル ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fc-tunnel
fc-tunnel is enabled
```

次に、FC トンネル出力マッピング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc-tunnel tunnel-id-map
tunnel id egress interface
    150    fc3/1
    100    fc3/1
```

次に、FC トンネルの明示的なマッピング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc-tunnel explicit-path
Explicit path name: Alternate1
    10.20.1.2 loose
    10.20.1.3 strict
Explicit path name: User2
    10.20.50.1 strict
    10.20.50.4 loose
```

## show fc2

FC2 情報を表示するには、**show fc2** コマンドを使用します。

```
show fc2 {bind | classf | exchange | exchresp | flogi | nport | plogi | plogi_pwwn | port [brief] | socket |
sockexch | socknotify | socknport | vsan}
```

### シンタックスの説明

<b>bind</b>	FC2 ソケット バインディングを表示します。
<b>classf</b>	FC2 classf セッションを表示します。
<b>exchange</b>	FC2 アクティブ交換を表示します。
<b>exchresp</b>	FC2 アクティブ応答交換を表示します。
<b>flogi</b>	FC2 Fabric Login (FLOGI) テーブルを表示します。
<b>nport</b>	FC2 ローカル N ポートを表示します。
<b>plogi</b>	FC2 Port Login (PLOGI) セッションを表示します。
<b>plogi_pwwn</b>	FC2 PLOGI pWWN エントリを表示します。
<b>port [brief]</b>	FC2 物理ポート テーブルを表示します。
<b>socket</b>	FC2 アクティブ ソケットを表示します。
<b>sockexch</b>	各ソケットの FC2 アクティブ交換を表示します。
<b>socknotify</b>	各ソケットの FC2 ローカル N ポート PLOGI/LOGO 通知を表示します。
<b>socknport</b>	ソケットごとの FC2 ローカル N ポートを表示します。
<b>vsan</b>	FC2 VSAN (仮想 SAN) テーブルを表示します。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、FC2 アクティブ ソケット情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 socket
SOCKET   REFCNT  PROTOCOL      PID   RCVBUF  RMEM_USED      QLEN  NOTSK
b2a64b20      2        0        1421   65535      0        0        0
b2a647e0      3        0        1418  262142      0        0        0
b2a644a0      3        0        1417   65535      0        0        0
b2a64160      3        0        1417  262142      0        0        0
b294b180      3        0        1411   65535      0        0        0
b294ae40      3        0        1411   65535      0        0        0
b294a7c0      3        0        1410   65535      0        0        0
b294a480      2        7        1410   65535      0        0        0
b294a140      3        0        1409  262142      0        0        0
b278bb20      3        0        1409  262142      0        0        0
b278b4a0      3        0        1407   65535      0        0        0
b278b160      3        0        1407  256000      0        0        0
b278ae20      3        0        1407   65535      0        0        0
b1435b00      3        0        1408   65535      0        0        0
b1434e00      3        0        1406   65535      0        0        0
b1434ac0      3        0        1406  131072      0        0        0
b1434780      3        0        1406   65535      0        0        0
b1434440      2        0        1405  131072      0        0        0
b1434100      3        0        1405  262142      0        0 b1434440
b22e2420      2        0        1372   65535      0        0        0
...
```

次に、FC2 ソケット バインディング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 bind
SOCKET RULE   SINDEX  VSAN   D_ID   MASK TYPE  SUBTYPE M_VALUES
b23ba0c0  16  6081000    1     0     0  0 00:00:00 00:00:00:00:00:00:00:00
b2a647e0  7  ffffffff  65535 fffffd ffffff  22 03:01:00 14:15:16:00:00:00:00:00
b294b180  7  ffffffff  65535 fffffd ffffff  1 02:01:00 61:62:00:00:00:00:00:00
b294ae40  7  ffffffff  65535 fffc00 ffff00  22 01:01:00 1b:00:00:00:00:00:00:00
b294a7c0  7  ffffffff  65535 fffffd ffffff  1 01:01:00 10:00:00:00:00:00:00:00
...
```

次に、FC2 ローカル N ポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 nport
REF  VSAN  D_ID  MASK  FL  ST  IFINDEX  CF  TC  2-SO  IC  RC  RS  CS
EE  3-SO  IC  RC  RS  CS  EE
1  65535 fffffd ffffff  3  0  ffffffff c800 0128 8000 0000 0000 2112 0064 0
008 8000 0000 0000 2112 0064 0000
6  65535 fffc00 ffff00 18b  0  ffffffff c800 0128 8000 0000 0000 2112 0064 0
008 8000 0000 0000 2112 0064 0000
2  65535 fffffa ffffff  3  0  ffffffff c800 0128 8000 0000 0000 2112 0064 0
008 8000 0000 0000 2112 0064 0000
1  65535 fffffc ffffff  3  0  ffffffff c800 0128 8000 0000 0000 2112 0064 0
008 8000 0000 0000 2112 0064 0000
...
```

次に、FC2 PLOGI セッション情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 plogi
HIX ADDRESS VSAN S_ID D_ID IFINDEX FL STATE CF TC 2-SO IC RC
RS CS EE 3-SO IC RC RS CS EE EECNT TCNT 2CNT 3CNT REFCNT
2157 af364064 1 fffc6c 123400 ffffffff 0000 0 0000 0001 8000 0000 2000
0256 0001 0001 8000 0000 2000 0256 0001 0000 0 0 0 0 1
```

次に、FC2 物理ポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 port
  IX ST MODE EMUL  TXPKTS  TXDROP  TXERR  RXPKTS  RXDROP  R_A_TOV  E_D_TOV
F-SO RC  RS  CS  EE 2-SO  RS 3-SO  RS
  0 D  1  0  0  0  0  0  0  0  10000  2000
8000 0000 2112 0001 0001 8000 0256 8000 0256
  1 D  1  0  0  0  0  0  0  0  10000  2000
8000 0000 2112 0001 0001 8000 0256 8000 0256
  2 D  1  0  0  0  0  0  0  0  10000  2000
8000 0000 2112 0001 0001 8000 0256 8000 0256
  3 D  1  0  0  0  0  0  0  0  10000  2000
8000 0000 2112 0001 0001 8000 0256 8000 0256
  4 D  1  0  0  0  0  0  0  0  10000  2000
8000 0000 2112 0001 0001 8000 0256 8000 0256
...
```

次に、各ソケットの FC2 ローカル N ポート PLOGI 通知を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 socknotify
SOCKET ADDRESS REF  VSAN  D_ID  MASK  FL  ST  IFINDEX
b2a64160 b27f01e4  6  65535 fffc00 ffff00 18b  0  ffffffff
b294a7c0 b27f01e4  6  65535 fffc00 ffff00 18b  0  ffffffff
af8a3a60 b27f01e4  6  65535 fffc00 ffff00 18b  0  ffffffff
```

次に、各ソケットの FC2 ローカル N ポートを表示する例を示します。

```
switch# show fc2 socknport
SOCKET ADDRESS REF  VSAN  D_ID  MASK  FL  ST  IFINDEX
b2a64160 b27f01e4  6  65535 fffc00 ffff00 18b  0  ffffffff
b294b180 b27f0294  1  65535 fffffd ffffff  3  0  ffffffff
b294a7c0 b27f01e4  6  65535 fffc00 ffff00 18b  0  ffffffff
b278ae20 b27f0134  2  65535 fffffa ffffff  3  0  ffffffff
b1434e00 b27f0134  2  65535 fffffa ffffff  3  0  ffffffff
b1434780 b27f0084  1  65535 fffffc ffffff  3  0  ffffffff
af8a3a60 b27f01e4  6  65535 fffc00 ffff00 18b  0  ffffffff
```

次に、FC2 VSAN テーブルを表示する例を示します。

```
switch# show fc2 vsan
VSAN  X_ID  E_D_TOV  R_A_TOV  WWN
  1  4  2000  10000  20:01:00:05:30:00:58:1f
  2  1  2000  10000  20:02:00:05:30:00:58:1f
  3  1  2000  10000  20:03:00:05:30:00:58:1f
  4  1  2000  10000  20:04:00:05:30:00:58:1f
  5  1  2000  10000  20:05:00:05:30:00:58:1f
  6  1  2000  10000  20:06:00:05:30:00:58:1f
  7  1  2000  10000  20:07:00:05:30:00:58:1f
  8  1  2000  10000  20:08:00:05:30:00:58:1f
  9  1  2000  10000  20:09:00:05:30:00:58:1f
 10  1  2000  10000  20:0a:00:05:30:00:58:1f
 11  1  2000  10000  20:0b:00:05:30:00:58:1f
 12  1  2000  10000  20:0c:00:05:30:00:58:1f
 13  1  2000  10000  20:0d:00:05:30:00:58:1f
 14  1  2000  10000  20:0e:00:05:30:00:58:1f
 15  1  2000  10000  20:0f:00:05:30:00:58:1f
 16  1  2000  10000  20:10:00:05:30:00:58:1f
 17  1  2000  10000  20:11:00:05:30:00:58:1f
 18  1  2000  10000  20:12:00:05:30:00:58:1f
.....
```

## show fcalias

ファイバチャネルエイリアス (FC エイリアス) のメンバー名情報を表示するには、**show fcalias** コマンドを使用します。

```
show fcalias [name fcalias-name] [pending] [vsan vsan-id]
```

シンタックスの説明	name <i>fcalias-name</i>	特定の名前の FC エイリアス情報を表示します。最大 64 文字まで可能です。
	pending	未決定の FC エイリアス情報を表示します。
	vsan <i>vsan-id</i>	VSAN (仮想 SAN) の FC エイリアス情報を表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

**デフォルト** すべてのグローバル FC エイリアスのリスト、およびすべての VSAN 従属 FC エイリアスのリストを表示します。

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。
	2.0(x)	pending キーワードが追加されました。

**使用上のガイドライン** デバイス名として、暗号デバイス名の代わりに FC エイリアスを使用するには、各 FC エイリアスにメンバーを 1 つだけ追加します。

**例** 次に、FC エイリアスの設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcalias vsan 1
fcalias name Alias2 vsan 1

fcalias name Alias1 vsan 1
  pwn 21:00:00:20:37:6f:db:dd
  pwn 21:00:00:20:37:9c:48:e5
```

関連コマンド	コマンド	説明
	fcalias name	FC エイリアス名を設定します。

# show fcanalyzer

リモート キャプチャ用に設定されたホストのリストを表示するには、**show fcanalyzer** コマンドを使用します。

## show fcanalyzer

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** ActiveClient エントリとともに表示される DEFAULT キーワードは、デフォルト ポートがクライアントとの接続の試行に使用されるよう指定するものです。

**例** 次に、設定されたホストを表示する例を示します。

```
switch# show fcanalyzer
PassiveClient = 10.21.0.3
PassiveClient = 10.21.0.3
ActiveClient = 10.21.0.3, DEFAULT
```

# show fcc

Fibre Channel Congestion (FCC) 設定を表示するには、**show fcc** コマンドを使用します。

```
show fcc [statistics interface {fc slot/port | fcip fcip-id | iscsi slot/port}]
```

## シンタックスの説明

<b>statistics interface</b>	指定したインターフェイスの FCC 統計情報を表示します。
<b>fc slot/port</b>	ファイバチャネル インターフェイスを指定します。
<b>fcip fcip-id</b>	Fibre Channel over IP (FCIP) インターフェイスを指定します。有効範囲は 1 ~ 255 です。
<b>iscsi slot/port</b>	iSCSI インターフェイスを指定します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、FCC 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcc
fcc is disabled
fcc is applied to frames with priority up to 4
```

# show fcdomain

ファイバチャネルドメイン (FC ドメイン) 情報を表示するには、**show fcdomain** コマンドを使用します。

```
show fcdomain [address-allocation [cache] |
allowed |
domain-list |
fcid persistent [unused] |
pending [vsan vsan-id] |
pending-diff [vsan vsan-id] |
session-status [vsan vsan-id] |
statistics [interface {fc slot/port [vsan vsan-id] | fcip fcip-id [vsan vsan-id] | iscsi slot/port} |
port-channel [vsan vsan-id]] |
status |
vsan vsan-id]
```



(注)

Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem および Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter では、構文は次のようになります。

```
interface {bay port | ext port}
```

## シンタックスの説明

<b>address-allocation</b>	Fibre Channel (FC) ID 割り当ての統計情報を表示します。
<b>cache</b>	ファブリックを出て再入するデバイス (ディスクまたはホスト) に対して、基本スイッチが FC ID を再割り当てします。キャッシュ コンテンツでは、VSAN (仮想 SAN) がデバイスを含む VSAN を参照し、World Wide Name (WWN) が FC ID を持つデバイスを参照し、マスクが FC ID の単一または全領域を参照します。
<b>allowed</b>	許可されたドメイン ID のリストが表示されます。
<b>domain-list</b>	主要なスイッチで許可されたドメイン ID のリストを表示します。
<b>fcid persistent</b>	(再起動後も変わらない) 固定 FC ID を表示します。
<b>pending</b>	未決定コンフィギュレーションを表示します。
<b>pending-diff</b>	実行コンフィギュレーションと未決定コンフィギュレーションの差異を表示します。
<b>session-status</b>	FC ドメインの最後の動作を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>statistics</b>	FC ドメインの統計情報を表示します。
<b>interface</b>	インターフェイスを指定します。
<b>fc slot/port</b>	(任意) Cisco MDS 9000 ファミリ スイッチのファイバチャネルインターフェイスを指定します。
<b>bay port   ext port</b>	(任意) Cisco MDS 9124 ファブリック スイッチ、Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem、および Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter のファイバチャネルインターフェイスを指定します。
<b>fcip fcip-id</b>	Fibre Channel over IP (FCIP) インターフェイスを指定します。有効範囲は 1 ~ 255 です。
<b>iscsi slot/port</b>	iSCSI インターフェイスを指定します。
<b>port-channel number</b>	ポートチャネルインターフェイスを指定します。有効範囲は 1 ~ 128 です。
<b>status</b>	FC ドメインの全ての VSAN 独立型情報を表示します。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。
	2.1(1a)	<b>domain-list</b> の表示が仮想 IVR の説明を表示するように変更されました。
	3.0(1)	<b>pending</b> 、 <b>pending-diff</b> 、 <b>session-status</b> 、および <b>status</b> オプションが追加されました。

**使用上のガイドライン** 引数なしで **show fcdomain** コマンドを実行すると、すべての VSAN が表示されます。VSAN はアクティブにしておきます。そうでない場合、エラーになります。

**例** 次に、VSAN 1 の FC ドメイン情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain vsan 1
The local switch is a Subordinated Switch.

Local switch run time information:
  State: Stable
  Local switch WWN:      20:01:00:05:30:00:51:1f
  Running fabric name:  10:00:00:60:69:22:32:91
  Running priority:    128
  Current domain ID:   0x64(100) fl verify domain id

Local switch configuration information:
  State: Enabled
  Auto-reconfiguration: Disabled
  Contiguous-allocation: Disabled
  Configured fabric name: 41:6e:64:69:61:6d:6f:21
  Configured priority: 128
  Configured domain ID: 0x64(100) (preferred)

Principal switch run time information:
  Running priority: 2

Interface          Role          RCF-reject
-----
fc2/1              Downstream   Disabled
fc2/2              Downstream   Disabled
fc2/7              Upstream     Disabled
-----
```

次に、VSAN 76 の FC ドメイン ドメイン リスト情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain domain-list vsan 76

Number of domains: 3
Domain ID          WWN
-----
0xc8(200)         20:01:00:05:30:00:47:df [Principal]
 0x63(99)         20:01:00:0d:ec:08:60:c1 [Local]
 0x61(97)         50:00:53:0f:ff:f0:10:06 [Virtual (IVR)]
```

表 22-1 に、**show fcdomain domain-list** コマンド出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 22-1 show fcdomain フィールドの説明

フィールド	説明
ドメイン ID	WWN に対応するドメイン ID の一覧です
WWN	対応するドメイン ID を要求するスイッチ (物理スイッチまたは仮想スイッチ) の WWN を示します
Principal	VSAN で主要なスイッチの WWN およびドメイン ID を表示する行を示します
Local	ローカル スイッチ (show fcdomain domain-list コマンドを入力したスイッチ) の WWN およびドメイン ID を表示する行を示します
Virtual (IVR)	ドメイン ID を入手するために Inter-VSAN Routing (IVR) マネージャに使用されている仮想スイッチの WWN が表示されている行を示します

次に、許可されたドメイン ID リストを表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain allowed vsan 1
Assigned or unallowed domain IDs: 1-96,100,111-239.
[Interoperability Mode 1] allowed domain IDs: 97-127.
[User] configured allowed domain IDs: 50-110.
```

次に、許可されたドメイン ID リストの CFS 配信ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain status
CFS distribution is enabled
```

次に、未決定の設定変更を表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain pending vsan 10

Pending Configured Allowed Domains
-----
VSAN 10
Assigned or unallowed domain IDs: 1-9,24,100,231-239.
[User] configured allowed domain IDs: 10-230.
```

次に、未決定コンフィギュレーションとアクティブ コンフィギュレーションの差異を表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain pending-diff vsan 10

Current Configured Allowed Domains
-----
VSAN 10
Assigned or unallowed domain IDs: 24,100.
[User] configured allowed domain IDs: 1-239.
Pending Configured Allowed Domains
-----
VSAN 10
Assigned or unallowed domain IDs: 1-9,24,100,231-239.
[User] configured allowed domain IDs: 10-230.
```

次に、配信セッションのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain session-status vsan 1
Last Action: Distribution Enable
Result: Success
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
fcdomain	ファイバチャネル ドメイン機能を設定します。

# show fcdroplacency

設定されたファイバチャネルレイテンシパラメータを表示するには、**show fcdroplacency** コマンドを使用します。

```
show fcdroplacency [network | switch]
```

シンタックスの説明	network	ミリ秒単位のネットワークレイテンシ
	switch	ミリ秒単位のスイッチレイテンシ

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、設定されたファイバチャネルレイテンシパラメータを表示する例を示します。

```
switch# show fcdroplacency
switch latency value:4000 milliseconds
network latency value:5000 milliseconds
```

# show fcf flow stats

設定されたファイバ チャネル フロー (fcflow) 情報を表示するには、**show fcf flow stats** コマンドを使用します。

```
show fcf flow stats [aggregated | usage] module slot [index flow-index]
```

シンタックスの説明	aggregated	集約 fcf flow 統計情報を表示します。
	usage	フロー インデックスの使用状況を表示します。
	module slot	指定したスロット内のモジュールの fcf flow 統計情報を表示します。
	index flow-index	fcflow インデックスを指定します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

**例** 次に、指定したモジュールの集約 fcf flow 詳細を表示する例を示します。

```
switch# show fcf flow stats aggregated module 2
Idx  VSAN # frames # bytes
-----
0000 4    387,653  674,235,875
0001 6    34,402   2,896,628
```

次に、指定したモジュールの fcf flow 詳細を表示する例を示します。

```
switch# show fcf flow stats module 2
Idx  VSAN D ID      S ID      mask      # frames # bytes
-----
0000 4    032.001.002  007.081.012  ff.ff.ff  387,653  674,235,875
0001 6    004.002.001  019.002.004  ff.00.00  34,402   2,896,628
```

次に、指定したモジュールの fcf flow インデックスの使用状況を表示する例を示します。

```
switch# show fcf flow stats usage module 2
2 flows configured
configured flow : 3,7
```

# show fcfwd

設定された fcfwd テーブルおよび統計を表示するには、**show fcfwd** コマンドを使用します。

```
show fcfwd {idxmap [interface-toport | port-to-interface | statistics] | pemap [interface] | sfib
[multicast | statistics | unicast] | spanmap [rx | tx]}
```

シンタックスの説明		
<b>idxmap</b>		Fibre Channel (FC) 転送インデックス テーブルを表示します。
<b>interface-to-port</b>		インターフェイス インデックスとポート インデックスの対応テーブルを表示します。
<b>port-to-interface</b>		ポート インデックスとインターフェイス インデックスの対応テーブルを表示します。
<b>statistics</b>		インデックス テーブル統計を表示します。
<b>pemap</b>		FC 転送ポートチャンネル テーブルを表示します。
<b>interface</b>		インターフェイス用のポートチャンネル テーブルを表示します。
<b>sfib</b>		ソフトウェア転送テーブルを表示します。
<b>multicast</b>		マルチキャスト ソフトウェア転送テーブルを表示します。
<b>statistics</b>		ソフトウェア転送統計情報を表示します。
<b>unicast</b>		ユニキャスト ソフトウェア転送テーブルを表示します。
<b>spanmap</b>		Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチドポートアナライザ) マップ テーブルを表示します。
<b>rx</b>		出力 rx 方向の SPAN マップ テーブルを表示します。
<b>tx</b>		入力 tx 方向の SPAN マップ テーブルを表示します。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、fcfwd SPAN マップ受信情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcfwd spanmap rx
SPAN source information: size [c8]
dir source                vsan    bit    drop_thresh destination
```

# show fcid-allocation

会社 ID のファイバ チャネル地域リストを表示するには、**show fcid allocation** コマンドを使用します。

```
show fcid-allocation area company-id [company-id]
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<b>area</b>	会社 ID の自動地域リストを選択します。
	<b>company-id</b>	会社 ID リストを選択します。
	<i>company-id</i>	表示する個々の会社 ID (Organizational Unit Identifier[OUI]) を選択します。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0	新規コマンド

**例** 次に、会社 ID のファイバ チャネル地域会社リストを表示する例を示します。

```
switch# show fcid-allocation area company-id

Fcid area allocation company id info:

    00:50:2E
    00:50:8B
    00:60:B0
    00:A0:B8
    00:E0:69
    00:E0:8B
    00:32:23 +

Total company ids: 7
+ - Additional user configured company ids.
* - Explicitly deleted company ids from default list.
switch#
```

表 22-2 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

**表 22-2 show fcid-allocation area company フィールドの説明**

フィールド	説明
+	デフォルトのリストに追加された会社 ID を示します。
-	デフォルトのリストから削除された会社 ID を示します。

# show fc-redirect configs

スイッチの現在のコンフィギュレーション モードをすべて表示するには、**show fc-redirect configs** コマンドを使用します。

**show fc-redirect configs**

<b>シンタックスの説明</b>	このコマンドには、引数またはキーワードはありません。
------------------	----------------------------

<b>デフォルト</b>	なし
--------------	----

<b>コマンドモード</b>	EXEC モード
----------------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.2(1)	このコマンドが導入されました。
	3.3(1a)	コンフィギュレーション モードの情報がコマンドの出力に追加されました。

<b>使用上のガイドライン</b>	なし
-------------------	----

<b>例</b>	次に、スイッチの現在のコンフィギュレーション モードを表示する例を示します。
----------	--

```
switch# show fc-redirect configs
Configuration Mode    = MODE_V1
Config#1
=====
Appl UUID             = 0x00D8 (ISAPI CFGD Service)
SSM Slot              = 2
SSM Switch WWN       = 20:00:00:05:30:00:90:9e (LOCAL)
Vt PWWN               = 2f:ea:00:05:30:00:71:61
Tgt PWWN              = 21:00:00:20:37:38:89:86
Host 1: Host PWWN    = 21:00:00:e0:8b:0d:12:c6
                   VI  PWWN    = 2f:ec:00:05:30:00:71:61

Config#2
=====
Appl UUID             = 0x00D8 (ISAPI CFGD Service)
SSM Slot              = 2
SSM Switch WWN       = 20:00:00:05:30:00:90:9e (LOCAL)
Vt PWWN               = 2f:ea:00:05:30:00:71:62
Tgt PWWN              = 21:00:00:20:37:38:a9:0a
Host 1: Host PWWN    = 21:00:00:e0:8b:0d:12:c7
                   VI  PWWN    = 2f:ec:00:05:30:00:71:62
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show fc-redirect active-configs</b>	スイッチの全アクティブ コンフィギュレーションを表示します。

## show fc-redirect active-configs

スイッチの全アクティブ コンフィギュレーションを表示するには、**show fc-redirect active-configs** コマンドを使用します。

```
show fc-redirect active-configs
```

### シンタックスの説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

なし

### コマンド モード

EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
3.2(1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドは、以下の操作の間にスイッチで実行中のアクティブ コンフィギュレーションがないことを確認するのに使用されます。

- (ファイバチャネルのリダイレクトをサポートする) 3.2.1 イメージからファイバチャネルのリダイレクトがサポートされていない古いイメージへのダウングレード
- ローカル スイッチの解放



(注)

アクティブ コンフィギュレーションは、現在のスイッチで実行中のアプリケーションによって作成されたコンフィギュレーション、またはローカル スイッチに接続されているホストやターゲットのリモート スイッチで作成されたアプリケーションによって作成されたコンフィギュレーションであることを示しています。

**例** 次に、スイッチで実行中のアクティブ コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show fc-redirect active-configs

Config#1
=====
Appl UUID      = 0x00D8 (ISAPI CFGD Service)
SSM Slot       = 2
SSM Switch WWN = 20:00:00:05:30:00:90:9e (LOCAL)
Vt PWWN        = 2f:ea:00:05:30:00:71:64
Tgt PWWN        = 21:00:00:20:37:38:63:9e (LOCAL)
Local Host PWWN = 21:00:00:e0:8B:0d:12:c6

Config#2
=====
Appl UUID      = 0x00D8 (ISAPI CFGD Service)
SSM Slot       = 2
SSM Switch WWN = 20:00:00:05:30:00:90:9e (LOCAL)
Vt PWWN        = 2f:ea:00:05:30:00:71:65
Tgt PWWN        = 21:00:00:20:37:18:67:2c
Local Host PWWN = 21:00:00:e0:8B:0d:12:c6

Config#3
=====
Appl UUID      = 0x00D8 (ISAPI CFGD Service)
SSM Slot       = 2
SSM Switch WWN = 20:00:00:0d:EC:20:13:00 (REMOTE)
Vt PWWN        = 2f:ea:00:05:30:00:71:66
Tgt PWWN        = 21:00:00:20:37:18:64:92
Local Host PWWN = 21:00:00:e0:8B:0d:12:c6
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear fc-redirect config vt</code>	ローカル スイッチのアクティブ コンフィギュレーションをクリアします。

# show fc-redirect peer-switches

ファイバ チャネルのリダイレクトを実行中のファブリック内の全ピア スイッチを表示するには、**show fc-redirect peer-switches** コマンドを使用します。

```
show fc-redirect peer-switches
```

## シンタックスの説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
3.2(1)	このコマンドが導入されました。
3.3(1a)	スイッチのファイバ チャネルのリダイレクトのバージョンおよびコンフィギュレーションモードの情報がコマンドの出力に追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、ファブリック ステータスを確認するのに使用され、トラブルシューティングに使用されます。



(注)

スイッチ WWN のリストのスイッチ IP アドレスを検索するには、**show cfs peers** コマンドを使用します。

## 例

次に、ファイバ チャネルのリダイレクトを実行中のファブリック内にあるピア スイッチを表示する例を示します。

```
switch# show fc-redirect peer-switches
-----
num  Switch WWN                               State  FCR-Ver  Cfg-Mode
-----
  1   20:00:00:0d:EC:20:13:00                 UP      2         V2
```

表 22-3 に、**show fc-redirect peer-switches** のステータスの出力について説明します。

表 22-3 show fc-redirect peer switch のステータス

ステータス	説明
Up	ピア スイッチがローカル スイッチと完全に同期しています。
Down	ピア スイッチとの通信ができません。
Syncing	ローカル スイッチがコンフィギュレーションをピア スイッチと同期しています。
Error	ピア スイッチとの接続ができません。

## 関連コマンド

コマンド	説明
show fc-redirect active-configs	スイッチの全アクティブ コンフィギュレーションを表示します。

# show fcip

Fibre Channel over IP (FCIP) プロファイル情報を表示するには、**show fcip** コマンドを使用します。

```
show fcip {host-map fcip-id | profile [profile-id | all] | summary | tape-session {summary | tunnel
tunnel-id {host-end | target-end}} | target-map fcip-id | wa-login-list tunnel-id}
```

## シンタックスの説明

<b>host-map</b> <i>fcip-id</i>	指定されたマップの情報を表示します。有効範囲は 1 ～ 255 です。
<b>profile</b>	プロファイルの情報を表示します。
<i>profile-id</i>	プロファイル ID を指定します。有効値は 1 ～ 255 です。
<b>all</b>	すべてのプロファイル ID を指定します。
<b>summary</b>	概要情報を表示します。
<b>tape-session</b>	テープセッション情報を表示します。
<b>tunnel</b> <i>tunnel-id</i>	指定 FCIP トンネル ID の情報を表示します。有効範囲は 1 ～ 255 です。
<b>host-end</b>	ホストエンドの情報を表示します。
<b>target-end</b>	ターゲットエンドの情報を表示します。
<b>target-map</b> <i>fcip-id</i>	指定したターゲットマップの情報を表示します。有効範囲は 1 ～ 255 です。
<b>wa-login-list</b> <i>tunnel-id</i>	指定 FCIP トンネル ID の書き込み高速化ログイン リストを表示します。有効範囲は 1 ～ 255 です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.1(1)	このコマンドが導入されました。
2.0(x)	<b>host-map</b> 、 <b>summary</b> 、および <b>target-map</b> キーワードが追加されました。
3.0(1)	<b>tape-session</b> 、 <b>tunnel</b> 、 <b>host-end</b> 、 <b>target-end</b> 、および <b>wa-login-list</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、すべての FCIP プロファイルを表示する例を示します。

```
switch# show fcip profile all
```

```
-----
ProfileId      Ipaddr          TcpPort
-----
1              41.1.1.2       3225
2              10.10.100.154  3225
3              43.1.1.2       3225
4              44.1.1.100     3225
6              46.1.1.2       3225
7              47.1.1.2       3225
```

次に、指定した FCIP プロファイルの情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcip profile 7
FCIP Profile 7
  Internet Address is 47.1.1.2 (interface GigabitEthernet4/7)
  Listen Port is 3225
  TCP parameters
    SACK is disabled
    PMTU discovery is enabled, reset timeout is 3600 sec
    Keep alive is 60 sec
    Minimum retransmission timeout is 300 ms
    Maximum number of re-transmissions is 4
    Send buffer size is 0 KB
    Maximum allowed bandwidth is 1000000 kbps
    Minimum available bandwidth is 15000 kbps
    Estimated round trip time is 1000 usec
```

次に、FCIP 概要情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcip summary
sw172-22-46-223# show fcip summary
```

```
-----
Tun prof      Eth-if      peer-ip      Status T W T Enc Comp Bandwidth rtt
              E A A              max/min      (us)
-----
1   1   GE1/1      10.10.11.2   DOWN  N N N  N   N   1000M/500M 1000
2   2   GE1/2      10.10.60.2   DOWN  N N N  N   N   1000M/500M 1000
-----
```

表 22-4 に、前の出力で表示される重要フィールドについて説明します。

表 22-4 show fcip summary フィールドの説明

フィールド	説明
Tun	行のトンネル番号。たとえば、番号 1 はトンネル fcip1 を、番号 2 は fcip2 を示します。
prof	トンネルプロファイル
Eth-if	トンネルがバインドされているイーサネットインターフェイス
peer-ip	トンネルの遠端にあるトンネルピア ポートの IP アドレス
Status	トンネルの状態 (UP または DOWN)
TE	TE モードで動作しているトンネル (Y (はい) または N (いいえ))
WA	書き込み高速化がイネーブル (Y (はい) または N (いいえ))
TA	テープ高速化がイネーブル (Y (はい) または N (いいえ))
Enc	暗号化がイネーブル (Y (はい) または N (いいえ))
Bandwidth max/min	トンネルがバインドされているプロファイルで設定された最大および最小帯域幅
rtt (us)	マイクロ秒単位の Round Trip Time (RTT; 往復時間)

#### 関連コマンド

コマンド	説明
fcip enable	FCIP パラメータを設定します。

## show fcns database

検出の結果を表示したり、指定した VSAN (仮想 SAN) またはすべての VSAN のネーム サーバデータベースを表示するには、**show fcns database** コマンドを使用します。

```
show fcns database {detail [vsan vsan-id] | domain domain-id [detail] [vsan vsan-range] |
fcid fcid-id [detail] vsan vsan-range | local [detail] [vsan vsan-range] | vsan vsan-id}
```

### シンタックスの説明

<b>detail</b>	各エントリ内の全オブジェクトを表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	指定した VSAN ID のエントリを表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>domain domain-id</b>	ドメインのエントリを表示します。
<b>fcid fcid-id</b>	指定したポートのエントリを表示します。
<b>local</b>	ローカルエントリを表示します。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2(2)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

特にファブリックが大規模な場合や複数のデバイスの応答が遅い場合に、検出が完了するのに数分かかる場合があります。

仮想エンクロージャ ポートは、**show fcns database** コマンドを使用して表示できます。

**例** 次に、Fibre Channel Name Server (FCNS; ファイバチャネル ネーム サーバ) データベースの内容を表示する例を示します。

```
switch# show fcns database
VSAN 1:
-----
FCID          TYPE  PWWN                               (VENDOR)          FC4-TYPE:FEATURE
-----
0x020101      N     22:04:00:05:30:00:35:e1 (Cisco)           scsi-fcp:init isc..w
<--iSCSI
0x020102      N     22:02:00:05:30:00:35:e1 (Cisco)           scsi-fcp:init isc..w
initiator
0x0205d4      NL    21:00:00:04:cf:da:fe:c6 (Seagate)         scsi-fcp:target
0x0205d5      NL    21:00:00:04:cf:e6:e4:4b (Seagate)         scsi-fcp:target
0x0205d6      NL    21:00:00:04:cf:e6:21:ac (Seagate)         scsi-fcp:target
0x0205d9      NL    21:00:00:04:cf:e6:19:9b (Seagate)         scsi-fcp:target
0x0205da      NL    21:00:00:04:cf:e6:19:62 (Seagate)         scsi-fcp:target
0x0205dc      NL    21:00:00:04:cf:e6:e9:82 (Seagate)         scsi-fcp:target
0x0205e0      NL    21:00:00:04:cf:e6:21:06 (Seagate)         scsi-fcp:target
0x0205e1      NL    21:00:00:04:cf:e6:e0:eb (Seagate)         scsi-fcp:target

Total number of entries = 10

VSAN 2:
-----
FCID          TYPE  PWWN                               (VENDOR)          FC4-TYPE:FEATURE
-----
0xef0001      N     22:02:00:05:30:00:35:e1 (Cisco)           scsi-fcp:init isc..w

Total number of entries = 1

VSAN 3:
-----
FCID          TYPE  PWWN                               (VENDOR)          FC4-TYPE:FEATURE
-----
0xed0001      N     22:02:00:05:30:00:35:e1 (Cisco)           scsi-fcp:init isc..w

Total number of entries = 1
```

次に、FCNS データベースの詳細内容を表示する例を示します。

```
switch# show fcns database detail
-----
VSAN:1      FCID:0x020101
-----
port-wwn (vendor)      :22:04:00:05:30:00:35:e1 (Cisco)
node-wwn                :22:03:00:05:30:00:35:e1
class                   :2,3
node-ip-addr            :10.2.2.12
ipa                     :ff ff ff ff ff ff ff ff
fc4-types:fc4_features:scsi-fcp:init iscsi-gw
symbolic-port-name     :
symbolic-node-name     :iqn.1991-05.com.microsoft:oasis2-dell
port-type               :N
port-ip-addr            :0.0.0.0
fabric-port-wwn        :22:01:00:05:30:00:35:de
hard-addr               :0x000000
-----
VSAN:1      FCID:0x020102
-----
port-wwn (vendor)      :22:02:00:05:30:00:35:e1 (Cisco)
node-wwn                :22:01:00:05:30:00:35:e1
class                   :2,3
node-ip-addr            :10.2.2.11
ipa                     :ff ff ff ff ff ff ff ff
fc4-types:fc4_features:scsi-fcp:init iscsi-gw
symbolic-port-name     :
symbolic-node-name     :iqn.1987-05.com.cisco.01.14ac33ba567f986f174723b5f9f2377
port-type               :N
port-ip-addr            :0.0.0.0
fabric-port-wwn        :22:01:00:05:30:00:35:de
hard-addr               :0x000000

...
Total number of entries = 10
=====
-----
VSAN:2      FCID:0xef0001
-----
port-wwn (vendor)      :22:02:00:05:30:00:35:e1 (Cisco)
node-wwn                :22:01:00:05:30:00:35:e1
class                   :2,3
node-ip-addr            :10.2.2.11
ipa                     :ff ff ff ff ff ff ff ff
fc4-types:fc4_features:scsi-fcp:init iscsi-gw
symbolic-port-name     :
symbolic-node-name     :iqn.1987-05.com.cisco.01.14ac33ba567f986f174723b5f9f2377
port-type               :N
port-ip-addr            :0.0.0.0
fabric-port-wwn        :22:01:00:05:30:00:35:de
hard-addr               :0x000000

Total number of entries = 1

...

```

次に、管理 VSAN (VSAN2) を表示する例を示します。

```
switch# show fcns database vsan 2
VSAN 2:
-----
FCID          TYPE  PWWN                               (VENDOR)      FC4-TYPE:FEATURE
-----
0x6d0001      N     10:00:00:05:30:00:94:9f (Cisco)       ipfc
0x6d0002      N     10:00:00:05:30:00:94:a0 (Cisco)       ipfc virtual:...c_port
0x6d0003      N     24:15:00:05:30:00:94:a0 (Cisco)       virtual:volume_owner
...
Total number of entries = 24
```

次に、設定されたすべての VSAN のデータベースを表示する例を示します。

```
switch# show fcns database
VSAN 2:
-----
FCID          TYPE  PWWN                               (VENDOR)      FC4-TYPE:FEATURE
-----
0x6d0001      N     10:00:00:05:30:00:94:9f (Cisco)       ipfc
0x6d0002      N     10:00:00:05:30:00:94:a0 (Cisco)       ipfc virtual:...c_port
0x6d0003      N     24:15:00:05:30:00:94:a0 (Cisco)       virtual:volume_owner
...
Total number of entries = 24
VSAN 3:
-----
FCID          TYPE  PWWN                               (VENDOR)      FC4-TYPE:FEATURE
-----
0x650001      N     24:0c:00:05:30:00:94:a0 (Cisco)       scsi-fcp:init vir..t
...
0x720101      NL    21:00:00:20:37:65:1c:cb (Company)     scsi-fcp
...
Total number of entries = 30
VSAN 4:
-----
FCID          TYPE  PWWN                               (VENDOR)      FC4-TYPE:FEATURE
-----
0x6b0001      N     23:26:00:05:30:00:59:20 (Cisco)       scsi-fcp:init vir..t
...
0x7800b5      NL    22:00:00:20:37:46:78:97 (Company)     scsi-fcp
...
0x780100      N     50:06:04:82:bf:d0:cf:4b (Company)       scsi-fcp 250
...
Total number of entries = 27
VSAN 5:
-----
FCID          TYPE  PWWN                               (VENDOR)      FC4-TYPE:FEATURE
-----
0x6f0001      N     23:43:00:05:30:00:59:20 (Cisco)       scsi-fcp:target vi..
...
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>asm mgmt-vsan</code>	指定したインターフェイスの Control Plane Process (CPP) インターフェイス コンフィギュレーションを表示します。

## show fcns statistics

指定した VSAN (仮想 SAN) またはすべての VSAN の統計情報を表示するには、**show fcns statistics** コマンドを使用します。

```
show fcns statistics [detail] [vsan vsan-id]
```

シンタックスの説明	detail	詳細統計情報を表示します。
	vsan vsan-id	指定した VSAN ID の統計情報を表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	EXEC モード
---------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	なし
------------	----

**例** 次に、指定した VSAN の統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcns statistics
registration requests received = 27
deregistration requests received = 0
queries received = 57
queries sent = 10
reject responses sent = 14
RSCNs received = 0
RSCNs sent = 0
switch#
```

# show fcroute

既存の Fibre Channel (FC) および Fabric Shortest Path First (FSPF) コンフィギュレーションに関する特定の情報を表示するには、**show fcroute** コマンドを使用します。

```
show fcroute {distance | label [label] vsan vsan-id | multicast [fc-id vsan vsan-id | vsan vsan-id] |
summary [vsan vsan-id] | unicast [[host] fc-id fc-mask vsan vsan-id | vsan vsan-id]}
```

## シンタックスの説明

<b>distance</b>	FC ルート優先順位を表示します。
<b>label</b>	ラベル ルートを表示します。
<b>multicast</b>	FC マルチキャスト ルートを表示します。
<b>summary</b>	FC ルート概要を表示します。
<b>unicast</b>	FC ユニキャスト ルートを表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN ID を指定します (1 ~ 4093)。
<b>fcid-id</b>	ファイバチャネル ID を指定します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

コマンド出力でルート数が表示される際、合計ルート数には表示ルートと非表示ルートの両方が含まれています。

## 例

次に、管理距離を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute distance

      Route
  UUID  Distance      Name
  ----  -
  10     20             RIB
  22     40             FCDOMAIN
  39     80             RIB-CONFIG
  12    100             FSPF
  17    120             FLOGI
  21    140             TLPM
  14    180             MCAST
  64    200             RIB-TEST
```

次に、マルチキャスト ルーティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute multicast
VSAN FC ID      # Interfaces
-----
1      0xffffffff 0
2      0xffffffff 1
3      0xffffffff 1
4      0xffffffff 0
5      0xffffffff 0
6      0xffffffff 0
7      0xffffffff 0
8      0xffffffff 0
9      0xffffffff 0
10     0xffffffff 0
```

次に、指定した VSAN の FCID 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute multicast vsan 3

VSAN FC ID      # Interfaces
-----
3      0xffffffff 1
```

次に、指定した VSAN の FCID およびインターフェイス情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute multicast 0xffffffff vsan 2

VSAN FC ID      # Interfaces
-----
2      0xffffffff 1
      fc1/1
```

次に、ユニキャスト ルーティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute unicast
D:direct R:remote P:permanent V:volatile A:active N:non-active
# Next
Protocol VSAN      FC ID/Mask      Rctl/Mask Flags Hops   Cost
-----
static   1      0x010101 0xffffffff 0x00 0x00 D P A 1    10
static   2      0x111211 0xffffffff 0x00 0x00 R P A 1    10
fspf     2      0x730000 0xff0000 0x00 0x00 D P A 4    500
fspf     3      0x610000 0xff0000 0x00 0x00 D P A 4    500
static   4      0x040101 0xffffffff 0x00 0x00 R P A 1    103
static   4      0x040102 0xffffffff 0x00 0x00 R P A 1    103
static   4      0x040103 0xffffffff 0x00 0x00 R P A 1    103
static   4      0x040104 0xffffffff 0x00 0x00 R P A 1    103
static   4      0x111211 0xffffffff 0x00 0x00 D P A 1    10
```

次に、指定した VSAN のユニキャスト ルーティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute unicast vsan 4

D:direct R:remote P:permanent V:volatile A:active N:non-active
# Next
Protocol VSAN      FC ID/Mask      Rctl/Mask Flags Hops   Cost
-----
static   4      0x040101 0xffffffff 0x00 0x00 R P A 1    103
static   4      0x040102 0xffffffff 0x00 0x00 R P A 1    103
static   4      0x040103 0xffffffff 0x00 0x00 R P A 1    103
static   4      0x040104 0xffffffff 0x00 0x00 R P A 1    103
static   4      0x111211 0xffffffff 0x00 0x00 D P A 1    10
```

次に、指定した FCID のユニキャスト ルーティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute unicast 0x040101 0xffffffff vsan 4

D:direct R:remote P:permanent V:volatile A:active N:non-active
# Next
Protocol VSAN    FC ID/Mask      RCtl/Mask Flags Hops  Cost
-----
static   4      0x040101 0xffffffff 0x00 0x00 R P A 1    103
      fc1/2 Domain 0xa6(166)
```

次に、ルート データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute summary

FC route database created Tue Oct 29 01:24:23 2002
VSAN    Ucast    Mcast    Label    Last Modified Time
-----
1       2        1        0        Tue Oct 29 18:07:02 2002
2       3        1        0        Tue Oct 29 18:33:24 2002
3       2        1        0        Tue Oct 29 18:10:07 2002
4       6        1        0        Tue Oct 29 18:31:16 2002
5       1        1        0        Tue Oct 29 01:34:39 2002
6       1        1        0        Tue Oct 29 01:34:39 2002
7       1        1        0        Tue Oct 29 01:34:39 2002
8       1        1        0        Tue Oct 29 01:34:39 2002
9       1        1        0        Tue Oct 29 01:34:39 2002
10      1        1        0        Tue Oct 29 01:34:39 2002
Total   19       10       0
```

次に、指定した VSAN のルート データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute summary vsan 4

FC route database created Tue Oct 29 01:24:23 2002
VSAN    Ucast    Mcast    Label    Last Modified Time
-----
4       6        1        0        Tue Oct 29 18:31:16 2002
Total   6        1        0
```

# show fcs

ファブリック コンフィギュレーションのステータスを表示するには、**show fcs** コマンドを使用します。

```
show fcs {database [vsan vsan-id] | ie [nwwn wwn] vsan vsan-id | platform [name string] vsan vsan-id
| port [pwwn wwn] vsan vsan-id | statistics vsan vsan-id | vsan}
```

## シンタックスの説明

<b>database</b>	Fabric Configuration Server (FCS) のローカル データベースを表示します。
<b>ie</b>	相互接続要素オブジェクト情報を表示します。
<b>nwwn wwn</b>	ノードの WWN ID を指定します。フォーマットは、 <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> です。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>platform</b>	プラットフォーム オブジェクト情報を表示します。
<b>name string</b>	プラットフォーム名を指定します。1 最大 255 文字まで可能です。
<b>port</b>	ポート オブジェクト情報を表示します。
<b>pwwn wwn</b>	ポートの WWN ID を指定します。フォーマットは、 <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> です。
<b>statistics</b>	FCS パケットの統計情報を表示します。
<b>vsan</b>	すべての VSAN およびプラットフォーム チェック モードのリストを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

なし

例 次に、FCS データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs database

FCS Local Database in VSAN: 1
-----
Switch WWN                : 20:01:00:05:30:00:16:df
Switch Domain Id         : 0x7f(127)
Switch Mgmt-Addresses    : snmp://172.22.92.58/eth-ip
                        : http://172.22.92.58/eth-ip
Fabric-Name              : 20:01:00:05:30:00:16:df
Switch Logical-Name      : 172.22.92.58
Switch Information List  : [Cisco Systems*DS-C9509*0*20:00:00:05:30:00
Switch Ports:
-----
Interface  pWWN                Type      Attached-pWWNs
-----
fc2/1      20:41:00:05:30:00:16:de  TE        20:01:00:05:30:00:20:de
fc2/2      20:42:00:05:30:00:16:de  Unknown   None
fc2/17     20:51:00:05:30:00:16:de  TE        20:0a:00:05:30:00:20:de

FCS Local Database in VSAN: 5
-----
Switch WWN                : 20:05:00:05:30:00:12:5f
Switch Domain Id         : 0xef(239)
Switch Mgmt-Addresses    : http://172.22.90.171/eth-ip
                        : snmp://172.22.90.171/eth-ip
                        : http://10.10.15.10/vsan-ip
                        : snmp://10.10.15.10/vsan-ip
Fabric-Name              : 20:05:00:05:30:00:12:5f
Switch Logical-Name      : 172.22.90.171
Switch Information List  : [Cisco Systems*DS-C9509**20:00:00:05:30:00:12:5e]
Switch Ports:
-----
Interface  pWWN                Type      Attached-pWWNs
-----
fc3/1      20:81:00:05:30:00:12:5e  TE        22:01:00:05:30:00:12:9e
fc3/2      20:82:00:05:30:00:12:5e  TE        22:02:00:05:30:00:12:9e
fc3/3      20:83:00:05:30:00:12:5e  TE        22:03:00:05:30:00:12:9e
```

次に、特定の VSAN の相互接続要素オブジェクト情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs ie vsan 1

IE List for VSAN: 1
-----
IE-WWN                IE-Type                Mgmt-Id
-----
20:01:00:05:30:00:16:df  Switch (Local)         0xffffc7f
20:01:00:05:30:00:20:df  Switch (Adjacent)     0xffffc64
[Total 2 IEs in Fabric]
```

次に、特定の WWN の相互接続要素オブジェクト情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs ie nwnn 20:01:00:05:30:00:16:df vsan 1
IE Attributes
-----
Domain-Id = 0x7f(127)
Management-Id = 0xfffc7f
Fabric-Name = 20:01:00:05:30:00:16:df
Logical-Name = 172.22.92.58
Management Address List =
    snmp://172.22.92.58/eth-ip
    http://172.22.92.58/eth-ip
Information List:
    Vendor-Name = Cisco Systems
    Model Name/Number = DS-C9509
    Release-Code = 0
```

次に、プラットフォーム情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs platform name SamplePlatform vsan 1
Platform Attributes
-----
Platform Node Names:
    11:22:33:44:55:66:77:88
Platform Type = Gateway
Platform Management Addresses:
    1.1.1.1
```

次に、指定した VSAN 内のプラットフォーム情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs platform vsan 1
Platform List for VSAN: 1
Platform-Names
-----
SamplePlatform
[Total 1 Platforms in Fabric]
```

次に、指定した VSAN 内の FCS ポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs port vsan 24
Port List in VSAN: 24
    -- IE WWN: 20:18:00:05:30:00:16:df --
-----
Port-WWN                Type      Module-Type      Tx-Type
-----
20:41:00:05:30:00:16:de  TE_Port  SFP with Serial Id  Shortwave Laser
20:51:00:05:30:00:16:de  TE_Port  SFP with Serial Id  Shortwave Laser

[Total 2 switch-ports in IE]
    -- IE WWN: 20:18:00:05:30:00:20:df --
-----
Port-WWN                Type      Module-Type      Tx-Type
-----
20:01:00:05:30:00:20:de  TE_Port  SFP with Serial Id  Shortwave Laser
20:0a:00:05:30:00:20:de  TE_Port  SFP with Serial Id  Shortwave Laser

[Total 2 switch-ports in IE]
```

次に、指定した WWN 内のポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs port pwwn 20:51:00:05:30:00:16:de vsan 24
Port Attributes
-----
Port Type = TE_Port
Port Number = 0x1090000
Attached-Port-WWNs:
    20:0a:00:05:30:00:20:de
Port State = Online
```

次に、FCS 統計を表示する例を示します。

```
switch# show fcs statistics

FCS Statistics for VSAN: 1
-----
FCS Rx Get Reqs    :2
FCS Tx Get Reqs    :7
FCS Rx Reg Reqs    :0
FCS Tx Reg Reqs    :0
FCS Rx Dereg Reqs  :0
FCS Tx Dereg Reqs  :0
FCS Rx RSCNs       :0
FCS Tx RSCNs       :3
FCS Rx RJTs        :3
FCS Tx RJTs        :0
FCS Rx ACCs        :4
FCS Tx ACCs        :2
FCS No Response    :0
FCS Retransmit     :0

FCS Statistics for VSAN: 30
-----
FCS Rx Get Reqs    :2
FCS Tx Get Reqs    :2
FCS Rx Reg Reqs    :0
FCS Tx Reg Reqs    :0
FCS Rx Dereg Reqs  :0
FCS Tx Dereg Reqs  :0
FCS Rx RSCNs       :0
FCS Tx RSCNs       :0
FCS Rx RJTs        :0
FCS Tx RJTs        :0
FCS Rx ACCs        :2
FCS Tx ACCs        :2
FCS No Response    :0
FCS Retransmit     :0
```

# show fcsp

Fibre Channel Security Protocol (FC-SP; ファイバ チャネル セキュリティ プロトコル) コンフィギュレーションのステータスを表示するには、**show fcsp** コマンドを使用します。

```
show fcsp [asciiwwn ascii-wwn | dhchap [database] | interface fc slot/port [statistics | wwn] | fcip
interface-number [statistics | wwn]]
```

## シンタックスの説明

<b>asciiwwn</b> <i>ascii-wwn</i>	Authentication, Authorization, Accounting (AAA; 認証、許可、アカウントイング) サーバで使用される World Wide Name (WWN) の ASCII 表記を表示します。
<b>dhchap</b>	Diffie-Hellman Challenge Handshake Authentication Protocol (DHCHAP) ハッシュ アルゴリズムのステータスを表示します。
<b>database</b>	ローカル DHCHAP データベースの内容を表示します。
<b>interface</b>	Fibre Channel (FC) または Fibre Channel over IP (FCIP) インターフェイスの FC-SP 設定を表示します。
<b>fc slot/port</b>	指定したスロットおよびポートのファイバ チャネル インターフェイスを表示します。
<b>fcip interface-number</b>	指定 FCIP インターフェイスの説明を表示します。有効範囲は 1 ~ 255 です。
<b>statistics</b>	指定したインターフェイスの統計情報を表示します。
<b>wwn</b>	他のデバイスの FC-SP ID を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.3(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、FC インターフェイスの DHCHAP コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show fcsp interface fc1/9

fc1/9:
  fcsp authentication mode:SEC_MODE_ON
  Status: Successfully authenticated
```

次に、FC インターフェイスの DHCHAP 統計を表示する例を示します。

```
switch# show fcsp interface fc1/9 statistics

fc1/9:
  fcsp authentication mode:SEC_MODE_ON
  Status: Successfully authenticated
  Statistics:
  FC-SP Authentication Succeeded:5
  FC-SP Authentication Failed:0
  FC-SP Authentication Bypassed:0
```

次に、指定したインターフェイスを介して接続されているデバイスの FC-SP WWN を表示する例を示します。

```
switch# show fcsp interface fc 2/1 wwn

fc2/1:
  fcsp authentication mode:SEC_MODE_ON
  Status: Successfully authenticated
  Other device's WWN:20:00:00:e0:8b:0a:5d:e7
```

次に、ローカル スイッチに設定されているハッシュ アルゴリズムおよび DHCHAP グループを表示する例を示します。

```
switch# show fcsp dhchap
Supported Hash algorithms (in order of preference):
DHCHAP_HASH_MD5
DHCHAP_HASH_SHA_1

Supported Diffie Hellman group ids (in order of preference):
DHCHAP_GROUP_NULL
DHCHAP_GROUP_1536
DHCHAP_GROUP_1024
DHCHAP_GROUP_1280
DHCHAP_GROUP_2048
```

次に、DHCHAP ローカル パスワード データベースを表示する例を示します。

```
switch# show fcsp dhchap database
DHCHAP Local Password:
  Non-device specific password:*****
  Password for device with WWN:29:11:bb:cc:dd:33:11:22 is *****
  Password for device with WWN:30:11:bb:cc:dd:33:11:22 is *****

Other Devices' Passwords:
  Password for device with WWN:00:11:22:33:44:aa:bb:cc is *****
```

次に、デバイス WWN の ASCII 表記を表示する例を示します。

```
switch# show fcsp asciiwwn 30:11:bb:cc:dd:33:11:22
Ascii representation of WWN to be used with AAA servers:0x_3011bbccdd331122
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>fcsp enable</code>	このスイッチの FC-SP 機能をイネーブルにします。

# show fctimer

ファイバチャネル タイマー (fctimer) を表示するには、**show fctimer** コマンドを使用します。

```
show fctimer [d_s_tov [vsan vsan-id] | distribution status | e_d_tov [vsan vsan-id] |
f_s_tov [vsan vsan-id] | last action status | pending | pending-diff | r_a_tov [vsan vsan-id] |
session-status | vsan vsan-id]
```

## シンタックスの説明

<b>d_s_tov</b>	分散サービスのタイムアウト値 (D_S_TOV) をミリ秒で表示します。
<b>distribution status</b>	Cisco Fabric Services (CFS) 配信ステータス情報を表示します。
<b>e_d_tov</b>	エラー検出のタイムアウト値 (E_D_TOV) をミリ秒で表示します。
<b>f_s_tov</b>	ファブリック安定のタイムアウト値 (F_S_TOV) をミリ秒で表示します。
<b>last action status</b>	最終 CFS 確定または廃棄操作の状態を表示します。
<b>pending</b>	未決定 fctimer コマンドのステータスを表示します。
<b>pending-diff</b>	未決定データベースと実行コンフィギュレーションの差異を表示します。
<b>r_a_tov</b>	リソース割り当てのタイムアウト値 (R_A_TOV) をミリ秒で表示します。
<b>session-status</b>	fctimer CFS セッションの状態を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN (仮想 SAN) の情報を表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.3(1)	このコマンドが導入されました。
2.0(x)	<b>distribution status</b> 、 <b>last action status</b> 、 <b>pending</b> 、 <b>pending-diff</b> 、および <b>session-status</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、設定されたグローバル Time Out Value (TOV) を表示する例を示します。

```
switch# show fctimer
F_S_TOV   D_S_TOV   E_D_TOV   R_A_TOV
-----
5000 ms   5000 ms   2000 ms   10000 ms
```

次に、指定された VSAN の設定した TOV を表示する例を示します。

```
switch# show fctimer vsan 10
vsan no.  F_S_TOV   D_S_TOV   E_D_TOV   R_A_TOV
-----
10         5000 ms   5000 ms   3000 ms   10000 ms
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fctimer</b>	fctimer パラメータを設定します。

# show fdmi

Fabric-Device Management Interface (FDMI; ファブリック デバイス マネージメント インターフェイス) データベース情報を表示するには、**show fdmi** コマンドを使用します。

```
show fdmi database [detail [hba-id [hba-id vsan vsan-id] | vsan vsan-id] | vsan vsan-id]
```

シンタックスの説明	fdmi	FDMI コマンドにアクセスします。
	database	FDMI データベース コンテンツを表示します。
	detail	詳細な FDMI 情報を指定します。
	hba-id	指定した HBA エントリの詳細情報を表示します。
	hba-id	指定した HBA エントリの詳細情報を表示します。
	vsan vsan-id	指定 VSAN の FDMI 情報を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

デフォルト なし

コマンド モード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.3(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

## 例

次に、すべての HBA 管理サーバを表示する例を示します。

```
switch# show fdmi database
Registered HBA List for VSAN 1
 10:00:00:00:c9:32:8d:77
 21:01:00:e0:8b:2a:f6:54
switch# show fdmi database detail
Registered HBA List for VSAN 1
-----
HBA-ID: 10:00:00:00:c9:32:8d:77
-----
Node Name           :20:00:00:00:c9:32:8d:77
Manufacturer        :Emulex Corporation
Serial Num          :0000c9328d77
Model               :LP9002
Model Description   :Emulex LightPulse LP9002 2 Gigabit PCI Fibre Channel Adapter
Hardware Ver        :2002606D
Driver Ver          :SLI-2 SW_DATE:Feb 27 2003, v5-2.20a12
ROM Ver             :3.11A0
Firmware Ver        :3.90A7
OS Name/Ver         :Window 2000
CT Payload Len      :1300000
  Port-id: 10:00:00:00:c9:32:8d:77
-----
HBA-ID: 21:01:00:e0:8b:2a:f6:54
-----
Node Name           :20:01:00:e0:8b:2a:f6:54
Manufacturer        :QLogic Corporation
Serial Num          :\74262
Model               :QLA2342
Model Description   :QLogic QLA2342 PCI Fibre Channel Adapter
Hardware Ver        :FC5010409-10
Driver Ver          :8.2.3.10 Beta 2 Test 1 DBG (W2K VI)
ROM Ver             :1.24
Firmware Ver        :03.02.13.
OS Name/Ver         :500
CT Payload Len      :2040
  Port-id: 21:01:00:e0:8b:2a:f6:54
```

次に、VSAN1 固有の FDMI 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fdmf database detail vsan 1
Registered HBA List for VSAN 1
-----
HBA-ID: 10:00:00:00:c9:32:8d:77
-----
Node Name           :20:00:00:00:c9:32:8d:77
Manufacturer        :Emulex Corporation
Serial Num          :0000c9328d77
Model               :LP9002
Model Description   :Emulex LightPulse LP9002 2 Gigabit PCI Fibre Channel Adapter
Hardware Ver        :2002606D
Driver Ver          :SLI-2 SW_DATE:Feb 27 2003, v5-2.20a12
ROM Ver             :3.11A0
Firmware Ver        :3.90A7
OS Name/Ver         :Window 2000
CT Payload Len      :1300000
  Port-id: 10:00:00:00:c9:32:8d:77
-----
HBA-ID: 21:01:00:e0:8b:2a:f6:54
-----
Node Name           :20:01:00:e0:8b:2a:f6:54
Manufacturer        :QLogic Corporation
Serial Num          :\74262
Model               :QLA2342
Model Description   :QLogic QLA2342 PCI Fibre Channel Adapter
Hardware Ver        :FC5010409-10
Driver Ver          :8.2.3.10 Beta 2 Test 1 DBG (W2K VI)
ROM Ver             :1.24
Firmware Ver        :03.02.13.
OS Name/Ver         :500
CT Payload Len      :2040
  Port-id: 21:01:00:e0:8b:2a:f6:54
```

次に、指定した HBA エントリの詳細を表示する例を示します。

```
switch# show fdmf database detail Hba-id 21:01:00:e0:8b:2a:f6:54 vsan 1

Node Name           :20:01:00:e0:8b:2a:f6:54
Manufacturer        :QLogic Corporation
Serial Num          :\74262
Model               :QLA2342
Model Description   :QLogic QLA2342 PCI Fibre Channel Adapter
Hardware Ver        :FC5010409-10
Driver Ver          :8.2.3.10 Beta 2 Test 1 DBG (W2K VI)
ROM Ver             :1.24
Firmware Ver        :03.02.13.
OS Name/Ver         :500
CT Payload Len      :2040
  Port-id: 21:01:00:e0:8b:2a:f6:54
```

# show ficon

設定された Fibre Connection (FICON) 情報を表示するには、**show ficon** コマンドを使用します。

```
show ficon [control-device sb3 [vsan vsan-id] |
  first-available port-number |
  port default-state |
  port-numbers {assign [slot | logical-port | slot slot] | interface} |
  stat |
  vsan vsan-id [allegiance | directory-history [key-counter value] | file {all | name filename
[portaddress port]} | interface {fc slot/port | fcip fcip-id | port-channel port} | portaddress [port
[counters] | portnumber [port-numbers | duplicate | undefined] [brief] [installed]]
```

## シンタックスの説明

<b>control-device sb3</b>	FICON 制御デバイス情報を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	指定された VSAN の FICON 情報を 1 ~ 4093 の範囲で指定します。
<b>first-available port-number</b>	使用可能なポート番号を表示します。
<b>port default-state</b>	デフォルトの FICON ポート禁止ステータスを表示します。
<b>port-numbers</b>	FICON ポート番号を表示します。
<b>assign slot</b>	指定されたスロットに割り当てられた FICON ポート番号 (1 ~ 6) を表示します。
<b>logical port</b>	論理インターフェイスに割り当てられた FICON ポート番号を表示 します。
<b>slot slot</b>	指定されたスロットに割り当てられた FICON ポート番号 (1 ~ 6) を表示します。
<b>stat</b>	設定した FICONSTAT の情報を表示します。
<b>allegiance</b>	FICON デバイスの義務情報を表示します。
<b>directory-history</b>	FICON ディレクトリ履歴を表示します。
<b>key-counter value</b>	キー カウンタを指定します。
<b>file</b>	ファイルの FICON 情報を表示します。
<b>all</b>	すべてのファイルを指定します。
<b>name filename</b>	ファイル名を指定します。
<b>portaddress port</b>	ファイルのポートアドレスを指定します。
<b>interface</b>	インターフェイスの FICON 情報を表示します。
<b>fc slot/port</b>	ファイバ チャネル インターフェイスを指定します。
<b>fcip fcip-id</b>	Fibre Channel over IP (FCIP) インターフェイスを指定します。
<b>port-channel port</b>	ポートチャネル インターフェイスを指定します。
<b>counters</b>	ポートアドレスのカウント情報を表示します。
<b>portnumber port-number</b>	指定された範囲 (0 ~ 153、または 0x0 ~ 0x99) のポート番号の FICON 情報を表示します。
<b>duplicate</b>	複製ポート番号およびポート アドレスの FICON インターフェイス を表示します。
<b>undefined</b>	ポート番号およびポート アドレスのない FICON インターフェイス を表示します。
<b>brief</b>	ポートアドレスの要約 FICON 情報を表示します。
<b>installed</b>	組み込みポート アドレスの FICON 情報を表示します。

## デフォルト

なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.3(1)	このコマンドが導入されました。
	3.0(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>port-numbers</b> および <b>stat</b> オプションが追加されました。</li> <li>• <b>portnumber</b> キーワードが追加されました。</li> </ul>
	3.0(2)	<b>port default-state</b> オプションが追加されました。

**使用上のガイドライン** FICON が VSAN 上でイネーブルでない場合、その VSAN の FICON コンフィギュレーション情報を表示することはできません。

**例** 次に、設定された FICON 情報を表示する例を示します。

```
switch# show ficon
Ficon information for VSAN 20
  Ficon is online
  VSAN is active
  Host port control is Enabled
  Host offline control is Enabled
  User alert mode is Enabled
  SNMP port control is Enabled
  Host set director timestamp is Enabled
  Active-Saved is Disabled
  Number of implemented ports are 240
  Key Counter is 73723
  FCID last byte is 0
  Date/Time is set by host to Sun Jun 26 00:04:06.991999 1904
  Device allegiance is locked by Host
  Codepage is us-canada
  Saved configuration files
    IPL
    _TSIRN00
```

次に、デフォルトの禁止ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show ficon port default-state
Port default state is allow-all
```

次に、割り当てられた FICON ポート番号を表示する例を示します。

```
switch# show ficon port-numbers assign
ficon slot 1 assign port-numbers 0-31
ficon slot 2 assign port-numbers 32-63
ficon slot 3 assign port-numbers 64-95
ficon slot 4 assign port-numbers 96-127
ficon logical-port assign port-numbers 128-153
```

次に、ポート アドレス情報を表示する例を示します。

```
switch# show ficon vsan 2 portaddress
Port Address 1 is not installed in vsan 2
  Port number is 1, Interface is fc1/1
  Port name is
  Port is not admin blocked
  Prohibited port addresses are 0,241-253,255

Port Address 2 is not installed in vsan 2
  Port number is 2, Interface is fc1/2
  Port name is
  Port is not admin blocked
  Prohibited port addresses are 0,241-253,255

...

Port Address 239 is not installed in vsan 2
  Port name is
  Port is not admin blocked
  Prohibited port addresses are 0,241-253,255

Port Address 240 is not installed in vsan 2
  Port name is
  Port is not admin blocked
  Prohibited port addresses are 0,241-253,255
```

次に、ポート アドレス情報を略式で表示する例を示します。

```
switch# show ficon vsan 2 portaddress 50-55 brief
-----
Port   Port   Interface      Admin   Status      Oper   FCID
Address Number                               Blocked
-----
50     50     fc2/18         on      fcotAbsent  --    --
51     51     fc2/19         off     fcotAbsent  --    --
52     52     fc2/20         off     fcotAbsent  --    --
53     53     fc2/21         off     fcotAbsent  --    --
54     54     fc2/22         off     notConnected --    --
55     55     fc2/23         off     up          FL    0xea0000
56     56     fc2/23         off     up          FL    0xea0000
```

次に、ポート アドレス カウンタ情報を表示する例を示します。

```
switch# show ficon vsan 20 portaddress 8 counters
Port Address 8(0x8) is up in vsan 20
  Port number is 8(0x8), Interface is fc1/8
  Version presented 1, Counter size 32b
  242811 frames input, 9912794 words
    484 class-2 frames, 242302 class-3 frames
    0 link control frames, 0 multicast frames
    0 disparity errors inside frames
    0 disparity errors outside frames
    0 frames too big, 0 frames too small
    0 crc errors, 0 eof errors
    0 invalid ordered sets
    0 frames discarded c3
    0 address id errors
  116620 frames output, 10609188 words
    0 frame pacing time
    0 link failures
    0 loss of sync
    0 loss of signal
    0 primitive seq prot errors
    0 invalid transmission words
    1 lrr input, 0 ols input, 5 ols output
    0 error summary
```

次に、指定した FICON コンフィギュレーションファイルのカウンタを表示する例を示します。

```
switch# show ficon vsan 3 file IPL
FICON configuration file IPL      in vsan 3
  Port address 1
    Port name is
    Port is not blocked
    Prohibited port addresses are 0,81-253,255

  Port address 2
    Port name is
    Port is not blocked
    Prohibited port addresses are 0,81-253,255

  Port address 3
    Port name is
    Port is not blocked
    Prohibited port addresses are 0,81-253,255

  Port address 4
    Port name is
    Port is not blocked
    Prohibited port addresses are 0,81-253,255

  ...
  Port address 80
    Port name is
    Port is not blocked
    Prohibited port addresses are 0,81-253,255

  Port address 254
    Port name is
    Port is not blocked
    Prohibited port addresses are 0,81-253,255
```

次に、すべての FICON コンフィギュレーションファイルを表示する例を示します。

```
switch# show ficon vsan 2
Ficon information for VSAN 2
  Ficon is enabled
  VSAN is active
  Host control is Enabled
  Host offline control is Enabled
  Clock alert mode is Disabled
  User alert mode is Disabled
  SNMP control is Disabled
  Active-Saved is Disabled
  Number of implemented ports are 240
  Key Counter is 9
  FCID last byte is 0
  Date/Time is same as system time (Sun Dec 14 01:26:30.273402 1980)
  Device Allegiance not locked
  Codepage is us-canada
Saved configuration files
  IPL
  IPLFILE1
```

次に、FICON コンフィギュレーション ファイルの指定したポート アドレスを表示する例を示します。

```
switch# show ficon vsan 2 file iplfile1 portaddress 1-7
FICON configuration file IPLFILE1 in vsan 2
  Port address 1
    Port name is
    Port is not blocked
    Prohibited port addresses are 0,241-253,255

  Port address 2
    Port name is
    Port is not blocked
    Prohibited port addresses are 0,241-253,255

  Port address 3
    Port name is P3
    Port is not blocked
    Prohibited port addresses are 0,241-253,255
  ...
  Port address 7
    Port name is
    Port is not blocked
    Prohibited port addresses are 0,241-253,255
```

次に、FICON がイネーブルの場合に指定されたポート アドレスを表示する例を示します。

```
switch# show ficon vsan 2 portaddress 55
Port Address 55 is not installed in vsan 2
  Port number is 55, Interface is fc2/23
  Port name is
  Port is not admin blocked
  Prohibited port addresses are 0,241-253,255
  Admin port mode is FL
  Port mode is FL, FCID is 0xea0000
```

次に、異なるステータスに設定された2つのポート アドレスを表示する例を示します。

```
switch# show ficon vsan 2 portaddress 2
Port Address 2(0x2) is not installed in vsan 2
  Port number is 2(0x2), Interface is fc1/2
  Port name is
  Port is not admin blocked
  Prohibited port addresses are 0,241-253,255(0,0xf1-0xfd,0xff)
  Admin port mode is auto
  Peer was type model manufactured by

switch# show ficon vsan 2 portaddress 1
Port Address 2(0x2) is not installed in vsan 2
  Port number is 2(0x2), Interface is fc1/2
  Port name is
  Port name is SampleName
  Port is admin blocked
  Prohibited port addresses are 0,241-253,255(0,0xf1-0xfd,0xff)
  Admin port mode is auto
  Peer was type model manufactured by
```

次に、制御ユニット情報を表示する例を示します。

```
switch# show ficon control-device sb3
Control Unit Image:0x80b9c2c
VSAN:20 CU:0x20fe00 CUI:0 CUD:0 CURLP:(nil)
ASYNC LP:(nil) MODE:1 STATE:1 CQ LEN:0 MAX:0
PRIMARY LP: VSAN:0 CH:0x0 CHI:0 CU:0x0 CUI:0
ALTERNATE LP: VSAN:0 CH:0x0 CHI:0 CU:0x0 CUI:0

Logical Path:0x80b9fb4
VSAN:20 CH:0x200600 CHI:15 CU:0x20fe00 CUI:0 STATE:1 FLAGS:0x1
LINK: OH:0x0 OC:0x0 IH:0x0 IC:0x0
DEV: OH:0x0 OC:0x0 IH:0x0 IC:0x0
SENSE: 00 00 00 00 00 00 00 46
        30 20 00 00 00 00 00 00
        00 00 00 00 00 00 00 00
        00 00 00 00 00 00 00 00
IUI:0x0 DHF:0x0 CCW:0x0 TOKEN:0x0 PCCW:0x0 FCCW:0x0 PTOKEN:0x0 FTOKEN:0x0
CMD:0x0 CCW_FLAGS:0x0 CCW_COUNT:0 CMD_FLAGS:0x0 PRIO:0x0 DATA_COUNT:0
STATUS:0x0 FLAGS:0x0 PARAM:0x0 QTP:0x0 DTP:0x0
CQ LEN:0 MAX:0 DESTATUS:0x0
```

次に、指定した VSAN の履歴バッファを表示する例を示します。

```
switch# show ficon vsan 20 director-history
Director History Buffer for vsan 20
-----
Key Counter          Ports Address
                    Changed
-----
74556                43
74557                44
74558                45
74559                46
74560                47
74561                48
74562                49
74563                50
74564                51
74565                52
74566                53
74567                54
74568                55
74569                56
74570                57
74571                58
74572                59
74573                60
74574                61
74575                62
74576                63
74577                64
74578
74579
74580                1-3,5,10,12,14-16,34-40,43-45,47-54,56-57,59-64
74581                3,5
74582                64
74583
74584                1-3,10,12,14-16,34-40,43-45,47-54,56-57,59-64
74585                1
74586                2
74587                3
```

次に、実行コンフィギュレーションの情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config
...
ficon vsan 2
portaddress 1
block
name SampleName
prohibit portaddress 3
portaddress 3
prohibit portaddress 1
file IPL
```

次に、使用できるポート番号を表示する例を示します。

```
switch# show ficon first-available port-number
Port number 129(0x81) is available
```

# show file

ファイル システム内で指定されたファイルの内容を表示するには、**show file** コマンドを使用します。

```
show file filename [cksum | md5sum]
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<i>filename</i>	ファイル名を指定します。
	<b>cksum</b>	ファイルの Cyclic Redundancy Check (CRC; 巡回冗長チェック) チェックサムを表示します。
	<b>md5sum</b>	ファイルの Message Digest 5 (MD5) チェックサムを表示します。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、slot0 ディレクトリに常駐するテスト ファイルの内容を表示する例を示します。

```
switch# show file slot0:test
config t
Int fc1/1
no shut
end
show int
```

次に、現在のディレクトリに常駐するファイルの内容を表示する例を示します。

```
switch# show file myfile
```

次に、ファイルの CRC チェックサムを表示する例を示します。

```
switch# show file bootflash:vboot-1 cksum
838096258
```

次に、ファイルの MD5 チェックサムを表示する例を示します。

```
switch# show file bootflash:vboot-1 md5sum
3d8e05790155150734eb8639ce98a331
```

# show flex-attach

FlexAttach 配信ステータスを表示するには、**show flex-attach** コマンドを使用します。

**show flex-attach**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.3(1a)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、FlexAttach 配信ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show flex-attach
Fabric distribution status
-----
fabric distribution enabled
Last Action Time Stamp      : Sun Mar  2 02:32:04 2008
Last Action                  : Commit
Last Action Result           : Success
Last Action Failure Reason  : none
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show flex-attach virtual-pwwn</b>	指定のインターフェイス上の現在の仮想 pWWN のリストを表示します。

## show flex-attach info

FlexAttach 情報を表示するには、**show flex-attach info** コマンドを使用します。

**show flex-attach info**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.3(1a)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

## 例

次に、FlexAttach 情報を表示する例を示します。

```
switch# show flex-attach info
Global Auto Flag : TRUE
-----
Local Interface->vpwwn
-----
vsan      intf      vpwwn      auto      intf-state
-----
all       fc1/1     20:00:00:05:30:01:71:ba  auto      DOWN
all       fc1/2     20:01:00:05:30:01:71:ba  auto      DOWN
all       fc1/3     20:02:00:05:30:01:71:ba  auto      DOWN
all       fc1/4     20:03:00:05:30:01:71:ba  auto      DOWN
all       fc1/20    20:13:00:05:30:01:71:ba  auto      DOWN
all       fc1/21    20:14:00:05:30:01:71:ba  auto      DOWN
all       fc1/22    20:15:00:05:30:01:71:ba  auto      DOWN
all       fc1/23    20:16:00:05:30:01:71:ba  auto      DOWN
all       fc1/24    20:17:00:05:30:01:71:ba  auto      DOWN
Number of local virtual pwwn entries = 24
-----
Remote Interface->vpwwn
-----
swwn      vsan      intf      vpwwn      auto
-----
20:00:00:05:30:01:6e:1c  all       fc1/1     23:46:00:05:30:01:6e:1e  auto
20:00:00:05:30:01:6e:1c  all       fc1/2     23:47:00:05:30:01:6e:1e  auto
20:00:00:05:30:01:6e:1c  all       fc1/3     23:48:00:05:30:01:6e:1e  auto
20:00:00:05:30:01:6e:1c  all       fc1/4     23:49:00:05:30:01:6e:1e  auto
20:00:00:05:30:01:6e:1c  all       fc1/5     23:4a:00:05:30:01:6e:1e  auto
20:00:00:05:30:01:6e:1c  all       fc1/6     23:4b:00:05:30:01:6e:1e  auto
20:00:00:05:30:01:6e:1c  all       fc1/7     23:4c:00:05:30:01:6e:1e  auto
20:00:00:05:30:01:6e:1c  all       fc1/8     23:4d:00:05:30:01:6e:1e  auto
20:00:00:05:30:01:6e:1c  all       fc1/9     23:4e:00:05:30:01:6e:1e  auto
20:00:00:05:30:01:6e:1c  all       fc1/10    23:4f:00:05:30:01:6e:1e  auto
20:00:00:05:30:01:6e:1c  all       fc1/11    23:50:00:05:30:01:6e:1e  auto
20:00:00:05:30:01:6e:1c  all       fc1/12    23:51:00:05:30:01:6e:1e  auto
20:00:00:05:30:01:6e:1c  all       fc1/13    23:52:00:05:30:01:6e:1e  auto
20:00:00:05:30:01:6e:1c  all       fc1/14    23:53:00:05:30:01:6e:1e  auto
20:00:00:05:30:01:6e:1c  all       fc1/15    23:54:00:05:30:01:6e:1e  auto
20:00:00:05:30:01:6e:1c  all       fc1/23    23:5c:00:05:30:01:6e:1e  auto
20:00:00:05:30:01:6e:1c  all       fc1/24    23:5d:00:05:30:01:6e:1e  auto
Number of remote virtual pwwn entries = 24
-----
PWWN -> VPWWN Mappings
-----
pwwn      vpwwn
-----
20:14:00:05:30:01:71:11    20:14:00:05:30:01:71:99
20:14:00:05:30:01:71:44    20:14:00:05:30:01:71:88
Number of real pwwn to virtual pwwn entries = 2
-----
OXID INFO
-----
vsan      sid      did      oxid      els-cmd      phy-pwwn
      vpwwn
-----
Number of outstanding ELS frames = 0
-----
srv fcid to srv ifindex map
-----
--
vsan      srvfcid  srvif  pwwn      vpwwn      flogi?
-----
--
Number of logged-in devices = 0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show flex-attach</code>	FlexAttach 配信ステータスを表示します。
	<code>show flex-attach virtual-pwwn</code>	指定のインターフェイス上の現在の仮想 pWWN のリストを表示します。
	<code>show flex-attach merger status</code>	FlexAttach マージステータスを表示します。

## show flex-attach merge status

FlexAttach マージステータスを表示するには、`show flex-attach merge` コマンドを使用します。

```
show flex-attach merger status
```

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.3(1a)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、FlexAttach マージステータスを表示する例を示します。

```
switch# show flex-attach merge status
Flex-Attach merge status
-----
Status           : Success
Failure reason   :
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show flex-attach</code>	FlexAttach 配信ステータスを表示します。
	<code>show flex-attach virtual-pwwn</code>	指定のインターフェイス上の現在の仮想 pWWN のリストを表示します。

# show flex-attach virtual-pwwn

指定のインターフェイス上の現在の仮想 pWWN のリストを表示するには、**show flex-attach virtual-pwwn** コマンドを使用します。

**show flex-attach virtual-pwwn**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.3(1a)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

例 次に、インターフェイス上の現在の仮想 pWWN のリストを表示する例を示します。

```
switch# show flex-attach virtual-pwwn
Global auto virtual port WWN generation enabled

          VIRTUAL PORT WWNS ASSIGNED TO INTERFACES
-----
-----
VSAN      INTERFACE  VIRTUAL-PWWN                AUTO    LAST-CHANGE
-----
-----
all       fc1/1        20:00:00:05:30:01:71:ba     TRUE    Sat Mar  1 14:10:07 2008
all       fc1/2        20:01:00:05:30:01:71:ba     TRUE    Sat Mar  1 14:10:07 2008
all       fc1/19       20:12:00:05:30:01:71:ba     TRUE    Sat Mar  1 14:10:07 2008
all       fc1/20       20:13:00:05:30:01:71:ba     TRUE    Sat Mar  1 14:10:07 2008
all       fc1/21       20:14:00:05:30:01:71:ba     TRUE    Sat Mar  1 14:10:07 2008
all       fc1/22       20:15:00:05:30:01:71:ba     TRUE    Sat Mar  1 14:10:07 2008
all       fc1/23       20:16:00:05:30:01:71:ba     TRUE    Sat Mar  1 14:10:07 2008
all       fc1/24       20:17:00:05:30:01:71:ba     TRUE    Sat Mar  1 14:10:07 2008

Number of virtual pwwn assigned to local interfaces = 24

          VIRTUAL PORT WWNS ASSIGNED TO PHYSICAL PORT WWNS
-----
-----
PWWN                VIRTUAL-PWWN                LAST-CHANGE
-----
-----
20:14:00:05:30:01:71:11  20:14:00:05:30:01:71:99  Sat Mar  1 14:56:07 2008
20:14:00:05:30:01:71:44  20:14:00:05:30:01:71:88  Sat Mar  1 14:56:07 2008

Number of virtual pwwn assigned to real pwwns = 2
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>flex-attach virtual-pwwn auto</b>	指定のインターフェイス上の FlexAttach 仮想 pWWN をイネーブルにします。
<b>flex-attach virtual-pwwn interface</b>	ユーザ指定の FlexAttach 仮想 pWWN を設定します。

# show flogi

すべての VSAN（仮想 SAN）の全インターフェイスで実行される Fabric Login（FLOGI）セッションをすべて一覧表示するには、**show flogi** コマンドを使用します。

```
show flogi {auto-area-list} | database {fcid fcid-id | interface {fa slot/port | fc slot/port | fv
module-number} | vsan vsan-id}
```



(注) Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem および Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter では、構文は次のようになります。

```
interface {bay port | ext port}
```

## シンタックスの説明

<b>auto-area-list</b>	割り当てられた領域である OUI のリストを表示します。
<b>database</b>	FLOGI セッションに関する情報を表示します。
<b>fcid fcid-id</b>	割り当てられた Fibre Channel (FC) ID に基づいて FLOGI データベース エントリを表示します。フォーマットは 0xhhhhhh です。
<b>interface</b>	ログインしたインターフェイスに基づいて FLOGI データベース エントリを表示します。
<b>fa slot/port</b>	全スイッチ上にあるスロットおよびポート番号別に設定する FA ポート インターフェイスを指定します。
<b>fc slot/port</b>	(任意) MDS 9000 ファミリ スイッチ上にあるスロットおよびポート番号別に設定するファイバチャネルインターフェイスを指定します。
<b>bay port   ext port</b>	(任意) ベイ別または Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem や Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter 上の外部ポート別にファイバチャネルインターフェイスを指定します。有効範囲は 0 ~ 48 です。
<b>fv module-number</b>	全てのスイッチ上にあるモジュール別にファイバチャネル仮想化インターフェイスを指定します。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN（仮想 SAN）ID に基づいて FLOGI データベース エントリを表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。
3.1(2)	<b>interface bay   ext</b> オプションが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドの出力は、まずインターフェイス別にソートされたあと、VSAN 別にソートされます。

FC ファブリックでは、各ホストまたはディスクに FCID が必要です。以下の例にあるように、FLOGI テーブルにストレージ デバイスが表示されているかどうか確認するには、**show flogi database** コマンドを使用します。必要なデバイスが FLOGI テーブルに表示されていれば、FLOGI が正常に行われます。ホスト Host Bus Adapter (HBA; ホスト バス アダプタ) および接続ポートに直接接続されているスイッチ上の FLOGI データベースを検査します。

## 例

次に、FLOGI データベースの詳細を表示する例を示します。

```
switch# show flogi database
-----
INTERFACE  VSAN    FCID          PORT NAME          NODE NAME
-----
sup-fc0    2       0xb30100     10:00:00:05:30:00:49:63  20:00:00:05:30:00:49:5e
fc9/13     1       0xb200e2     21:00:00:04:cf:27:25:2c  20:00:00:04:cf:27:25:2c
fc9/13     1       0xb200e1     21:00:00:04:cf:4c:18:61  20:00:00:04:cf:4c:18:61
fc9/13     1       0xb200d1     21:00:00:04:cf:4c:18:64  20:00:00:04:cf:4c:18:64
fc9/13     1       0xb200ce     21:00:00:04:cf:4c:16:fb  20:00:00:04:cf:4c:16:fb
fc9/13     1       0xb200cd     21:00:00:04:cf:4c:18:f7  20:00:00:04:cf:4c:18:f7

Total number of flogi = 6.
```

次に、FLOGI インターフェイスを表示する例を示します。

```
switch# show flogi database interface fc 1/11
-----
INTERFACE  VSAN    FCID          PORT NAME          NODE NAME
-----
fc9/13     1 0xa002ef 21:00:00:20:37:18:17:d2  20:00:00:20:37:18:17:d2
fc9/13     1 0xa002e8 21:00:00:20:37:38:a7:c1  20:00:00:20:37:38:a7:c1
fc9/13     1 0xa002e4 21:00:00:20:37:6b:d7:18  20:00:00:20:37:6b:d7:18
fc9/13     1 0xa002e2 21:00:00:20:37:18:d2:45  20:00:00:20:37:18:d2:45
fc9/13     1 0xa002e1 21:00:00:20:37:39:90:6a  20:00:00:20:37:39:90:6a
fc9/13     1 0xa002e0 21:00:00:20:37:36:0b:4d  20:00:00:20:37:36:0b:4d
fc9/13     1 0xa002dc 21:00:00:20:37:5a:5b:27  20:00:00:20:37:5a:5b:27
fc9/13     1 0xa002da 21:00:00:20:37:18:6f:90  20:00:00:20:37:18:6f:90
fc9/13     1 0xa002d9 21:00:00:20:37:5b:cf:b9  20:00:00:20:37:5b:cf:b9
fc9/13     1 0xa002d6 21:00:00:20:37:46:78:97  20:00:00:20:37:46:78:97

Total number of flogi = 10.
```

次に、FLOGI VSAN を表示する例を示します。

```
switch# show flogi database vsan 1
-----
INTERFACE  VSAN    FCID          PORT NAME          NODE NAME
-----
fc9/13     1       0xef02ef     22:00:00:20:37:18:17:d2  20:00:00:20:37:18:17:d2
fc9/13     1       0xef02e8     22:00:00:20:37:38:a7:c1  20:00:00:20:37:38:a7:c1
fc9/13     1       0xef02e4     22:00:00:20:37:6b:d7:18  20:00:00:20:37:6b:d7:18
fc9/13     1       0xef02e2     22:00:00:20:37:18:d2:45  20:00:00:20:37:18:d2:45
fc9/13     1       0xef02e1     22:00:00:20:37:39:90:6a  20:00:00:20:37:39:90:6a
fc9/13     1       0xef02e0     22:00:00:20:37:36:0b:4d  20:00:00:20:37:36:0b:4d
fc9/13     1       0xef02dc     22:00:00:20:37:5a:5b:27  20:00:00:20:37:5a:5b:27
fc9/13     1       0xef02da     22:00:00:20:37:18:6f:90  20:00:00:20:37:18:6f:90
fc9/13     1       0xef02d9     22:00:00:20:37:5b:cf:b9  20:00:00:20:37:5b:cf:b9
fc9/13     1       0xef02d6     22:00:00:20:37:46:78:97  20:00:00:20:37:46:78:97

Total number of flogi = 10.
```

次に、FLOGI FCID を表示する例を示します。

```
switch# show flogi database fcid 0xef02e2
-----
INTERFACE  VSAN    FCID          PORT NAME          NODE NAME
-----
fc9/13     1       0xef02e2     22:00:00:20:37:18:d2:45  20:00:00:20:37:18:d2:45

Total number of flogi = 1.
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
show fcns database	すべてのローカルおよびリモート ネーム サーバエントリを表示します。

# show fspf

グローバル Fabric Shortest Path First (FSPF) 情報を表示するには、**show fspf** コマンドを使用します。

```
show fspf [database vsan vsan-id [detail | domain domain-id detail] | interface | vsan vsan-id interface
          [fc slot/port | port-channel port-channel]]
```



(注)

Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem および Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter では、構文は次のようになります。

```
interface {bay port | ext port}
```

## シンタックスの説明

<b>database</b>	FSPF リンク ステート データベースを表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN (仮想 SAN) ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>detail</b>	詳細な FSPF 情報を表示します。
<b>domain domain-id</b>	データベースのドメインを指定します。有効範囲は 0 ~ 255 です。
<b>interface</b>	FSPF インターフェイスを指定します。
<b>fc slot/port</b>	(任意) MDS 9000 ファミリ スイッチ上にあるスロットおよびポート番号別に設定するファイバチャネル インターフェイスを指定します。
<b>bay port   ext port</b>	(任意) ベイ別または Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem や Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter 上の外部ポート別にファイバチャネル インターフェイスを指定します。有効範囲は 0 ~ 48 です。
<b>port-channel port-channel</b>	ポート チャネル インターフェイスを指定します。有効範囲は 1 ~ 256 です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

他のパラメータが設定されていない場合、データベース内の全 LSR が表示されます。より詳細な情報が必要な場合、LSR のオーナーのドメイン番号を指定できます。**detail** を使用すると、各 LSR についてより詳細な情報が得られます。

## 例

次に、FSPF インターフェイス情報を表示する例を示します。

```
switch# show fspf interface vsan 1 fc1/1
FSPF interface fc1/1 in VSAN 1
FSPF routing administrative state is active
Interface cost is 500
Timer intervals configured, Hello 20 s, Dead 80 s, Retransmit 5 s
FSPF State is FULL
Neighbor Domain Id is 0x0c(12), Neighbor Interface index is 0x0f100000

Statistics counters :
  Number of packets received : LSU 8 LSA 8 Hello 118 Error packets 0
  Number of packets transmitted : LSU 8 LSA 8 Hello 119 Retransmitted LSU
  0
  Number of times inactivity timer expired for the interface = 0
```

次に、FSPF データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fspf database vsan 1

FSPF Link State Database for VSAN 1 Domain 0x0c(12)
LSR Type = 1
Advertising domain ID = 0x0c(12)
LSR Age = 1686
LSR Incarnation number = 0x80000024
LSR Checksum = 0x3caf
Number of links = 2
  NbrDomainId      IfIndex      NbrIfIndex      Link Type      Cost
-----
  0x65(101) 0x0000100e    0x00001081      1              500
  0x65(101) 0x0000100f    0x00001080      1              500

FSPF Link State Database for VSAN 1 Domain 0x65(101)
LSR Type = 1
Advertising domain ID = 0x65(101)
LSR Age = 1685
LSR Incarnation number = 0x80000028
LSR Checksum = 0x8443
Number of links = 6
  NbrDomainId      IfIndex      NbrIfIndex      Link Type      Cost
-----
  0xc3(195) 0x00001085    0x00001095      1              500
  0xc3(195) 0x00001086    0x00001096      1              500
  0xc3(195) 0x00001087    0x00001097      1              500
  0xc3(195) 0x00001084    0x00001094      1              500
  0x0c(12) 0x00001081    0x0000100e      1              500
  0x0c(12) 0x00001080    0x0000100f      1              500

FSPF Link State Database for VSAN 1 Domain 0xc3(195)
LSR Type = 1
Advertising domain ID = 0xc3(195)
LSR Age = 1686
LSR Incarnation number = 0x80000033
LSR Checksum = 0x6799
Number of links = 4
  NbrDomainId      IfIndex      NbrIfIndex      Link Type      Cost
-----
  0x65(101) 0x00001095    0x00001085      1              500
  0x65(101) 0x00001096    0x00001086      1              500
  0x65(101) 0x00001097    0x00001087      1              500
  0x65(101) 0x00001094    0x00001084      1              500
```

次に、指定した VSAN 内の FSPF 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fspf vsan 1
FSPF routing for VSAN 1
FSPF routing administration status is enabled
FSPF routing operational status is UP
It is an intra-domain router
Autonomous region is 0
SPF hold time is 0 msec
MinLsArrival = 1000 msec , MinLsInterval = 5000 msec
Local Domain is 0x65(101)
Number of LSRs = 3, Total Checksum = 0x0001288b

Protocol constants :
  LS_REFRESH_TIME = 1800 sec
  MAX_AGE          = 3600 sec

Statistics counters :
  Number of LSR that reached MaxAge = 0
  Number of SPF computations        = 7
  Number of Checksum Errors         = 0
  Number of Transmitted packets :   LSU 65 LSA 55 Hello 474 Retranmsitted LSU 0
  Number of received packets :     LSU 55 LSA 60 Hello 464 Error packets 10
```

# show hardware

スイッチ ハードウェア インベントリの詳細を表示するには、**show hardware** コマンドを使用します。

**show hardware [ipc-channel status]**

シンタックスの説明	<b>ipc-channel status</b>	Interprocess Communication (IPC; プロセス間通信) チャンネルのステータスを表示します。
デフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC モード	
コマンド履歴	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	1.2(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	なし	

## 例

次に、スイッチ ハードウェアのインベントリの詳細を表示する例を示します。

```
switch# show hardware
Cisco Storage Area Networking Operating System (SAN-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2006, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained herein are owned by
other third parties and are used and distributed under license.
Some parts of this software may be covered under the GNU Public
License or the GNU Lesser General Public License. A copy of
each such license is available at
http://www.gnu.org/licenses/gpl.html and
http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html

Software
  BIOS:          version 1.1.0
  loader:        version 1.2(2)
  kickstart:     version 3.0(3) [gdb]
  system:        version 3.0(3) [gdb]

  BIOS compile time:      10/24/03
  kickstart image file is: bootflash:///boot-3.0.3
  kickstart compile time: 9/15/2006 10:00:00 [10/02/2006 06:26:25]
  system image file is:   bootflash:///isan-3.0.3
  system compile time:    9/15/2006 10:00:00 [10/02/2006 06:45:25]

Hardware
  cisco MDS 9509 ("Supervisor/Fabric-1")
  Intel(R) Pentium(R) III CPU with 1028604 kB of memory.

  bootflash: 251904 kB
  slot0:     251904 kB

172.22.31.238 kernel uptime is 0 days 0 hour 2 minute(s) 25 second(s)

Last reset at 744021 usecs after Tue Oct 21 14:55:11 1980
Reason: Reset Requested by CLI command reload
System version: 4.0(0.432)
Service:
```

-----  
Switch hardware ID information  
-----

MDS Switch is booted up  
Switch type is "MDS 9 Slot Chassis"  
Model number is DS-C9509  
H/W version is 256.0  
Part Number is 73-8014-02  
Part Revision is 328  
Manufacture Date is Year 6 Week 35  
Serial number is FOX06350KW1  
CLEI code is

-----  
Chassis has 9 slots for Modules  
-----

Module in slot 1 is other  
Module type is "2x1GE IPS, 14x1/2Gbps FC Module"  
2 submodules are present  
RAM size is 0 (kb)  
Model number is DS-X9216-K9-SUP  
H/W version is 0.201  
Part Number is 73-9633-02  
Part Revision is 02  
Manufacture Date is Year 8 Week 16  
Serial number is JAB081605A7  
CLEI code is 0000000000

Module in slot 2 is other  
Module type is "2x1GE IPS, 14x1/2Gbps FC Module"  
2 submodules are present  
RAM size is 0 (kb)  
Model number is DS-X9302-14K9  
H/W version is 0.202  
Part Number is 73-9275-02  
Part Revision is 02  
Manufacture Date is Year 8 Week 16  
Serial number is JAB081605A4  
CLEI code is 0000000000

Module in slot 3 is empty

Module in slot 4 is empty

Module in slot 5 is other  
Module type is "Supervisor/Fabric-1"  
No submodules are present  
Skipping image download due to linecard parameter.  
Model number is  
H/W version is 0.0  
Part Number is  
Part Revision is  
Manufacture Date is Year 0 Week 0  
Serial number is  
CLEI code is

Module in slot 6 is ok  
Module type is "Supervisor/Fabric-1"  
No submodules are present  
Model number is DS-X9530-SF1-K9  
H/W version is 0.0  
Part Number is 73-7523-06  
Part Revision is  
Manufacture Date is Year 0 Week 0  
Serial number is  
CLEI code is

```
Module in slot 7 is empty

Module in slot 8 is empty

Module in slot 9 is empty

-----
Chassis has 2 Slots for Power Supplies
-----

PS in slot A is ok
  Power supply type is "2331.00W 220v AC"
  Model number is DS-CAC-2500W
  H/W version is 1.0
  Part Number is 341-0061-01
  Part Revision is A0
  Manufacture Date is Year 5 Week 51
  Serial number is ART055100K2
  CLEI code is

PS in slot B is empty

-----
Chassis has 1 slot for Fan Module
-----

Fan module is ok
Model number is DS-
H/W version is 0.0
Part Number is 00 (000$0
Part Revision is
Manufacture Date is Year 0 Week 0
Serial number is
CLEI code is
```

次に、IPC チャンネルのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show hardware ipc-channel status
Active IPC-Channel:          A
```

# show hosts

Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム) ホスト コンフィギュレーションの詳細を表示するには、**show hosts** コマンドを使用します。

**show hosts**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、デフォルト ドメイン、ドメイン リスト、およびネーム サーバなどのホストの設定を表示する例を示します。

```
switch# show hosts
Default domain is cisco.com
Domain list:ucsc.edu harvard.edu yale.edu stanford.edu
Name/address lookup uses domain service
Name servers are 15.1.0.1 15.2.0.0
```

# show incompatibility system

両方のスーパーバイザ エンジン上の現在のシステム イメージと、両方のスーパーバイザ エンジンにインストールされている新規システム イメージとの間のハイ アベイラビリティの互換性ステータスを表示するには、**show incompatibility system** コマンドを使用します。

```
show incompatibility system [bootflash: | slot0: | volatile:] image-filename
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
<b>bootflash:</b>		内蔵ブートフラッシュ メモリの送信元または宛先ロケーション
<b>slot0:</b>		CompactFlash メモリや PCMCIA カードの送信元または宛先ロケーション
<b>volatile:</b>		揮発性ディレクトリの送信元または宛先ロケーション
<b>image-filename</b>		システム イメージ名を指定します。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2(1)	このコマンドが導入されました。
	3.0(1)	互換性のない機能を無効にするために必要なコマンドがコマンド出力にあることを表す例を提示しました。

**使用上のガイドライン** ハイ アベイラビリティ互換性が **strict** の場合、そのイメージへのアップグレードは両方のスーパーバイザで中断します。

ハイ アベイラビリティ互換性が **loose** の場合、エラーなしで同期が実行されますが、スイッチオーバーが発生した場合に使用できなくなるリソースがでてくる可能性があります。

**例** 次に、カーネル コア設定を表示する例を示します。

```
switch# show incompatibility system bootflash:old-image-y
The following configurations on active are incompatible with the system image
1) Feature Index : 67 , Capability : CAP_FEATURE_SPAN_FC_TUNNEL_CFG
Description : SPAN - Remote SPAN feature using fc-tunnels
Capability requirement : STRICT
2) Feature Index : 119 , Capability : CAP_FEATURE_FC_TUNNEL_CFG
Description : fc-tunnel is enabled
Capability requirement : STRICT
```

次に、互換性のない機能をディセーブルにするために必要なコマンドの例を示します。

```
switch# show incompatibility system bootflash:m9200-ek9-mz.1.3.4b.bin
The following configurations on active are incompatible with the system image
1) Service : cfs , Capability : CAP_FEATURE_CFS_ENABLED_DEVICE_ALIAS
Description : CFS - Distribution is enabled for DEVICE-ALIAS
Capability requirement : STRICT
Disable command : no device-alias distribute
```

# show install all failure-reason

中断のないソフトウェア アップグレードの障害原因を特定するには、システム プロンプトで **show install all failure-reason** コマンドを使用します。

**show install all failure-reason**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.1(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** アップグレード障害が他の理由によるものである場合、コマンドを入力しても何も表示されません。サービスでアップグレードが打ち切られて、このコマンドを発行するように指示したメッセージが CLI に返された場合のみ、このコマンドは有効な出力を表示します。

**例** 以下の例は、失敗した中断のないソフトウェア アップグレード中の出力を示していて、障害の理由を示しています。

```
Do you want to continue with the installation (y/n)? [n] y

Install is in progress, please wait.

Notifying services about the upgrade.
[#          ] 0% -- FAIL. Return code 0x401E0066 (request timed out).

Please issue "show install all failure-reason" to find the cause of the failure.

Install has failed. Return code 0x401E0066 (request timed out).
Please identify the cause of the failure, and try 'install all' again.

switch# show install all failure-reason
Service: "cfs" failed to respond within the given time period.
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show install all status	インストールまたは ISSU のステータスを表示します。

# show install all impact

特定のイメージのソフトウェア互換性マトリクスを表示するには、**show install all impact** コマンドを使用します。

```
show install all impact [asm-sfn image-filename] [kickstart image-filename] [ssi image-filename]
                        [system image-filename]
```

シンタックスの説明		
<b>asm-sfn</b>		Advanced Services Module (ASM) Storage Foundation for Networks (SFN) ブート変数を指定します。
<i>image-filename</i>		イメージ名を指定します。
<b>kickstart</b>		キックスタートブート変数を指定します。
<b>ssi</b>		Single System Image (SSI) ブート変数を指定します。
<b>system</b>		システムブート変数を指定します。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

例 次に、システムを実行イメージから別の指定したイメージに更新する場合の効果を表示する例を示します。

```
switch# show install all impact

Verifying image bootflash:/ilc1.bin
[#####] 100% -- SUCCESS

Verifying image bootflash:/vk73a
[#####] 100% -- SUCCESS

Verifying image bootflash:/vs73a
[#####] 100% -- SUCCESS

Extracting "slc" version from image bootflash:/vs73a.
[#####] 100% -- SUCCESS

Extracting "slc" version from image bootflash:/vs73a.
[#####] 100% -- SUCCESS

Extracting "system" version from image bootflash:/vs73a.
[#####] 100% -- SUCCESS

Extracting "kickstart" version from image bootflash:/vk73a.
[#####] 100% -- SUCCESS

Extracting "loader" version from image bootflash:/vk73a.
[#####] 100% -- SUCCESS

Extracting "slc" version from image bootflash:/vs73a.
[#####] 100% -- SUCCESS

Compatibility check is done:
Module bootable          Impact Install-type Reason
-----
      2      yes non-disruptive      none
      4      yes non-disruptive      none
      6      yes non-disruptive      none
      9      yes non-disruptive      none

Images will be upgraded according to following table:
Module Image Running-Version New-Version Upg-Required
-----
      2      slc      1.2(1)      1.2(1)      no
      2      bios      v1.0.7(03/20/03) v1.0.7(03/20/03) no
      4      slc      1.2(1)      1.2(1)      no
      4      ilce      1.2(1)      1.2(1)      no
      4      bios      v1.0.7(03/20/03) v1.0.7(03/20/03) no
      6      system      1.2(1)      1.2(1)      no
      6      kickstart  1.2(1)      1.2(1)      no
      6      bios      v1.0.7(03/20/03) v1.0.7(03/20/03) no
      6      loader      1.0(3a)      1.0(3a)      no
      9      slc      1.2(1)      1.2(1)      no
      9      bios      v1.0.7(03/20/03) v1.0.7(03/20/03) no
```

次に、誤ったイメージが提供された場合に表示されるエラーメッセージを表示します。

```
switch# show install all impact system bootflash:
Compatibility check failed. Return code 0x40930003 (Invalid bootvar specified in
the input).
```

# show install all status

実行中の **install all** コマンドのステータス、またはコンソール、SSH (セキュア シェル)、あるいは Telnet セッションから最後に実行した **install all** コマンドのログを表示するには、**show install all status** コマンドを使用します。

```
show install all status
```

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.3(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドは、(ファブリック マネージャではなく) CLI (コマンドライン インターフェイス) から実行された **install all** コマンドのステータスのみを表示します。

**show install all status** コマンドは、(スイッチが再起動して新規イメージで立ち上がった後) Cisco MDS 9124 ファブリック スイッチでの中断のないソフトウェア アップグレードのステータスも表示します。再起動前に発生した動作は出力に表示されません。したがって、Telnet セッションを介して **install all** コマンドを発行する場合、スイッチの再起動時に Telnet セッションが切断されます。Telnet を使用してスイッチを再接続した後、アップグレードがすでに完了していることがあります。そのような場合、**show install all status** コマンドでアップグレードのステータスが表示されます。

**例** 次に、**show install all status** コマンドを使用して、**install all** コマンド処理の出力を表示する例を示します。

```
switch# show install all status
There is an on-going installation... <----- in progress installation
Enter Ctrl-C to go back to the prompt.
```

```
Verifying image bootflash:/b-1.3.0.104
-- SUCCESS
```

```
Verifying image bootflash:/i-1.3.0.104
-- SUCCESS
```

```
Extracting "system" version from image bootflash:/i-1.3.0.104.
-- SUCCESS
```

```
Extracting "kickstart" version from image bootflash:/b-1.3.0.104.
-- SUCCESS
```

```
Extracting "loader" version from image bootflash:/b-1.3.0.104.
-- SUCCESS
```

```
switch# show install all status
This is the log of last installation.          <<<<<< log of last install
```

```
Verifying image bootflash:/b-1.3.0.104
-- SUCCESS
```

```
Verifying image bootflash:/i-1.3.0.104
-- SUCCESS
```

```
Extracting "system" version from image bootflash:/i-1.3.0.104.
-- SUCCESS
```

```
Extracting "kickstart" version from image bootflash:/b-1.3.0.104.
-- SUCCESS
```

```
Extracting "loader" version from image bootflash:/b-1.3.0.104.
-- SUCCESS
```

次に、**show install all status** コマンドを使用して、Cisco MDS 9124 ファブリック スイッチ上で中断のないソフトウェア アップグレード処理の出力を表示する例を示します。

```
switch# show install all status
This is the log of last installation.

Continuing with installation process, please wait.
The login will be disabled until the installation is completed.
```

```
Status for linecard upgrade.
-- SUCCESS
```

```
Performing supervisor state verification.
-- SUCCESS
```

```
Install has been successful.
```

# show in-order-guarantee

順番配信機能の現在の設定されたステータスを表示するには、**show in-order-guarantee** コマンドを使用します。

**show in-order-guarantee**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.3(4)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、順次配信機能の現在の設定ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show in-order-guarantee
global inorder delivery configuration:guaranteed

VSAN specific settings
vsan 1 inorder delivery:guaranteed
vsan 101 inorder delivery:not guaranteed
vsan 1000 inorder delivery:guaranteed
vsan 1001 inorder delivery:guaranteed
vsan 1682 inorder delivery:guaranteed
vsan 2001 inorder delivery:guaranteed
vsan 2009 inorder delivery:guaranteed
vsan 2456 inorder delivery:guaranteed
vsan 3277 inorder delivery:guaranteed
vsan 3451 inorder delivery:guaranteed
vsan 3452 inorder delivery:guaranteed
vsan 3453 inorder delivery:guaranteed
```

# show interface

任意の時間にインターフェイスのステータスをチェックするには、**show interface** コマンドを使用します。

```
show interface [interface-range] [bbcredit | brief | capabilities | counters [brief] | description |
transceiver [calibrations | details] | trunk vsan [vsan-id]]
```

## シンタックスの説明

<i>interface-range</i>	インターフェイスのタイプを表示します。
<b>bbcredit</b>	buffer-to-buffer credit (BB_credit) 情報を表示します。
<b>brief</b>	要約情報を表示します。
<b>capabilities</b>	指定インターフェイスのハードウェア ポート互換性を表示します。
<b>counters</b>	インターフェイス カウンタ情報を表示します。
<b>description</b>	インターフェイスの記述を表示します。
<b>transceiver</b>	指定したインターフェイスのトランシーバ情報を表示します。
<b>calibrations</b>	指定したインターフェイスのトランシーバ調整情報を表示します。
<b>details</b>	指定したインターフェイスの詳細なトランシーバ診断情報を表示します。
<b>trunk vsan</b>	すべての VSAN のトランキング ステータスを表示します。
<i>vsan-id</i>	指定した VSAN のトランキング ステータスを表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

## デフォルト

スイッチ上のすべてのインターフェイスの情報を表示します。

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。
1.3(1)	<b>bbcredit</b> キーワードが追加され、 <b>cpp</b> および <b>fv</b> インターフェイスをサポートするようになりました。
3.0(1)	ファブリック チャネル インターフェイスの <b>capabilities</b> オプションが追加されました。
3.1(2)	<b>bay</b>   <b>ext</b> インターフェイスが追加されました。

## 使用上のガイドライン

次の形式でコマンドを実行して、インターフェイスの範囲を指定できます。

```
interface fc1/1 - 5, fc2/5 - 7
```

ダッシュ (-) およびカンマ (,) の前後にスペースを入れる必要があります。

Small Form-factor Pluggable (SFP) がある場合、**show interface interface-type slot/port transceiver** コマンドは Cisco MDS 9100 シリーズのスイッチでのみ実行できます。

表 22-5 に、**show interface** コマンドでサポートされるインターフェイス タイプを一覧表示します。

表 22-5 show interface コマンドのインターフェイス タイプ

インターフェイス タイプ	説明
<b>bay port</b>   <b>ext port</b>	Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem や Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter 上にあるファイバチャネルインターフェイスの情報を表示します。
<b>cpp slot/port</b>	仮想化インターフェイスの情報を表示します。
<b>fc slot/port</b>	指定したスロットまたはポートの Fibre Channel (FC) インターフェイスを表示します。
<b>fc-tunnel tunnel-id</b>	指定した FC トンネル (1 ~ 4095) の説明を表示します。
<b>fcip interface-number</b>	Fibre Channel over IP (FCIP) インターフェイスを指定します。有効範囲は 1 ~ 255 です。
<b>fv slot/dpp-number/fv-port</b>	指定されたスロットの仮想 F ポート (FV ポート) インターフェイスの情報を、Data Path Processor (DPP) メンバーおよび FV ポート番号とともに表示します。
<b>gigabitethernet slot/port</b>	指定したスロットおよびポートのギガビットイーサネットインターフェイスの情報を表示します。
<b>gigabitethernet slot/port.subinterface-number</b>	後ろにドット (.) インジケータおよびサブインターフェイス番号のついた、指定したスロットおよびポートのギガビットイーサネットサブインターフェイスの情報を表示します。サブインターフェイスの有効値は 1 ~ 4093 です。
<b>iscsi slot/port</b>	指定したスロットおよびポートの iSCSI インターフェイスの説明を表示します。
<b>mgmt 0</b>	管理インターフェイスの説明を表示します。
<b>port-channel</b> <i>port-channel-number</i>	ポートチャネル番号で指定されたポートチャネルインターフェイスを表示します。有効範囲は 1 ~ 128 です。
<b>port-channel</b> <i>port-channel-number</i> <i>.subinterface-number</i>	ポートチャネル番号の後ろにドット (.) インジケータとサブインターフェイス番号を付けて指定したポートチャネルサブインターフェイスを表示します。ポートチャネル番号の有効範囲は 1 ~ 128 です。サブインターフェイスの有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>sup-fc 0</b>	帯域内インターフェイスの詳細を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN (仮想 SAN) の情報を表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

## 例

次に、FC インターフェイスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface fc1/11
fc1/11 is up
  Hardware is Fibre Channel
  Port WWN is 20:0b:00:05:30:00:59:de
  Admin port mode is ST
  Port mode is ST
  Port vsan is 1
  Speed is 1 Gbps
  Rspan tunnel is fc-tunnel 100
  Beacon is turned off
  5 minutes input rate 248 bits/sec, 31 bytes/sec, 0 frames/sec
  5 minutes output rate 176 bits/sec, 22 bytes/sec, 0 frames/sec
  6862 frames input, 444232 bytes
    0 discards, 0 errors
    0 CRC, 0 unknown class
    0 too long, 0 too short
  6862 frames output, 307072 bytes
    0 discards, 0 errors
  0 input OLS, 0 LRR, 0 NOS, 0 loop inits
  0 output OLS, 0 LRR, 0 NOS, 0 loop inits
  16 receive B2B credit remaining
  3 transmit B2B credit remaining.
```

次に、帯域内インターフェイスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface sup-fc0
sup-fc0 is up
  Hardware is FastEthernet, address is 0000.0000.0000
  MTU 2596 bytes, BW 1000000 Kbit
  66 packets input, 7316 bytes
  Received 0 multicast frames, 0 compressed
  0 input errors, 0 frame, 0 overrun 0 fifo
  64 packets output, 28068 bytes, 0 underruns
  0 output errors, 0 collisions, 0 fifo
  0 carrier errors
```

次に、VSAN インターフェイスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface vsan 2
vsan2 is up, line protocol is up
  WWPN is 10:00:00:05:30:00:59:1f, FCID is 0xb90100
  Internet address is 10.1.1.1/24
  MTU 1500 bytes, BW 1000000 Kbit
  0 packets input, 0 bytes, 0 errors, 0 multicast
  0 packets output, 0 bytes, 0 errors, 0 dropped
```

次に、すべてのインターフェイスの記述情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface description
fc1/1
    no description
fc1/2
    no description
fc1/15
fcAn1

sup-fc0 is up

mgmt0 is up

vsan1 - IPFC interface

port-channel 15
no description

port-channel 98
no description
```

次に、インターフェイスの範囲に関する要約情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface fc2/1 - 5 brief
-----
```

Interface	Vsan	Admin Mode	Admin Trunk Mode	Status	Oper Mode	Oper Speed (Gbps)	Port-channel
fc1/1	1	auto	on	down	--	--	--
fc1/2	1	auto	on	fcotAbsent	--	--	--
fc1/3	1	F	--	notConnected	--	--	--
fc1/4	1	auto	on	fcotAbsent	--	--	--
fc1/5	1	F	--	up	F	2	--
fc1/6	1	auto	on	fcotAbsent	--	--	--
fc1/7	1	auto	on	down	--	--	--
fc1/8	1	auto	on	fcotAbsent	--	--	--
fc1/9	1	auto	on	fcotAbsent	--	--	--
fc1/10	1	auto	on	fcotAbsent	--	--	--
fc1/11	1	auto	on	down	--	--	--
fc1/12	1	auto	on	fcotAbsent	--	--	--
fc1/13	1	auto	on	down	--	--	--
fc1/14	1	auto	on	fcotAbsent	--	--	--
fc1/15	1	auto	on	down	--	--	--
fc1/16	1	auto	on	fcotAbsent	--	--	--

```
-----
```

Interface	Status	IP Address	Speed	MTU
sup-fc0	up	--	1 Gbps	2596

```
-----
```

Interface	Status	IP Address	Speed	MTU
mgmt0	up	173.95.112/24	100 Mbps	1500

```
-----
```

Interface	Status	IP Address	Speed	MTU
vsan1	up	10.1.1.1/24	1 Gbps	1500

```
-----
```

次に、FCIP インターフェイスのカウンタ情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface fcip 3 counters
fcip3
  TCP Connection Information
    2 Active TCP connections
      Control connection: Local 43.1.1.2:3225, Remote 43.1.1.1:65532
      Data connection: Local 43.1.1.2:3225, Remote 43.1.1.1:65534
    30 Attempts for active connections, 0 close of connections
  TCP Parameters
    Path MTU 1500 bytes
    Current retransmission timeout is 300 ms
    Round trip time: Smoothed 10 ms, Variance: 5
    Advertised window: Current: 122 KB, Maximum: 122 KB, Scale: 1
    Peer receive window: Current: 114 KB, Maximum: 114 KB, Scale: 1
    Congestion window: Current: 2 KB, Slow start threshold: 1048560 KB
  5 minutes input rate 64 bits/sec, 8 bytes/sec, 0 frames/sec
  5 minutes output rate 64 bits/sec, 8 bytes/sec, 0 frames/sec
  910 frames input, 84652 bytes
    910 Class F frames input, 84652 bytes
    0 Class 2/3 frames input, 0 bytes
    0 Error frames timestamp error 0
  908 frames output, 84096 bytes
    908 Class F frames output, 84096 bytes
    0 Class 2/3 frames output, 0 bytes
    0 Error frames 0 reass frames
```

次に、すべてのインターフェイスのカウンタ情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface counters brief
```

```
-----
Interface                Input (rate is 5 min avg)      Output (rate is 5 min avg)
-----
Rate      Total                Rate      Total
MB/s      Frames                MB/s      Frames
-----
fc9/1          0          0                0          0
fc9/2          0          0                0          0
fc9/3          0          0                0          0
fc9/4          0          0                0          0
...
-----
```

```
-----
Interface                Input (rate is 5 min avg)      Output (rate is 5 min avg)
-----
Rate      Total                Rate      Total
MB/s      Frames                MB/s      Frames
-----
iscsi4/1       0          0                0          0
iscsi4/2       0          0                0          0
iscsi4/3       0          0                0          0
iscsi4/4       0          0                0          0
...
vsan10 is up, line protocol is up
  WWPN is 10:00:00:05:30:00:07:23, FCID is 0xee0001
  Internet address is 10.1.1.5/24
  MTU 1500 bytes, BW 1000000 Kbit
  0 packets input, 0 bytes, 0 errors, 0 multicast
  0 packets output, 0 bytes, 0 errors, 0 dropped
-----
```

```
-----
Interface                Input (rate is 5 min avg)      Output (rate is 5 min avg)
-----
Rate      Total                Rate      Total
MB/s      Frames                MB/s      Frames
-----
port-channel 100 0          0                0          0
-----
```

```
-----
Interface                Input (rate is 5 min avg)      Output (rate is 5 min avg)
-----
Rate      Total                Rate      Total
Mbits/s   Frames                Mbits/s   Frames
-----
fcip2          0          0                0          0
fcip3          9          0                9          0

fcip6          8          0                8          0
fcip7          8          0                8          0
-----
```

次に、FCIP インターフェイスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface fcip 3
fcip3 is trunking
  Hardware is GigabitEthernet
  Port WWN is 20:ca:00:05:30:00:07:1e
  Peer port WWN is 20:ca:00:00:53:00:18:1e
  Admin port mode is auto, trunk mode is on
  Port mode is TE
  vsan is 1
  Trunk vsans (allowed active) (1,10)
  Trunk vsans (operational) (1)
  Trunk vsans (up) (1)
  Trunk vsans (isolated) (10)
  Trunk vsans (initializing) ()
  Using Profile id 3 (interface GigabitEthernet4/3)
  Peer Information
    Peer Internet address is 43.1.1.1 and port is 3225
    Special Frame is disabled
  Maximum number of TCP connections is 2
  Time Stamp is disabled
  B-port mode disabled
  TCP Connection Information
    2 Active TCP connections
      Control connection: Local 43.1.1.2:3225, Remote 43.1.1.1:65532
      Data connection: Local 43.1.1.2:3225, Remote 43.1.1.1:65534
    30 Attempts for active connections, 0 close of connections
  TCP Parameters
    Path MTU 1500 bytes
    Current retransmission timeout is 300 ms
    Round trip time: Smoothed 10 ms, Variance: 5
    Advertised window: Current: 122 KB, Maximum: 122 KB, Scale: 1
    Peer receive window: Current: 114 KB, Maximum: 114 KB, Scale: 1
    Congestion window: Current: 2 KB, Slow start threshold: 1048560 KB
  5 minutes input rate 64 bits/sec, 8 bytes/sec, 0 frames/sec
  5 minutes output rate 64 bits/sec, 8 bytes/sec, 0 frames/sec
  866 frames input, 80604 bytes
    866 Class F frames input, 80604 bytes
    0 Class 2/3 frames input, 0 bytes
    0 Error frames timestamp error 0
  864 frames output, 80048 bytes
    864 Class F frames output, 80048 bytes
    0 Class 2/3 frames output, 0 bytes
    0 Error frames 0 reasm frames
  16 receive B2B credit remaining
  3 transmit B2B credit remaining.
```

次に、ギガビットイーサネット インターフェイスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface gigabitethernet 4/1
GigabitEthernet4/1 is up
  Hardware is GigabitEthernet, address is 0005.3000.2e12
  Internet address is 100.1.1.2/24
  MTU 1500 bytes, BW 1000000 Kbit
  Port mode is IPS
  Speed is 1 Gbps
  Beacon is turned off
  5 minutes input rate 32 bits/sec, 4 bytes/sec, 0 frames/sec
  5 minutes output rate 88 bits/sec, 11 bytes/sec, 0 frames/sec
  637 packets input, 49950 bytes
    0 multicast frames, 0 compressed
    0 input errors, 0 frame, 0 overrun 0 fifo
  659 packets output, 101474 bytes, 0 underruns
    0 output errors, 0 collisions, 0 fifo
    0 carrier errors
```

次に、iSCSI インターフェイスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface iscsi 2/1
iscsi2/1 is up
  Hardware is GigabitEthernet
  Port WWN is 20:41:00:05:30:00:50:de
  Admin port mode is ISCSI
  Port mode is ISCSI
  Speed is 1 Gbps
  iSCSI initiator is identified by name
  Number of iSCSI session: 7, Number of TCP connection: 7
  Configured TCP parameters
    Local Port is 3260
    PMTU discover is disabled
    Keepalive-timeout is 1 sec
    Minimum-retransmit-time is 300 ms
    Max-retransmissions 8
    Sack is disabled
    Minimum available bandwidth is 0 kbps
    Estimated round trip time is 0 usec
  5 minutes input rate 265184 bits/sec, 33148 bytes/sec, 690 frames/sec
  5 minutes output rate 375002168 bits/sec, 46875271 bytes/sec, 33833 frames/sec
  iSCSI statistics
    6202235 packets input, 299732864 bytes
      Command 6189718 pdus, Data-out 1937 pdus, 1983488 bytes, 0 fragments
    146738794 packets output, 196613551108 bytes
      Response 6184282 pdus (with sense 4), R2T 547 pdus
      Data-in 140543388 pdus, 189570075420 bytes
```

次に、FC インターフェイスのトランシーバ情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface fc2/5 transceiver
fc2/5 fcot is present
  name is CISCO-INFINEON
  part number is V23848-M305-C56C
  revision is A3
  serial number is 30000474
  fc-transmitter type is short wave laser
  cisco extended id is unknown (0x0)
```

次に、FC トンネル インターフェイスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface fc-tunnel 200
fc-tunnel 200 is up
Dest   IP Addr: 200.200.200.7   Tunnel ID: 200
Source IP Addr: 200.200.200.4   LSP ID: 1
Explicit Path Name:
```

次に、FC インターフェイスのハードウェア ポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface fc1/24 capabilities
Min Speed is 1 Gbps
Max Speed is 4 Gbps
FC-PH Version (high, low) (0,6)
Receive data field size (max/min) (2112/256) bytes
Transmit data field size (max/min) (2112/128) bytes
Classes of Service supported are Class 2, Class 3, Class F
Class 2 sequential delivery supported
Class 3 sequential delivery supported
Hold time (max/min) (100/1) micro sec
BB state change notification supported
Maximum BB state change notifications 14
Rate Mode change supported

Rate Mode Capabilities Shared Dedicated
Receive BB Credit modification supported yes yes
FX mode Receive BB Credit (min/max/default) (0/0/0) (1/60/16)
ISL mode Receive BB Credit (min/max/default) -- (2/60/16)
Performace buffer modification supported no no

Out of Service capable yes
Beacon mode configurable yes
```

次に、Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem 上の FC インターフェイスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface bay 11
bay11 is down (Externally Disabled)
Hardware is Fibre Channel
Port WWN is 20:0c:00:05:30:01:f9:f2
Admin port mode is auto, trunk mode is on
snmp link state traps are enabled
Port vsan is 1
Receive data field Size is 2112
Beacon is turned off
5 minutes input rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
5 minutes output rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
0 frames input, 0 bytes
0 discards, 0 errors
0 CRC, 0 unknown class
0 too long, 0 too short
0 frames output, 0 bytes
0 discards, 0 errors
0 input OLS, 0 LRR, 0 NOS, 0 loop inits
0 output OLS, 0 LRR, 0 NOS, 0 loop inits
```

# show interface sme

Cisco SME インターフェイスに関する情報を表示するには、**show interface sme** コマンドを使用します。

```
show interface sme slot/port {brief | counters | description}
```

## シンタックスの説明

<i>slot</i>	MPS-18/4 モジュールのスロット番号を特定します。
<i>port</i>	Cisco SME のポート番号を特定します。
<b>brief</b>	Cisco SME インターフェイスに関する要約情報を表示します。
<b>counters</b>	インターフェイス カウンタを表示します。
<b>description</b>	インターフェイスの説明を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
3.2(2)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、Cisco SME インターフェイスの簡単な説明を表示する例を示します。

```
switch# show interface sme 3/1 brief
```

```
-----
Interface          Status      Cluster
-----
sme3/1             up          c2
-----
```

次に、インターフェイスのカウンタを表示する例を示します。

```
switch# show interface sme 3/1 description
sme3/1
  5 minutes input rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0.00 KB/sec
  5 minutes output rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0.00 KB/sec
  SME statistics
    input 0 bytes, 5 second rate 0 bytes/sec, 0.00 KB/sec
      clear 0 bytes, encrypt 0 bytes, decrypt 0
      compress 0 bytes, decompress 0 bytes
    output 0 bytes, 5 second rate 0 bytes/sec, 0.00 KB/sec
      clear 0 bytes, encrypt 0 bytes, decrypt 0
      compress 0 bytes, decompress 0 bytes
      compression ratio 0:0
    flows 0 encrypt, 0 clear
    clear luns 0, encrypted luns 0
    errors
      0 CTH, 0 authentication
      0 key generation, 0 incorrect read
      0 incompressible, 0 bad target responses
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>interface sme</b>	スイッチで Cisco SME インターフェイスを設定します。

# show interface transceiver

トランシーバの SFP および X2 デジタル モニタリング情報を表示するには、**show interface transceiver details** コマンドを使用します。

```
show interface fc-id transceiver details
```

シンタックスの説明	<b>Interface <i>fc-id</i></b> ファイバチャネル インターフェイス ID を指定します。				
デフォルト	なし				
コマンド モード	EXEC モード				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.0</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	3.0	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
3.0	このコマンドが導入されました。				

**使用上のガイドライン**      このコマンドは、ベンダー、送受信を行うレーザーの種類、互換性のある光ファイバケーブル、サポートされる距離、ベンダーのファームウェアのバージョン、直前の挿入またはラインカード起動以降にユニットで発生した障害、および診断情報（ユニットによってサポートされる場合）などのトランシーバの属性を表示します。

**例**      次に、トランシーバの SFP デジタル モニタリング情報を表示する例を示します（DOM サポート対象外 SFP）。

```
switch#show interface fc4/1 transceiver details
fc4/1 sfp is present
  name is CISCO-FINISAR
  part number is FTRJ8519P1BNL-C1
  revision is A
  serial number is FNS0838B0CX
  fc-transmitter type is short wave laser w/o OFC (SN)
  fc-transmitter supports intermediate distance link length
  media type is multi-mode, 62.5m (M6)
  Supported speed is 200 MBytes/sec
  Nominal bit rate is 2100 MBits/sec
  Link length supported for 50/125mm fiber is 500 m(s)
  Link length supported for 62.5/125mm fiber is 300 m(s)
  cisco extended id is unknown (0x0)

no tx fault, rx loss, no sync exists, Diag mon type 136
Digital diagnostics feature not supported in SFP
```

次に、トランシーバの X2 デジタル モニタリング情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface fc1/1 transceiver details
fc1/1 sfp is present
  name is CISCO
  part number is FTLX8541E2-C1
  revision is C
  serial number is FNS11151B0V
  FC Transceiver Type is X2 Medium
  FC Connector Type is SC
  Bit Encoding is NRZ
  Protocol Type is 10GbE
  Standards Compliance Codes :
  10GbE Code Byte 0 : 10GBASE-SR
  Fiber type Byte 0 : MM-Generic
  Fiber type Byte 1 : Unspecified
  Transmission Range is 30 (in 10m increments)
  cisco extended id is Unknown (0x0)

  no tx fault, rx loss, no sync exists, Diag mon type 193
  SFP Detail Diagnostics Information
-----
                                Alarms                Warnings
                                High                  Low                High                Low
-----
Temperature  41.35 C            74.00 C            -4.00 C            70.00 C            0.00 C
Voltage       0.00 V            0.00 V            0.00 V            0.00 V            0.00 V
Current       8.10 mA           12.00 mA           4.00 mA           11.00 mA           5.00 mA
Tx Power      -2.58 dBm                   3.00 dBm          -11.30 dBm         -1.00 dBm          -7.30 dBm
Rx Power      -28.54 dBm --          3.00 dBm          -13.90 dBm         -1.00 dBm          -9.90 dBm
Transmit Fault Count = 7
-----
Note: ++ high-alarm; + high-warning; -- low-alarm; - low-warning
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
show interface	インターフェイスのステータスを表示します。

# show inventory

システム ハードウェア インベントリを表示するには、**show inventory** コマンドを使用します。

**show inventory**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドでは、製品 ID、シリアル番号、バージョン ID をはじめとしたスイッチの Field-Replaceable Unit (FRU) に関する情報が表示されます。

**例** 次に、システム インベントリ情報を表示する例を示します。

```
switch# show inventory
NAME: "Chassis", DESCR: "MDS 9506 chassis"
PID: DS-C9506 , VID: 0.1, SN: FOX0712S007

NAME: "Slot 1", DESCR: "2x1GE IPS, 14x1/2Gbps FC Module"
PID: DS-X9302-14K9 , VID: 0.301, SN: JAB083100JY

NAME: "Slot 5", DESCR: "Supervisor/Fabric-1"
PID: DS-X9530-SF1-K9 , VID: 0.0, SN: JAB0747080H

NAME: "Slot 6", DESCR: "Supervisor/Fabric-1"
PID: DS-X9530-SF1-K9 , VID: 4.0, SN: JAB074004VE

NAME: "Slot 17", DESCR: "MDS 9506 Power Supply"
PID: DS-CAC-1900W , VID: 1.0, SN: DCA0702601V

NAME: "Slot 18", DESCR: "MDS 9506 Power Supply"
PID: DS-CAC-1900W , VID: 1.0, SN: DCA0702601U

NAME: "Slot 19", DESCR: "MDS 9506 Fan Module"
PID: DS-6SLOT-FAN , VID: 0.1, SN: FOX0638S150
```

## show ip access-list

現在アクティブな IP Access Control List (IP-ACL;IP アクセス コントロール リスト) を表示するには、**show ip access-list** コマンドを使用します。

```
show ip access-list [list-number | usage]
```

シンタックスの説明	ip access-list	すべての IP-ACL の情報を表示します。
	<i>list-number</i>	IP ACL を指定します。有効範囲は 1 ~ 256 です。
	<i>usage</i>	インターフェイス タイプを指定します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、設定された IP-ACL を表示する例を示します。

```
switch# show ip access-list usage
Access List Name/Number      Filters IF   Status      Creation Time
-----
abc                          3          7    active     Tue Jun 24 17:51:40 2003
x1                           3          1    active     Tue Jun 24 18:32:25 2003
x3                           0          1    not-ready  Tue Jun 24 18:32:28 2003
```

次に、指定した IP-ACL の概要を表示する例を示します。

```
switch# show ip access-list abc
ip access-list abc permit tcp any any (0 matches)
ip access-list abc permit udp any any (0 matches)
ip access-list abc permit icmp any any (0 matches)
ip access-list abc permit ip 10.1.1.0 0.0.0.255 (2 matches)
ip access-list abc permit ip 10.3.70.0 0.0.0.255 (7 matches)
```

# show ip arp

システムの IP ネイバーを表示するには、**show ip route** コマンドを使用します。

```
show ip arp [interface {cpp module-number | gigabitethernet slot/port | mgmt | vsan vsan-id}]
```

シンタックスの説明	interface	指定したインターフェイスの IP ネイバーを表示します。
	cpp module-number	Control Plane Processor (CPP) 別に仮想化 IP over Fibre Channel (IPFC) インターフェイスを指定します。有効範囲は 1 ~ 6 です。
	gigabitethernet slot/port	スロットおよびポート番号別にギガビット イーサネット インターフェイスを指定します。有効範囲は 1 ~ 6 です。
	mgmt	管理インターフェイスを指定します。
	vsan vsan-id	VSAN ID 別に IPFC VSAN インターフェイスを指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、IP ネイバー情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip arp
IP Address      Age (min)  Link-layer Addr      Type  Interface
10.10.10.100    0          0006.d623.4008       ARPA  GigabitEthernet1/1
10.10.10.9      5          0002.b3d9.ba6f       ARPA  GigabitEthernet1/1
10.10.10.16     11         0004.23bd.677b       ARPA  GigabitEthernet1/1
172.22.31.1     67         0000.0c07.ac01       ARPA  mgmt0
172.22.31.2     0          000e.d68f.c3fc       ARPA  mgmt0
172.22.31.3     0          000e.d68f.43fc       ARPA  mgmt0
172.22.31.250  1067      00e0.8152.7f8d       ARPA  mgmt0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ip interface	IP インターフェイスのステータスおよび設定情報を表示します。
	show ip traffic	システムの IP プロトコル統計情報を表示します。

# show ip interface

IP インターフェイス ステータスおよび設定情報を表示するには、**show ip interface** コマンドを使用します。

```
show ip interface [cpp module-number | gigabitethernet slot/port | mgmt | port-channel number | vsan vsan-id]
```

シンタックスの説明	説明
<b>cpp module-number</b>	CPP 別に仮想化 IP over Fibre Channel (IPFC) インターフェイスを指定します。有効範囲は 1 ~ 6 です。
<b>gigabitethernet slot/port</b>	スロットおよびポート番号別にギガビット イーサネット インターフェイスを指定します。有効範囲は 1 ~ 6 です。
<b>mgmt</b>	管理インターフェイスを指定します。
<b>port-channel number</b>	ポートチャネルインターフェイスを指定します。有効範囲は 1 ~ 256 です。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN ID 別に IPFC VSAN インターフェイスを指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、IP インターフェイスのステータスおよび設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip interface
GigabitEthernet1/1 is up
  Internet address is 10.10.10.1/24
  Broadcast address is 255.255.255.255

GigabitEthernet1/2 is up
  Internet address is 10.10.60.1/24
  Broadcast address is 255.255.255.255

GigabitEthernet2/2 is up
  Internet address is 10.10.20.1/24
  Broadcast address is 255.255.255.255

mgmt0 is up
  Internet address is 172.22.31.110/24
  Broadcast address is 255.255.255.255
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show ip arp</b>	システムの IP ネイバーを表示します。
	<b>show ip traffic</b>	システムの IP プロトコル統計情報を表示します。

# show ip route

現在アクティブな IP ルートを表示するには、**show ip route** コマンドを使用します。

**show ip route [configured]**

シンタックスの説明	<b>configured</b>	設定された IP ルートを表示します。
デフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC モード	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	なし	

## 例

次に、アクティブ IP ルートを表示する例を示します。

```
switch# show ip route

Codes: C - connected, S - static

Default gateway is 172.22.95.1

C 10.0.0.0/24 is directly connected, vsan1
C 172.22.95.0/24 is directly connected, mgmt0
```

次に、設定された IP ルートを表示する例を示します。

```
switch# show ip route configured
      default      172.22.31.1          0.0.0.0          0          mgmt0
10.10.11.0        10.10.11.1          255.255.255.0    0 GigabitEthernet1/1
10.10.50.0        10.10.50.1          255.255.255.0    0 GigabitEthernet1/2.1
10.10.51.0        10.10.51.1          255.255.255.0    0 GigabitEthernet1/2.2
10.10.60.0        10.10.60.1          255.255.255.0    0 GigabitEthernet1/2
172.22.31.0       172.22.31.110       255.255.255.0    0          mgmt0
```

# show ip routing

IP ルーティング ステータスを表示するには、**show ip routing** コマンドを使用します。

**show ip routing**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、IP ルーティング ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show ip routing
ip routing is disabled
```

# show ip traffic

システムの IP プロトコル統計情報を表示するには、**show ip traffic** コマンドを使用します。

```
show ip traffic [interface gigabitethernet slot/port]
```

シンタックスの説明	interface	指定したインターフェイスの IP ネイバーを表示します。
	<b>gigabitethernet slot/port</b>	スロットおよびポート番号別にギガビットイーサネットインターフェイスを指定します。有効範囲は 1～6 です。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、ギガビットイーサネットインターフェイスの IP プロトコル統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip traffic interface gigabitethernet 2/2
IP Statistics for GigabitEthernet2/2
  Rcvd:  0 total, 0 local destination
         0 errors, 0 unknown protocol, 0 dropped
  Sent:  30 total, 0 forwarded 0 dropped
  Frags: 0 reassembled, 0 timeouts, 0 couldn't reassemble
         0 fragmented, 0 fragments created, 0 couldn't fragment

ICMP Statistics:
  Rcvd:  0 total, 0 errors, 0 unreachable, 0 time exceeded
         0 echo, 0 echo reply, 0 mask requests, 0 mask replies
         0 redirects, 0 timestamp requests, 0 timestamp replies
  Sent:  0 total, 0 errors, 0 unreachable, 0 time exceeded
         0 echo, 0 echo reply, 0 mask requests, 0 mask replies
         0 redirects, 0 timestamp requests, 0 timestamp replies
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show ip arp</b>	システムの IP ネイバーを表示します。
	<b>show ip interface</b>	IP インターフェイスのステータスおよび設定情報を表示します。

# show ips arp

IP ストレージ Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) キャッシュ情報を表示するには、**show ips arp** コマンドを使用します。

```
show ips arp interface gigabitethernet slot/port
```

シンタックスの説明	<b>interface gigabitethernet slot/port</b>	スロットおよびポートでギガビットイーサネットインターフェイスを指定します。
-----------	--	---------------------------------------

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	EXEC モード
---------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.1(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** ギガビットイーサネットインターフェイスの ARP キャッシュを表示するには、**show ips arp interface gigabitethernet** コマンドを使用します。このコマンドは、メインのイーサネットインターフェイスをパラメータとして取得し、そのインターフェイスの ARP キャッシュを返します。

**例** 次に、指定したインターフェイスの ARP キャッシュを表示する例を示します。

```
switch# show ips arp interface gigabitethernet 4/1
Protocol      Address      Age (min)   Hardware Addr  Type   Interface
Protocol      Address      Age (min)   Hardware Addr  Type   Interface
Internet      172.22.91.1  2           00:00:0c:07:ac:01  ARPA   GigabitEthernet4/4
Internet      172.22.91.2  0           00:02:7e:6b:a8:08  ARPA   GigabitEthernet4/4
Internet      172.22.91.17 0           00:e0:81:20:45:f5  ARPA   GigabitEthernet4/4
Internet      172.22.91.18 0           00:e0:81:05:f7:64  ARPA   GigabitEthernet4/4
Internet      172.22.91.30 0           00:e0:18:2e:9d:19  ARPA   GigabitEthernet4/4
...
```

# show ips ip route

IP ストレージルート テーブル情報を表示するには、**show ips ip route** コマンドを使用します。

```
show ips ip route interface gigabitethernet slot/port
```

シンタックスの説明	<b>interface gigabitethernet slot/port</b> スロットおよびポートでギガビット イーサネット インターフェイスを指定します。
-----------	--

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	EXEC モード
----------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	なし
------------	----

**例**    次に、ギガビット イーサネット インターフェイスの IP ルート テーブル情報を表示する例を示します。

```
switch# show ips ip route interface gigabitethernet 8/1
Codes: C - connected, S - static

No default gateway

C 10.1.3.0/24 is directly connected, GigabitEthernet8/1
```

# show ips ipv6

IPv6 ストレージルーティング テーブルを表示するには、**show ips ipv6** コマンドを使用します。

```
show ips ipv6 {neighbors interface gigabitethernet slot/port |
prefix-list interface gigabitethernet slot/port |
route interface gigabitethernet slot/port |
routers interface gigabitethernet slot/port |
traffic interface gigabitethernet slot/port}
```

## シンタックスの説明

<b>neighbors</b>	Ipv6 ネイバー テーブルを表示します。
<b>interface</b>	インターフェイスのステータスおよび設定情報を表示します。
<b>gigabitethernet</b>	ギガビットイーサネット インターフェイスを指定します。
<b>slot/port</b>	スロットおよびポート番号を指定します。
<b>prefix-list</b>	Ipv6 プレフィクス リスト テーブルを表示します。
<b>route</b>	Ipv6 ルート テーブルを表示します。
<b>routers</b>	Ipv6 ルータ テーブルを表示します。
<b>traffic</b>	Ipv6 トラフィック テーブルを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
3.1(0)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show ips ipv6** コマンドを使用して IPv6 ルーティングに関する情報を表示することができます。

## 例

次に、IPv6 ネイバー情報を表示する例を示します。

```
switch# show ips ipv6 neighbours interface gigabitethernet 1/1
IPv6 Address                               Age (min)  Link-layer Addr  State  Inter
face
fe80::206:d6ff:fe23:4008                    0          0006.d623.4008   S
GigabitEthernet1/1
```

次に、IPv6 プレフィクス リスト情報を表示する例を示します。

```
switch# show ips ipv6 prefix-list interface gigabitethernet 1/1
Prefix                               Prefix-len  Addr
Valid Preferred
2000::                               64         2000::205:30ff:fe01:a6be
      1000    1000
```

次に、IPv6 ルーティング テーブルを表示する例を示します。

```
switch# show ips ipv6 route interface gigabitethernet 4/2

IPv6 Routing Table - 4 entries
Codes: C - Connected, L - Local, S - Static, G - Gateway, M - Multicast
C 3000:8::/64 is directly connected, GigabitEthernet4/2.250
C 3000:7::/64 is directly connected, GigabitEthernet4/2
C fe80::/64 is directly connected, GigabitEthernet4/2
C fe80::/64 is directly connected, GigabitEthernet4/2.250
M ff02::/32 is multicast, GigabitEthernet4/2
M ff02::/32 is multicast, GigabitEthernet4/2.250
```

次に、IPv6 ルータ情報を表示する例を示します。

```
switch# show ips ipv6 routers interface gigabitethernet 1/1
Addr                               Lifetime   Expire
fe80::206:d6ff:fe23:4008           3600      3600
```

次に、IPv6 トラフィック統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ips ipv6 traffic interface gigabitethernet 4/2
IPv6 statistics:
  Rcvd: 0 total
        0 bad header, 0 unknown option, 0 unknown protocol
        0 fragments, 0 total reassembled
        0 reassembly timeouts, 0 reassembly failures
  Sent: 20 generated
        0 fragmented into 0 fragments, 0 failed
        2 no route
ICMP statistics:
  Rcvd: 0 input, 0 checksum errors, 0 too short
        0 unknown info type, 0 unknown error type
  unreachable: 0 routing, 0 admin, 0 neighbor, 0 address, 0 port
  parameter: 0 error, 0 header, 0 option
        0 hopcount expired, 0 reassembly timeout, 0 too big
        0 echo request, 0 echo reply
        0 group query, 0 group report, 0 group reduce
        0 router solicit, 0 router advert, 0 redirects
        0 neighbor solicit, 0 neighbor advert
  Sent: 20 output, 0 rate-limited
  unreachable: 0 routing, 0 admin, 0 neighbor, 0 address, 0 port
  parameter: 0 error, 0 header, 0 option
        0 hopcount expired, 0 reassembly timeout, 0 too big
        0 echo request, 0 echo reply
        0 group query, 6 group report, 0 group reduce
        2 router solicit, 0 router advert, 0 redirects
        0 neighbor solicit, 12 neighbor advert
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
ipv6 enable	IPv6 処理をイネーブルにします。
show ipv6 route	システムに設定された IPv6 ルートを表示します。

# show ips netsim

現在動作中の IP ネットワーク シミュレータ インターフェイスのステータスの要約を表示するには、**show ips netsim** コマンドを使用します。

**show ips netsim**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.1(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、ネットワーク シミュレーション モードで動作する IP ネットワーク シミュレータ インターフェイスの例を示します。

```
switch# show ips netsim
Following ports operate in network simulator mode
GigabitEthernet2/3 and GigabitEthernet2/4
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>ips netsim enable</b>	ネットワーク シミュレーション モードで動作するために 2 つのギガビット イーサネット インターフェイスをイネーブルにします。

# show ips stats

IP ストレージ統計情報を表示するには、**show ips stats** コマンドを使用します。

```
show ips stats {buffer | dma-bridge | icmp | ip | mac} interface gigabitethernet slot/port
```

```
show ips stats {hw-comp | tcp} {all | interface gigabitethernet slot/port}
```

シンタックスの説明		
<b>buffer</b>		IP ストレージバッファ情報を表示します。
<b>dma-bridge</b>		Direct Memory Access (DMA; ダイレクト メモリ アクセス) 統計を表示します。
<b>icmp</b>		Internet Control Message Protocol (ICMP) 統計を表示します。
<b>ip</b>		IP 統計を表示します。
<b>mac</b>		MAC (メディア アクセス制御) 統計を表示します。
<b>hw-comp</b>		ハードウェアの圧縮統計を表示します。
<b>tcp</b>		TCP 統計情報を表示します。
<b>all</b>		すべてのインターフェイスの統計情報を表示します。
<b>interface gigabitethernet slot/port</b>		スロットおよびポートでギガビット イーサネット インターフェイスを指定します。

デフォルト なし

コマンド モード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.1(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** 選択したインターフェイスの ICMP 統計を取得するには、**show ips stats icmp interface gigabitethernet** コマンドを使用します。

選択したインターフェイスの IP 統計を取得するには、**show ips stats ip interface gigabitethernet 2/1** コマンドを使用します。

選択したインターフェイスのイーサネット統計を取得するには、**show ips stats mac interface gigabitethernet** コマンドを使用します。

接続リストおよび TCP ステートや選択したインターフェイスを含む TCP 統計を取得するには、**show ips stats tcp interface gigabitethernet** コマンドを使用します。

## 例

次に、iSCSI バッファ統計を表示する例を示します。

```
switch# show ips stats buffer interface gigabitethernet 1/2
Buffer Statistics for port GigabitEthernet1/2
Mbuf stats
 164248 total mbufs, 82119 free mbufs, 0 mbuf alloc failures
 123186 mbuf high watermark, 20531 mbuf low watermark
 0 free shared mbufs, 0 shared mbuf alloc failures
 82124 total clusters, 77005 free clusters, 0 cluster alloc failures
 86230 mbuf high watermark, 78017 mbuf low watermark
 0 free shared clusters, 0 shared cluster alloc failures
Ether channel stats
 0 tcp segments sent, 0 tcp segments received
 0 xmit packets sent, 0 xmit packets received
 0 config packets sent, 0 config packets received
 0 MPQ packet send errors
```

次に、ICMP 統計を表示する例を示します。

```
switch# show ips stats icmp interface gigabitethernet 8/1
ICMP Statistics for port GigabitEthernet8/1
 2 ICMP messages received
 0 ICMP messages dropped due to errors
ICMP input histogram
 2 echo request
ICMP output histogram
 2 echo reply
```

次に、IP 統計を表示する例を示します。

```
switch# show ips stats ip interface gigabitethernet 8/1
Internet Protocol Statistics for port GigabitEthernet8/1
 22511807 total received, 22509468 good, 2459 error
 0 reassembly required, 0 reassembled ok, 0 dropped after timeout
 27935633 packets sent, 0 outgoing dropped, 0 dropped no route
 0 fragments created, 0 cannot fragment
```

次に、MAC 統計を表示する例を示します。

```
switch# show ips stats mac interface gigabitethernet 8/1
Ethernet MAC statistics for port GigabitEthernet8/1
Hardware Transmit Counters
 28335543 frame 37251751286 bytes
 0 collisions, 0 late collisions, 0 excess collisions
 0 bad frames, 0 FCS error, 0 abort, 0 runt, 0 oversize
Hardware Receive Counters
 18992406778 bytes, 22835370 frames, 0 multicasts, 2584 broadcasts
 0 bad, 0 runt, 0 CRC error, 0 length error
 0 code error, 0 align error, 0 oversize error
Software Counters
 22835370 received frames, 28335543 transmit frames
 0 frames soft queued, 0 current queue, 0 max queue
 0 dropped, 0 low memory
```

次に、TCP 統計を表示する例を示します。

```
switch# show ips stats tcp interface gigabitethernet 8/1
TCP Statistics for port GigabitEthernet8/1
  Connection Stats
    0 active openings, 0 accepts
    0 failed attempts, 0 reset received, 0 established
  Segment stats
    23657893 received, 29361174 sent, 0 retransmitted
    0 bad segments received, 0 reset sent

TCP Active Connections
  Local Address      Remote Address      State      Send-Q  Recv-Q
  10.1.3.3:3260      10.1.3.106:51935   ESTABLISH  0        0
  10.1.3.3:3260      10.1.3.106:51936   ESTABLISH  0        0
  10.1.3.3:3260      10.1.3.106:51937   ESTABLISH  0        0
  10.1.3.3:3260      10.1.3.106:51938   ESTABLISH  0        0
  10.1.3.3:3260      10.1.3.106:51939   ESTABLISH  0        0
  10.1.3.3:3260      10.1.3.106:51940   ESTABLISH  0        0
  10.1.3.3:3260      10.1.3.106:51941   ESTABLISH  0        0
  10.1.3.3:3260      10.1.3.106:51942   ESTABLISH  0        0
  10.1.3.3:3260      10.1.3.106:51943   ESTABLISH  0        0
  10.1.3.3:3260      10.1.3.106:51944   ESTABLISH  0        0
  10.1.3.3:3260      10.1.3.115:1026    ESTABLISH  0        0
  10.1.3.3:3260      10.1.3.115:1027    ESTABLISH  0        0
  10.1.3.3:3260      10.1.3.115:1028    ESTABLISH  0        0
  10.1.3.3:3260      10.1.3.115:1029    ESTABLISH  0        0
  10.1.3.3:3260      10.1.3.115:1030    ESTABLISH  48       0
  10.1.3.3:3260      10.1.3.115:1031    ESTABLISH  48       0
  10.1.3.3:3260      10.1.3.115:1032    ESTABLISH  0        0
  10.1.3.3:3260      10.1.3.115:1033    ESTABLISH  0        0
  10.1.3.3:3260      10.1.3.115:1034    ESTABLISH  0        0
  0.0.0.0:3260       0.0.0.0:0          LISTEN     0        0
```

## show ips stats fabric interface

Cisco MDS 9000 18/4 ポート マルチ サービス モジュール IPS ラインカード上の指定 iSCSI や Fibre Channel over IP (FCIP) インターフェイスのファブリック関連統計情報を表示するには、**show ips stats fabric interface** コマンドを使用します。

```
show ips stats fabric interface [iscsi slot/port | fcip N]
```

<b>シンタックスの説明</b>	<b>iscsi slot/port</b>	(任意) iSCSI インターフェイスの Data Path Processor (DPP) ファブリック統計情報を表示します。
	<b>fcip N</b>	(任意) Fibre Channel over IP (FCIP) インターフェイスの DPP ファブリック統計情報を表示します。
<b>デフォルト</b>	なし	
<b>コマンドモード</b>	EXEC モード	
<b>コマンド履歴</b>	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	3.2(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドは、DPP 固有のフロー制御上の情報も表示します。

**例** 次に、指定したインターフェイス上にある iSCSI の統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ips stats fabric interface iscsi1/1
DPP Fabric Statistics for iscsi1/1
  Hardware Egress Counters
    0 Good, 0 bad protocol, 0 bad header cksum, 0 bad FC CRC
  Hardware Ingress Counters
    0 Good, 0 protocol error, 0 header checksum error
    0 FC CRC error, 0 iSCSI CRC error, 0 parity error
  Software Egress Counters
    0 good frames, 0 bad header cksum, 0 bad FIFO SOP
    0 parity error, 0 FC CRC error, 0 timestamp expired error
    0 unregistered port index, 0 unknown internal type
    0 RDL ok, 0 RDL drop (too big), 0 RDL ttl_1
    0 idle poll count, 146 loopback
    0 FCC PQ, 0 FCC EQ, 0 FCC generated
  Flow Control: 0 [0], 0 [1], 0 [2], 0 [3]
  Software Ingress Counters
    0 Good frames, 0 header cksum error, 0 FC CRC error
    0 iSCSI CRC error, 0 descriptor SOP error, 0 parity error
    0 frames soft queued, 0 current Q, 0 max Q, 0 low memory
    0 out of memory drop, 0 queue full drop
    0 RDL ok, 0 RDL drop (too big)
```

次に、指定したインターフェイス上にある FCIP の統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ips stats fabric fcip iscsi 1
DPP Fabric Statistics for fcip1
Hardware Egress Counters
  0 Good, 0 bad protocol, 0 bad header cksum, 0 bad FC CRC
Hardware Ingress Counters
  0 Good, 0 protocol error, 0 header checksum error
  0 FC CRC error, 0 iSCSI CRC error, 0 parity error
Software Egress Counters
  0 good frames, 0 bad header cksum, 0 bad FIFO SOP
  0 parity error, 0 FC CRC error, 0 timestamp expired error
  0 unregistered port index, 0 unknown internal type
  0 RDL ok, 0 RDL drop (too big), 0 RDL ttl_1
  0 idle poll count, 0 loopback
  0 FCC PQ, 0 FCC EQ, 0 FCC generated
  Flow Control: 0 [0], 0 [1], 0 [2], 0 [3]
Software Ingress Counters
  0 Good frames, 0 header cksum error, 0 FC CRC error
  0 iSCSI CRC error, 0 descriptor SOP error, 0 parity error
  0 frames soft queued, 0 current Q, 0 max Q, 0 low memory
  0 out of memory drop, 0 queue full drop
  0 RDL ok, 0 RDL drop (too big)
  Flow Control: 0 [0], 0 [1], 0 [2], 0 [3]
  Flow Control: 0 [0], 0 [1], 0 [2], 0 [3]
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear ips stats fabric interface</code>	Cisco MDS 9000 18/4 ポート マルチ サービス モジュール IPS ラインカード上の指定 iSCSI や FCIP インターフェイスの統計情報をクリアします。

# show ips stats netsim

IP ネットワーク シミュレータ インターフェイス統計情報を表示するには、**show ips stats netsim** コマンドを使用します。

```
show ips stats netsim ingress gigabitethernet slot/port
```

シンタックスの説明	ingress	入力方向を指定します。
	<b>gigabitethernet slot/port</b>	ギガビット イーサネット インターフェイスのスロットおよびポート番号を指定します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.1(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** デフォルトで表示されるパラメータは、遅延、帯域幅、キューサイズ、およびキュー遅延です。表示されるネットワーク統計情報は、廃棄されるパケット数、キューサイズ、リオーダーされたパケット数、および平均速度です。

**例** 次に、インターフェイス 2/3 の IP ネットワーク シミュレータ統計情報の例を示します。

```
switch# show ips stats netsim ingress gigabitethernet 2/3
Network Simulator Configuration for Ingress on GigabitEthernet2/3
Delay : 50000 microseconds
Rate : 1000000 kbps
Max_q : 100000 bytes
Max_qdelay : 600000 clocks
Random Drop % : 1.00%
Network Simulator Statistics for Ingress on GigabitEthernet2/3
Dropped (tot) = 28
Dropped (netsim) = 14
Reordered (netsim) = 0
Max Qlen(pkt) = 7
Qlen (pkt) = 0
Max Qlen (byte) = 326
Qlen (byte) = 0
Mintxdel(poll) = 852
Mintxdel(ethtx) = 360
empty = 757
txdel = 8
late = 617
Average speed = 0 Kbps
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>ips netsim enable</b>	ネットワーク シミュレーション モードで動作するために 2 つのギガビット イーサネット インターフェイスをイネーブルにします。

# show ips status

IP ストレージ ステータスを表示するには、**show ips status** コマンドを使用します。

```
show ips status [module slot]
```

シンタックスの説明	<b>module slot</b>	指定したスロットにあるモジュールを識別します。
デフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC モード	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.1(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	なし	

**例** 次に、スイッチ上のすべてのモジュールの IP ストレージ ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show ips status
Port 8/1 READY
Port 8/2 READY
Port 8/3 READY
Port 8/4 READY
Port 8/5 READY
Port 8/6 READY
Port 8/7 READY
Port 8/8 READY
```

次に、スロット 9 にあるモジュールの IP ストレージ ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show ips status module 9
Port 9/1 READY
Port 9/2 READY
Port 9/3 READY
Port 9/4 READY
Port 9/5 READY
Port 9/6 READY
Port 9/7 READY
Port 9/8 READY
```

# show ipv6 access-list

IPv6 Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) の要約を表示するには、**show ipv6 access-list** コマンドを使用します。

```
show ipv6 access-list [list-name]
```

シンタックスの説明	<i>list-name</i> ACL 名を指定します。最大文字サイズは 64 です。
-----------	--

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	EXEC モード
----------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.1(0)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	なし
------------	----

例            次に、IPv6 ACL を表示する例を示します。

```
switch# show ipv6 access-list
Access List Name/Number            Filters IF    Status        Creation Time
-----
abc                                 3        7    active        Tue Jun 24 17:51:40 2003
x1                                  3        1    active        Tue Jun 24 18:32:25 2003
x3                                  0        1    not-ready    Tue Jun 24 18:32:28 2003
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>ipv6 access-list</b>	IPv6 ACL を設定します。

# show ipv6 interface

IPv6 インターフェイス ステータスおよび設定情報を表示するには、**show ipv6 interface** コマンドを使用します。

```
show ipv6 interface [gigabitethernet slot/port | mgmt 0 | port-channel port-channel-number | vsan vsan-id]
```

## シンタックスの説明

<b>gigabitethernet slot/port</b>	ギガビットイーサネットインターフェイスを指定します。
<b>mgmt 0</b>	管理インターフェイスを表示します。
<b>port-channel</b>	ポートチャネルインターフェイスを表示します。
<i>port-channel-number</i>	ポートチャネル番号を指定します。有効範囲は1～128です。
<b>vsan</b>	Fibre Channel over IP (FCIP) VSAN (仮想 SAN) インターフェイスを表示します。
<i>vsan-id</i>	VSAN (仮想 SAN) ID を指定します。有効範囲は1～4093です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
3.1(0)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、IPv6 インターフェイス情報を表示する例を示します。

```
switch# show ipv6 interface
GigabitEthernet1/2 is up
  IPv6 is enabled
  Global address(es):
    5000::1/64
  Link-local address(es):
    fe80::205:30ff:fe01:a6bf
  ND DAD is disabled
  ND reachable time is 30000 milliseconds
  ND retransmission time is 1000 milliseconds
  Stateless autoconfig for addresses disabled

GigabitEthernet2/2 is up
  IPv6 is enabled
  Global address(es):
    6000::1/64
  Link-local address(es):
    fe80::205:30ff:fe00:a413
  ND DAD is disabled
  ND reachable time is 30000 milliseconds
  ND retransmission time is 1000 milliseconds
  Stateless autoconfig for addresses disabled
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ipv6 address	I P v6 アドレスを設定します。
	ipv6 nd	I P v6 近隣探索コマンドを設定します。
	ipv6 route	I P v6 スタティック ルートを設定します。
	show ipv6 neighbors	システムの IPv6 ネイバーに関する情報を表示します。
	show ipv6 route	システムに設定された IP v 6 ルートを表示します。

## show ipv6 neighbours

IPv6 ネイバー コンフィギュレーション情報を表示するには、**show ipv6 neighbours** コマンドを使用します。

```
show ipv6 neighbours [interface {gigabitethernet slot/port | mgmt 0 | vsan vsan-id}]
```

シンタックスの説明	interface	説明
	<b>gigabitethernet slot/port</b>	ギガビット イーサネット インターフェイスのスロットおよびポート番号を表示します。
	<b>mgmt 0</b>	管理インターフェイスを表示します。
	<b>vsan vsan-id</b>	IPFC VSAN インターフェイスを表示して、VSAN ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.1(0)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、IP v 6 近接探索に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ipv6 neighbours gigabitethernet 2/1

IPv6 Address                               Age Link-layer Addr State Interface
2001:0DB8:0:4::2                           0 0003.a0d6.141e REACH Ethernet2
FE80::XXXX:A0FF:FED6:141E                   0 0003.a0d6.141e REACH Ethernet2
2001:0DB8:1::45a                            - 0002.7d1a.9472 REACH Ethernet2
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ipv6 nd	I P v6 近隣探索コマンドを設定します。

# show ipv6 route

システムに設定されている IPv6 ルートを表示するには、**show ipv6 route** コマンドを使用します。

**show ipv6 route**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.1(0)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、IPv6 ルートに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ipv6 route
IPv6 Routing Table
Codes: C - Connected, L - Local, S - Static G - Gateway
C    5000::/64
      via fe80::205:30ff:fe01:a6bf, GigabitEthernet1/2
C    6000::/64
      via fe80::205:30ff:fe00:a413, GigabitEthernet2/2
L    fe80::/10
      via ::
L    ff00::/8
      via ::
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ipv6 route	IPv6 ルートを設定します。

# show ipv6 routing

IPv6 ユニキャストルーティング情報を表示するには、**show ipv6 routing** コマンドを使用します。

**show ipv6 routing**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.1(0)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例**  
switch# **show ipv6 routing**  
ipv6 routing is enabled

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>ipv6 routing</b>	IPv6 ユニキャストルーティングをイネーブルにします。

# show ipv6 traffic

システムの IPv6 プロトコル統計情報を表示するには、**show ip v 6 traffic** コマンドを使用します。

**show ipv6 traffic** [**interface** {**gigabitethernet** *slot/port* | **mgmt** 0 | **port-channel** *number* | **vsan** *vsan-id*}]

シンタックスの説明	interface	IP インターフェイスのステータスおよび設定情報を表示します。
	<b>gigabitethernet</b> <i>slot/port</i>	ギガビットイーサネットインターフェイスのスロットおよびポート番号を表示します。
	<b>mgmt</b> 0	管理インターフェイスを表示します。
	<b>port-channel</b> <i>number</i>	ポートチャンネルインターフェイスを表示します。有効範囲は 1 ~ 256 です。
	<b>vsan</b> <i>vsan-id</i>	IP over Fibre Channel (IPFC) VSAN (仮想 SAN) インターフェイスを表示して、VSAN ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.1(0)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、システム上の Ipv6 プロトコル統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ipv6 traffic
IPv6 Statistics:
  Rcvd:  1 total, 0 local destination
         0 errors, 0 truncated, 0 too big
         0 unknown protocol, 0 dropped
         0 fragments, 0 reassembled
         0 couldn't reassemble, 0 reassembly timeouts
  Sent:  0 generated, 0 forwarded 0 dropped
         0 fragmented, 0 fragments created, 0 couldn't fragment

ICMPv6 Statistics:
  Rcvd:  0 total, 0 errors, 0 unreachable, 0 time exceeded
         0 too big, 0 param probs, 0 admin prohibits
         0 echos, 0 echo reply, 0 redirects
         0 group query, 0 group report, 0 group reduce
         0 router solicit, 0 router advert
         0 neighbor solicit, 0 neighbor advert
  Sent:  74 total, 0 errors, 0 unreachable, 0 time exceeded
         0 too big, 0 param probs, 0 admin prohibits
         0 echos, 0 echo reply, 0 redirects
         0 group query, 53 group report, 0 group reduce
         0 router solicit, 0 router advert
         0 neighbor solicit, 21 neighbor advert
```

次に、ギガビットイーサネットインターフェイス 2/2 の IPv6 トラフィックを表示する例を示します。

```
switch# show ipv6 traffic interface gigabitethernet 2/2
IPv6 Statistics for GigabitEthernet2/2
  Rcvd: 10 total, 0 local destination
        0 errors, 0 truncated, 0 too big
        0 unknown protocol, 0 dropped
        0 fragments, 0 reassembled
        0 couldn't reassemble, 0 reassembly timeouts
  Sent: 54 generated, 0 forwarded 0 dropped
        0 fragmented, 0 fragments created, 0 couldn't fragment

ICMPv6 Statistics for GigabitEthernet2/2
  Rcvd: 4 total, 0 errors, 0 unreachable, 0 time exceeded
        0 too big, 0 param probs, 0 admin prohibits
        0 echos, 0 echo reply, 0 redirects
        0 group query, 2 group report, 0 group reduce
        0 router solicit, 0 router advert
        0 neighbor solicit, 2 neighbor advert
  Sent: 21 total, 0 errors, 0 unreachable, 0 time exceeded
        0 too big, 0 param probs, 0 admin prohibits
        0 echos, 0 echo reply, 0 redirects
        0 group query, 6 group report, 3 group reduce
        2 router solicit, 0 router advert
        2 neighbor solicit, 8 neighbor advert
```

# show isapi dpp

特定の Data Path Processor (DPP) の ITL のリストを取得するには、**show isapi dpp** コマンドを使用します。

```
show isapi dpp dpp-number
```

シンタックスの説明	<i>dpp-number</i>	スロットとともに DPP 番号を指定します。
-----------	-------------------	------------------------

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	EXEC モード
---------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	なし
------------	----

例 次に、DPP 番号 7 の isapi 情報を表示する例を示します。

```
module-3# show isapi dpp 7 queue
I_T 0x837c9140 [vsan 42 host 0x8d0005 vt 8d0014/92:81:00:00:08:50:ca:d4]: 0 tasks, mtu
2048, seqid 99, abts 0 BSY

Q 837cc380: LUN 3, status 0x22, R/W access 0x0/0x0, 0 tasks, 0 busy/TSF, 0 ho
Tasks:

Q 837cbd80: LUN 2, status 0x22, R/W access 0x0/0x0, 0 tasks, 0 busy/TSF, 0 ho
Tasks:

Q 837cb100: LUN 1, status 0x22, R/W access 0x0/0x0, 0 tasks, 0 busy/TSF, 0 ho
Tasks:

Q 837cb080: LUN 0, status 0x22, R/W access 0x0/0x0, 0 tasks, 0 busy/TSF, 0 ho
Tasks:
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show isapi dpp all queue</b>	SMM 上の全ての DPP の ITL を表示します。

# show iscsi global

グローバル iSCSI 設定情報を表示するには、**show iscsi global** コマンドを使用します。

**show iscsi global**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.1(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、設定されているすべての iSCSI イニシエータを表示する例を示します。

```
switch# show iscsi global
iSCSI Global information
Authentication: CHAP, NONE
Import FC Target:Enabled
Initiator idle timeout:300 seconds
Dynamic Initiator: iSLB
Number of target node: 1
Number of portals: 2
Number of session: 0
Failed session: 0, Last failed initiator name:
```

## show iscsi initiator

スイッチに対してリモートであるすべての iSCSI ノードに関する情報を表示するには、**show iscsi initiator** コマンドを使用します。

```
show iscsi initiator [configured [initiator-name] | detail | fcp-session [detail] | iscsi-session [detail] |
summary [name]]
```

### シンタックスの説明

<b>configured</b>	iSCSI イニシエータの設定情報を表示します。
<i>initiator-name</i>	イニシエータ名を指定します。
<b>detail</b>	詳細な iSCSI イニシエータ情報を表示します。
<b>fcp-session</b>	ファイバチャネルセッションの詳細を表示します。
<b>iscsi-session</b>	iSCSI セッションの詳細を表示します。
<b>summary</b>	概要情報を表示します。
<b>name</b>	イニシエータ名の情報を表示します。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
1.1(1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

パラメータを設定しない場合、コマンドはすべてのアクティブな iSCSI イニシエータを一覧表示します。iSCSI ノード名を設定すると、その iSCSI イニシエータの詳細を一覧表示します。

## 例

次に、すべての iSCSI イニシエータを表示する例を示します。

```
switch# show iscsi initiator
iSCSI Node name is iqn.1987-05.com.cisco.01.15cee6e7925087abc82ed96377653c8
  iSCSI alias name: iscsi7-lnx
  Node WWN is 23:10:00:05:30:00:7e:a0 (dynamic)
  Member of vsans: 1
  Number of Virtual n_ports: 1
  Virtual Port WWN is 23:12:00:05:30:00:7e:a0 (dynamic)
  Interface iSCSI 8/3, Portal group tag: 0x382
  VSAN ID 1, FCID 0xdc0100

iSCSI Node name is iqn.1987-05.com.cisco.02.91b0ee2e8aa1.iscsi16-w2k
  iSCSI alias name: ISCSI16-W2K
  Node WWN is 23:1f:00:05:30:00:7e:a0 (dynamic)
  Member of vsans: 1
  Number of Virtual n_ports: 1
  Virtual Port WWN is 23:28:00:05:30:00:7e:a0 (dynamic)
  Interface iSCSI 8/3, Portal group tag: 0x382
  VSAN ID 1, FCID 0xdc0101

iSCSI Node name is iqn.1987-05.com.cisco.01.b6ca466f8b4d8e848ab17e92f24bf9cc
  iSCSI alias name: iscsi6-lnx
  Node WWN is 23:29:00:05:30:00:7e:a0 (dynamic)
  Member of vsans: 1, 2, 3, 4
  Number of Virtual n_ports: 1
  Virtual Port WWN is 23:2a:00:05:30:00:7e:a0 (dynamic)
  Interface iSCSI 8/3, Portal group tag: 0x382
  VSAN ID 4, FCID 0xee0000
  VSAN ID 3, FCID 0xee0100
  VSAN ID 2, FCID 0xee0000
  VSAN ID 1, FCID 0xdc0102
...
```

次に、すべての iSCSI イニシエータの詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show iscsi initiator detail
iSCSI Node name is iqn.1987-05.com.cisco.01.15cee6e7925087abc82ed96377653c8
  iSCSI alias name: iscsi7-lnx
  Node WWN is 23:10:00:05:30:00:7e:a0 (dynamic)
  Member of vsans: 1
  Number of Virtual n_ports: 1

  Virtual Port WWN is 23:10:00:05:30:00:7e:a0 (dynamic)
  Interface iSCSI 8/3, Portal group tag is 0x382
  VSAN ID 1, FCID 0xdc0100
  No. of FC sessions: 3
  No. of iSCSI sessions: 2

  iSCSI session details

  Target node: iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.22000020374b5247
  Statistics:
    PDU: Command: 0, Response: 0
    Bytes: TX: 0, RX: 0
    Number of connection: 1
  TCP parameters
    Connection Local 10.1.3.3:3260, Remote 10.1.3.107:34112
    Path MTU 1500 bytes
    Current retransmission timeout is 300 ms
    Round trip time: Smoothed 2 ms, Variance: 1
    Advertised window: Current: 6 KB, Maximum: 6 KB, Scale: 3
    Peer receive window: Current: 250 KB, Maximum: 250 KB, Scale: 2
    Congestion window: Current: 8 KB

  Target node: iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.22000020374b5247
  Statistics:
    PDU: Command: 0, Response: 0
    Bytes: TX: 0, RX: 0
    Number of connection: 1
  TCP parameters
    Connection Local 10.1.3.3:3260, Remote 10.1.3.107:34112
    Path MTU 1500 bytes
    Current retransmission timeout is 300 ms
    Round trip time: Smoothed 2 ms, Variance: 1
    Advertised window: Current: 6 KB, Maximum: 6 KB, Scale: 3
    Peer receive window: Current: 250 KB, Maximum: 250 KB, Scale: 2
    Congestion window: Current: 8 KB

  ...
```

# show iscsi session

iSCSI セッション情報を表示するには、**show iscsi session** コマンドを使用します。

**show iscsi session** [**incoming**] [**initiator name**] [**outgoing**] [**target name**] [**detail**]

## シンタックスの説明

<b>detail</b>	詳細な iSCSI セッション情報を表示します。
<b>incoming</b>	着信 iSCSI セッションを表示します。
<b>initiator name</b>	特定の iSCSI イニシエータ セッション情報を表示します。1 最大 80 文字まで可能です。
<b>outgoing</b>	発信 iSCSI セッションを表示します。
<b>target name</b>	特定の iSCSI ターゲット セッション情報を表示します。1 最大 80 文字まで可能です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

すべてのパラメータは **show iscsi session** コマンドでオプションです。パラメータを設定しない場合、コマンドはすべてのアクティブな iSCSI イニシエータまたはターゲット セッションを一覧表示します。IP アドレスや iSCSI ノード名を設定すると、そのイニシエータまたはターゲットのすべてのセッションに関する詳細を一覧表示します。

## 例

次に、iSCSI セッション情報を表示する例を示します。

```
switch# show iscsi session
Initiator iqn.1987-05.com.cisco.01.15cee6e7925087abc82ed96377653c8
  Session #1
    Target iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.22000020374b5247
    VSAN 1, ISID 000000000000, Status active, no reservation

  Session #2
    Target iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.220000203738e77d
    VSAN 1, ISID 000000000000, Status active, no reservation

Initiator iqn.1987-05.com.cisco:02.91b0ee2e8aa1.iscsi16-w2k
  Session #1
    Discovery session, ISID 00023d00022f, Status active

  Session #2
    Target iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.2200002037388bc2
    VSAN 1, ISID 00023d000230, Status active, no reservation
...
```

次に、指定した iSCSI ターゲットを表示する例を示します。

```
switch# show iscsi session target
iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.220000203738e77d
Initiator iqn.1987-05.com.cisco.01.15cee6e7925087abc82ed96377653c8
  Session #1
    Target iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.220000203738e77d
      VSAN 1, ISID 000000000000, Status active, no reservation
```



(注)

IPS モジュールでは、**show zone active vsan vsan-id** コマンドを使用してログインしている場合に、どの iSCSI イニシエータ IQN がどの pWWN に割り当てられているかを検証できます。

```
switch# zone name iscsi_16_A vsan 16
* fcid 0x7700d4 [pwwn 21:00:00:20:37:c5:2d:6d]
* fcid 0x7700d5 [pwwn 21:00:00:20:37:c5:2e:2e]
* fcid 0x770100 [symbolic-nodename iqn.1987-05.com.cisco.02.
BC3FEEFC431B199F81F33E97E2809C14.NUYEAR]
```

次に、指定した iSCSI イニシエータを表示する例を示します。

```
switch# show iscsi session initiator
iqn.1987-05.com.cisco:02.91b0ee2e8aa1.iscsi16-w2k
Initiator iqn.1987-05.com.cisco:02.91b0ee2e8aa1.iscsi16-w2k
  Session #1
    Discovery session, ISID 00023d00022f, Status active

  Session #2
    Target iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.2200002037388bc2
      VSAN 1, ISID 00023d000230, Status active, no reservation

  Session #3
    Target iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.210000203739ad7f
      VSAN 1, ISID 00023d000235, Status active, no reservation

  Session #4
    Target iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.210000203739aa3a
      VSAN 1, ISID 00023d000236, Status active, no reservation

  Session #5
    Target iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.210000203739ada7
      VSAN 1, ISID 00023d000237, Status active, no reservation

  Session #6
    Target iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.2200002037381ccb
      VSAN 1, ISID 00023d000370, Status active, no reservation

  Session #7
    Target iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.2200002037388b54
      VSAN 1, ISID 00023d000371, Status active, no reservation

  Session #8
    Target iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.220000203738a194
      VSAN 1, ISID 00023d000372, Status active, no reservation

  Session #9
    Target iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.2200002037360053
      VSAN 1, ISID 00023d000373, Status active, no reservation
```

# show iscsi stats

iSCSI 統計情報を表示するには、**show iscsi stats** コマンドを使用します。

```
show iscsi stats [iscsi slot/port] [clear | detail]
```

シNTAXの説明	iscsi slot/port	指定した iSCSI インターフェイスの統計情報を表示します。
	clear	セッションまたはインターフェイスの iSCSI 統計情報を消去します。
	detail	セッションまたはインターフェイスの詳細な iSCSI 統計情報を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

**例**

```
The following command displays brief iSCSI statistics.
switch# show iscsi stats
iscsi8/1
 5 minutes input rate 23334800 bits/sec, 2916850 bytes/sec, 2841 frames/sec
 5 minutes output rate 45318424 bits/sec, 5664803 bytes/sec, 4170 frames/sec
iSCSI statistics
 86382665 packets input, 2689441036 bytes
 3916933 Command pdus, 82463404 Data-out pdus, 2837976576 Data-out bytes,
 0 fragments
 131109319 packets output, 2091677936 bytes
 3916876 Response pdus (with sense 0), 1289224 R2T pdus
 125900891 Data-in pdus, 93381152 Data-in bytes

iscsi8/2
 5 minutes input rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
 5 minutes output rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
iSCSI statistics
 0 packets input, 0 bytes
 0 Command pdus, 0 Data-out pdus, 0 Data-out bytes, 0 fragments
 0 packets output, 0 bytes
 0 Response pdus (with sense 0), 0 R2T pdus
 0 Data-in pdus, 0 Data-in bytes

iscsi8/3
 5 minutes input rate 272 bits/sec, 34 bytes/sec, 0 frames/sec
 5 minutes output rate 40 bits/sec, 5 bytes/sec, 0 frames/sec
iSCSI statistics
 30 packets input, 10228 bytes
 0 Command pdus, 0 Data-out pdus, 0 Data-out bytes, 0 fragments
 30 packets output, 1744 bytes
 0 Response pdus (with sense 0), 0 R2T pdus
 0 Data-in pdus, 0 Data-in bytes
```

```
iscsi8/4
 5 minutes input rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
 5 minutes output rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
 iSCSI statistics
  0 packets input, 0 bytes
  0 Command pdus, 0 Data-out pdus, 0 Data-out bytes, 0 fragments
 0 packets output, 0 bytes
  0 Response pdus (with sense 0), 0 R2T pdus
  0 Data-in pdus, 0 Data-in bytes

iscsi8/5
 5 minutes input rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
 5 minutes output rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
 iSCSI statistics
  0 packets input, 0 bytes
  0 Command pdus, 0 Data-out pdus, 0 Data-out bytes, 0 fragments
 0 packets output, 0 bytes
  0 Response pdus (with sense 0), 0 R2T pdus
  0 Data-in pdus, 0 Data-in bytes

iscsi8/6
 5 minutes input rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
 5 minutes output rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
 iSCSI statistics
  0 packets input, 0 bytes
  0 Command pdus, 0 Data-out pdus, 0 Data-out bytes, 0 fragments
 0 packets output, 0 bytes
  0 Response pdus (with sense 0), 0 R2T pdus
  0 Data-in pdus, 0 Data-in bytes

iscsi8/7
 5 minutes input rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
 5 minutes output rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
 iSCSI statistics
  0 packets input, 0 bytes
  0 Command pdus, 0 Data-out pdus, 0 Data-out bytes, 0 fragments
 0 packets output, 0 bytes
  0 Response pdus (with sense 0), 0 R2T pdus
  0 Data-in pdus, 0 Data-in bytes

iscsi8/8
 5 minutes input rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
 5 minutes output rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
 iSCSI statistics
  0 packets input, 0 bytes
  0 Command pdus, 0 Data-out pdus, 0 Data-out bytes, 0 fragments
 0 packets output, 0 bytes
  0 Response pdus (with sense 0), 0 R2T pdus
  0 Data-in pdus, 0 Data-in bytes
```

次に、詳細な iSCSI 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show iscsi stats detail
iscsi8/1
  5 minutes input rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
  5 minutes output rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
  iSCSI statistics
    0 packets input, 0 bytes
      0 Command pdus, 0 Data-out pdus, 0 Data-out bytes, 0 fragments
    0 packets output, 0 bytes
      0 Response pdus (with sense 0), 0 R2T pdus
      0 Data-in pdus, 0 Data-in bytes
  iSCSI Forward:
    Command: 0 PDUs (Received: 0)
    Data-Out (Write): 0 PDUs (Received 0), 0 fragments, 0 bytes
  FCP Forward:
    Xfer_rdy: 0 (Received: 0)
    Data-In: 0 (Received: 0), 0 bytes
    Response: 0 (Received: 0), with sense 0
    TMF Resp: 0

  iSCSI Stats:
    Login: attempt: 0, succeed: 0, fail: 0, authen fail: 0
    Rcvd: NOP-Out: 0, Sent: NOP-In: 0
      NOP-In: 0, Sent: NOP-Out: 0
      TMF-REQ: 0, Sent: TMF-RESP: 0
      Text-REQ: 0, Sent: Text-RESP: 0
      SNACK: 0
      Unrecognized Opcode: 0, Bad header digest: 0
      Command in window but not next: 0, exceed wait queue limit: 0
      Received PDU in wrong phase: 0
  FCP Stats:
    Total: Sent: 0
      Received: 0 (Error: 0, Unknown: 0)
    Sent: PLOGI: 0, Rcvd: PLOGI_ACC: 0, PLOGI_RJT: 0
      PRLI: 0, Rcvd: PRLI_ACC: 0, PRLI_RJT: 0, Error resp: 0
      LOGO: 0, Rcvd: LOGO_ACC: 0, LOGO_RJT: 0
      ABTS: 0, Rcvd: ABTS_ACC: 0
      TMF REQ: 0
      Self orig command: 0, Rcvd: data: 0, resp: 0
    Rcvd: PLOGI: 0, Sent: PLOGI_ACC: 0
      LOGO: 0, Sent: LOGO_ACC: 0
      PRLI: 0, Sent: PRLI_ACC: 0
      ABTS: 0

  iSCSI Drop:
    Command: Target down 0, Task in progress 0, LUN map fail 0
      CmdSeqNo not in window 0, No Exchange ID 0, Reject 0
      Persistent Resv 0 Data-Out: 0, TMF-Req: 0
  FCP Drop:
    Xfer_rdy: 0, Data-In: 0, Response: 0

  Buffer Stats:
    Buffer less than header size: 0, Partial: 0, Split: 0
    Pullup give new buf: 0, Out of contiguous buf: 0, Unaligned m_data: 0

iscsi8/2
  5 minutes input rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
  5 minutes output rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
  iSCSI statistics
    0 packets input, 0 bytes
      0 Command pdus, 0 Data-out pdus, 0 Data-out bytes, 0 fragments
    0 packets output, 0 bytes
      0 Response pdus (with sense 0), 0 R2T pdus
      0 Data-in pdus, 0 Data-in bytes
  iSCSI Forward:
    Command: 0 PDUs (Received: 0)
    Data-Out (Write): 0 PDUs (Received 0), 0 fragments, 0 bytes
  FCP Forward:
```

```
Xfer_rdy: 0 (Received: 0)
Data-In: 0 (Received: 0), 0 bytes
Response: 0 (Received: 0), with sense 0
...
```

次に、指定した iSCSI インターフェイスの詳細な統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show iscsi stats iscsi 8/1
iscsi8/1
 5 minutes input rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
 5 minutes output rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
iSCSI statistics
 0 packets input, 0 bytes
   0 Command pdus, 0 Data-out pdus, 0 Data-out bytes, 0 fragments
 0 packets output, 0 bytes
   0 Response pdus (with sense 0), 0 R2T pdus
   0 Data-in pdus, 0 Data-in bytes
```

# show iscsi virtual-target

スイッチに対してローカルであるすべての iSCSI ノードを表示するには、**show iscsi virtual-target** コマンドを使用します。

```
show iscsi virtual-target [configured] [name]
```

シンタックスの説明	configured	すべての iSCSI ポートの情報を表示します。
	name	指定した仮想ターゲットの iSCSI 情報を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.1(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** パラメータを設定しない場合、コマンドはすべてのアクティブな iSCSI 仮想ターゲットを一覧表示します。iSCSI ノード名を設定すると、その iSCSI 仮想ターゲットを一覧表示します。

**例** 次に、すべての iSCSI 仮想ターゲットに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show iscsi virtual-target
target: abc1
  Port WWN 21:00:00:20:37:a6:b0:bf
  Configured node
target: iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.22000020374b5247
  Port WWN 22:00:00:20:37:4b:52:47 , VSAN 1
  Auto-created node
...
target: iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.210000203739aa39
  Port WWN 21:00:00:20:37:39:aa:39 , VSAN 1
  Auto-created node
```

次に、指定した iSCSI 仮想ターゲットを表示する例を示します。

```
switch# show iscsi virtual-target
iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.210000203739a95b
target: iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.210000203739a95b
  Port WWN 21:00:00:20:37:39:a9:5b , VSAN 1
  Auto-created node
```

次に、仮想ターゲットの侵入ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show iscsi virtual-target iqn.abc
target: abc
  Port WWN 00:00:00:00:00:00:00:00
  Configured node
  all initiator permit is disabled
  trespass support is enabled S
```

# show islb cfs-session status

iSCSI server load balancing (iSLB) Cisco Fabric Services 情報を表示するには、**show islb** コマンドを使用します。

**show islb cfs-session status**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、iSLB セッション情報を表示する例を示します。

```
ips-hac2# show islb cfs-session status
last action          : fabric distribute disable
last action result   : success
last action failure cause : success
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show islb initiator	iSLB イニシエータ情報を表示します。
	show islb merge status	iSLB 結合ステータス情報を表示します。
	show islb pending	iSLB 未決定コンフィギュレーションを表示します。
	show islb pending-diff	iSLB 未決定コンフィギュレーションの差異を表示します。
	show islb session	iSLB セッション情報を表示します。
	show islb status	iSLB CFS ステータス情報を表示します。
	show islb virtual-target	iSLB 仮想ターゲット情報を表示します。
	show islb vrrp	iSLB VRRP ロードバランシング情報を表示します。

# show islb initiator

iSCSI server load balancing (iSLB) Cisco Fabric Services 情報を表示するには、**show islb initiator** コマンドを使用します。

```
show islb initiator [name node-name [detail | fcp-session [detail] | iscsi-session [detail]] | configured
[name initiator-name] | detail | fcp-session [detail] | iscsi-session [detail] | summary [name]]
```

## シンタックスの説明

<b>name node-name</b>	イニシエータ ノード名を指定します。最大文字サイズは 80 です。
<b>detail</b>	より詳細な情報を表示します。
<b>fcp-session</b>	ファイバチャネルセッションの詳細を表示します。
<b>iscsi-session</b>	iSLB セッションの詳細を表示します。
<b>configured</b>	iSLB イニシエータ設定済情報を表示します。
<b>name initiator-name</b>	設定済のイニシエータ名を指定します。最大文字サイズは 223 です。
<b>summary</b>	iSLB イニシエータ要約情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
3.0(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、iSLB イニシエータ コンフィギュレーション情報を表示する例を示します。

```
switch# show islb initiator configured
iSCSI Node name is 1.1.1.1

  No. of PWWN: 2
    Port WWN is 23:01:00:0c:85:90:3e:82
    Port WWN is 23:02:00:0c:85:90:3e:82
  Load Balance Metric: 1000
  Number of Initiator Targets: 0

iSCSI Node name is 2.2.2.2

  Load Balance Metric: 1000
  Number of Initiator Targets: 0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show islb cfs-session status</b>	iSLB セッション ステータスおよびステータス情報を表示します。
	show islb merge status	iSLB 結合ステータス情報を表示します。
	show islb pending	iSLB 未決定コンフィギュレーションを表示します。
	show islb pending-diff	iSLB 未決定コンフィギュレーションの差異を表示します。
	show islb session	iSLB セッション情報を表示します。
	show islb status	iSLB CFS ステータス情報を表示します。
	show islb virtual-target	iSLB 仮想ターゲット情報を表示します。
	show islb vrrp	iSLB VRRP ロード バランシング情報を表示します。

## show islb merge status

iSCSI server load balancing (iSLB) 結合ステータス情報を表示するには、**show islb merge status** コマンドを使用します。

**show islb merge status**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、iSLB 結合ステータス情報を表示する例を示します。

```
switch# show islb merge status
Merge Status: SUCCESS
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show islb cfs-session status	iSLB セッション情報を表示します。
	show islb initiator	iSLB イニシエータ情報を表示します。
	show islb pending	iSLB 未決定コンフィギュレーションを表示します。
	show islb pending-diff	iSLB 未決定コンフィギュレーションの差異を表示します。
	show islb session	iSLB セッション情報を表示します。
	show islb status	iSLB CFS ステータス情報を表示します。
	show islb virtual-target	iSLB 仮想ターゲット情報を表示します。
	show islb vrrp	iSLB VRRP ロード バランシング情報を表示します。

# show islb pending

iSCSI server load balancing (iSLB) 未決定コンフィギュレーション情報を表示するには、**show islb pending** コマンドを使用します。

**show islb pending**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、iSLB 未決定コンフィギュレーション情報を表示する例を示します。

```
switch# show islb pending
iscsi initiator idle-timeout 10
islb initiator ip-address 10.1.1.1
static pWWN 23:01:00:0c:85:90:3e:82
static pWWN 23:06:00:0c:85:90:3e:82
username test1
islb initiator ip-address 10.1.1.2
static nWWN 23:02:00:0c:85:90:3e:82
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show islb initiator	iSLB イニシエータ情報を表示します。
	show islb cfs-session status	iSLB セッション情報を表示します。
	show islb merge status	iSLB 結合ステータス情報を表示します。
	show islb pending-diff	iSLB 未決定コンフィギュレーションの差異を表示します。
	show islb session	iSLB セッション情報を表示します。
	show islb status	iSLB CFS ステータス情報を表示します。
	show islb virtual-target	iSLB 仮想ターゲット情報を表示します。
	show islb vrrp	iSLB VRRP ロードバランシング情報を表示します。

# show islb pending-diff

iSCSI server load balancing (iSLB) 未決定コンフィギュレーションの差異を表示するには、**show islb pending-diff** コマンドを使用します。

**show islb pending-diff**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、iSLB 未決定コンフィギュレーションの差異を表示する例を示します。

```
switch# show islb pending-diff
+iscsi initiator idle-timeout 10
islb initiator ip-address 10.1.1.1
+ static pWWN 23:06:00:0c:85:90:3e:82
+islb initiator ip-address 10.1.1.2
+ static nWWN 23:02:00:0c:85:90:3e:82
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show islb cfs-session status	iSLB セッション情報を表示します。
	show islb initiator	iSLB イニシエータ情報を表示します。
	show islb merge status	iSLB 結合ステータス情報を表示します。
	show islb pending	iSLB 未決定コンフィギュレーションを表示します。
	show islb session	iSLB セッション情報を表示します。
	show islb status	iSLB CFS ステータス情報を表示します。
	show islb virtual-target	iSLB 仮想ターゲット情報を表示します。
	show islb vrrp	iSLB VRRP ロードバランシング情報を表示します。

# show islb session

iSCSI server load balancing (iSLB) セッション情報を表示するには、**show islb session** コマンドを使用します。

```
show islb session [detail | incoming | initiator initiator-node-name | iscsi slot-number | outgoing | target
target-node-name]
```

## シンタックスの説明

<b>detail</b>	詳細な iSLB セッション情報を表示します。
<b>incoming</b>	着信 iSLB セッションを表示します。
<b>initiator initiator-node-name</b>	特定の iSLB イニシエータのセッション情報を表示します。イニシエータ ノード名は、最大 80 文字までです。
<b>iscsi slot-port</b>	iSCSI インターフェイスを指定します。
<b>outgoing</b>	発信 iSLB セッションを表示します。
<b>target</b>	特定の iSLB ターゲットのセッション情報を表示します。ターゲット ノード名は、最大 80 文字までです。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
3.0(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、iSLB セッション情報を表示する例を示します。

```
switch# show islb session
Initiator iqn.1987-05.com.cisco.01.15cee6e7925087abc82ed96377653c8
  Session #1
    Target iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.22000020374b5247
    VSAN 1, ISID 000000000000, Status active, no reservation

  Session #2
    Target iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.220000203738e77d
    VSAN 1, ISID 000000000000, Status active, no reservation

Initiator iqn.1987-05.com.cisco:02.91b0ee2e8aa1.iscsi16-w2k
  Session #1
    Discovery session, ISID 00023d00022f, Status active

  Session #2
    Target iqn.com.domainname.172.22.93.143.08-03.gw.2200002037388bc2
    VSAN 1, ISID 00023d000230, Status active, no reservation
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show islb cfs-session status	iSLB セッション情報を表示します。
	show islb initiator	iSLB イニシエータ情報を表示します。
	show islb merge status	iSLB 結合ステータス情報を表示します。
	show islb pending	iSLB 未決定コンフィギュレーションを表示します。
	show islb pending-diff	iSLB CFS 未決定コンフィギュレーションの差異を表示します。
	show islb status	iSLB CFS ステータス情報を表示します。
	show islb virtual-target	iSLB 仮想ターゲット情報を表示します。
	show islb vrrp	iSLB VRRP ロードバランシング情報を表示します。

## show islb status

iSCSI server load balancing (iSLB) Cisco Fabric Services (CFS) ステータスを表示するには、**show islb status** コマンドを使用します。

**show islb status**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、iSLB CFS ステータス情報を表示する例を示します。

```
switch# show islb status
iSLB Distribute is enabled
iSLB CFS Session does not exist
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show islb cfs-session status	iSLB セッション情報を表示します。
	show islb initiator	iSLB イニシエータ情報を表示します。
	show islb merge status	iSLB 結合ステータス情報を表示します。
	show islb pending	iSLB 未決定コンフィギュレーションを表示します。
	show islb pending-diff	iSLB CFS 未決定コンフィギュレーションの差異を表示します。
	show islb session	iSLB セッション情報を表示します。
	show islb virtual-target	iSLB 仮想ターゲット情報を表示します。
	show islb vrrp	iSLB VRRP ロードバランシング情報を表示します。

# show islb virtual-target

iSCSI server load balancing (iSLB) 仮想ターゲットに関する情報を表示するには、**show is lb virtual-target** コマンドを使用します。

```
show islb virtual-target [name | configured name]
```

シンタックスの説明	<i>name</i>	iSLB 仮想ターゲット名を指定します。有効範囲は 16 ～ 223 バイトです。
	<i>configured</i>	設定済 iSCSI 仮想ターゲットに関する情報を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、iSLB ターゲットを表示する例を示します。

```
switch# show islb virtual-target newtarget0987654321
target: newtarget0987654321

Configured node (iSLB)
No. of initiators permitted: 1
  initiator fromtarget1234567890 is permitted
All initiator permit is enabled
Trespass support is disabled
Revert to primary support is disabled
```

次に、全ての設定済 iSLB 仮想ターゲットを表示する例を示します。

```
switch# show islb virtual-target configured
target: testtarget1234567

    Configured node (iSLB)
    No. of initiators permitted: 1
        initiator trespass is permitted
    All initiator permit is disabled
    Trespass support is disabled
    Revert to primary support is disabled

target: testertarget987654321
    Port WWN 10:20:30:40:50:60:70:80
    Configured node (iSLB)
    No. of initiators permitted: 1
        initiator mytargetdevice is permitted
    All initiator permit is disabled
    Trespass support is disabled
    Revert to primary support is disabled

target: newtarget0987654321

    Configured node (iSLB)
    No. of initiators permitted: 1
        initiator fromtarget1234567890 is permitted
    All initiator permit is enabled
    Trespass support is disabled
    Revert to primary support is disabled

target: mytargetdevice123

    Configured node (iSLB)
    All initiator permit is disabled
    Trespass support is enabled
    Revert to primary support is disabled
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
show islb cfs-session status	iSLB セッション情報を表示します。
show islb initiator	iSLB イニシエータ情報を表示します。
show islb merge status	iSLB 結合ステータス情報を表示します。
show islb pending	iSLB 未決定コンフィギュレーションを表示します。
show islb pending-diff	iSLB CFS 未決定コンフィギュレーションの差異を表示します。
show islb session	iSLB セッション情報を表示します。
show islb status	iSLB CFS ステータス情報を表示します。
show islb vrrp	iSLB VRRP ロードバランシング情報を表示します。

## show islb vrrp

iSCSI server load balancing (iSLB) Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP) ロードバランシング情報を表示するには、**show islb vrrp** コマンドを使用します。

```
show islb vrrp [assignment [initiator node-name [vr group-number] | vr group-number] | interface
[switch WWN [vr group-number] | vr group-number] | summary [vr group-number] | vr
group-number]
```

シンタックスの説明	assignment	インターフェイス割当に対する iSLB VRRP イニシエータを表示します。
	<b>initiator node-name</b>	特定の iSLB イニシエータのインターフェイス割当を表示します。最大は 80 です。
	<b>vr group-number</b>	特定の VR グループの情報を表示します。有効範囲は 1 ~ 255 です。
	<b>interface</b>	iSLB VRRP インターフェイス情報を表示します。
	<b>switch WWN</b>	特定のスイッチのインターフェイス情報を表示します。WWN のフォーマットは <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> です。
	<b>summary</b>	iSLB VRRP ロードバランシング要約情報を表示します。
<b>デフォルト</b>		なし
<b>コマンドモード</b>		EXEC モード
<b>コマンド履歴</b>	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。
<b>使用上のガイドライン</b>		なし

## 例

次に、iSLB VRRP インターフェイス情報を表示する例を示します。

```
switch# show islb vrrp interface vr 41
-- Interfaces For Load Balance --

Interface GigabitEthernet1/1.441
Switch wwn: 20:00:00:0d:ec:02:cb:00
VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
  Interface VRRP state: backup
  Interface load: 3000
  Interface redirection: enabled
  Group redirection: enabled
Number of physical IP address: 1
  (1) 10.10.122.115
Port vsan: 1
Forwarding mode: store-and-forward
Proxy initiator mode: disabled
iSCSI authentication: CHAP or None

Interface GigabitEthernet1/2.441
Switch wwn: 20:00:00:0d:ec:02:cb:00
VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
  Interface VRRP state: backup
  Interface load: 2000
  Interface redirection: enabled
  Group redirection: enabled
Number of physical IP address: 1
  (1) 10.10.122.114
Port vsan: 1
Forwarding mode: store-and-forward
Proxy initiator mode: disabled
iSCSI authentication: CHAP or None

Interface GigabitEthernet2/1.441
Switch wwn: 20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0
VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
  Interface VRRP state: backup
  Interface load: 2000
  Interface redirection: enabled
  Group redirection: enabled
Number of physical IP address: 1
  (1) 10.10.122.111
Port vsan: 1
Forwarding mode: store-and-forward
Proxy initiator mode: disabled
iSCSI authentication: CHAP or None

Interface GigabitEthernet2/2.441
Switch wwn: 20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0
VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
  Interface VRRP state: master
  Interface load: 1000
  Interface redirection: enabled
  Group redirection: enabled
Number of physical IP address: 1
  (1) 10.10.122.112
Port vsan: 1
Forwarding mode: store-and-forward
Proxy initiator mode: disabled
iSCSI authentication: CHAP or None

Interface GigabitEthernet2/3.441
Switch wwn: 20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0
VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
  Interface VRRP state: backup
  Interface load: 2000
  Interface redirection: enabled
  Group redirection: enabled
Number of physical IP address: 1
```

```
(1) 10.10.122.113
Port vsan: 1
Forwarding mode: store-and-forward
Proxy initiator mode: disabled
iSCSI authentication: CHAP or None
```

次に、iSLB VRRP 要約情報を表示する例を示します。

```
switch# show islb vrrp summary
```

```
-- Groups For Load Balance --
-----
          VR Id          VRRP Address Type          Configured Status
-----
              41              IPv4              Enabled
              42              IPv4              Enabled

-- Interfaces For Load Balance --
-----
VR Id          VRRP IP          Switch WWN          Ifindex          Load
-----
      41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:02:cb:00  GigabitEthernet1/1.441  3000
      41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:02:cb:00  GigabitEthernet1/2.441  2000
      41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/1.441  2000
M  41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/2.441  1000
      41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/3.441  2000
M  42  10.10.142.111  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/1.442  2000
      42  10.10.142.111  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/2.442  1000
      42  10.10.142.111  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/3.442  2000

-- Initiator To Interface Assignment --
-----
Initiator  VR Id          VRRP IP          Switch WWN          Ifindex
-----
iqn.1987-05.com.cisco:01.09ea2e99c97
      41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/1.441
iqn.1987-05.com.cisco:01.5ef81885f8d
      41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/3.441
iqn.1987-05.com.cisco:01.8fbdb3fdf8
      41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:02:cb:00  GigabitEthernet1/1.441
iqn.1987-05.com.cisco:01.99eddd9b134
      41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:02:cb:00  GigabitEthernet1/1.441
iqn.1987-05.com.cisco:01.a1398a8c6bc6
      41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/3.441
iqn.1987-05.com.cisco:01.e15c63d09d18
      41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:02:cb:00  GigabitEthernet1/2.441
iqn.1987-05.com.cisco:01.e9aab57a51e0
      41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:02:cb:00  GigabitEthernet1/1.441
iqn.1987-05.com.cisco:01.ecc2b77b6086
      41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/2.441
iqn.1987-05.com.cisco:01.f047da798a44
      41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:02:cb:00  GigabitEthernet1/2.441
iqn.1987-05.com.cisco:01.f686f5cd11f
      41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/1.441
```

次に、vr 41 の iSLB VRRP 要約情報を表示する例を示します。

```
switch# show islb vrrp summary vr 41
```

```

-- Groups For Load Balance --
-----
          VR Id          VRRP Address Type          Configured Status
-----
          41              IPv4                      Enabled
-----

-- Interfaces For Load Balance --
-----
VR Id      VRRP IP          Switch WWN          Ifindex      Load
-----
  41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:02:cb:00  GigabitEthernet1/1.441  3000
  41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:02:cb:00  GigabitEthernet1/2.441  2000
  41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/1.441  2000
M  41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/2.441  1000
  41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/3.441  2000
-----

-- Initiator To Interface Assignment --
-----
Initiator  VR Id          VRRP IP          Switch WWN          Ifindex
-----
iqn.1987-05.com.cisco:01.09ea2e99c97
          41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/1.441
iqn.1987-05.com.cisco:01.5ef81885f8d
          41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/3.441
iqn.1987-05.com.cisco:01.8fbdb3fdf8
          41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:02:cb:00  GigabitEthernet1/1.441
iqn.1987-05.com.cisco:01.99eddd9b134
          41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:02:cb:00  GigabitEthernet1/1.441
iqn.1987-05.com.cisco:01.a1398a8c6bc6
          41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/3.441
iqn.1987-05.com.cisco:01.e15c63d09d18
          41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:02:cb:00  GigabitEthernet1/2.441
iqn.1987-05.com.cisco:01.e9aab57a51e0
          41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:02:cb:00  GigabitEthernet1/1.441
iqn.1987-05.com.cisco:01.ecc2b77b6086
          41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/2.441
iqn.1987-05.com.cisco:01.f047da798a44
          41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:02:cb:00  GigabitEthernet1/2.441
iqn.1987-05.com.cisco:01.f686f5cd11f
          41  10.10.122.112  20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0  GigabitEthernet2/1.441
-----

```

次に、完全な iSLB VRRP ロード バランシング情報を表示する例を示します。

```
switch# show islb vrrp
-- Groups For Load Balance --

VRRP group id 41
  Address type: IPv4
  Configured status: Enabled

VRRP group id 42
  Address type: IPv4
  Configured status: Enabled

-- Interfaces For Load Balance --

Interface GigabitEthernet1/1.441
  Switch wwn: 20:00:00:0d:ec:02:cb:00
  VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
  Interface VRRP state: backup
  Interface load: 3000
  Interface redirection: enabled
  Group redirection: enabled
  Number of physical IP address: 1
    (1) 10.10.122.115
  Port vsan: 1
  Forwarding mode: store-and-forward
  Proxy initiator mode: disabled
  iSCSI authentication: CHAP or None

Interface GigabitEthernet1/2.441
  Switch wwn: 20:00:00:0d:ec:02:cb:00
  VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
  Interface VRRP state: backup
  Interface load: 2000
  Interface redirection: enabled
  Group redirection: enabled
  Number of physical IP address: 1
    (1) 10.10.122.114
  Port vsan: 1
  Forwarding mode: store-and-forward
  Proxy initiator mode: disabled
  iSCSI authentication: CHAP or None

Interface GigabitEthernet2/1.441
  Switch wwn: 20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0
  VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
  Interface VRRP state: backup
  Interface load: 2000
  Interface redirection: enabled
  Group redirection: enabled
  Number of physical IP address: 1
    (1) 10.10.122.111
  Port vsan: 1
  Forwarding mode: store-and-forward
  Proxy initiator mode: disabled
  iSCSI authentication: CHAP or None

Interface GigabitEthernet2/2.441
  Switch wwn: 20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0
  VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
  Interface VRRP state: master
  Interface load: 1000
  Interface redirection: enabled
  Group redirection: enabled
  Number of physical IP address: 1
    (1) 10.10.122.112
  Port vsan: 1
  Forwarding mode: store-and-forward
  Proxy initiator mode: disabled
```

```

iSCSI authentication: CHAP or None

Interface GigabitEthernet2/3.441
Switch wwn: 20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0
VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
  Interface VRRP state: backup
  Interface load: 2000
  Interface redirection: enabled
  Group redirection: enabled
Number of physical IP address: 1
  (1) 10.10.122.113
Port vsan: 1
Forwarding mode: store-and-forward
Proxy initiator mode: disabled
iSCSI authentication: CHAP or None

Interface GigabitEthernet2/1.442
Switch wwn: 20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0
VRRP group id: 42, VRRP IP address: 10.10.142.111
  Interface VRRP state: master
  Interface load: 2000
  Interface redirection: enabled
  Group redirection: enabled
Number of physical IP address: 1
  (1) 10.10.142.111
Port vsan: 1
Forwarding mode: store-and-forward
Proxy initiator mode: disabled
iSCSI authentication: CHAP or None

Interface GigabitEthernet2/2.442
Switch wwn: 20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0
VRRP group id: 42, VRRP IP address: 10.10.142.111
  Interface VRRP state: backup
  Interface load: 1000
  Interface redirection: enabled
  Group redirection: enabled
Number of physical IP address: 1
  (1) 10.10.142.112
Port vsan: 1
Forwarding mode: store-and-forward
Proxy initiator mode: disabled
iSCSI authentication: CHAP or None

Interface GigabitEthernet2/3.442
Switch wwn: 20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0
VRRP group id: 42, VRRP IP address: 10.10.142.111
  Interface VRRP state: backup
  Interface load: 2000
  Interface redirection: enabled
  Group redirection: enabled
Number of physical IP address: 1
  (1) 10.10.142.113
Port vsan: 1
Forwarding mode: store-and-forward
Proxy initiator mode: disabled
iSCSI authentication: CHAP or None

-- Initiator To Interface Assignment --

Initiator iqn.1987-05.com.cisco:01.09ea2e99c97
VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
Assigned to switch wwn: 20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0
  ifindex: GigabitEthernet2/1.441
Waiting for the redirected session request: False
Initiator weighted load: 1000

Initiator iqn.1987-05.com.cisco:01.5ef81885f8d
VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112

```

```
Assigned to switch wwn: 20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0
  ifindex: GigabitEthernet2/3.441
Waiting for the redirected session request: False
Initiator weighted load: 1000

Initiator iqn.1987-05.com.cisco:01.8fbdb3fdf8
  VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
Assigned to switch wwn: 20:00:00:0d:ec:02:cb:00
  ifindex: GigabitEthernet1/1.441
Waiting for the redirected session request: False
Initiator weighted load: 1000

Initiator iqn.1987-05.com.cisco:01.99eddd9b134
  VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
Assigned to switch wwn: 20:00:00:0d:ec:02:cb:00
  ifindex: GigabitEthernet1/1.441
Waiting for the redirected session request: False
Initiator weighted load: 1000

Initiator iqn.1987-05.com.cisco:01.a1398a8c6bc6
  VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
Assigned to switch wwn: 20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0
  ifindex: GigabitEthernet2/3.441
Waiting for the redirected session request: False
Initiator weighted load: 1000

Initiator iqn.1987-05.com.cisco:01.e15c63d09d18
  VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
Assigned to switch wwn: 20:00:00:0d:ec:02:cb:00
  ifindex: GigabitEthernet1/2.441
Waiting for the redirected session request: False
Initiator weighted load: 1000

Initiator iqn.1987-05.com.cisco:01.e9aab57a51e0
  VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
Assigned to switch wwn: 20:00:00:0d:ec:02:cb:00
  ifindex: GigabitEthernet1/1.441
Waiting for the redirected session request: False
Initiator weighted load: 1000

Initiator iqn.1987-05.com.cisco:01.ecc2b77b6086
  VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
Assigned to switch wwn: 20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0
  ifindex: GigabitEthernet2/2.441
Waiting for the redirected session request: False
Initiator weighted load: 1000

Initiator iqn.1987-05.com.cisco:01.f047da798a44
  VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
Assigned to switch wwn: 20:00:00:0d:ec:02:cb:00
  ifindex: GigabitEthernet1/2.441
Waiting for the redirected session request: False
Initiator weighted load: 1000

Initiator iqn.1987-05.com.cisco:01.f686f5cd11f
  VRRP group id: 41, VRRP IP address: 10.10.122.112
Assigned to switch wwn: 20:00:00:0d:ec:0c:6b:c0
  ifindex: GigabitEthernet2/1.441
Waiting for the redirected session request: False
Initiator weighted load: 1000
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
show islb cfs-session status	iSLB セッション情報を表示します。
show islb initiator	iSLB イニシエータ情報を表示します。
show islb merge status	iSLB 結合ステータス情報を表示します。
show islb pending	iSLB 未決定コンフィギュレーションを表示します。
show islb pending-diff	iSLB CFS 未決定コンフィギュレーションの差異を表示します。
show islb session	iSLB セッション情報を表示します。
show islb status	iSLB CFS ステータス情報を表示します。
show islb virtual-target	iSLB 仮想ターゲット情報を表示します。

# show isns

Internet Storage Name Service (iSNS) 情報を表示するには、**show isns** コマンドを使用します。

```
show isns {config |
  database [full | virtual-targets [local | switch switch-wwn]] |
  entity [all [detail] | id entity-id] | iscsi global config [all | switch switch-wwn]] |
  node [all [detail] | configured | detail | name node-name | virtual [switch switch-wwn [detail]]] |
  portal [all [detail] | detail | ipaddress ip-address port tcp-port | virtual [switch switch-wwn
  [detail]]] | profile [profile-name [counters] | counters] |
  query profile-name {gigabitethernet slot/port | port-channel port} |stats}
```

## シンタックスの説明

<b>config</b>	iSNS サーバ コンフィギュレーションを表示します。
<b>database</b>	iSNS データベース コンテンツを表示します。
<b>full</b>	すべての仮想ターゲットまたはデータベースの登録済みノードを指定します。
<b>virtual-targets</b>	仮想ターゲットのみを指定します。
<b>local</b>	ローカル仮想ターゲットのみを指定します。
<b>switch switch-wwn</b>	特定のスイッチ World Wide Name (WWN) を指定します。フォーマットは <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> で、 <i>h</i> は 16 進数値です。
<b>entity</b>	エンティティ属性を表示します。
<b>all</b>	すべての情報を指定します。
<b>detail</b>	詳細情報を指定します。
<b>id entity-id</b>	エンティティ ID を指定します。最大 255 文字まで可能です。
<b>iscsi global config</b>	ファイバ チャネル ターゲットのインポート用の iSCSI グローバル コンフィギュレーションを表示します。
<b>node</b>	ノード属性を表示します。
<b>configured</b>	設定したノードと詳細情報を指定します。
<b>name node-name</b>	ノード名を指定します。最大 255 文字まで可能です。
<b>virtual</b>	仮想ターゲットを指定します。
<b>portal</b>	ポータル属性を表示します。
<b>ipaddress ip-address</b>	ポータルの IP アドレスを指定します。
<b>port tcp-port</b>	ポータルの TCP ポートを指定します。有効範囲は 1 ~ 66535 です。
<b>profile</b>	iSNS プロファイル情報を表示します。
<b>profile-name</b>	プロファイル名を指定します。1 最大 64 文字まで可能です。
<b>counters</b>	インターフェイスの統計情報を指定します。
<b>query profile-name</b>	iSNS サーバに送信するクエリを指定します。
<b>gigabitethernet slot /port</b>	ギガビット イーサネット インターフェイスを指定します。
<b>port-channel port</b>	ポートチャネル インターフェイスを指定します。有効範囲は 1 ~ 128 です。
<b>stats</b>	iSNS サーバの統計情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.3(1)	このコマンドが導入されました。
	2.0(x)	<b>config、database、entity、iscsi、node、portal、stats</b> オプションが追加されました。

**使用上のガイドライン**

このコマンドの **profile** および **query** 以外のすべてのオプションにアクセスするには、**isns-server enable** コマンドを実行する必要があります。

**例**

次に、iSNS コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show isns config
Server Name: ips-hacl(Cisco Systems) Up since: Mon Apr 27 06:59:49 1981

Index: 1      Version: 1      TCP Port: 3205
fabric distribute (remote sync): ON
ESI
  Non Response Threshold: 5 Interval(seconds): 60
Database contents
  Number of Entities: 1
  Number of Portals: 0
  Number of ISCSI devices: 2
  Number of Portal Groups: 0
```

次に、指定した iSNS プロファイルを表示する例を示します。

```
switch# show isns profile ABC

iSNS profile name ABC
tagged interface GigabitEthernet2/3
iSNS Server 10.10.100.204
```

次に、すべての iSNS プロファイルを表示する例を示します。

```
switch# show isns profile

iSNS profile name ABC
tagged interface GigabitEthernet2/3
iSNS Server 10.10.100.204

iSNS profile name NBV
tagged interface GigabitEthernet2/5
iSNS Server 10.10.100.201
```

次に、指定した iSNS プロファイルの iSNS Protocol Data Unit (PDU; プロトコル データ ユニット) 統計を表示する例を示します。

```
switch# show isns profile ABC counters

iSNS profile name ABC
tagged interface GigabitEthernet2/3
iSNS statistics
  Input 54 pdus (registration/deregistration pdus only)
    Reg pdus 37, Dereg pdus 17
  Output 54 pdus (registration/deregistration pdus only)
    Reg pdus 37, Dereg pdus 17
iSNS Server 10.10.100.204
```

次に、すべての iSNS プロファイルの iSNS PDU 統計を表示する例を示します。

```
switch# show isns profile counters

iSNS profile name ABC
tagged interface GigabitEthernet2/3
iSNS statistics
  Input 54 pdus (registration/deregistration pdus only)
    Reg pdus 37, Dereg pdus 17
  Output 54 pdus (registration/deregistration pdus only)
    Reg pdus 37, Dereg pdus 17
iSNS Server 10.10.100.204

iSNS profile name NBV
tagged interface GigabitEthernet2/5
iSNS statistics
  Input 54 pdus (registration/deregistration pdus only)
    Reg pdus 37, Dereg pdus 17
  Output 54 pdus (registration/deregistration pdus only)
    Reg pdus 37, Dereg pdus 17
iSNS Server 10.10.100.201
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<code>isns-server enable</code>	iSNS サーバをイネーブルにします。

# show ivr

さまざまな Inter-VSAN Routing (IVR) コンフィギュレーションを表示するには、**show ivr** コマンドを使用します。

```
show ivr [pending | pending-diff | session status | virtual-domains [vsan vsan-id] |
virtual-fcdomain-add-status | vsan-topology [active | configured] | zone [active | name name
[active]] | zoneset [active | brief | fabric | name name | status]]
```

## シンタックスの説明

<b>merge</b>	IVR 結合ステータスを表示します。
<b>pending</b>	IVR 未決定コンフィギュレーションを表示します。
<b>pending-diff</b>	IVR 未決定コンフィギュレーションとアクティブ コンフィギュレーションの差異を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>session</b>	IVR セッション ステータスを表示します。
<b>status</b>	設定された IVR セッションのステータスを表示します。
<b>virtual-domains</b>	すべてのローカル VSAN の IVR 仮想ドメインを表示します。
<b>virtual-fcdomain-add-status</b>	IVR 仮想 fcdomain ステータスを表示します。
<b>vsan-topology</b>	IVR VSAN トポロジを表示します。
<b>active</b>	アクティブな IVR 機能を表示します。
<b>configured</b>	設定された IVR 機能を表示します。
<b>zone</b>	Inter-VSA Zone (IVZ) コンフィギュレーションを表示します。
<b>name name</b>	データベース内に設定された名前を指定します。
<b>zoneset</b>	Inter-VSA Zone Set (IVZS) コンフィギュレーションを表示します。
<b>brief</b>	設定情報を要約した形式で表示します。
<b>fabric</b>	ファブリックのアクティブゾーンセットのステータスを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.3(1)	このコマンドが導入されました。
2.0(1b)	<b>pending</b> および <b>pending-diff</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにアクセスするには、**ivr enable** コマンドを実行する必要があります。

## 例

次に、IVR 仮想ドメイン コンフィギュレーションのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show ivr virtual-fcdomain-add-status
IVR virtual domains are added to fcdomain list in VSANS: 1
(As well as to VSANs in interoperability mode 2 or 3)
```

次に、指定した VSAN の IVR 対応スイッチを表示する例を示します。

```
switch# show ivr enabled-switches vsan 2
AFID    VSAN    DOMAIN          CAPABILITY  SWITCH WWN
-----
      1      2      0x62( 98)      00000001   20:00:00:05:30:01:1b:c2 *
```

Total: 1 ivr-enabled VSAN-Domain pair>

次に、IVR セッションのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show ivr session status
Last Action           : None
Last Action Result    : None
Last Action Failure Reason : None
```

次に、設定済みの IVR VSAN トポロジを表示する例を示します。

```
switch# show ivr vsan-topology
AFID  SWITCH WWN          Active  Cfg. VSANS
-----
      1  20:00:00:05:30:00:3c:5e  yes    yes  3,2000
      1  20:00:00:05:30:00:58:de  yes    yes  2,2000
      1  20:00:00:05:30:01:1b:c2 *  yes    yes  1-2
      1  20:02:00:44:22:00:4a:05  yes    yes  1-2,6
      1  20:02:00:44:22:00:4a:07  yes    yes  2-5
```

Total: 5 entries in active and configured IVR VSAN-Topology

Current Status: Inter-VSAN topology is ACTIVE  
Last activation time: Sat Mar 22 21:46:15 1980

次に、アクティブな IVR VSAN トポロジを表示する例を示します。

```
switch# show ivr vsan-topology active
AFID  SWITCH WWN          Active  Cfg. VSANS
-----
      1  20:00:00:05:30:00:3c:5e  yes    yes  3,2000
      1  20:00:00:05:30:00:58:de  yes    yes  2,2000
      1  20:00:00:05:30:01:1b:c2 *  yes    yes  1-2
      1  20:02:00:44:22:00:4a:05  yes    yes  1-2,6
      1  20:02:00:44:22:00:4a:07  yes    yes  2-5
```

Total: 5 entries in active IVR VSAN-Topology

Current Status: Inter-VSAN topology is ACTIVE  
Last activation time: Sat Mar 22 21:46:15

次に、設定済みの IVR VSAN トポロジを表示する例を示します。

```
switch# show ivr vsan-topology configured
AFID  SWITCH WWN          Active  Cfg. VSANS
-----
      1  20:00:00:05:30:00:3c:5e  yes    yes  3,2000
      1  20:00:00:05:30:00:58:de  yes    yes  2,2000
      1  20:00:00:05:30:01:1b:c2 *  yes    yes  1-2
      1  20:02:00:44:22:00:4a:05  yes    yes  1-2,6
      1  20:02:00:44:22:00:4a:07  yes    yes  2-5
```

Total: 5 entries in configured IVR VSAN-Topology

次に、ユーザ定義および自動検出された IVR VSAN トポロジ データベースを一緒に表示させる方法を示します。

```
switch(config)# show ivr vsan-topology
```

AFID	SWITCH WWN	Active	Cfg.	VSANS
1	20:00:00:0d:ec:04:99:00	yes	no	1-4
1	20:00:00:0d:ec:0e:9c:80 *	yes	no	2,6-7,9
1	20:00:00:0d:ec:0e:b0:40	yes	no	1-3,5,8
1	20:00:00:0d:ec:04:99:00	no	yes	1-4
1	20:00:00:0d:ec:0e:9c:80 *	no	yes	2,6-7,9
1	20:00:00:0d:ec:0e:b0:40	no	yes	1-3,5,8

```
Total: 6 entries in active and configured IVR VSAN-Topology
```

表 22-6 に、`show ivr vsan-topology` で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 22-6 show ivr vsan-topology フィールドの説明

フィールド	説明
AFID	Autonomous Fabric ID (AFID)
Switch WWN	スイッチの World Wide Number
Active	自動検出
Cfg.	手動設定
VSANS	設定された VSAN

次に、IVZ コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show ivr zone
zone name Ivz_vsan2-3
  pwwn 21:00:00:e0:8b:02:ca:4a vsan 3
  pwwn 21:00:00:20:37:c8:5c:6b vsan 2

zone name ivr_qa_z_all
  pwwn 21:00:00:e0:8b:06:d9:1d vsan 1
  pwwn 21:01:00:e0:8b:2e:80:93 vsan 4
  pwwn 10:00:00:00:c9:2d:5a:dd vsan 1
  pwwn 10:00:00:00:c9:2d:5a:de vsan 2
  pwwn 21:00:00:20:37:5b:ce:af vsan 6
  pwwn 21:00:00:20:37:39:6b:dd vsan 6
  pwwn 22:00:00:20:37:39:6b:dd vsan 3
  pwwn 22:00:00:20:37:5b:ce:af vsan 3
  pwwn 50:06:04:82:bc:01:c3:84 vsan 5
```

次に、アクティブな IVZS コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show ivr zoneset active
zoneset name IVR_ZoneSet1
  zone name Ivz_vsan2-3
    pwwn 21:00:00:e0:8b:02:ca:4a vsan 3
    pwwn 21:00:00:20:37:c8:5c:6b vsan 2
```

次に、指定した IVZ の情報を表示する例を示します。

```
switch# show ivr zone name Ivz_vsan2-3
zone name Ivz_vsan2-3
  pwwn 21:00:00:e0:8b:02:ca:4a vsan 3
  pwwn 21:00:00:20:37:c8:5c:6b vsan 2
```

次に、アクティブ IVZS の指定されたゾーンを表示する例を示します。

```
switch# show ivr zone name Ivz_vsan2-3 active
zone name Ivz_vsan2-3
  pwwn 21:00:00:e0:8b:02:ca:4a vsan 3
  pwwn 21:00:00:20:37:c8:5c:6b vsan 2
```

次に、IVZS コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show ivr zoneset
zoneset name ivr_qa_zs_all
  zone name ivr_qa_z_all
    pwwn 21:00:00:e0:8b:06:d9:1d vsan 1
    pwwn 21:01:00:e0:8b:2e:80:93 vsan 4
    pwwn 10:00:00:00:c9:2d:5a:dd vsan 1
    pwwn 10:00:00:00:c9:2d:5a:de vsan 2
    pwwn 21:00:00:20:37:5b:ce:af vsan 6
    pwwn 21:00:00:20:37:39:6b:dd vsan 6
    pwwn 22:00:00:20:37:39:6b:dd vsan 3
    pwwn 22:00:00:20:37:5b:ce:af vsan 3
    pwwn 50:06:04:82:bc:01:c3:84 vsan 5

zoneset name IVR_ZoneSet1
  zone name Ivz_vsan2-3
    pwwn 21:00:00:e0:8b:02:ca:4a vsan 3
    pwwn 21:00:00:20:37:c8:5c:6b vsan 2
```

次に、IVR VSAN トポロジの概略情報を表示する例を示します。

```
switch# show ivr vsan-topology configured
AFID  SWITCH  WWN                Active  Cfg.  VSANS
-----
  1   20:00:00:05:30:00:3c:5e    yes    yes   3,2000
  1   20:00:00:05:30:00:58:de    yes    yes   2,2000
  1   20:00:00:05:30:01:1b:c2 *  yes    yes   1-2
  1   20:02:00:44:22:00:4a:05    yes    yes   1-2,6
  1   20:02:00:44:22:00:4a:07    yes    yes   2-5
```

Total: 5 entries in configured IVR VSAN-Topology

次に、アクティブ IVZS の概略情報を表示する例を示します。

```
switch# show ivr zoneset brief Active
zoneset name IVR_ZoneSet1
  zone name Ivz_vsan2-3
```

次に、IVZ のステータス情報を表示する例を示します。

```
switch# show ivr zoneset brief status
Zoneset Status

-----
name           : IVR_ZoneSet1
state          : activation success
last activate time : Sat Mar 22 21:38:46 1980
force option   : off

status per vsan:

-----
vsan    status
-----
  2      active
```

次に、指定したゾーンセットを表示する例を示します。

```
switch# show ivr zoneset name IVR_ZoneSet1
zoneset name IVR_ZoneSet1
  zone name Ivz_vsan2-3
    pwwn 21:00:00:e0:8b:02:ca:4a vsan 3
    pwwn 21:00:00:20:37:c8:5c:6b vsan 2
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ivr distribute</b>	IVR Cisco Fabric Services (CFS) 配信をイネーブルにします。
<b>ivr enable</b>	IVR をイネーブルにします。

## show ivr fcdomain database

固定 Fibre Channel (FC) ID マッピングを含む IVR FC ドメイン データベースを表示するには、**show ivr fcdomain database** コマンドを使用します。

```
show ivr fcdomain database [autonomous-fabric-num afid-num vsan vsan-id]
```

#### シンタックスの説明

<b>autonomous-fabric-num afid-num</b>	Autonomous Fabric ID (AFID) を指定します。有効範囲は 1 ~ 64 です。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN(仮想 SAN)ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

#### デフォルト

なし

#### コマンドモード

EXEC モード

#### コマンド履歴

リリース	変更内容
2.1(2)	このコマンドが導入されました。

#### 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、すべての IVR FC ドメイン データベース エントリを表示する例を示します。

```
switch# show ivr fcdomain database
-----
AFID  Vsan  Native-AFID  Native-Vsan  Virtual-domain
-----
   1    2         10         11         0xc(12)
  21   22         20         11         0xc(12)
```

Number of Virtual-domain entries: 2

```
-----
AFID  Vsan          Pwwn          Virtual-fcid
-----
  21   22  11:22:33:44:55:66:77:88  0x114466
  21   22  21:22:33:44:55:66:77:88  0x0c4466
  21   22  21:22:33:44:55:66:78:88  0x0c4466
```

Number of Virtual-fcid entries: 3

次に、特定の AFID および VSAN の IVR FC ドメイン データベース エントリを表示する例を示します。

```
switch# show ivr fcdomain database autonomous-fabric-num 21 vsan 22
-----
AFID  Vsan  Native-AFID  Native-Vsan  Virtual-domain
-----
  21   22         20         11         0xc(12)
```

Number of Virtual-domain entries: 1

```
-----
AFID  Vsan          Pwwn          Virtual-fcid
-----
  21   22  11:22:33:44:55:66:77:88  0x114466
  21   22  21:22:33:44:55:66:77:88  0x0c4466
  21   22  21:22:33:44:55:66:78:88  0x0c4466
```

Number of Virtual-fcid entries: 3

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>ivr fcdomain database autonomous-fabric-num</code>	IVR 永続的 FC ID を作成します。

# show ivr service-group

Inter-VSAN Routing (IVR) サービス グループを表示するには、**show ivr service-group** コマンドを使用します。

**show ivr service-group [active | configured]**

シンタックスの説明	active	configured
	アクティブな IVR サービス グループを表示します。	設定済 IVR サービス グループを表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 最大 16 の IVR サービス グループを設定できます。

例 次に、IVR サービス グループを表示する例を示します。

```
switch# show ivr service-group

IVR CONFIGURED Service Group
=====
SG-ID SG-NAME AFID VSANS
-----
1 sg-100 1 200-201,250,270
2 sg-200 1 100-101,150,170
Total: 2 entries in configured service group table

IVR ACTIVE Service Group
=====
SG-ID SG-NAME AFID VSANS
-----
1 sg-100 1 200-201,250,270
2 sg-200 1 100-101,150,170
Total: 2 entries in active service group table
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>clear ivr service-group database</b>	IVR サービス グループ データベースをクリアします。
	<b>ivr service-group name</b>	IVR サービス グループを設定します。

## show ivr virtual-fcdomain-add-status2

すべての IVR 対応スイッチの特定の AFID および VSAN（仮想 SAN）の Request Domain ID（RDI）モードを表示するには、**show ivr virtual-fcdomain-add-status2** コマンドを使用します。

```
show ivr virtual-fcdomain-add-status2
```

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

リリース	変更内容
3.3(1a)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、ローカルスイッチの RDI モードを表示する例を示します。

```
switch# show ivr virtual-fcdomain-add-status2
IVR virtual domains are added to fcdomain list in VSANS: 2 for afid 1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>ivr virtual-fcdomain-add2</b>	すべての IVR 対応スイッチの特定の AFID および VSAN で RDI モードを設定します。

# show ivr virtual-switch-wwn

Inter-VSAN Routing (IVR) 仮想スイッチ WWN (sWWN) を表示するには、**show ivr virtual-switch-wwn** コマンドを使用します。

```
show ivr virtual-switch-wwn native-switch-wwn switch-wwn native-vsan vsan-id
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<b>native-switch-wwn</b> <i>switch-wwn</i>	ネイティブ スイッチの sWWN を指定します。フォーマットは、ドットで区切られた 16 進数です。
	<b>native-vsan</b> <i>vsan-id</i>	ネイティブ VSAN (仮想 SAN) の ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** 仮想スイッチの sWWN は、仮想スイッチが使用されているすべての VSAN のファブリック パインディング データベース内に存在していなければいけません。sWWN がデータベース内にない場合、FICON over IVR を実装しようとする前にこれを追加する必要があります。

**例** 次に、IVR 仮想 sWNN を表示する例を示します。

```
switch# show ivr virtual-switch-wwn native-switch-wwn 20:00:00:0d:ec:00:8c:c0
native-vsan 1
virtual switch wwn : 20:01:00:0d:ec:00:8c:c1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show ivr</b>	IVR 情報を表示します。

# show kernel core

カーネル コア設定情報を表示するには、**show kernel core** コマンドを使用します。

```
show kernel core {limit | module slot | target}
```

シンタックスの説明	limit	設定したラインカードの制限を表示します。
	module slot	指定したスロットにあるモジュールのカーネル コア設定を表示します。
	target	設定したターゲット IP アドレスを表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、カーネル コア設定を表示する例を示します。

```
switch# show kernel core limit
2

switch# show kernel core target
10.50.5.5

switch# show kernel core module 5
module 5 core is enabled
level is header
dst_ip is 10.50.5.5
src_port is 6671
dst_port is 6666
dump_dev_name is eth1
dst_mac_addr is 00:00:0C:07:AC:01
```

# show license

ライセンス情報を表示するには、**show license** コマンドを使用します。

**show license** [**brief** | **default** | **file filename** | **host-id license-name** | **usage**]

## シンタックスの説明

<b>brief</b>	スイッチにインストールされているライセンスのリストを表示します。
<b>default</b>	デフォルトライセンスを使用してサービスを表示します。
<b>file filename</b>	特定のライセンス ファイルの情報を表示します。
<b>host-id license-name</b>	ノードに固定のライセンスの要求に使用するホスト ID を表示します。
<b>usage</b>	現在のライセンスの使用状況に関する情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.3(2)	このコマンドが導入されました。
3.1(2)	<b>default</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、スイッチにインストールされた特定のライセンスを表示する例を示します。

```
switch# show license file fcports.lic
fcports.lic:
SERVER this_host ANY
VENDOR cisco
FEATURE fcports cisco 1.000 permanent 30 HOSTID=VDH=4C0AF664 \
SIGN=24B2B68AA676 <-----fcport license
```

次に、スイッチにインストールされているライセンスのリストを表示する例を示します。

```
switch# show license brief
fcports.lic
ficon.lic
```

次に、スイッチにインストールされたすべてのライセンスを表示する例を示します。

```
switch# show license
fcports.lic:
SERVER this_host ANY
VENDOR cisco
FEATURE fcports cisco 1.000 permanent 30 HOSTID=VDH=4C0AF664 \
SIGN=24B2B68AA676 <-----fcport license
ficon.lic:
FEATURE ficon cisco 1.000 permanent uncounted HOSTID=VDH=4C0AF664 \
SIGN=CB7872B23700 <-----ficon license
```

次に、ノードに固定のライセンスを要求するのに必要なホスト ID を表示する例を示します。

```
switch# show license host-id
License hostid:VDH=4C0AF664
```

The following example displays information about current license usage.

```
switch# show license usage
Feature                               Installed  License Status  ExpiryDate  Comments
-----
-----
FM_SERVER_PKG                         Yes       -              Unused      never       license missing
MAINFRAME_PKG                         No        -              Unused      57days15hrs  Grace Period
ENTERPRISE_PKG                       Yes       -              InUse       never       -
SAN_EXTN_OVER_IP                     No        0              Unused      -
SAN_EXTN_OVER_IP_IPS4                No        0              Unused
```

次に、デフォルト ライセンスを使用してサービスを表示する例を示します。

```
switch# show license default
Feature                               Default License Count
-----
-----
FM_SERVER_PKG                         -
ENTERPRISE_PKG                       -
PORT_ACTIVATION_PKG                  12
10G_PORT_ACTIVATION_PKG              0
```

# show line

仮想端末回線を設定するには、**show line** コマンドを使用します。

```
show line [com1 [user-input-string] | console [connected | user-input-string]]
```

## シンタックスの説明

<b>com1</b>	補助回線コンフィギュレーションを表示します。
<b>user-input-string</b>	ユーザ入力の初期文字列を表示します。
<b>console</b>	コンソール回線コンフィギュレーションを表示します。
<b>connected</b>	物理接続のステータスを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2(1)	このコマンドが導入されました。
3.0(1)	スーパーバイザ 1 およびスーパーバイザ 2 モジュールの例を変更しました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、スーパーバイザ 1 モジュールを搭載した MDS スイッチからの出力の例を示します。

```
switch# show line console
line Console:
Speed: 9600 bauds
Databits: 8 bits per byte
Stopbits: 1 bit(s)
Parity: none
Modem In: Enable
Modem Init-String -
default : ATE0Q1&D2&C1S0=1\015
Statistics: tx:12842 rx:366 Register Bits:RTS|CTS|DTR|DSR|CD|RI
```

次に、スーパーバイザ 2 モジュールを搭載した MDS スイッチからの出力の例を示します。

```
switch# show line console
line Console:
Speed: 9600 bauds
Databits: 8 bits per byte
Stopbits: 1 bit(s)
Parity: none
Modem In: Enable
Modem Init-String -
default : ATE0Q0V1&D0&C0S0=1\015
Statistics: tx:12842 rx:366 Register Bits:RTS|CTS|DTR|DSR|CD|RI
```

次に、スーパーバイザ 1 モジュールを搭載した MDS スイッチからの出力の例を示します。

```
switch# show line com1
line Aux:
Speed: 9600 bauds
Databits: 8 bits per byte
Stopbits: 1 bit(s)
Parity: none
Modem In: Enable
Modem Init-String -
default : ATE0Q1&D2&C1S0=1\015
Statistics: tx:17 rx:0 Register Bits:RTS|DTR
```

次に、スーパーバイザ 2 モジュールを搭載した MDS スイッチからの出力の例を示します。

```
switch# show line com1
line Aux:
Speed: 9600 bauds
Databits: 8 bits per byte
Stopbits: 1 bit(s)
Parity: none
Modem In: Enable
Modem Init-String -
default : ATE0Q0V1&D0&C0S0=1\015
Statistics: tx:17 rx:0 Register Bits:RTS|DTR
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
line console	プライマリ端末回線を設定します。
line aux	補助 COM 1 ポートを設定します。
clear line	設定された回線セッションを削除します。

# show logging

現在のメッセージ ロギング コンフィギュレーションを表示するには、**show logging** コマンドを使用します。

```
show logging [console | info | last lines | level facility | logfile | module | monitor |
nvrn [last lines] | onboard information | pending | pending-diff | server | status]
```

## シンタックスの説明

<b>console</b>	コンソール ロギング コンフィギュレーションを表示します。
<b>info</b>	ロギング コンフィギュレーションを表示します。
<b>last lines</b>	ログ ファイルの終わりの数行を表示します。有効範囲は 1 ~ 9999 です。
<b>level facility</b>	ファシリティ ロギング コンフィギュレーションを表示します。ファシリティの値には、 <b>aaa</b> 、 <b>acl</b> 、 <b>auth</b> 、 <b>authpriv</b> 、 <b>bootvar</b> 、 <b>callhome</b> 、 <b>cdp</b> 、 <b>cfs</b> 、 <b>cimserver</b> 、 <b>cron</b> 、 <b>daemon</b> 、 <b>device-alias</b> 、 <b>dstats</b> 、 <b>ethport</b> 、 <b>fc2d</b> 、 <b>fcc</b> 、 <b>fed</b> 、 <b>fedomain</b> 、 <b>fcns</b> 、 <b>fcsp-mgr</b> 、 <b>fdmi</b> 、 <b>ficon</b> 、 <b>flogi</b> 、 <b>fspf</b> 、 <b>ftp</b> 、 <b>ike</b> 、 <b>ipacl</b> 、 <b>ipconf</b> 、 <b>ipfc</b> 、 <b>ips</b> 、 <b>ipsec</b> 、 <b>isns</b> 、 <b>kernel</b> 、 <b>license</b> 、 <b>localn</b> 、 <b>lpr</b> 、 <b>mail</b> 、 <b>mcast</b> 、 <b>module</b> 、 <b>news</b> 、 <b>platform</b> 、 <b>port</b> 、 <b>port-security</b> 、 <b>qos</b> 、 <b>radius</b> 、 <b>rdd</b> 、 <b>rib</b> 、 <b>rlir</b> 、 <b>rscn</b> 、 <b>scsi-target</b> 、 <b>security</b> 、 <b>syslog</b> 、 <b>sysmgr</b> 、 <b>systemhealth</b> 、 <b>tacacs</b> 、 <b>tlport</b> 、 <b>user</b> 、 <b>uucp</b> 、 <b>vni</b> 、 <b>vrrp-cfg</b> 、 <b>vsan</b> 、 <b>vshd</b> 、 <b>wwm</b> 、 <b>xbar</b> 、 <b>zone</b> が含まれます。
<b>logfile</b>	ログ ファイルの内容を表示します。
<b>module</b>	モジュールのロギング コンフィギュレーションを表示します。
<b>monitor</b>	モニタのロギング コンフィギュレーションを表示します。
<b>nvrn</b>	NVRAM (不揮発性 RAM) ログを表示します。
<b>onboard information</b>	Onboard Failure Logging (OBFL; オンボード障害ロギング) 情報を表示します。情報のタイプには、 <b>boot-uptime</b> 、 <b>cpu-hog</b> 、 <b>device-version</b> 、 <b>endtime</b> 、 <b>environmental-history</b> 、 <b>error-stats</b> 、 <b>exception-log</b> 、 <b>interrupt-stats</b> 、 <b>mem-leak</b> 、 <b>miscellaneous-error</b> 、 <b>module</b> 、 <b>obfl-history</b> 、 <b>obfl-logs</b> 、 <b>register-log</b> 、 <b>stack-trace</b> 、 <b>starttime</b> 、 <b>status</b> 、 <b>system-health</b> が含まれています。
<b>pending</b>	サーバアドレス未決定コンフィギュレーションを表示します。
<b>pending-diff</b>	サーバアドレス未決定コンフィギュレーションとアクティブ コンフィギュレーションの差異を表示します。
<b>server</b>	サーバロギング コンフィギュレーションを表示します。
<b>status</b>	最終操作のステータスを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.3(1)	このコマンドが導入されました。
2.0(x)	<b>pending</b> 、 <b>pending-diff</b> 、および <b>status</b> キーワードが追加されました。
3.0(1)	<b>onboard</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

なし

例 次に、現在のシステム メッセージ ロギングを表示する例を示します。

```
switch# show logging

Logging console:           enabled (Severity: notifications)
Logging monitor:          enabled (Severity: information)
Logging linecard:         enabled (Severity: debugging)
Logging server:           enabled
{172.22.0.0}
    server severity:       debugging
    server facility:       local7
{172.22.0.0}
    server severity:       debugging
    server facility:       local7
Logging logfile:          enabled
    Name - external/sampleLogFile: Severity - notifications Size - 3000000

syslog_get_levels :: Error(-1) querying severity values for fcmls at SAP 30
syslog_get_levels :: Error(-1) querying severity values for fcfwd at SAP 38
Facility      Default Severity      Current Session Severity
-----
kern          6                        4
user          3                        3
mail          3                        3
daemon        7                        7
auth          0                        0
syslog        3                        3
lpr           3                        3
news          3                        3
uucp          3                        3
cron          3                        3
authpriv      3                        3
ftp           3                        3
local0        3                        3
local1        3                        3
local2        3                        3
local3        3                        3
local4        3                        3
local5        3                        3
local6        3                        3
local7        3                        3
fspf          3                        3
fcdomain      2                        2
module        5                        5
zone          2                        2
vni           2                        2
ipconf        2                        2
ipfc          2                        2
xbar          3                        3
fcns          2                        2
fcs           2                        2
acl           2                        2
tlport        2                        2
port          5                        5
port_channel  5                        5
fcmls         0                        0
wnn           3                        3
fcc           2                        2
qos           3                        3
vrrp_cfg      2                        2
fcfwd         0                        0
ntp           2                        2
platform      5                        5
vrrp_eng      2                        2
callhome      2                        2
mcast         2                        2
rscn          2                        2
securityd     2                        2
vhbad         2                        2
```

## ■ show logging

```
rib                2                2
vshd               5                5

0 (emergencies)   1 (alerts)       2 (critical)
3 (errors)        4 (warnings)     5 (notifications)
6 (information)   7 (debugging)
```

Nov 8 16:48:04 excal-113 %LOG\_VSHD-5-VSHD\_SYSLOG\_CONFIG\_I: Configuring console  
from pts/1 (171.71.58.56)  
Nov 8 17:44:09 excal-113 %LOG\_VSHD-5-VSHD\_SYSLOG\_CONFIG\_I: Configuring console  
from pts/0 (171.71.58.72)

次に、コンソール ロギング ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show logging console
Logging console:                enabled (Severity: notifications)
```

次に、ロギング ファシリティ ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show logging facility
syslog_get_levels :: Error(-1) querying severity values for fcmls at SAP 30
syslog_get_levels :: Error(-1) querying severity values for fcfwd at SAP 38
Facility           Default Severity      Current Session Severity
-----
kern                6                      4
user                3                      3
mail                3                      3
daemon              7                      7
auth                0                      0
syslog              3                      3
lpr                 3                      3
news                3                      3
uucp                3                      3
cron                3                      3
authpriv            3                      3
ftp                 3                      3
local0              3                      3
local1              3                      3
local2              3                      3
local3              3                      3
local4              3                      3
local5              3                      3
local6              3                      3
local7              3                      3
fspf                3                      3
fcdomain            2                      2
module              5                      5
zone                2                      2
vni                 2                      2
ipconf              2                      2
ipfc                2                      2
xbar                3                      3
fcns                2                      2
fcs                 2                      2
acl                 2                      2
tlport              2                      2
port                5                      5
port_channel        5                      5
fcmls               0                      0
wn                  3                      3
fcc                 2                      2
qos                 3                      3
vrrp_cfg            2                      2
fcfwd               0                      0
ntp                 2                      2
platform            5                      5
vrrp_eng            2                      2
callhome            2                      2
mcast               2                      2
rscn                2                      2
securityd           2                      2
vhbad               2                      2
rib                 2                      2
vshd                5                      5

0 (emergencies)    1 (alerts)             2 (critical)
3 (errors)          4 (warnings)           5 (notifications)
6 (information)    7 (debugging)
```

次に、ロギング情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging info

Logging console:                enabled (Severity: notifications)
Logging monitor:                enabled (Severity: information)
Logging linecard:              enabled (Severity: debugging)
Logging server:                 enabled
{172.22.95.167}
    server severity:            debugging
    server facility:           local7
{172.22.92.58}
    server severity:            debugging
    server facility:           local7
Logging logfile:                enabled
    Name - external/sampleLogFile: Severity - notifications Size - 3000000

syslog_get_levels :: Error(-1) querying severity values for fcmps at SAP 30
syslog_get_levels :: Error(-1) querying severity values for fcfwd at SAP 38
Facility      Default Severity      Current Session Severity
-----
kern          6                        4
user          3                        3
mail          3                        3
daemon        7                        7
auth          0                        0
syslog        3                        3
lpr           3                        3
news          3                        3
uucp          3                        3
cron          3                        3
authpriv      3                        3
ftp           3                        3
local0        3                        3
local1        3                        3
local2        3                        3
local3        3                        3
local4        3                        3
local5        3                        3
local6        3                        3
local7        3                        3
fspf          3                        3
fcdomain      2                        2
module        5                        5
zone          2                        2
vni           2                        2
ipconf        2                        2
ipfc          2                        2
xbar          3                        3
fcns          2                        2
fcs           2                        2
acl           2                        2
tlport        2                        2
port          5                        5
port_channel  5                        5
fcmps         0                        0
wwn           3                        3
fcc           2                        2
qos           3                        3
vrrp_cfg      2                        2
fcfwd         0                        0
ntp           2                        2
platform      5                        5
vrrp_eng      2                        2
callhome      2                        2
mcast         2                        2
rscn          2                        2
securityd     2                        2
vhbad         2                        2
rib           2                        2
vshd          5                        5
```

```

0 (emergencies)          1 (alerts)           2 (critical)
3 (errors)               4 (warnings)        5 (notifications)
6 (information)          7 (debugging)

```

次に、ログファイルの終わりの数行を表示する例を示します。

```

switch# show logging last 2
Nov  8 16:48:04 excal-113 %LOG_VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configuring console
from pts/1 (171.71.58.56)
Nov  8 17:44:09 excal-113 %LOG_VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configuring console
from pts/0 (171.71.58.72)

```

次に、スイッチング モジュールのロギング ステータスを表示する例を示します。

```

switch# show logging module
Logging linecard:                enabled (Severity: debugging)

```

次に、モニタ ロギング ステータスを表示する例を示します。

```

switch# show logging monitor
Logging monitor:                 enabled (Severity: information)

```

次に、サーバ情報を表示する例を示します。

```

switch# show logging server
Logging server:                 enabled
{172.22.95.167}
  server severity:             debugging
  server facility:             local7
{172.22.92.58}
  server severity:             debugging
  server facility:             local7

```

次に、モジュール 2 の boot-uptime のオンボード障害ロギングの例を示します。

```

switch# show logging onboard module 2 boot-uptime
-----

```

```

Module: 2
-----

```

```

Wed Nov  9 12:05:56 2005: Boot Record
-----

```

```

Boot Time.....: Wed Nov  9 12:05:56 2005
Slot Number.....: 2
Serial Number.....: JAB0912026U
Bios Version.....: v0.0.8(08/18/05)
Alt Bios Version...: v0.0.8(08/18/05)
Firmware Version...: 3.0(1) [build 3.0(0.276)]

```

```

Wed Nov  9 11:58:04 2005: Card Uptime Record
-----

```

```

Uptime: 273, 0 days 0 hour(s) 4 minute(s) 33 second(s)
Reset Reason: Reset Requested by CLI command reload (9)
Card Mode.....: Runtime

```

```

Wed Nov  9 12:05:56 2005: Card Uptime Record
-----

```

```

Uptime: 32, 0 days 0 hour(s) 0 minute(s) 32 second(s)
Reset Reason: Unknown (0)
Card Mode.....: Runtime

```

次に、boot-uptime のオンボード障害ロギングの例を示します。

```
switch# show logging onboard boot-uptime
-----
Module: 2
-----

Wed Nov  9 12:05:56 2005:  Boot Record
-----
Boot Time.....: Wed Nov  9 12:05:56 2005
Slot Number.....: 2
Serial Number.....: JAB0912026U
Bios Version.....: v0.0.8(08/18/05)
Alt Bios Version...: v0.0.8(08/18/05)
Firmware Version...: 3.0(1) [build 3.0(0.276)]

Wed Nov  9 11:58:04 2005:  Card Uptime Record
-----
Uptime: 273, 0 days 0 hour(s) 4 minute(s) 33 second(s)
Reset Reason: Reset Requested by CLI command reload (9)
Card Mode.....: Runtime

Wed Nov  9 12:05:56 2005:  Card Uptime Record
-----
Uptime: 32, 0 days 0 hour(s) 0 minute(s) 32 second(s)
Reset Reason: Unknown (0)
Card Mode.....: Runtime

-----
Module: 5
-----

Wed Nov  9 12:05:05 2005:  Boot Record
-----
Boot Time.....: Wed Nov  9 12:05:05 2005
Slot Number.....: 5
Serial Number.....: JAB091100TS
Bios Version.....: 00.01.01 (Oct 25 2005 - 15:48:45)
Alt Bios Version...: 00.01.01 (Oct 25 2005 - 15:48:45)
Firmware Version...: 3.0(1) [build 3.0(0.274)]

Wed Nov  9 11:58:04 2005:  Card Uptime Record
-----
Uptime: 503255, 5 days 19 hour(s) 47 minute(s) 35 second(s)
Reset Reason: Reset reason: Reset Requested by CLI command reload (9)
Card Mode.....: Runtime

Wed Nov  9 12:05:05 2005:  Card Uptime Record
-----
Uptime: 172, 0 days 0 hour(s) 2 minute(s) 52 second(s)
Reset Reason: Reset reason: Unknown (0)
Card Mode.....: Runtime
```

次に、device-version のオンボード障害ロギングの例を示します。

```
switch# show logging onboard device-version
-----
Module: 2
-----

Device Version Record
-----
Timestamp                Device Name                Instance Hardware Software
                          Num   Version   Version
-----
Wed Nov  9 12:05:56 2005  Stratosphere                0         1         1
Wed Nov  9 12:05:56 2005  Stratosphere                1         1         1
Wed Nov  9 12:05:56 2005  Skyline-asic                0         1         1
Wed Nov  9 12:05:56 2005  Tuscany-asic                0         1         0
Wed Nov  9 12:05:56 2005  X-Bus IO                    0         6         0
Wed Nov  9 12:05:56 2005  Power Mngmnt Epl           0         6         0
-----
Module: 5
-----

Device Version Record
-----
Timestamp                Device Name                Instance Hardware Software
                          Num   Version   Version
-----
Wed Nov  9 12:05:05 2005  Power Mngmnt Epl           0         7         0
Wed Nov  9 12:05:05 2005  IO FPGA Molakini           0         8         0
Wed Nov  9 12:05:05 2005  bellagio2                   0         1         0
Wed Nov  9 12:05:05 2005  BabyCaesar                  0         1         0
```

次に、システム ヘルスのオンボード障害ロギングの例を示します。

```
switch# show logging onboard system-health

Feature supported only on active-sup
-----
Module: 5
-----

Wed Nov  9 12:04:58 2005@345463 (5/31/0x0): System health started with pid 2607
Wed Nov  9 12:05:05 2005@943388 (5/31/0xb): Module Supervisor 5, swid 31 came online
Wed Nov  9 12:05:05 2005@944275 (5/31/0xb): LC config removed for module 7
Wed Nov  9 12:05:05 2005@944454 (5/31/0xb): LC config removed for module 8
Wed Nov  9 12:05:05 2005@944592 (5/31/0xb): LC config removed for module 9
Wed Nov  9 12:05:05 2005@944717 (5/31/0xb): LC config removed for module 10
Wed Nov  9 12:05:05 2005@944846 (5/31/0xb): LC config removed for module 11
Wed Nov  9 12:05:05 2005@944969 (5/31/0xb): LC config removed for module 12
Wed Nov  9 12:05:05 2005@945094 (5/31/0xb): LC config removed for module 13
Wed Nov  9 12:05:05 2005@945222 (5/31/0xb): LC config removed for module 14
Wed Nov  9 12:05:05 2005@945343 (5/31/0xb): LC config removed for module 15
Wed Nov  9 12:05:05 2005@945470 (5/31/0xb): LC config removed for module 16
Wed Nov  9 12:05:50 2005@814217 (2/29/0x0): System health started with pid 397
Wed Nov  9 12:05:56 2005@904068 (5/31/0xb): LC inserted for module 2
Wed Nov  9 12:05:59 2005@167373 (5/31/0xb): Module Linecard 2, swid 29 came online

switch# show logging onboard
boot-uptime           exception-log          obfl-logs
cpu-hog               interrupt-stats        register-log
device-version         mem-leak               stack-trace
endtime               miscellaneous-error    starttime
environmental-history module                  status
error-stats           obfl-history           system-health
```

次に、obfl-logs のオンボード障害ロギングの例を示します。

```
switch# show logging onboard obfl-logs
Module: 1 not online.
```

```
OBFL: Status:
```

```
Module: 2 OBFL Log: Enabled
cpu-hog Enabled
environmental-history Enabled
error-stats Enabled
exception-log Enabled
interrupt-stats Enabled
mem-leak Enabled
miscellaneous-error Enabled
obfl-log (boot-uptime/device-version/obfl-history) Enabled
register-log Enabled
stack-trace Enabled
```

```
OBFL: Memory Leak:
```

```
-----
Module: 2
-----
```

```
OBFL: Stack Trace:
```

```
-----
Module: 2
-----
```

```
OBFL: Environment History:
```

```
-----
Module: 2
-----
```

```
===== Sensor Temperature History Log =====
```

```
-----
Wed Nov 9 12:05:50 2005 sensor 0 temperature 31
Wed Nov 9 12:05:50 2005 sensor 1 temperature 31
Wed Nov 9 12:05:50 2005 sensor 2 temperature 29
Wed Nov 9 12:06:20 2005 sensor 0 temperature 33
Wed Nov 9 12:06:20 2005 sensor 1 temperature 34
Wed Nov 9 12:06:50 2005 sensor 0 temperature 35
Wed Nov 9 12:06:50 2005 sensor 1 temperature 36
Wed Nov 9 12:07:20 2005 sensor 1 temperature 38
Wed Nov 9 12:08:50 2005 sensor 0 temperature 37
Wed Nov 9 12:08:50 2005 sensor 1 temperature 40
```

```
===== Sensor Temperature Error Log =====
```

```
-----
Wed Nov 9 12:05:50 2005 Start of Service: sensor 0 initial temperature 31
Wed Nov 9 12:05:50 2005 Start of Service: sensor 1 initial temperature 31
Wed Nov 9 12:05:50 2005 Start of Service: sensor 2 initial temperature 29
```

```
OBFL: Interrupt Statistics:
```

```
-----
Module: 2
-----
```

```
-----
INTERRUPT COUNTS INFORMATION FOR DEVICE ID 63 DEVICE: Stratosphere
-----
```

Interrupt Counter Name	Count	Thresh	Time Stamp	In Port
			MM/DD/YY HH:MM:SS	st Rang
				Id e

```
-----
```

```

FCP_LAF_MISC_INT_DT_IN_OBUF          |7      |0      |11/09/05 12:06:00|00|1
FCP_MAC_SR1_LR_DETECTED               |1      |0      |11/09/05 12:06:00|00|1
FCP_MAC_SR1_LRR_DETECTED              |1      |0      |11/09/05 12:06:00|00|1
FCP_MAC_SR1_OLS_DETECTED              |1      |0      |11/09/05 12:06:00|00|1
FCP_MAC_SR2_LRR_IDLE_RECEIVED         |1      |0      |11/09/05 12:06:00|00|1
FCP_MAC_SR2_AL_NON_F8_LIP_RECEIVED   |2      |0      |11/09/05 12:06:00|00|1
FCP_MAC_SR2_AL_LIP_RECEIVED          |1      |0      |11/09/05 12:06:00|00|1
FCP_MAC_SR2_AL_ARB_F0_RECEIVED       |1      |0      |11/09/05 12:06:00|00|1
FCP_LAF_MISC_INT_DT_IN_OBUF          |2      |0      |11/09/05 12:06:00|00|2
FCP_MAC_SR1_OLS_DETECTED              |1      |0      |11/09/05 12:06:00|00|2
FCP_MAC_SR2_AL_NON_F8_LIP_RECEIVED   |2      |0      |11/09/05 12:06:00|00|2
FCP_MAC_SR2_AL_LIP_RECEIVED          |3      |0      |11/09/05 12:06:00|00|2
FCP_LAF_MISC_INT_DT_IN_OBUF          |b      |0      |11/09/05 12:06:00|00|3
FCP_MAC_SR1_LR_DETECTED               |3      |0      |11/09/05 12:06:00|00|3
FCP_MAC_SR1_LRR_DETECTED              |2      |0      |11/09/05 12:06:00|00|3
FCP_MAC_SR1_OLS_DETECTED              |2      |0      |11/09/05 12:06:00|00|3
FCP_MAC_SR2_LR_IDLE_RECEIVED         |1      |0      |11/09/05 12:06:00|00|3
FCP_MAC_SR2_LRR_IDLE_RECEIVED         |2      |0      |11/09/05 12:06:00|00|3
FCP_MAC_SR2_AL_NON_F8_LIP_RECEIVED   |3      |0      |11/09/05 12:06:00|00|3
FCP_MAC_SR2_AL_LIP_RECEIVED          |1      |0      |11/09/05 12:06:00|00|3
FCP_MAC_SR2_AL_ARB_F0_RECEIVED       |2      |0      |11/09/05 12:06:00|00|3
FCP_LAF_MISC_INT_DT_IN_OBUF          |2      |0      |11/09/05 12:06:00|00|4
FCP_MAC_SR1_LRR_DETECTED              |1      |0      |11/09/05 12:06:00|00|4
FCP_MAC_SR1_OLS_DETECTED              |3      |0      |11/09/05 12:06:00|00|4
FCP_MAC_SR2_LRR_IDLE_RECEIVED         |1      |0      |11/09/05 12:06:00|00|4
FCP_MAC_SR2_AL_NON_F8_LIP_RECEIVED   |3      |0      |11/09/05 12:06:00|00|4
FCP_MAC_SR2_AL_LIP_RECEIVED          |3      |0      |11/09/05 12:06:00|00|4
FCP_LAF_MISC_INT_DT_IN_OBUF          |d      |0      |11/09/05 12:06:05|00|1
FCP_MAC_SR1_LRR_DETECTED              |2      |0      |11/09/05 12:06:05|00|1
FCP_MAC_SR1_OLS_DETECTED              |2      |0      |11/09/05 12:06:05|00|1
FCP_MAC_SR2_LRR_IDLE_RECEIVED         |2      |0      |11/09/05 12:06:05|00|1
FCP_MAC_SR2_AL_LIP_RECEIVED          |2      |0      |11/09/05 12:06:05|00|1
FCP_MAC_SR2_AL_ARB_F0_RECEIVED       |2      |0      |11/09/05 12:06:05|00|1
FCP_LAF_MISC_INT_DT_IN_OBUF          |3      |0      |11/09/05 12:06:05|00|2
FCP_MAC_SR1_LR_DETECTED               |1      |0      |11/09/05 12:06:05|00|2
FCP_MAC_SR1_OLS_DETECTED              |3      |0      |11/09/05 12:06:05|00|2
FCP_MAC_SR2_LR_IDLE_RECEIVED         |1      |0      |11/09/05 12:06:05|00|2
FCP_MAC_SR2_AL_NON_F8_LIP_RECEIVED   |4      |0      |11/09/05 12:06:05|00|2

```

OBFL: Error Statistics:

```

-----
Module: 2
-----

```

OBFL: System Bootup Record:

```

-----
Module: 2
-----

```

Wed Nov 9 12:05:56 2005: Boot Record

```

-----
Boot Time.....: Wed Nov 9 12:05:56 2005
Slot Number.....: 2
Serial Number.....: JAB0912026U
Bios Version.....: v0.0.8(08/18/05)
Alt Bios Version...: v0.0.8(08/18/05)
Firmware Version...: 3.0(1) [build 3.0(0.276)]

```

Wed Nov 9 12:05:56 2005: Card Uptime Record

```

-----
Uptime: 32, 0 days 0 hour(s) 0 minute(s) 32 second(s)
Reset Reason: Unknown (0)
Card Mode.....: Runtime

```

OBFL: Device Versions in Switch:

-----  
 Module: 2  
 -----

Device Version Record

Timestamp	Device Name	Instance Num	Hardware Version	Software Version
Wed Nov 9 12:05:56 2005	Stratosphere	0	1	1
Wed Nov 9 12:05:56 2005	Stratosphere	1	1	1
Wed Nov 9 12:05:56 2005	Skyline-asic	0	1	1
Wed Nov 9 12:05:56 2005	Tuscany-asic	0	1	0
Wed Nov 9 12:05:56 2005	X-Bus IO	0	6	0
Wed Nov 9 12:05:56 2005	Power Mngmnt Epl	0	6	0

OBFL: Exception Log:

-----  
 Module: 2  
 -----

OBFL: Register Log:

-----  
 Module: 2  
 -----

OBFL: Miscellaneous Error Logs:

-----  
 Module: 2  
 -----

LC Config Record: Wed Nov 9 12:05:40 2005@471600  
 lc\_copy\_from\_sup\_to\_lc() failure for sdwrap: 121

OBFL: Status:

Module: 5 OBFL Log:	Enabled
error-stats	Enabled
exception-log	Enabled
miscellaneous-error	Enabled
obfl-log (boot-uptime/device-version/obfl-history)	Enabled
system-health	Enabled
stack-trace	Enabled

OBFL: Memory Leak:

-----  
 Module: 5  
 -----

mem-leak: This option not supported on SUP.

OBFL: Stack Trace:

-----  
 Module: 5  
 -----

stack-trace: This option not supported on SUP.

OBFL: Environment History:

-----  
 Module: 5  
 -----

```

-----
===== Sensor Temperature History Log =====
-----
Wed Nov  9 12:05:06 2005 sensor 0 temperature 36
Wed Nov  9 12:05:06 2005 sensor 1 temperature 35
Wed Nov  9 12:05:06 2005 sensor 2 temperature 31

OBFL: Interrupt Statistics:
-----
      Module:  5
-----
interrupt-stats: This option not supported on SUP.

OBFL: Error Statistics:
-----
      Module:  5
-----

-----
Date (mm/dd/yy)=11/09/05  Time (hs:mn:sec): 12:10:05
Baby Ceaser data

-----
Date (mm/dd/yy)=11/09/05  Time (hs:mn:sec): 12:10:05
Arbiter Bellagio2 data
GROUP:4
bkt_tx_perr_drop_cnt          0
bkr_rx_req_fifo_drop_cnt     0
bkr_rx_req_fifo_perr_drop_cnt 0
bkr_rx_di_lut_perr_drop_cnt   0
fil_drop_cnt                  0
crm_gid_drop_cnt              0
ser_rxs_perr_cnt              0
top_ddr_rx_perr_cnt           0
Bucket Counters
  Bkt Cos  Gresend          Grant          Request  Rresend
-----
    0  0      0              0              0          0
    0  1      0              0              0          0
    0  2      0              0              0          0
    0  3      0             1127             1127         0
   64  0      0              0              0          0
   64  1      0              0              0          0
   64  2      0              0              0          0
   64  3      0              0              0          0
  128  0      0              0              0          0
  128  1      0              0              0          0
  128  2      0              0              0          0
  128  3      0              0              0          0
  192  0      0              0              0          0
  192  1      0              0              0          0
  192  2      0              0              0          0
  192  3      0              73              73          0
  256  0      0              0              0          0
  256  1      0              0              0          0
  256  2      0              0              0          0
  256  3      0              0              0          0
  320  0      0              0              0          0
  320  1      0              0              0          0
  320  2      0              0              0          0
  320  3      0              0              0          0
  384  0      0              0              0          0
  384  1      0              0              0          0
  384  2      0              0              0          0
  384  3      0              0              0          0
  448  0      0              0              0          0

```

## ■ show logging

```

448 1 0 0 0 0
448 2 0 0 0 0
448 3 0 0 0 0
512 0 0 0 0 0
512 1 0 0 0 0
512 2 0 0 0 0
512 3 0 0 0 0
576 0 0 0 0 0
576 1 0 0 0 0
576 2 0 0 0 0
576 3 0 0 0 0
640 0 0 0 0 0
640 1 0 0 0 0
640 2 0 0 0 0
640 3 0 0 0 0
704 0 0 0 0 0
704 1 0 0 0 0
704 2 0 0 0 0
704 3 0 0 0 0
768 0 0 0 0 0
768 1 0 0 0 0
768 2 0 0 0 0
768 3 0 0 0 0
832 0 0 0 0 0
832 1 0 0 0 0
832 2 0 0 0 0
832 3 0 0 0 0
896 0 0 0 0 0
896 1 0 0 0 0
896 2 0 0 0 0
896 3 0 0 0 0
960 0 0 0 0 0
960 1 0 0 0 0
960 2 0 0 0 0
960 3 0 0 0 0

```

## LDI Counters

```

LDI COS OUT_REQ CREDIT CREDITNA
-----
0 0 0 14164 63
0 1 0 41874 63
0 2 0 41874 63
0 3 0 41905 63
1 0 0 14164 63
1 1 0 41874 63
1 2 0 41874 63
1 3 0 41904 63
2 0 0 14164 63
2 1 0 41874 63
2 2 0 41874 63
2 3 0 41902 63
3 0 0 14164 63
3 1 0 41874 63
3 2 0 41874 63
3 3 0 41903 63
4 0 0 14164 63
4 1 0 41873 63
4 2 0 41873 63
4 3 0 41903 63
5 0 0 14164 63
5 1 0 41873 63
5 2 0 41873 63
5 3 0 41903 63
6 0 0 14164 63
6 1 0 41872 63
6 2 0 41872 63
6 3 0 41903 63
7 0 0 14164 63
7 1 0 41872 63
7 2 0 41872 63

```

7	3	0	41903	63
8	0	0	14163	63
8	1	0	41871	63
8	2	0	41871	63
8	3	0	41902	63
9	0	0	14163	63
9	1	0	41871	63
9	2	0	41871	63
9	3	0	41902	63
10	0	0	14163	63
10	1	0	41871	63
10	2	0	41871	63
10	3	0	41901	63
11	0	0	14163	63
11	1	0	41871	63
11	2	0	41871	63
11	3	0	41901	63
12	0	0	14163	63
12	1	0	41870	63
12	2	0	41870	63
12	3	0	41901	63
13	0	0	14163	63
13	1	0	41870	63
13	2	0	41870	63
13	3	0	41900	63
14	0	0	14163	63
14	1	0	41869	63
14	2	0	41869	63
14	3	0	41900	63
15	0	0	14163	63
15	1	0	41869	63
15	2	0	41869	63
15	3	0	41900	63
16	0	0	14163	63
16	1	0	41869	63
16	2	0	41869	63
16	3	0	41900	63
17	0	0	14162	63
17	1	0	41868	63
17	2	0	41868	63
17	3	0	41899	63
18	0	0	14162	63
18	1	0	41868	63
18	2	0	41868	63
18	3	0	41898	63
19	0	0	14162	63
19	1	0	41868	63
19	2	0	41868	63
19	3	0	41898	63
20	0	0	14162	63
20	1	0	41868	63
20	2	0	41868	63
20	3	0	41898	63
21	0	0	14162	63
21	1	0	41867	63
21	2	0	41867	63
21	3	0	41898	63
22	0	0	14162	63
22	1	0	41867	63
22	2	0	41867	63
22	3	0	41897	63
23	0	0	14162	63
23	1	0	41866	63
23	2	0	41866	63
23	3	0	41897	63
24	0	0	0	0
24	1	0	0	0
24	2	0	0	0
24	3	0	0	0

## ■ show logging

```
25 0 0 0 0
25 1 0 0 0
25 2 0 0 0
25 3 0 0 0
26 0 0 0 0
26 1 0 0 0
26 2 0 0 0
26 3 0 0 0
27 0 0 0 0
27 1 0 0 0
27 2 0 0 0
27 3 0 0 0
28 0 0 0 0
28 1 0 0 0
28 2 0 0 0
28 3 0 0 0
29 0 0 0 0
29 1 0 0 0
29 2 0 0 0
29 3 0 0 0
30 0 0 0 0
30 1 0 0 0
30 2 0 0 0
30 3 0 0 0
31 0 0 0 0
31 1 0 0 0
31 2 0 0 0
31 3 0 0 0
32 0 0 0 0
32 1 0 0 0
32 2 0 0 0
32 3 0 0 0
33 0 0 0 0
33 1 0 0 0
33 2 0 0 0
33 3 0 0 0
34 0 0 0 0
34 1 0 0 0
34 2 0 0 0
34 3 0 0 0
35 0 0 0 0
35 1 0 0 0
35 2 0 0 0
35 3 0 0 0
36 0 0 0 0
36 1 0 0 0
36 2 0 0 0
36 3 0 0 0
37 0 0 0 0
37 1 0 0 0
37 2 0 0 0
37 3 0 0 0
38 0 0 0 0
38 1 0 0 0
38 2 0 0 0
38 3 0 0 0
39 0 0 0 0
39 1 0 0 0
39 2 0 0 0
39 3 0 0 0
40 0 0 0 0
40 1 0 0 0
40 2 0 0 0
40 3 0 0 0
41 0 0 0 0
41 1 0 0 0
41 2 0 0 0
41 3 0 0 0
42 0 0 0 0
```

42	1	0	0	0
42	2	0	0	0
42	3	0	0	0
43	0	0	0	0
43	1	0	0	0
43	2	0	0	0
43	3	0	0	0
44	0	0	0	0
44	1	0	0	0
44	2	0	0	0
44	3	0	0	0
45	0	0	0	0
45	1	0	0	0
45	2	0	0	0
45	3	0	0	0
46	0	0	0	0
46	1	0	0	0
46	2	0	0	0
46	3	0	0	0
47	0	0	0	0
47	1	0	0	0
47	2	0	0	0
47	3	0	0	0
48	0	0	0	0
48	1	0	0	0
48	2	0	0	0
48	3	0	0	0
49	0	0	0	0
49	1	0	0	0
49	2	0	0	0
49	3	0	0	0
50	0	0	0	0
50	1	0	0	0
50	2	0	0	0
50	3	0	0	0
51	0	0	0	0
51	1	0	0	0
51	2	0	0	0
51	3	0	0	0
52	0	0	0	0
52	1	0	0	0
52	2	0	0	0
52	3	0	0	0
53	0	0	0	0
53	1	0	0	0
53	2	0	0	0
53	3	0	0	0
54	0	0	0	0
54	1	0	0	0
54	2	0	0	0
54	3	0	0	0
55	0	0	0	0
55	1	0	0	0
55	2	0	0	0
55	3	0	0	0
56	0	0	0	0
56	1	0	0	0
56	2	0	0	0
56	3	0	0	0
57	0	0	0	0
57	1	0	0	0
57	2	0	0	0
57	3	0	0	0
58	0	0	0	0
58	1	0	0	0
58	2	0	0	0
58	3	0	0	0
59	0	0	0	0
59	1	0	0	0

## ■ show logging

```

59 2      0      0      0
59 3      0      0      0
60 0      0      0      0
60 1      0      0      0
60 2      0      0      0
60 3      0      0      0
61 0      0      0      0
61 1      0      0      0
61 2      0      0      0
61 3      0      0      0
62 0      0      0      0
62 1      0      0      0
62 2      0      0      0
62 3      0      0      0
63 0      0      0      0
63 1      0      0      0
63 2      0      0      0
63 3      0      0      0

```

```
-----
Date (mm/dd/yy)=11/09/05  Time (hs:mn:sec): 12:10:05
```

```
Arbiter Bellagio2 data
```

```
GROUP:10
```

```

bkt_tx_perr_drop_cnt      0
bkr_rx_req_fifo_drop_cnt  0
bkr_rx_req_fifo_perr_drop_cnt  0
bkr_rx_di_lut_perr_drop_cnt  0
fil_drop_cnt              0
crm_gid_drop_cnt          0
ser_rxs_perr_cnt          0
top_ddr_rx_perr_cnt       0

```

```
Bucket Counters
```

Bkt	Cos	Gresend	Grant	Request	Rresend
0	0	0	0	0	0
0	1	0	0	0	0
0	2	0	0	0	0
0	3	0	73	73	0
64	0	0	0	0	0
64	1	0	0	0	0
64	2	0	0	0	0
64	3	0	0	0	0
128	0	0	0	0	0
128	1	0	0	0	0
128	2	0	0	0	0
128	3	0	0	0	0
192	0	0	0	0	0
192	1	0	0	0	0
192	2	0	0	0	0
192	3	0	59	59	0
256	0	0	0	0	0
256	1	0	0	0	0
256	2	0	0	0	0
256	3	0	0	0	0
320	0	0	0	0	0
320	1	0	0	0	0
320	2	0	0	0	0
320	3	0	0	0	0
384	0	0	0	0	0
384	1	0	0	0	0
384	2	0	0	0	0
384	3	0	0	0	0
448	0	0	0	0	0
448	1	0	0	0	0
448	2	0	0	0	0
448	3	0	0	0	0
512	0	0	0	0	0
512	1	0	0	0	0
512	2	0	0	0	0

```

512 3 0 0 0 0
576 0 0 0 0 0
576 1 0 0 0 0
576 2 0 0 0 0
576 3 0 0 0 0
640 0 0 0 0 0
640 1 0 0 0 0
640 2 0 0 0 0
640 3 0 0 0 0
704 0 0 0 0 0
704 1 0 0 0 0
704 2 0 0 0 0
704 3 0 0 0 0
768 0 0 0 0 0
768 1 0 0 0 0
768 2 0 0 0 0
768 3 0 0 0 0
832 0 0 0 0 0
832 1 0 0 0 0
832 2 0 0 0 0
832 3 0 0 0 0
896 0 0 0 0 0
896 1 0 0 0 0
896 2 0 0 0 0
896 3 0 0 0 0
960 0 0 0 0 0
960 1 0 0 0 0
960 2 0 0 0 0
960 3 0 0 0 0

```

LDI Counters

LDI COS OUT\_REQ CREDIT CREDITNA

```

-----
0 0 0 9471 63
0 1 0 0 0
0 2 0 0 0
0 3 0 9548 63
1 0 0 9471 63
1 1 0 0 0
1 2 0 0 0
1 3 0 9487 63
2 0 0 0 0
2 1 0 0 0
2 2 0 0 0
2 3 0 0 0
3 0 0 0 0
3 1 0 0 0
3 2 0 0 0
3 3 0 0 0
4 0 0 0 0
4 1 0 0 0
4 2 0 0 0
4 3 0 0 0
5 0 0 0 0
5 1 0 0 0
5 2 0 0 0
5 3 0 0 0
6 0 0 0 0
6 1 0 0 0
6 2 0 0 0
6 3 0 0 0
7 0 0 0 0
7 1 0 0 0
7 2 0 0 0
7 3 0 0 0
8 0 0 0 0
8 1 0 0 0
8 2 0 0 0
8 3 0 0 0
9 0 0 0 0

```

## ■ show logging

9	1	0	0	0
9	2	0	0	0
9	3	0	0	0
10	0	0	0	0
10	1	0	0	0
10	2	0	0	0
10	3	0	0	0
11	0	0	0	0
11	1	0	0	0
11	2	0	0	0
11	3	0	0	0
12	0	0	0	0
12	1	0	0	0
12	2	0	0	0
12	3	0	0	0
13	0	0	0	0
13	1	0	0	0
13	2	0	0	0
13	3	0	0	0
14	0	0	0	0
14	1	0	0	0
14	2	0	0	0
14	3	0	0	0
15	0	0	0	0
15	1	0	0	0
15	2	0	0	0
15	3	0	0	0
16	0	0	0	0
16	1	0	0	0
16	2	0	0	0
16	3	0	0	0
17	0	0	0	0
17	1	0	0	0
17	2	0	0	0
17	3	0	0	0
18	0	0	0	0
18	1	0	0	0
18	2	0	0	0
18	3	0	0	0
19	0	0	0	0
19	1	0	0	0
19	2	0	0	0
19	3	0	0	0
20	0	0	0	0
20	1	0	0	0
20	2	0	0	0
20	3	0	0	0
21	0	0	0	0
21	1	0	0	0
21	2	0	0	0
21	3	0	0	0
22	0	0	0	0
22	1	0	0	0
22	2	0	0	0
22	3	0	0	0
23	0	0	0	0
23	1	0	0	0
23	2	0	0	0
23	3	0	0	0
24	0	0	0	0
24	1	0	0	0
24	2	0	0	0
24	3	0	0	0
25	0	0	0	0
25	1	0	0	0
25	2	0	0	0
25	3	0	0	0
26	0	0	0	0
26	1	0	0	0

26	2	0	0	0
26	3	0	0	0
27	0	0	0	0
27	1	0	0	0
27	2	0	0	0
27	3	0	0	0
28	0	0	0	0
28	1	0	0	0
28	2	0	0	0
28	3	0	0	0
29	0	0	0	0
29	1	0	0	0
29	2	0	0	0
29	3	0	0	0
30	0	0	0	0
30	1	0	0	0
30	2	0	0	0
30	3	0	0	0
31	0	0	0	0
31	1	0	0	0
31	2	0	0	0
31	3	0	0	0
32	0	0	0	0
32	1	0	0	0
32	2	0	0	0
32	3	0	0	0
33	0	0	0	0
33	1	0	0	0
33	2	0	0	0
33	3	0	0	0
34	0	0	0	0
34	1	0	0	0
34	2	0	0	0
34	3	0	0	0
35	0	0	0	0
35	1	0	0	0
35	2	0	0	0
35	3	0	0	0
36	0	0	0	0
36	1	0	0	0
36	2	0	0	0
36	3	0	0	0
37	0	0	0	0
37	1	0	0	0
37	2	0	0	0
37	3	0	0	0
38	0	0	0	0
38	1	0	0	0
38	2	0	0	0
38	3	0	0	0
39	0	0	0	0
39	1	0	0	0
39	2	0	0	0
39	3	0	0	0
40	0	0	0	0
40	1	0	0	0
40	2	0	0	0
40	3	0	0	0
41	0	0	0	0
41	1	0	0	0
41	2	0	0	0
41	3	0	0	0
42	0	0	0	0
42	1	0	0	0
42	2	0	0	0
42	3	0	0	0
43	0	0	0	0
43	1	0	0	0
43	2	0	0	0

## ■ show logging

43	3	0	0	0
44	0	0	0	0
44	1	0	0	0
44	2	0	0	0
44	3	0	0	0
45	0	0	0	0
45	1	0	0	0
45	2	0	0	0
45	3	0	0	0
46	0	0	0	0
46	1	0	0	0
46	2	0	0	0
46	3	0	0	0
47	0	0	0	0
47	1	0	0	0
47	2	0	0	0
47	3	0	0	0
48	0	0	0	0
48	1	0	0	0
48	2	0	0	0
48	3	0	0	0
49	0	0	0	0
49	1	0	0	0
49	2	0	0	0
49	3	0	0	0
50	0	0	0	0
50	1	0	0	0
50	2	0	0	0
50	3	0	0	0
51	0	0	0	0
51	1	0	0	0
51	2	0	0	0
51	3	0	0	0
52	0	0	0	0
52	1	0	0	0
52	2	0	0	0
52	3	0	0	0
53	0	0	0	0
53	1	0	0	0
53	2	0	0	0
53	3	0	0	0
54	0	0	0	0
54	1	0	0	0
54	2	0	0	0
54	3	0	0	0
55	0	0	0	0
55	1	0	0	0
55	2	0	0	0
55	3	0	0	0
56	0	0	0	0
56	1	0	0	0
56	2	0	0	0
56	3	0	0	0
57	0	0	0	0
57	1	0	0	0
57	2	0	0	0
57	3	0	0	0
58	0	0	0	0
58	1	0	0	0
58	2	0	0	0
58	3	0	0	0
59	0	0	0	0
59	1	0	0	0
59	2	0	0	0
59	3	0	0	0
60	0	0	0	0
60	1	0	0	0
60	2	0	0	0
60	3	0	0	0

```

61 0      0      0      0
61 1      0      0      0
61 2      0      0      0
61 3      0      0      0
62 0      0      0      0
62 1      0      0      0
62 2      0      0      0
62 3      0      0      0
63 0      0      0      0
63 1      0      0      0
63 2      0      0      0
63 3      0      0      0

```

OBFL: System Bootup Record:

```

-----
Module: 5
-----

```

OBFL: Device Versions in Switch:

```

-----
Module: 5
-----

```

OBFL: Exception Log:

```

-----
Module: 5
-----

```

OBFL: Register Log:

```

-----
Module: 5
-----

```

register-log: This option not supported on SUP.

OBFL: Miscellaneous Error Logs:

```

-----
Module: 5
-----

```

## 関連コマンド

コマンド	説明
logging	ロギングパラメータを設定します。

# show mcast

マルチキャスト情報を表示するには、**show mcast** コマンドを使用します。

```
show mcast [vsan vsan-id]
```

シンタックスの説明	<b>vsan vsan-id</b>	VSAN（仮想 SAN）数を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
デフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC モード	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	なし	

**例**

次に、マルチキャスト情報を表示する例を示します。

```
switch# show mcast
Multicast root for VSAN 1
    Configured root mode : Principal switch
    Operational root mode : Principal switch
    Root Domain ID : 0x15(21)

Multicast root for VSAN 73
    Configured root mode : Principal switch
    Operational root mode : Principal switch
    Root Domain ID : 0x65(101)

Multicast root for VSAN 99
    Configured root mode : Principal switch
    Operational root mode : Principal switch
    Root Domain ID : 0xe4(228)

Multicast root for VSAN 4001
    Configured root mode : Principal switch
    Operational root mode : Principal switch
    Root Domain ID : 0xe9(233)

Multicast root for VSAN 4002
    Configured root mode : Principal switch
    Operational root mode : Principal switch
    Root Domain ID : 0x78(120)

Multicast root for VSAN 4003
    Configured root mode : Principal switch
    Operational root mode : Principal switch
    Root Domain ID : 0xe0(224)

Multicast root for VSAN 4004
    Configured root mode : Principal switch
    Operational root mode : Lowest domain switch
    Root Domain ID : 0x01(1)
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
mcast root	マルチキャストルート VSAN を設定します。

# show module

モジュールのステータスを確認するには、**show module** コマンドを使用します。

```
show module [slot [recovery-steps] | diag | uptime | xbar number]
```

シンタックスの説明	slot	recovery-steps	diag	uptime	xbar number
	モジュールのスロット番号を指定します。	モジュールおよびモジュールを復旧させるためのステップに関する情報を表示します。	モジュール関連情報を表示します。	スイッチでモジュールが機能している時間を表示します。	指定したクロスバーに関する情報 (1 または 2) を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.3(4)	このコマンドが導入されました。
	3.0(1)	<b>recovery-steps</b> および <b>xbar</b> オプションが追加されました。

## 使用上のガイドライン

シャーシに複数のスイッチング モジュールがある場合、**show module** コマンドを複数発行すると進行状況をチェックでき、毎回ステータス カラムが表示されます。

スイッチング モジュールがテスト段階から初期化段階に移行したあと、**ok** ステータスが表示されます。

指定したスーパーバイザ モジュール、スイッチング モジュール、またはサービス モジュールがスイッチで機能している時間を表示するには、**uptime** オプションを使用します。この時間は、アップグレードの中断またはリセットのあと、モジュールがオンラインになった時間から算出されます。

インデックス割り当ての問題によりパワー ダウンしたモジュールに対してのみ **recovery-step** オプションを使用することができます。

**recovery-steps** オプションを使用する前に、**debug module no-power-down** がオンになっていないことを確認してください。



(注)

スーパーバイザ モジュールを復旧させるために **recovery-steps** オプションを使用することはできません。また、Cisco MDS 9124 スイッチは **recovery-steps** オプションをサポートしていません。

ポート インデックスの詳細については、『Cisco MDS 9000 Family CLI Configuration Guide』および『Cisco MDS 9000 Family Troubleshooting Guide』を参照してください。

## 例

次に、スイッチのモジュールに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show module
Mod  Ports  Module-Type                Model                Status
---  ---
2    32     Advanced Services Module   DS-X9032-SMV        powered-dn
4    32     Advanced Services Module   DS-X9032-SMV        powered-dn
5    0      Supervisor/Fabric-1       DS-X9530-SF1-K9     active *
6    0      Supervisor/Fabric-1       DS-X9530-SF1-K9     ha-standby
8    32     1/2 Gbps FC Module        DS-X9032             ok

Mod  Sw          Hw          World-Wide-Name(s) (WWN)
---  ---
5    1.2(2)     0.610      --
6    1.2(2)     0.610      --
8    1.2(2)     0.3        21:c1:00:0b:46:79:f1:40 to 21:e0:00:0b:46:79:f1:40

Mod  MAC-Address(es)                Serial-Num
---  ---
5    00-d0-97-38-b4-01 to 00-d0-97-38-b4-05  JAB06350B0H
6    00-d0-97-38-b3-f9 to 00-d0-97-38-b3-fd  JAB06350B1R
8    00-05-30-00-2b-e2 to 00-05-30-00-2b-e6  jab062407x4
```

\* this terminal session

次に、スイッチのモジュールに関する診断情報を表示する例を示します。

```
switch# show module diag

Diag status for module 2 (. = PASS, F = FAIL, N = N/A)
CPU          .
SPROM        .
ASICS        .

Diag status for module 4 (. = PASS, F = FAIL, N = N/A)
CPU          .
SPROM        .
ASICS        .
```

次に、スイッチのモジュールに関するアップタイム情報を表示する例を示します。

```
switch# show module uptime
----- Module 1 -----
Module Start Time:   Wed Apr 14 18:12:48 2004
Up Time:             16 days, 5 hours, 59 minutes, 41 seconds

----- Module 6 -----
Module Start Time:   Wed Apr 14 18:11:57 2004
Up Time:             16 days, 6 hours, 0 minutes, 32 second
```

The following example displays information about the crossbar.

```
switch# show module xbar 1
Xbar Ports  Module-Type                Model                Status
-----
1    0    Xbar                                DS-13SLT-FAB1      ok

Xbar Sw      Hw      World-Wide-Name(s) (WWN)
-----
1    NA      0.306  --

Xbar MAC-Address(es)                Serial-Num
-----
1    NA                                JAB094102RQ
```

The following example uses the **show module**, **show port index-allocation**, and **show module recovery-steps** commands to display a Generation 1 module that is powered down due to a lack of indices.

```
switch# show module
Mod  Ports  Module-Type                Model                Status
-----
1    48    1/2/4 Gbps FC Module      DS-X9148             ok
2    48    1/2/4 Gbps FC Module      DS-X9148             ok
3    48    1/2/4 Gbps FC Module      DS-X9148             ok
4    48    1/2/4 Gbps FC Module      DS-X9148             ok
6    0     Supervisor/Fabric-1       DS-X9530-SF1-K9     active *
7    48    1/2/4 Gbps FC Module      DS-X9148             ok
9    16    1/2 Gbps FC Module        DS-X9016             powered-dn

Mod  Power-Status  Power Down Reason
-----
9    powered-dn    Insufficient resources (dest Index)

switch# show port index-allocation
Module index distribution:
-----+-----
Slot | Allowed |           Alloted indices info           |
     | range*  | Total |           Index values                   |
-----+-----+-----+-----
1    | 0- 31 | 48 | 160-187,192-207,220-223 | (Slot 2 shares 28-31)
     |       |    | (Slot 3 shares 16-27) (Slot 7 shares 0-15) |
2    | 32- 63 | 48 | 28-63,240-251           |
3    | 64- 95 | 48 | 16-27,64-95,188-191    |
4    | 96-127 | 48 | 96-127,224-239         |
7    | 128-159 | 48 | 0-15,128-159           |
8    | 160-191 | -  | (None)                   | (Slot 1 shares 160-187
     |       |    | ) (Slot 3 shares 188-191)
9    | 192-223 | -  | (None)                   | (Slot 1 shares 192-207
     |       |    | ,220-223)
SUP  | 253-255 | 3  | 253-255                 |
```

\*Allowed range applicable only for Generation-1 modules

```
switch# show module 9 recovery-steps
Failure Reason:
Insufficient indices in range 0-255. Module cannot be powered up
```

次に、Cisco MDS 9124 スイッチで show port index-allocation コマンドを使用する例を示します。

```
switch# show port index-allocation

Module index distribution:
-----+
Slot | Allowed |           Allotted indices info           |
      | range*  | Total |           Index values                    |
-----+-----+-----+-----+
  1  |  0- 255|    24 |    0-23                                  |
SUP  |  -----|    -  |    (None)                                |

*Allowed range applicable only for Generation-1 modules
```

次に、show module、show port index-allocation、および show module recovery-steps コマンドを使用して、インデックスがスロットで使用できないためにパワーダウンした第 1 世代モジュールを表示する例を示します。特に、インデックス 28 ~ 31 はスロット 2 の 48 ポートカードによって取得されています。

```
switch# show module
Mod Ports  Module-Type                Model
Status
-----
  1   32     1/2 Gbps FC Module                powered-dn
  2   48     1/2/4 Gbps FC Module             DS-X9148      ok
  4   48     1/2/4 Gbps FC Module             DS-X9148      ok
  6    0     Supervisor/Fabric-1              DS-X9530-SF1-K9  active *

Mod Power-Status Power Down Reason
-----
  1   powered-dn   Insufficient resources (dest Index)
```

```
switch# show port index-allocation

Module index distribution:
-----+
Slot | Allowed |           Allotted indices info           |
      | range*  | Total |           Index values                    |
-----+-----+-----+-----+
  1  |  0- 31 |    -  |    (None)                                | (Slot 2 shares 28-31)
  2  | 32- 63|    48 | 28-63,240-251
  3  | 64- 95|    -  |    (None)
  4  | 96-127|    48 | 96-127,224-239
  7  |128-159|    -  |    (None)
  8  |160-191|    -  |    (None)
  9  |192-223|    -  |    (None)
SUP  |253-255|    3  | 253-255

*Allowed range applicable only for Generation-1 modules
```

```
switch# show module 1 recovery-steps
Failure Reason:
Indices in allowed range 0 - 31 unavailable
Check "show port index-allocation" for more details

Recovery Steps:
Insert failed module in any one of the slots: 3, 7, 8, 9
```

次に、**show module**、**show port index-allocation**、**show module recovery-steps** コマンドを使用して、0～255 のインデックスが欠けているためにパワー ダウンした第 1 世代モジュールを表示する例を示します。

```
switch# show module
Mod  Ports  Module-Type                Model          Status
-----
1    48      1/2/4 Gbps FC Module       DS-X9148      ok
2    48      1/2/4 Gbps FC Module       DS-X9148      ok
3    48      1/2/4 Gbps FC Module       DS-X9148      ok
4    48      1/2/4 Gbps FC Module       DS-X9148      ok
5    0       Supervisor/Fabric-2        DS-X9530-SF2-K9  active *
6    0       Supervisor/Fabric-2        DS-X9530-SF2-K9  ha-standby
7    48      1/2/4 Gbps FC Module       DS-X9148      ok
8    24      1/2/4 Gbps FC Module       DS-X9124      ok
9    32      1/2 Gbps FC Module         powered-dn

Mod  Power-Status  Power Down Reason
-----
9    powered-dn   Insufficient resources (dest Index)

switch# show port index-allocation
Module index distribution:
-----+-----
Slot | Allowed |           Alloted indices info
     | range   | Total |           Index values
-----+-----+-----
1    | 0-1023 | 48    | 160-207
2    | 0-1023 | 48    | 3-50
3    | 0-1023 | 48    | 0-2,208-252
4    | 0-1023 | 48    | 51-98
7    | 0-1023 | 48    | 99-146
8    | 0-1023 | 24    | 147-159,256-266
9    | ----- | -     | (None)
SUP  | 253-255 | 3     | 253-255

switch# show module 9 recovery-steps
Failure Reason:
Insufficient indices in range 0-255. Module cannot be powered up
```

次に、**show module**、**show port index-allocation**、および **show module recovery-steps** コマンドを使用して、連続したインデックスを使用できないためにパワー ダウンした第 1 世代モジュールを表示する例を示します。

```
switch# show module
Mod  Ports  Module-Type                      Model          Status
-----
1    48     1/2/4 Gbps FC Module             DS-X9112       powered-dn
3    12     1/2/4 Gbps FC Module             DS-X9112       ok
4    8      IP Storage Services Module       DS-X9148       powered-dn
5    48     1/2/4 Gbps FC Module             DS-X9148       ok
6    48     1/2/4 Gbps FC Module             DS-X9148       ok
7    0      Supervisor/Fabric-2              DS-X9530-SF2-K9 active *
8    0      Supervisor/Fabric-2              DS-X9530-SF2-K9 ha-standby
9    24     1/2/4 Gbps FC Module             DS-X9124       ok
11   4      10 Gbps FC Module                DS-X9704       ok
12   48     1/2/4 Gbps FC Module             DS-X9148       ok
13   16     1/2 Gbps FC Module               DS-X9016       ok

Mod  Power-Status  Power Down Reason
-----
1    powered-dn   Config down
4    powered-dn   Insufficient resources (dest Index)

Mod  Sw          Hw          World-Wide-Name(s) (WWN)
-----
3    3.0(0.322)  0.222      20:81:00:05:30:01:9c:02 to 20:8c:00:05:30:01:9c:02
```

```
switch# show port index-allocation
```

```
Module index distribution:
```

```
-----+
Slot | Allowed | Alloted indices info
     | range   | Total | Index values
-----+-----+-----+
1    | ----- | -     | (None)
2    | ----- | -     | (None)
3    | 0- 255 | 12    | 219-230
4    | ----- | -     | (None)
5    | 0- 255 | 48    | 0-13,74-79,96-123
6    | 0- 255 | 48    | 124-150,232-252
9    | 0- 255 | 24    | 154-177
10   | ----- | -     | (None)
11   | 0- 255 | 4     | 151-153,231
12   | 0- 255 | 48    | 32-73,178-183
13   | 0- 255 | 16    | 80-95
SUP  | 253-255 | 3     | 253-255
```

```
switch# show module 4 recovery-steps
```

```
Failure Reason:
```

```
Contiguous and aligned indices unavailable for Generation-1 modules
```

```
Check "show port index-allocation" for more details
```

```
Please follow the steps below:
```

1. Power-off module in one of the following slots: 12
2. Power-on module in slot 4 and wait till it comes online
3. Power-on the module powered-off in step 1
4. Do "copy running-config startup-config" to save this setting

次に、**show module**、**show port index-allocation**、および **show module recovery-steps** コマンドを使用して、連続している 208 ~ 252 のインデックスが使用可能であるにもかかわらず、アライメントのためにパワーダウンした第 1 世代モジュールを表示する例を示します。

```
switch# show module
Mod  Ports  Module-Type                Model          Status
-----
1    48     1/2/4 Gbps FC Module      DS-X9148      ok
2    48     1/2/4 Gbps FC Module      DS-X9148      ok
4    48     1/2/4 Gbps FC Module      DS-X9148      ok
5    0      Supervisor/Fabric-2       DS-X9530-SF2-K9  active *
6    0      Supervisor/Fabric-2       DS-X9530-SF2-K9  ha-standby
7    48     1/2/4 Gbps FC Module      DS-X9148      ok
9    32     1/2 Gbps FC Module        DS-X9032      powered-dn

Mod  Power-Status  Power Down Reason
-----
9    powered-dn    Insufficient resources (dest Index)
```

```
switch# show port index-allocation
```

```
Module index distribution:
-----+
Slot | Allowed |           Alloted indices info
     | range   | Total |           Index values
-----|-----|-----|-----
1    | 0-1023 | 48    | 160-207
2    | 0-1023 | 48    | 3-50
3    | ----- | -     | (None)
4    | 0-1023 | 48    | 51-98
7    | 0-1023 | 48    | 99-146
8    | ----- | -     | (None)
9    | ----- | -     | (None)
SUP  | 253-255 | 3     | 253-255
```

```
switch# show module 9 recovery-steps
```

```
Failure Reason:
Contiguous and aligned indices unavailable for Generation-1 modules
Check "show port index-allocation" for more details
Recovery Steps:
Please follow the steps below:
1. Power off module in ANY ONE of the slots: 1, 4
2. Power on failed module in slot 9 and wait till it comes online
3. Power on the module that was powered off in step 1 and wait till it comes
   online
4. Do "copy running-config startup-config" to save this setting
```

# show nasb

Storage Services Module (SSM) の Network-Accelerated Serverless Backup (NASB) 設定を表示するには、EXEC モードで **show nasb** コマンドを使用します。

```
show nasb [module slot] [vsan vsan-id]
```

シンタックスの説明	module slot	NASB が設定されている SSM のスロット番号を指定します。
	vsan vsan-id	指定 VSAN ID の情報を表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.1(1a)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、スイッチのすべての SSM モジュールの NASB 設定を表示する例を示します。

```
switch# show nasb
NASB: module 4 vsan 1:DPP-1, VT-nWWN=2700000530002926, pWWN=2701000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-2, VT-nWWN=2702000530002926, pWWN=2703000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-3, VT-nWWN=2704000530002926, pWWN=2705000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-4, VT-nWWN=2706000530002926, pWWN=2707000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-5, VT-nWWN=2708000530002926, pWWN=2709000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-6, VT-nWWN=270a000530002926, pWWN=270b000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-7, VT-nWWN=270c000530002926, pWWN=270d000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-8, VT-nWWN=270e000530002926, pWWN=270f000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 3:DPP-1, VT-nWWN=26f0000530002926, pWWN=26f1000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 3:DPP-2, VT-nWWN=26f2000530002926, pWWN=26f3000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 3:DPP-3, VT-nWWN=26f4000530002926, pWWN=26f5000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 3:DPP-4, VT-nWWN=26f6000530002926, pWWN=26f7000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 3:DPP-5, VT-nWWN=26f8000530002926, pWWN=26f9000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 3:DPP-6, VT-nWWN=26fa000530002926, pWWN=26fb000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 3:DPP-7, VT-nWWN=26fc000530002926, pWWN=26fd000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 3:DPP-8, VT-nWWN=26fe000530002926, pWWN=26ff000530002926 (provisioned)
NASB: module 8 vsan 3:DPP-1, VT-nWWN=2500000530002926, pWWN=2501000530002926 (not provisioned)
NASB: module 8 vsan 3:DPP-2, VT-nWWN=2502000530002926, pWWN=2503000530002926 (not provisioned)
NASB: module 8 vsan 3:DPP-3, VT-nWWN=2504000530002926, pWWN=2505000530002926 (not provisioned)
NASB: module 8 vsan 3:DPP-4, VT-nWWN=2506000530002926, pWWN=2507000530002926 (not provisioned)
NASB: module 8 vsan 3:DPP-5, VT-nWWN=2508000530002926, pWWN=2509000530002926 (not provisioned)
NASB: module 8 vsan 3:DPP-6, VT-nWWN=250a000530002926, pWWN=250b000530002926 (not provisioned)
NASB: module 8 vsan 3:DPP-7, VT-nWWN=250c000530002926, pWWN=250d000530002926 (not provisioned)
NASB: module 8 vsan 3:DPP-8, VT-nWWN=250e000530002926, pWWN=250f000530002926 (not provisioned)
```

次に、スロット 4 の SSM で NASB 設定を表示する例を示します。

```
switch# show nasb module 4
NASB: module 4 vsan 1:DPP-1, VT-nWWN=2700000530002926, pWWN=2701000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-2, VT-nWWN=2702000530002926, pWWN=2703000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-3, VT-nWWN=2704000530002926, pWWN=2705000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-4, VT-nWWN=2706000530002926, pWWN=2707000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-5, VT-nWWN=2708000530002926, pWWN=2709000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-6, VT-nWWN=270a000530002926, pWWN=270b000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-7, VT-nWWN=270c000530002926, pWWN=270d000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-8, VT-nWWN=270e000530002926, pWWN=270f000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 3:DPP-1, VT-nWWN=26f0000530002926, pWWN=26f1000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 3:DPP-2, VT-nWWN=26f2000530002926, pWWN=26f3000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 3:DPP-3, VT-nWWN=26f4000530002926, pWWN=26f5000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 3:DPP-4, VT-nWWN=26f6000530002926, pWWN=26f7000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 3:DPP-5, VT-nWWN=26f8000530002926, pWWN=26f9000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 3:DPP-6, VT-nWWN=26fa000530002926, pWWN=26fb000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 3:DPP-7, VT-nWWN=26fc000530002926, pWWN=26fd000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 3:DPP-8, VT-nWWN=26fe000530002926, pWWN=26ff000530002926 (provisioned)
```

次に、スロット 4 と VSAN 1 の SSM で NASB 設定を表示する例を示します。

```
switch# show nasb module 4 vsan 1
NASB: module 4 vsan 1:DPP-1, VT-nWWN=2700000530002926, pWWN=2701000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-2, VT-nWWN=2702000530002926, pWWN=2703000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-3, VT-nWWN=2704000530002926, pWWN=2705000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-4, VT-nWWN=2706000530002926, pWWN=2707000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-5, VT-nWWN=2708000530002926, pWWN=2709000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-6, VT-nWWN=270a000530002926, pWWN=270b000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-7, VT-nWWN=270c000530002926, pWWN=270d000530002926 (provisioned)
NASB: module 4 vsan 1:DPP-8, VT-nWWN=270e000530002926, pWWN=270f000530002926 (provisioned)
```

表 22-7 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 22-7 show nasb フィールドの説明

フィールド	説明
tpc module	SSM のスロット番号を示します。
vsan	NASB の処理に関連したデータベースの VSAN 番号を示します。
DPP-	8 つの Data Path Processor (DPP) のうちどれがデータを転送しているのかを示します。
VT-nWWN=	XCopy LUN に関連した Virtual Target (VT) ノードの World Wide Name (WWN) を示します。
pWWN=	XCopy LUN に関連したポート WWN を示します。
provisioned	<b>ssm enable feature nasb</b> コマンドを使用して、FC slot/port-port インターフェイスがイネーブルになった範囲を示します。
not provisioned	<b>ssm enable feature nasb</b> コマンドを使用しても、FC slot/port-port インターフェイスがイネーブルにならなかった範囲を示します。

#### 関連コマンド

コマンド	説明
nasb module	VSAN の Network-Associated Serverless Backup (NASB) をイネーブルにして、この SSM 機能がイネーブルのところにマッピングします。

# show ntp

設定された Network Time Protocol (NTP) サーバとピア アソシエーションを表示するには、**show ntp** コマンドを表示します。

```
show ntp {peers | pending peers | pending-diff | session-status | statistics [io | local | memory | peer
{ipaddr ip-address | name peer-name}] | timestamp-status}
```

## シンタックスの説明

<b>peers</b>	すべてのピアを表示します。
<b>pending peers</b>	すべてのピアでの未決定 NTP コンフィギュレーションの変更を表示します。
<b>pending-diff</b>	未決定 NTP コンフィギュレーションの変更とアクティブ NTP コンフィギュレーションとの差異を表示します。
<b>session-status</b>	Cisco Fabric Services (CFS) セッション ステータスを表示します。
<b>statistics</b>	NTP 統計を表示します。
<b>io</b>	入出力統計を表示します。
<b>local</b>	ローカル NTP で保持されるカウンタを表示します。
<b>memory</b>	メモリ コードに関連した統計カウンタを表示します。
<b>peer</b>	ピアのピア単位統計カウンタを表示します。
<b>ipaddr ip-address</b>	指定した IP アドレスのピア統計を表示します。
<b>name peer-name</b>	指定したピア名のピア統計を表示します。
<b>timestamp-status</b>	タイムスタンプチェックがイネーブルかどうかを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。
2.0(x)	<b>pending</b> 、 <b>pending-diff</b> 、および <b>session-status</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、NTP ピア情報を表示する例を示します。

```
switch# show ntp peers
-----
Peer IP Address          Serv/Peer
-----
10.20.10.2              Server
10.20.10.0              Peer
```

次に、NTP 入出力統計を表示する例を示します。

```
switch# show ntp statistics io
time since reset:      11152
receive buffers:      9
free receive buffers: 9
used receive buffers: 9
low water refills:    0
dropped packets:      0
ignored packets:      0
received packets:     3
packets sent:         2
packets not sent:     0
interrupts handled:   3
received by int:      3
```

次に、NTP ローカル統計を表示する例を示します。

```
switch# show ntp statistics local
system uptime:        11166
time since reset:     11166
bad stratum in packet: 0
old version packets:  4
new version packets:  0
unknown version number: 0
bad packet format:    0
packets processed:    0
bad authentication:   0
```

次に、NTP メモリ統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ntp statistics memory
time since reset:      11475
total peer memory:     15
free peer memory:      15
calls to findpeer:     0
new peer allocations:  0
peer demobilizations:  0
hash table counts:    0  0  0  0  0  0  0  0
                      0  0  0  0  0  0  0  0
                      0  0  0  0  0  0  0  0
                      0  0  0  0  0  0  0  0
```

次に、ピアの IP アドレスを使用して NTP ピア統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ntp statistics peer ipaddr 10.1.1.1
```

次に、ピア名を使用して NTP ピア統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ntp statistics peer name Peer1
```

次に、NTP タイムスタンプ ステータス情報を表示する例を示します。

```
switch# show ntp timestamp-status
Linecard 9 does not support Timestamp check.
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
ntp	NTP パラメータを設定します。

# show npv flogi-table

N Port Virtualization (NPV; N ポート バーチャライゼーション) Fabric Login (FLOGI) セッションに関する情報を表示するには、**show npv flogi-table** コマンドを使用します。

**show npv flogi-table**

## シンタックスの説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
3.2(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、NPV FLOGI セッションの情報を表示する例を示します。

```
switch# show npv flogi-table
-----
SERVER EXTERNAL
INTERFACE VSAN FCID PORT NAME NODE NAME INTERFACE
-----
fc1/13 1 0x330100 2f:ff:00:06:2b:10:c1:14 2f:ff:00:06:2b:10:c1:14 fc1/4
fc1/13 1 0x333500 2f:bf:00:06:2b:10:c1:14 2f:bf:00:06:2b:10:c1:14 fc1/4
fc1/13 1 0x333600 2f:9f:00:06:2b:10:c1:14 2f:9f:00:06:2b:10:c1:14 fc1/3
fc1/13 1 0x333800 2f:7f:00:06:2b:10:c1:14 2f:7f:00:06:2b:10:c1:14 fc1/2
fc1/13 1 0x333e00 2f:3f:00:06:2b:10:c1:14 2f:3f:00:06:2b:10:c1:14 fc1/4
fc1/13 1 0x334a00 2e:bf:00:06:2b:10:c1:14 2e:bf:00:06:2b:10:c1:14 fc1/3
fc1/13 1 0x335400 2e:7f:00:06:2b:10:c1:14 2e:7f:00:06:2b:10:c1:14 fc1/4
fc1/13 1 0x336200 2d:ff:00:06:2b:10:c1:14 2d:ff:00:06:2b:10:c1:14 fc1/1
fc1/13 1 0x336f00 2d:9f:00:06:2b:10:c1:14 2d:9f:00:06:2b:10:c1:14 fc1/2
fc1/13 1 0x337300 2d:5f:00:06:2b:10:c1:14 2d:5f:00:06:2b:10:c1:14 fc1/2
fc1/13 1 0x337900 2c:ff:00:06:2b:10:c1:14 2c:ff:00:06:2b:10:c1:14 fc1/1
fc1/13 1 0x338500 2c:bf:00:06:2b:10:c1:14 2c:bf:00:06:2b:10:c1:14 fc1/2
fc1/13 1 0x338a00 2c:9f:00:06:2b:10:c1:14 2c:9f:00:06:2b:10:c1:14 fc1/1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show npv status</b>	NPV の現在のステータスを表示します。

# show npv internal info

内部 N Port Virtualization (NVP; N ポート バーチャライゼーション) 情報を表示するには、**show npv internal info** コマンドを使用します。

## show npv internal info

シンタックスの説明	このコマンドには、引数またはキーワードはありません。	
デフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC モード	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.2(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	なし	

**例** 次に、NPV 内部情報を表示する例を示します。

```
switch# show npv internal info
NPV Globals:
=====
NPV mode: ENABLED
Switch-Name: 172.20.150.98
Switch Mgmt IP Address: 172.20.150.98
proxy logo Retries: 1
Internal FLOGI max timeout Retries: -1
NS Registration max timeout Retries: 5
timer group handle: 0x30038fe0
Number of Active External Interfaces: 0

External Interface Info:
=====
Interface Information:
  ifindex: fc1/1, VSAN: 1, internal FLOGI fcid: 0x1e0000
  FSM current state: NPIVP_EXT_IF_ST_FLOGI_FAILED
  Internal FLOGI Fail Reason: Mismatch in VSAN for this upstream port
  fabric pwwn: 20:05:00:05:30:00:ca:16, fabric nwwn: 20:0a:00:05:30:00:ca:17
  my pwwn: 20:01:00:05:30:01:71:b8, my nwwn: 20:01:00:05:30:01:71:b9
Port Parameters:
  Rx B2B Credits: 16, Multiplier: 0, Buff Size: 2112
  Tx B2B Credits: 16, Multiplier: 0, Buff Size: 2112, bbscn: 0
  bbscn_capable: TRUE bbscn_max: 14, port_bbscn: 0
Timer & Retry Information:
  Busy Timer (1), id: 21045, active: FALSE time remaining: 0
  Fail Retry Timer (7), id: 4209, active: TRUE time remaining: 1
  FDISC Response Timer (2), id: 00, active: FALSE time remaining: 0
  Error Clear Timer (6), id: 71, active: TRUE time remaining: 433
Statistics:
  flogi retry count : 113
  ns registration retry count : 0
  number of flogis accepted: 0
  login failures out of ids: 0
  other login failures : 0
  timed out login_failures : 0
  pending queue size : 0
```

```

FLOGIs on this interface :
Interface Information:
  ifindex: fc1/5, VSAN: 1, internal FLOGI fcid: 0x000000
  FSM current state: NPIVP_EXT_IF_ST_PREINIT_DONE
  fabric pwwn: 00:00:00:00:00:00:00:00, fabric nwwn: 00:00:00:00:00:00:00:00
  my pwwn: 00:00:00:00:00:00:00:00, my nwwn: 00:00:00:00:00:00:00:00
Port Parameters:
  Rx B2B Credits: 0, Multiplier: 0, Buff Size: 0
  Tx B2B Credits: 0, Multiplier: 0, Buff Size: 0, bbscn: 0
  bbscn_capable: FALSE bbscn_max: 0, port_bbscn: 0
Timer & Retry Information:
  Busy Timer (1), id: 00, active: FALSE time remaining: 0
  Fail Retry Timer (7), id: 00, active: FALSE time remaining: 0
  FDISC Response Timer (2), id: 00, active: FALSE time remaining: 0
  Error Clear Timer (6), id: 71, active: TRUE time remaining: 433
Statistics:
  flogi retry count : 0
  ns registration retry count : 0
  number of flogis accepted: 0
  login failures out of ids: 0
  other login failures : 0
  timed out login_failures : 0
  pending queue size : 0
FLOGIs on this interface :
Server Interface Info:
=====
Interface Information:
  ifindex: fc1/4, VSAN: 1, NPIV enable: FALSE, lcp init done: FALSE
  Selected External Interface:
  FSM current state: NPIVP_SVR_IF_ST_WAITING_EXTERNAL_INTERFACE
Port Parameters:
  rxbbcredit: 0 rxbufsize: 0
  txbbcredit: 0 txbufsize: 0 txbbbscn: 0
  bbscn_capable: FALSE bbscn_max: 0, port_bbscn: 0
Statistics:
  number of FLOGIs: 0

```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>debug npv</b>	NPV コンフィギュレーションのデバッグをイネーブルにします。
<b>show debug npv</b>	スイッチに設定されている NPV デバッグ コマンドを表示します。

# show npv status

N Port Virtualization (NVP; N ポート バーチャライゼーション) の現在のステータスを表示するには、**show npv status** コマンドを使用します。

**show npv status**

シンタックスの説明	このコマンドには、引数またはキーワードはありません。	
デフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC モード	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.2(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	なし	
例	次に、NPV の現在のステータスを表示する例を示します。	
	<pre>switch# show npv status External Interfaces: ===== Number of External Interfaces: 6 Interface: fc1/1, FCID: 0x330037, State: Up Interface: fc1/2, FCID: 0x330038, State: Up Interface: fc1/3, FCID: 0x330039, State: Up Interface: fc1/4, FCID: 0x33003a, State: Up Interface: fc1/23, FCID: 0x7d0007, State: Up Interface: fc1/24, FCID: 0x7d0006, State: Up Server Interfaces: ===== Number of Server Interfaces: 4 Interface: fc1/13, NPIV: Yes, State: Up Interface: fc1/14, NPIV: Yes, State: Up Interface: fc1/15, NPIV: Yes, State: Up</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	show npv flogi-table	NPV Fabric Login (FLOGI) セッションに関する情報を表示します。

# show port index-allocation

ポート インデックス割り当て情報を表示するには、**show port index-allocation** コマンドを使用します。

```
show port {index-allocation startup | naming}
```

シンタックスの説明	index-allocation	ポート インデックス割り当て情報を表示します。
	startup	始動時のポート インデックス割り当て情報を表示します。
	naming	ポート名称情報を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。
	3.1(2)	<b>naming</b> キーワードが追加されました。

**使用上のガイドライン** Cisco SAN-OS Release 3.0(1) 以前のすべてのソフトウェアは、第 1 世代ハードウェアをサポートしています。Cisco SAN-OS Release 3.0(1) 以降は、第 2 世代ハードウェアをサポートしています。スーパーバイザ 1 モジュールまたはスーパーバイザ 2 モジュールのいずれかを搭載した第 1 世代と第 2 世代のスイッチング モジュールを組み合わせたことが可能です。ただし、スイッチング モジュールとスーパーバイザ モジュールの組み合わせは以下に限定されます。

- スwitchング モジュールのタイプに関係なく、スーパーバイザ 1 モジュールは最大 256 ポート インデックスのみをサポートします。
- シャーシ内の全スイッチング モジュールが第 2 世代の場合、スーパーバイザ 2 モジュールは最大 1024 ポート インデックスをサポートします。
- シャーシ内に第 1 世代と第 2 世代のスイッチング モジュールが取り付けられている場合、スーパーバイザ 2 モジュールは最大 256 ポート インデックスのみをサポートします。



(注) Cisco MDS 9124 スイッチは、**show port index-allocation startup** コマンドをサポートしませんが、**show port index-allocation** コマンドはサポートします。



(注) ポート インデックスの最大数が 256 のスイッチでは、この制限を越えるモジュールの電源は投入されません。

**例** 次の例では、第1世代スイッチングモジュールのみを搭載した Cisco MDS スイッチで始動時のポートインデックス割り当て情報を示します。

```
switch# show port index-allocation startup
```

```
Startup module index distribution:
```

Slot	Allowed range	Alloted indices info	
		Total	Index values
1	0- 31	32	0-31
2	32- 63	32	32-63
3	64- 95	32	64-95
SUP	-----	3	253-255

次の例では、第1世代スイッチングモジュールのみを搭載した Cisco MDS スイッチで現在のポートインデックス割り当て情報を示します。

```
switch# show port index-allocation
```

```
Module index distribution:
```

Slot	Allowed range	Alloted indices info	
		Total	Index values
1	0- 31	32	0-31
2	32- 63	32	32-63
3	64- 95	32	64-95
4	96- 127	-	(None)
SUP	-----	3	253-255

次の例では、第1世代と第2世代のスイッチングモジュールを搭載した Cisco MDS スイッチで始動時のポートインデックス割り当て情報を示します。

```
switch# show port index-allocation startup
```

```
Startup module index distribution:
```

Slot	Allowed range	Alloted indices info	
		Total	Index values
4	0- 255	32	0-31
5	0- 255	32	32-63
6	0- 255	32	96-127
9	0- 255	24	64-87
SUP	-----	3	253-255

次の例では、第 1 世代と第 2 世代のスイッチング モジュールを搭載した Cisco MDS スイッチで現在のポートインデックス割り当て情報を示します。

```
switch# show port index-allocation
```

```
Module index distribution:
```

Slot	Allowed range	Total	Alloted indices info Index values
1	0- 255	-	(None)
2	0- 255	-	(None)
3	0- 255	-	(None)
4	0- 255	32	0-31
5	0- 255	32	32-63
6	0- 255	32	96-127
9	0- 255	24	64-87
10	0- 255	-	(None)
11	0- 255	-	(None)
12	0- 255	-	(None)
13	0- 255	-	(None)
SUP	-----	3	253-255

# show port-channel

既存のポートチャネル コンフィギュレーションの情報を表示するには、**show port-channel** コマンドを使用します。

```
show port-channel {compatibility-parameters | consistency [detail] | database [interface
port-channel port-channel-number] | summary | usage}
```

## シンタックスの説明

<b>compatibility-parameters</b>	互換性パラメータを表示します。
<b>consistency</b>	すべてのモジュールのデータベース一貫性情報を表示します。
<b>detail</b>	詳細なデータベース一貫性情報を表示します。
<b>database</b>	ポートチャネル データベース情報を表示します。
<b>interface port-channel</b> <i>port-channel-number</i>	ポートチャネル番号を指定します。有効範囲は 1 ~ 256 です。
<b>summary</b>	ポートチャネルの概要を表示します。
<b>usage</b>	ポートチャネル番号の使用状況を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。
3.0(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>interface port-channel</b> の範囲を 256 に拡大しました。</li> <li>• <b>compatibility-parameters</b> オプションの出力を変更しました。</li> </ul>

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、ポートチャネルの概要を表示する例を示します。

```
switch# show port-channel summary
NEW
```

次に、ポートチャネル互換性パラメータを表示する例を示します。

```
switch# show port-channel compatibility-parameters
Parameters that have to be consistent across all members in a port-channel.
```

1. physical port layer

Members must have the same interface type, such as fibre channel, ethernet or fcip.

2. port mode

Members must have the same port mode configured, either E or AUTO. If they are configured in AUTO port mode, they have to negotiate E mode when they come up. If a member negotiates a different mode, it will be suspended.

3. trunk mode

Members must have the same trunk mode configured. If they are configured in AUTO trunking mode, they have to negotiate the same trunking mode when they come up. If a member negotiates a different mode, it will be suspended.

4. speed

Members must have the same speed configured. If they are configured in AUTO speed, they have to negotiate the same speed when they come up. If a member negotiates a different speed, it will be suspended.

5. MTU

Members have to have the same MTU configured. This only applies to ethernet port-channel.

6. ethernet port index

This only applies to ethernet port-channel. Each ethernet port-channel could only have two ethernet ports. They must be in the same slot, their port indices must be adjacent and the lower number must be odd. Example: Gigabitethernet 8/5 - 6.

7. rate mode

Members must have the same rate mode configured. Rate Mode applies only to isola FC ports

8. Maximum Speed Mismatch

Members must be configured to auto-negotiate to the same maximum speed.

9. Resources Unavailable

Members must be able to acquire resources required to maintain compatibility. Check shared resources like speed, rate-mode and port mode.

10. Out of Service

Members must be in-service.

11. port VSAN

Members must have the same port VSAN.

12. port allowed VSAN list

Members must have the same port allowed VSAN list.

13. IP address

Members must not have IP address configured. This only applies to ethernet

port-channel.

#### 14. IPv6 configuration

Members must not have any IPv6 configuration. This only applies to ethernet port-channel.

#### 15. port-security active bindings

Members must all be permitted by the activated port-security bindings and fabric-bindings in all the allowed VSANs.

#### 16. FC receive buffer size

Members must have the same fc receive buffer size. If the configured receive buffer size is not compatible with the port capability then the port will be error disabled

#### 17. IP ACLs

Members must not have IP ACLs configured individually on them. This only applies to ethernet port-channel.

#### 18. sub interfaces

Members must not have sub-interfaces.

#### 19. Access VLAN

Members must have same Access VLAN configured.

#### 20. Native VLAN

Members must have same Native VLAN configured.

#### 21. Duplex Mode

Members must have same Duplex Mode configured.

#### 22. Ethernet Layer

Members must have same Ethernet Layer (switchport/no-switchport) configured.

#### 23. Span Port

Members cannot be SPAN ports.

次に、ポートチャネルデータベースを表示する例を示します。

```
switch# show port-channel database
port-channel 2
  Administrative channel mode is on
  Operational channel mode is on
  Last membership update succeeded
  First operational port is fc2/2
  1 port in total, 1 port up
  Ports:  fc2/2    [up]
```

**show port-channel consistency** コマンドには、詳細なしと詳細ありの 2 種類のオプションがあります。

詳細なしのコマンド

```
switch# show port-channel consistency
Database is consistent
switch#
```

詳細ありのコマンド

```
switch# show port-channel consistency detail
Authoritative port-channel database:
=====
totally 1 port-channels
port-channel 2:
  1 ports, first operational port is fc2/2
  fc2/2    [up]
=====
database 1: from module 5
=====
totally 1 port-channels

port-channel 2:
  1 ports, first operational port is fc2/2
  fc2/2    [up]
=====
database 2: from module 2
=====
totally 1 port-channels
port-channel 2:
  1 ports, first operational port is fc2/2
  fc2/2    [up]
=====
```

**show port-channel usage** コマンドは、使用および未使用のポートチャンネル番号の詳細を表示します。

ポートチャンネルの使用状況

```
switch# show port-channel usage
Totally 2 port-channel numbers used
=====
Used   :   3, 9
Unused:  1-2, 4-8, 10-256
```

# show port-license

Cisco MDS 9124 のライセンス使用状況を表示するには、**show port-license** コマンドを使用します。

**show port-license**

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.1(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、Cisco MDS 9124 スイッチのデフォルトのポート アクティベーション ライセンス コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show port-license
Available port activation licenses are 0
-----
Interface      Port Activation License
-----
fc1/1          acquire
fc1/2          acquire
fc1/3          acquire
fc1/4          acquire
fc1/5          acquire
fc1/6          acquire
fc1/7          acquire
fc1/8          acquire
fc1/9          eligible
fc1/10         eligible
fc1/11         eligible
...
fc1/24         eligible
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<i>port-license</i>	ポートでのライセンスの受領を適格または不適格にします。また、ポートのライセンスを取得するのにも使用します。

# show port-resources module

第 2 世代モジュールのポート リソースに関する情報を表示するには、**show port-resources** コマンドを使用します。

**show port-resources module slot**

シンタックスの説明	<i>slot</i>	モジュール番号を指定します。有効範囲は 1 ~ 6 です。
デフォルト	なし	
コマンド モード	EXEC モード	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	なし	

例 次に、リソース コンフィギュレーションを共有する第2世代モジュールを表示する例を示します。

```
switch# show port-resources module 2
Module 2
Available dedicated buffers are 5164

Port-Group 1
Total bandwidth is 12.8 Gbps
Total shared bandwidth is 4.8 Gbps
Allocated dedicated bandwidth is 8.0 Gbps
-----
Interfaces in the Port-Group B2B Credit Bandwidth Rate Mode
                        Buffers (Gbps)
-----
fc2/1                    16          4.0 shared
fc2/2                    16          4.0 shared
fc2/3                    16          4.0 shared
fc2/4                    16          4.0 shared
fc2/5                    16          4.0 dedicated
fc2/6                    16          4.0 dedicated

Port-Group 2
Total bandwidth is 12.8 Gbps
Total shared bandwidth is 4.8 Gbps
Allocated dedicated bandwidth is 8.0 Gbps
-----
Interfaces in the Port-Group B2B Credit Bandwidth Rate Mode
                        Buffers (Gbps)
-----
fc2/7                    16          4.0 shared
fc2/8                    16          4.0 shared
fc2/9                    16          4.0 shared
fc2/10                   16          4.0 shared
fc2/11                   16          4.0 dedicated
fc2/12                   16          4.0 dedicated

Port-Group 3
Total bandwidth is 12.8 Gbps
Total shared bandwidth is 4.8 Gbps
Allocated dedicated bandwidth is 8.0 Gbps
-----
Interfaces in the Port-Group B2B Credit Bandwidth Rate Mode
                        Buffers (Gbps)
-----
fc2/13                   16          4.0 shared
fc2/14                   16          4.0 shared
fc2/15                   16          4.0 shared
fc2/16                   250         4.0 dedicated
fc2/17                   16          2.0 dedicated
fc2/18                   16          2.0 dedicated

Port-Group 4
Total bandwidth is 12.8 Gbps
Total shared bandwidth is 0.8 Gbps
Allocated dedicated bandwidth is 12.0 Gbps
-----
Interfaces in the Port-Group B2B Credit Bandwidth Rate Mode
                        Buffers (Gbps)
-----
fc2/19                   16          1.0 shared
fc2/20                   16          1.0 shared
fc2/21                   16          1.0 shared
fc2/22                   16          4.0 dedicated
fc2/23                   16          4.0 dedicated
fc2/24                   16          4.0 dedicated
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<i>show module</i>	モジュールのステータスを確認します。

# show port-security

設定されたポート セキュリティ機能の情報を表示するには、**show port-security database** コマンドを表示します。

```
show port-security
  {database [active [vsan vsan-id]] | fwwn fwwn-id vsan vsan-id | interface {fc slot/port |
  port-channel port} vsan vsan-id | vsan vsan-id} |
  pending [vsan vsan-id] |
  pending-diff [vsan vsan-id] |
  statistics [vsan vsan-id] |
  status [vsan vsan-id] |
  violations [last count | vsan vsan-id]}
```

## シンタックスの説明

<b>database</b>	データベース関連のポートセキュリティ情報を表示します。
<b>active</b>	アクティブ化されたデータベース設定情報を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	指定したデータベースの情報を表示します。
<b>fwwn fwwn-id</b>	特定ファブリック World Wide Name (WWN) の情報を表示します。
<b>interface</b>	インターフェイスの情報を表示します。
<b>fc slot/port</b>	指定したファイバチャネルインターフェイスの情報を表示します。
<b>port-channel port</b>	指定したポートチャネルインターフェイスの情報を表示します。有効範囲は 1 ~ 128 です。
<b>pending</b>	サーバアドレス未決定コンフィギュレーションを表示します。
<b>pending-diff</b>	サーバアドレス未決定コンフィギュレーションとアクティブ コンフィギュレーションの差異を表示します。
<b>statistics</b>	ポートセキュリティ統計を表示します。
<b>status</b>	VSAN (仮想 SAN) 単位でポートセキュリティステータスを表示します。
<b>violations</b>	ポートセキュリティ データベースでの違反を表示します。
<b>last count</b>	データベースの最終行番号を表示します。有効範囲は 1 ~ 100 です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2(1)	このコマンドが導入されました。
2.0(x)	<b>pending</b> および <b>pending-diff</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

各ポートのアクセス情報は個別に表示されます。fWWN またはインターフェイス オプションを指定する場合、(その時点の) アクティブ データベースでペアとなっているすべてのデバイスが、指定した fWWN またはインターフェイスとともに表示されます。

**last number** オプションとともに発行される **show port-security** コマンドは、最初に表示される指定エントリ数のみを表示します。

## 例

次に、ポートセキュリティデータベースの内容を表示する例を示します。

```
switch# show port-security database
-----
-
VSAN      Logging-in Entity          Logging-in Point (      Interface)
-----
--
1         21:00:00:e0:8b:06:d9:1d (pwwn) 20:0d:00:05:30:00:95:de (fc1/13)
1         50:06:04:82:bc:01:c3:84 (pwwn) 20:0c:00:05:30:00:95:de (fc1/12)
2         20:00:00:05:30:00:95:df (swwn) 20:0c:00:05:30:00:95:de (port-channel 128)
3         20:00:00:05:30:00:95:de (swwn) 20:01:00:05:30:00:95:de (fc1/1)
[Total 4 entries]
```

次に、VSAN 1 のアクティブポートセキュリティデータベースの出力を表示する例を示します。

```
switch# show port-security database vsan 1
-----
Vsan      Logging-in Entity          Logging-in Point          (Interface)
-----
1         *                          20:85:00:44:22:00:4a:9e (fc3/5)
1         20:11:00:33:11:00:2a:4a (pwwn) 20:81:00:44:22:00:4a:9e (fc3/1)
[Total 2 entries]
```

次に、アクティブデータベースを表示する例を示します。

```
switch# show port-security database active
-----
-
VSAN      Logging-in Entity          Logging-in Point (      Interface)      Learnt
-----
--
1         21:00:00:e0:8b:06:d9:1d (pwwn) 20:0d:00:05:30:00:95:de (fc1/13)          Yes
1         50:06:04:82:bc:01:c3:84 (pwwn) 20:0c:00:05:30:00:95:de (fc1/12)          Yes
2         20:00:00:05:30:00:95:df (swwn) 20:0c:00:05:30:00:95:de (port-channel 128) Yes
3         20:00:00:05:30:00:95:de (swwn) 20:01:00:05:30:00:95:de (fc1/1)
[Total 4 entries]
```

次に、VSAN 1 内のワイルドカード fwwn ポートセキュリティを表示する例を示します。

```
switch# show port-security database fwwn 20:85:00:44:22:00:4a:9e vsan 1
Any port can login thru' this fwwn
```

次に、VSAN 1 内の設定済み fwwn ポートセキュリティを表示する例を示します。

```
switch# show port-security database fwwn 20:01:00:05:30:00:95:de vsan 1
20:00:00:0c:88:00:4a:e2 (swwn)
```

次に、VSAN 2 内のインターフェイスポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show port-security database interface fc 1/1 vsan 2
20:00:00:0c:88:00:4a:e2 (swwn)
```

次に、ポートセキュリティ統計を表示する例を示します。

```
switch# show port-security statistics
Statistics For VSAN: 1
-----
Number of pWWN permit: 2
Number of nWWN permit: 2
Number of sWWN permit: 2
Number of pWWN deny : 0
Number of nWWN deny : 0
Number of sWWN deny : 0

Total Logins permitted : 4
Total Logins denied : 0
Statistics For VSAN: 2
-----
Number of pWWN permit: 0
Number of nWWN permit: 0
Number of sWWN permit: 2
Number of pWWN deny : 0
Number of nWWN deny : 0
Number of sWWN deny : 0
...
```

次に、アクティブデータベースと自動学習コンフィギュレーションのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show port-security status
VSAN 1 :Activated database, auto-learning is enabled
VSAN 2 :No Active database, auto-learning is disabled
...
```

次に、直前に発生した 100 回の違反を表示する例を示します。

```
switch# show port-security violations
-----
VSANInterface      Logging-in Entity                               Last-Time                               [Repeat count]
-----
1fc1/13            21:00:00:e0:8b:06:d9:1d (pwwn)               Jul  9 08:32:20 2003                [20]
                   20:00:00:e0:8b:06:d9:1d (nwwn)
1fc1/12            50:06:04:82:bc:01:c3:84 (pwwn)               Jul  9 08:32:20 2003                [1]
                   50:06:04:82:bc:01:c3:84 (nwwn)
2 port-channel 1  20:00:00:05:30:00:95:de (swwn)               Jul  9 08:32:40 2003                [1]
[Total 2 entries]
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
port-security	ポートセキュリティパラメータを設定します。

# show processes

すべてのプロセスの一般情報を表示するには、**show processes** コマンドを使用します。

**show processes [cpu | log [details | pid *process-id*] | memory]**

シNTAXの説明	cpu	プロセス CPU 情報を表示します。
	log	プロセス ログに関する情報を表示します。
	details	詳細なプロセス ログ情報を表示します。
	pid <i>process-id</i>	特定プロセス ID に関するプロセス情報を表示します。有効範囲は 0 ~ 2147483647 です。
	memory	プロセス メモリ情報を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、システム プロセスに関する一般情報を表示する例を示します。

```
switch# show process
PID      State  PC          Start_cnt  TTY  Process
-----  -----  -----  -----  ---  -----
   868    S     2ae4f33e          1    -   snmpd
   869    S     2acee33e          1    -   rscn
   870    S     2ac36c24          1    -   qos
   871    S     2ac44c24          1    -   port-channel
   872    S     2ac7a33e          1    -   ntp
    -     ER          -          1    -   mdog
    -     NR          -          0    -   vbuilder
```

PID: process ID.

State: process state

```

D   uninterruptible sleep (usually IO)
R   runnable (on run queue)
S   sleeping
T   traced or stopped
Z   a defunct ("zombie") process
```

NR not-running

ER should be running but currently not-running

PC: Current program counter in hex format

Start\_cnt: how many times a process has been started.

TTY: Terminal that controls the process. A "-" usually means a daemon not running on any particular tty.

Process: name of the process.

=====

2. show processes cpu (new output)

Description: show cpu utilization information about the processes.

switch# show processes cpu

PID	Runtime(ms)	Invoked	uSecs	lSec	Process
842	3807	137001	27	0.0	sysmgr
1112	1220	67974	17	0.0	syslogd
1269	220	13568	16	0.0	fcfwd
1276	2901	15419	188	0.0	zone
1277	738	21010	35	0.0	xbar_client
1278	1159	6789	170	0.0	wnn
1279	515	67617	7	0.0	vsan

Runtime(ms): cpu time the process has used, expressed in milliseconds

Invoked: Number of times the process has been invoked.

uSecs: Microseconds of CPU time in average for each process invocation.

lSec: CPU utilization in percentage for the last 1 second.

=====

3. show processes mem

Description: show memory information about the processes.

PID	MemAlloc	StackBase/Ptr	Process
1277	120632	7ffffcd0/7ffffefe4	xbar_client
1278	56800	7ffffce0/7ffffb5c	wnn
1279	1210220	7ffffce0/7ffffbac	vsan
1293	386144	7ffffcf0/7ffffbd4	span
1294	1396892	7ffffce0/7ffffdf4	snmpd
1295	214528	7ffffcf0/7ffff904	rscn
1296	42064	7ffffce0/7ffffb5c	qos

MemAlloc: total memory allocated by the process.

StackBase/Ptr: process stack base and current stack pointer in hex format

=====

3. show processes log

Description: list all the process logs

switch# show processes log

Process	PID	Normal-exit	Stack-trace	Core	Log-create-time
fsfpf	1339	N	Y	N	Jan 5 04:25
lichen	1559	N	Y	N	Jan 2 04:49
rib	1741	N	Y	N	Jan 1 06:05

Normal-exit: whether or not the process exited normally.

Stack-trace: whether or not there is a stack trace in the log.

Core: whether or not there exists a core file.

Log-create-time: when the log file got generated.

次に、特定のプロセスに関する詳細ログ情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes log pid 1339
Service: fspf
Description: FSPF Routing Protocol Application

Started at Sat Jan  5 03:23:44 1980 (545631 us)
Stopped at Sat Jan  5 04:25:57 1980 (819598 us)
Uptime: 1 hours 2 minutes 2 seconds

Start type: SRV_OPTION_RESTART_STATELESS (23)
Death reason: SYSMGR_DEATH_REASON_FAILURE_SIGNAL (2)
Exit code: signal 9 (no core)
CWD: /var/sysmgr/work

Virtual Memory:

CODE      08048000 - 0809A100
DATA      0809B100 - 0809B65C
BRK       0809D988 - 080CD000
STACK     7FFFFFFD20
TOTAL     23764 KB

Register Set:

EBX 00000005      ECX 7FFFFFF8CC      EDX 00000000
ESI 00000000      EDI 7FFFFFF6CC      EBP 7FFFFFF95C
EAX FFFFFFFDFE    XDS 8010002B        XES 0000002B
EAX 0000008E (orig) EIP 2ACE133E        XCS 00000023
EFL 00000207      ESP 7FFFFFF654      XSS 0000002B

Stack: 1740 bytes. ESP 7FFFFFF654, TOP 7FFFFFFD20

0x7FFFFFF654: 00000000 00000008 00000003 08051E95 .....
0x7FFFFFF664: 00000005 7FFFFFF8CC 00000000 00000000 .....
0x7FFFFFF674: 7FFFFFF6CC 00000001 7FFFFFF95C 080522CD .....\"..
0x7FFFFFF684: 7FFFFFF9A4 00000008 7FFFFFFC34 2AC1F18C .....4.....*
```

# show qos

Quality of Service (QoS; サービス品質) 設定とハイ プライオリティに設定されているフレーム数を表示するには、**show qos** コマンドを使用します。

```
show qos {class-map [name class-name] | dwrr | policy-map [name policy-name] | service policy
          [interface fc slot/port | vsan vsan-id] | statistics}
```

## シンタックスの説明

<b>class-map</b>	QoS クラス マップを表示します。
<b>name class-name</b>	クラス マップ名を指定します。英数字で最大 63 文字まで可能です。
<b>dwrr</b>	不足 Weighted Round-Robin (WRR; 重み付きラウンドロビン) のキュー ウェイトを表示します。
<b>policy-map</b>	QoS ポリシー マップを表示します。
<b>name policy-name</b>	ポリシー マップ名を指定します。英数字で最大 63 文字まで可能です。
<b>service policy</b>	QoS サービス ポリシー アソシエーションを表示します。
<b>interface fc slot/port</b>	ファイバチャネル インターフェイスを指定します。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>statistics</b>	QoS 関連統計を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.3(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドの **statistics** 以外のすべてのオプションにアクセスするには、**qos enable** コマンドを実行する必要があります。

## 例

次に、すべてのクラス マップの内容を表示する例を示します。

```
switch# show qos class-map
qos class-map MyClass match-any
  match dest-wnn 20:01:00:05:30:00:28:df
  match src-wnn 23:15:00:05:30:00:2a:1f
  match src-intf fc2/1
qos class-map Class2 match-all
  match src-intf fc2/14
qos class-map Class3 match-all
  match src-wnn 20:01:00:05:30:00:2a:1f
```

次に、指定したクラス マップの内容を表示する例を示します。

```
switch# show qos class-map name MyClass
qos class-map MyClass match-any
  match dest-wnn 20:01:00:05:30:00:28:df
  match src-wnn 23:15:00:05:30:00:2a:1f
  match src-intf fc2/1
```

次に、設定されたすべてのポリシー マップを表示する例を示します。

```
switch# show qos policy-map
qos policy-map MyPolicy
  class MyClass
  priority medium

qos policy-map Policy1
  class Class2
  priority low
```

次に、指定されたポリシー マップを表示する例を示します。

```
switch# show qos policy-map name MyPolicy
qos policy-map MyPolicy
  class MyClass
  priority medium
```

次に、スケジュールされた Deficit Weighted Round Robin (DWRR) コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show qos dwrr
qos dwrr-q high weight 50
qos dwrr-q medium weight 30
qos dwrr-q low weight 20
```

次に、すべての適用済みポリシー マップを表示する例を示します。

```
switch# show qos service policy
qos service policy MyPolicy vsan 1
qos service policy Policy1 vsan 4
```

次に、QoS 統計を表示する例を示します。

```
switch# show qos statistics
Total number of FC frames transmitted from the Supervisor= 301431
Number of highest-priority FC frames transmitted          = 137679
Current priority of FC control frames = 7      (0 = lowest; 7 = highest)
```

# show radius

Remote Authentication Dial-In User Service (RADIUS) Cisco Fabric Services (CFS) 配信ステータスおよびその他の詳細を表示するには、**show radius** コマンドを使用します。

```
show radius {distribution status | pending | pending-diff}
```

シンタックスの説明	オプション	説明
	<b>distribution status</b>	RADIUS CFS 配信のステータスを表示します。
	<b>pending</b>	まだ適用されていない未決定コンフィギュレーションを表示します。
	<b>pending-diff</b>	アクティブ コンフィギュレーションと未決定コンフィギュレーションの差異を表示します。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、RADIUS 配信ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show radius distribution status
session ongoing: no
session db: does not exist
merge protocol status: merge activation done

last operation: none
last operation status: none
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>radius distribute</b>	RADIUS CFS 配信をイネーブルにします。

# show radius-server

すべての設定された Remote Authentication Dial-In User Service (RADIUS) サーバパラメータを表示するには、**show radius-server** コマンドを表示します。

```
show radius-server [server-name | ipv4-address | ipv6-address]
[directed-request | groups | sorted | statistics]
```

## シンタックスの説明

<i>server-name</i>	RADIUS サーバの Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム) 名を指定します。最大文字サイズは 256 です。
<i>ipv4-address</i>	フォーマット <i>A.B.C.D</i> で RADIUS サーバの IP アドレスを指定します。
<i>ipv6-address</i>	フォーマット <i>X::X::X</i> で RADIUS サーバの IP アドレスを指定します。
<b>directed-request</b>	イネーブルになっている指定要求 RADIUS サーバ コンフィギュレーションを表示します。
<b>groups</b>	設定された RADIUS サーバ グループ情報を表示します。
<b>sorted</b>	名前ですортされた RADIUS サーバ情報を表示します。
<b>statistics</b>	指定の RADIUS サーバの RADIUS 統計情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.3(1)	このコマンドが導入されました。
3.0(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li><i>server-name</i>、<i>ipv4-address</i>、および <i>ipv6-address</i> 引数が追加されました。</li> <li><b>directed-request</b> および <b>statistics</b> オプションが追加されました。</li> </ul>

## 使用上のガイドライン

管理者のみ RADIUS の事前設定鍵を表示できます。

## 例

次の例では、**show radius-server** コマンドの出力を示します。

```
switch# show radius-server
Global RADIUS shared secret:Myxgqc
retransmission count:5
timeout value:10

following RADIUS servers are configured:
  myradius.cisco.users.com:
    available for authentication on port:1812
    available for accounting on port:1813
  172.22.91.37:
    available for authentication on port:1812
    available for accounting on port:1813
    RADIUS shared secret:23MHcUnD
  10.10.0.0:
    available for authentication on port:1812
    available for accounting on port:1813
    RADIUS shared secret:hostkey----> for administrators only
```

# show rlir

Registered Link Incident Report (RLIR; 登録リンク インシデント レポート)、Link Incident Record Registration (LIRR; リンク インシデント レコード登録)、Distribute Registered Link Incident Record (DRLIR; 分散登録リンク インシデント レコード) フレームを表示するには、**show rlir** コマンドを表示します。

```
show rlir {erl [vsan vsan-id] | history | recent [interface fc slot/port | portnumber port-number] |
           statistics [vsan vsan-id]}
```



(注)

Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem および Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter では、構文は次のようになります。

```
interface {bay port | ext port}
```

## シンタックスの説明

<b>erl</b> <i>vsan-id</i>	Established Registration List (ERL) 情報を表示します。
<b>vsan</b> <i>vsan-id</i>	VSAN ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>history</b>	リンク インシデント履歴を表示します。
<b>recent</b>	最新のリンク インシデントを表示します。
<b>interface</b>	インターフェイスを指定します。
<b>fc</b> <i>slot/port</i>	(任意) Cisco MDS 9000 ファミリ スイッチのファイバ チャネル インターフェイスを指定します。
<b>bay</b> <i>port</i>   <b>ext</b> <i>port</i> }	(任意) Cisco MDS 9124 ファブリック スイッチ、Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem、および Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter のファイバチャネルインターフェイスを指定します。
<b>portnumber</b> <i>port-number</i>	リンク インシデントのポート番号を指定します。有効範囲は 1 ~ 224 です。
<b>statistics</b>	RLIR 統計を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.3(2)	このコマンドが導入されました。
3.0(3)	<b>show rlir erl</b> コマンドを変更しました。
3.1(2)	<b>bay port</b>   <b>ext port</b> キーワードおよび引数が追加されました。

## 使用上のガイドライン

ホストタイムスタンプ (\* 印付き) が使用可能な場合、スイッチタイムスタンプとともに出力されます。ホストタイムスタンプが使用可能でない場合、スイッチタイムスタンプのみが出力されません。

## 例

次に、すべての VSAN 用の RLIR 統計を表示する例を示します。

```
switch# show rlr statistics

Statistics for VSAN: 1
-----

Number of LIRR received      = 0
Number of LIRR ACC sent      = 0
Number of LIRR RJT sent      = 0
Number of RLIR sent          = 0
Number of RLIR ACC received  = 0
Number of RLIR RJT received  = 0
Number of DRLIR received     = 0
Number of DRLIR ACC sent     = 0
Number of DRLIR RJT sent     = 0
Number of DRLIR sent         = 0
Number of DRLIR ACC received = 0
Number of DRLIR RJT received = 0

Statistics for VSAN: 4
-----

Number of LIRR received      = 0
Number of LIRR ACC sent      = 0
Number of LIRR RJT sent      = 0
Number of RLIR sent          = 0
Number of RLIR ACC received  = 0
Number of RLIR RJT received  = 0
Number of DRLIR received     = 0
Number of DRLIR ACC sent     = 0
Number of DRLIR RJT sent     = 0
Number of DRLIR sent         = 0
Number of DRLIR ACC received = 0
Number of DRLIR RJT received = 0

Statistics for VSAN: 61
-----

Number of LIRR received      = 0
Number of LIRR ACC sent      = 0
Number of LIRR RJT sent      = 0
Number of RLIR sent          = 0
Number of RLIR ACC received  = 0
Number of RLIR RJT received  = 0
Number of DRLIR received     = 0
Number of DRLIR ACC sent     = 0
Number of DRLIR RJT sent     = 0
Number of DRLIR sent         = 0
Number of DRLIR ACC received = 0
Number of DRLIR RJT received = 0
```

次に、指定した VSAN の RLIR 統計を表示する例を示します。

```
switch# show rlir statistics vsan 4

Statistics for VSAN: 4
-----

Number of LIRR received      = 0
Number of LIRR ACC sent      = 0
Number of LIRR RJT sent      = 0
Number of RLIR sent          = 0
Number of RLIR ACC received  = 0
Number of RLIR RJT received  = 0
Number of DRLIR received    = 0
Number of DRLIR ACC sent    = 0
Number of DRLIR RJT sent    = 0
Number of DRLIR sent        = 0
Number of DRLIR ACC received = 0
Number of DRLIR RJT received = 0
```

次に、すべての ERL 用の RLIR 統計を表示する例を示します。

```
switch# show rlir erl

Established Registration List for VSAN: 2
-----
FC-ID          LIRR FORMAT    REGISTERED FOR
-----
0x0b0200      0x18           always receive
Total number of entries = 1

Established Registration List for VSAN: 100
-----
FC-ID          LIRR FORMAT    REGISTERED FOR
-----
0x0b0500      0x18           conditional receive
0x0b0600      0x18           conditional receive
Total number of entries = 2
```

次に、指定した VSAN の ERL を表示する例を示します。

```
switch# show rlir erl vsan 100

Established Registration List for VSAN: 100
-----
FC-ID          LIRR FORMAT    REGISTERED FOR
-----
0x0b0500      0x18           conditional receive
0x0b0600      0x18           conditional receive

Total number of entries = 2
```

次に、RLIR 優先ホスト コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show rlir erl

Established Registration List for VSAN: 5
-----
FC-ID          LIRR FORMAT    REGISTERED FOR
-----
0x772c00      0x18           conditional receive(*)
0x779600      0x18           conditional receive
0x779700      0x18           conditional receive
0x779800      0x18           conditional receive
Total number of entries = 4
(*) - Denotes the preferred host
```

次に、RLIR 履歴を表示する例を示します。

```
switch# show rlr history
```

```
Link incident history
```

```
-----
Host Time Stamp          Switch Time Stamp      VSAN  Domain  Port  Intf      Link Incident Loc/Rem
-----
Sep 20 12:42:44 2006    Sep 20 12:42:44 2006    ****  ****    0x0b  fc1/12    Loss of sig/sync LOC
Reported Successfully to: [0x640001] [0x640201]
Sep 20 12:42:48 2006    Sep 20 12:42:48 2006    ****  ****    0x0b  fc1/12    Loss of sig/sync LOC
Reported Successfully to: [0x640001] [0x640201]
*** ** **:*** ** ****    Sep 20 12:42:51 2006    1001  230      0x12  ****      Loss of sig/sync REM
Reported Successfully to: [0x640001] [0x640201]
Sep 20 12:42:55 2006    Sep 20 12:42:55 2006    ****  ****    0x0b  fc1/12    Loss of sig/sync LOC
Reported Successfully to: None [No Registrations]
*** ** **:*** ** ****    Sep 20 12:45:56 2006    1001  230      0x12  ****      Loss of sig/sync REM
Reported Successfully to: None [No Registrations]
*** ** **:*** ** ****    Sep 20 12:45:56 2006    1001  230      0x12  ****      Loss of sig/sync REM
Reported Successfully to: None [No Registrations]
Sep 20 12:52:45 2006    Sep 20 12:52:45 2006    ****  ****    0x0b  fc1/12    Loss of sig/sync LOC
Reported Successfully to: None [No Registrations]
```

\*\*\*\* - Info not required/unavailable

次に、指定したインターフェイスの最新 RLIR を表示する例を示します。

```
switch# show rlr recent interface fc1/1-4
```

```
Recent link incident records
```

```
-----
Host Time Stamp          Switch Time Stamp      Port Intf  Link Incident
-----
Thu Dec 4 05:02:29 2003  Wed Dec 3 21:02:56 2003  2  fc1/2  Implicit Incident
Thu Dec 4 05:02:54 2003  Wed Dec 3 21:03:21 2003  4  fc1/4  Implicit Incident
```

次に、指定したポート番号の最新 RLIR を表示する例を示します。

```
switch# show rlr recent portnumber 1-4
```

```
Recent link incident records
```

```
-----
Host Time Stamp          Switch Time Stamp      Port Intf  Link Incident
-----
Thu Dec 4 05:02:29 2003  Wed Dec 3 21:02:56 2003  2  fc1/2  Implicit Incident
Thu Dec 4 05:02:54 2003  Wed Dec 3 21:03:21 2003  4  fc1/4  Implicit Incident
```

# show rmon

Remote Monitoring (RMON) コンフィギュレーションまたはオンボード ログを表示するには、**show rmon** コマンドを使用します。

```
show rmon {alarms | events | hcalarms | logs}
```

シンタックスの説明		
<b>alarms</b>		設定された 32 ビット RMON アラームを表示します。
<b>events</b>		設定された RMON イベントを表示します。
<b>hcalarms</b>		設定された 64 ビット High Capacity (HC; 高容量) RMON アラームを表示します。
<b>logs</b>		RMON イベント ログを表示します。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。
	2.1(2)	<b>logs</b> オプションが追加されました。
	3.0(1)	<b>hcalarms</b> オプションが追加されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、設定された RMON アラームを表示する例を示します。

```
switch# show rmon alarms
Alarm 20 is active, owned by test
Monitors 1.3.6.1.2.1.2.2.1.16.30 every 30 second(s)
Taking delta samples, last value was 17
Rising threshold is 15, assigned to event 1
Falling threshold is 0, assigned to event 0
On startup enable rising or falling alarm
```

次に、設定された RMON イベントを表示する例を示します。

```
switch# show rmon events
Event 4 is active, owned by administrator@london_op_center
Description is WARNING(4)
Event firing causes log and trap to community public, last fired 03:32:43
```

次に、設定された HC RMON アラームを表示する例を示します。

```
switch# show rmon hcalarms
High Capacity Alarm 1 is active, owned by cseSysCPUUtilization.0@test
Monitors 1.3.6.1.4.1.9.9.305.1.1.1.0 every 10 second(s)
Taking absolute samples, last value was 0
Rising threshold is 60, assigned to event 4
Falling threshold is 59, assigned to event 4
On startup enable rising alarm
Number of Failed Attempts is 0
```

次に、スイッチの RMON イベント ログを表示する例を示します。

```
switch# show rmon logs
Event 4
  1 WARNING(4)Falling alarm 1, fired at 0 days 0:02:23 uptime
    iso.3.6.1.4.1.9.9.305.1.1.1.0=17 <= 59
Event 5
  1 INFORMATION(5)Startup Falling alarm 1, fired at 0 days 0:02:23 uptime
    iso.3.6.1.4.1.9.9.305.1.1.1.0=17 <= 59
  2 INFORMATION(5)Falling alarm 1, fired at 0 days 0:02:33 uptime
    iso.3.6.1.4.1.9.9.305.1.1.1.0=17 <= 59
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>rmon alarm</b>	32 ビット RMON アラームを設定します。
<b>rmon event</b>	RMON イベントを設定します。
<b>rmon hcalarm</b>	64 ビット RMON アラームを設定します。
<b>show snmp host</b>	SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) トラップ宛先情報を表示します。

## show rmon status

現在設定されているカウント数と、最大 RMON（リモート モニタリング）アラームおよび高容量アラーム（hcalarm）を表示するには、**show rmon status** コマンドを使用します。

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.3(1a)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、現在設定されているカウント数と、最大 RMON アラームおよび hcalarm を表示する例を示します。

```
switch# show rmon status
Maximum allowed 32 bit or 64 bit alarms : 512
Number of 32 bit alarms configured : 0
Number of 64 bit hcalarms configured : 0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show rmon alarms</b>	RMON アラーム テーブルを表示します。
	<b>show rmon hcalarms</b>	RMON hcalarm テーブルを表示します。
	<b>show rmon events</b>	RMON イベント テーブルを表示します。
	<b>show rmon logs</b>	RMON イベント ログ テーブルを表示します。

# show role

まだ永続的ストレージに確定されていない役割を含む、スイッチに設定されている役割（およびその関連ルール）を表示するには、**show role** コマンドを使用します。

```
show role [name string | pending | pending-diff | session status | status]
```

## シンタックスの説明

<b>name string</b>	役割名を指定します。
<b>pending</b>	ファブリック配信の確定していない役割のコンフィギュレーションを表示します。
<b>pending-diff</b>	未決定コンフィギュレーションとアクティブ コンフィギュレーションの差異を表示します。
<b>session status</b>	ロールのセッション ステータスを表示します。
<b>status</b>	最新の Cisco Fabric Services (CFS) 操作のステータスを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。
2.0(x)	<b>pending</b> 、 <b>pending-diff</b> 、 <b>session</b> 、および <b>status</b> オプションが追加されました。

## 使用上のガイドライン

ルールはルール番号で表示され、各役割に基づいています。役割は役割名が指定されていなくてもすべて表示されます。

ネットワーク管理者のみが、このコマンドにアクセスできます。

## 例

次に、すべての役割の情報を表示する例を示します。

```
switch# show role
Role: network-admin
Description: Predefined Network Admin group. This role cannot be modified
Access to all the switch commands

Role: network-operator
Description: Predefined Network Operator group. This role cannot be modified
Access to Show commands and selected Exec commands

Role: svc-admin
Description: Predefined SVC Admin group. This role cannot be modified
Access to all SAN Volume Controller commands

Role: svc-operator
Description: Predefined SVC Operator group. This role cannot be modified
Access to selected SAN Volume Controller commands

Role: default-role
Description: This is a system defined role and applies to all users
vsan policy: permit (default)
-----
Rule      Type      Command-type      Feature
-----
1.  permit  show         system
2.  permit  show         snmp
3.  permit  show         module
4.  permit  show         hardware
5.  permit  show         environment

Role: sangroup
Description: SAN management group
-----
Rule      Type      Command-type      Feature
-----
1.  permit  config      *
2.  deny    config      fspf
3.  permit  debug      zone
4.  permit  exec       fcping
```

次に、ロールセッションステータスを表示する例を示します。

```
switch# show role session status
Last Action          : None
Last Action Result   : None
Last Action Failure Reason : None
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>role abort</b>	許可役割 CFS 配信をイネーブルにします。
<b>role commit</b>	許可役割 CFS 配信をイネーブルにします。
<b>role distribute</b>	許可役割 CFS 配信をイネーブルにします。
<b>role name</b>	許可役割を設定します。

# show rscn

Registered State Change Notification (RSCN) 情報を表示するには、**show rscn** コマンドを使用します。

```
show rscn {event-tov vsan vsan-id | pending vsan vsan-id | pending-diff vsan vsan-id | scr-table [vsan vsan-id] | statistics [vsan vsan-id]}
```

## シンタックスの説明

<b>event-tov</b>	イベント タイムアウト値を設定します。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>pending</b>	未決定コンフィギュレーションを表示します。
<b>pending-diff</b>	アクティブ コンフィギュレーションと未決定コンフィギュレーションの差異を表示します。
<b>scr-table</b>	State Change Registration (SCR) テーブルを表示します。
<b>statistics</b>	RSCN 統計情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。
3.0(1)	<b>event-tov</b> 、 <b>pending</b> 、および <b>pending-diff</b> オプションが追加されました。

## 使用上のガイドライン

SCR テーブルを設定することはできません。これは、1 つまたは複数の Nx ポートが RSCN 情報の登録のために SCR フレームを送信した場合のみ読み込まれます。**show rscn scr-table** コマンドがエントリを返さない場合、RSCN 情報を受信できる Nx ポートはありません。

## 例

次に、RSCN 情報を表示する例を示します。

```
switch# show rscn scr-table vsan 1
SCR table for VSAN: 1
-----
FC-ID          REGISTERED FOR
-----
0x1b0300      fabric detected rscns

Total number of entries = 1
```

次に、RSCN 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show rscn statistics vsan 1
```

```
Statistics for VSAN: 1
-----

Number of SCR received           = 0
Number of SCR ACC sent           = 0
Number of SCR RJT sent           = 0
Number of RSCN received          = 0
Number of RSCN sent              = 0
Number of RSCN ACC received      = 0
Number of RSCN ACC sent          = 0
Number of RSCN RJT received      = 0
Number of RSCN RJT sent          = 0
Number of SW-RSCN received       = 0
Number of SW-RSCN sent           = 0
Number of SW-RSCN ACC received   = 0
Number of SW-RSCN ACC sent       = 0
Number of SW-RSCN RJT received   = 0
Number of SW-RSCN RJT sent       = 0
```

次に、VSAN 1 に設定されている RSCN イベント タイムアウト値を表示する例を示します。

```
switch# show rscn event-tov vsan 1
Event TOV : 2000 ms
switch#
```

次に、アクティブ RSCN コンフィギュレーションと未決定 RSCN コンフィギュレーションとの差異を表示する例を示します。

```
switch# show rscn pending-diff vsan 1
- rscn event-tov 2000
+ rscn event-tov 20
switch#
```

# show running-config

実行コンフィギュレーション ファイルを表示するには、**show running-config** コマンドを使用します。

```
show running-config
  [diff |
  interface [cpp | fc | fc slot/port | fc-tunnel tunnel-id | fcip fcip-number | gigabitethernet slot/port |
  iscsi slot/port | mgmt 0 | port-channel | svc | vsan vsan-id] | vsan vsan-id]
```



(注)

Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem および Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter では、構文は次のようになります。

```
interface {bay port | ext port}
```

## シンタックスの説明

<b>diff</b>	実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションとの差異を表示します。
<b>interface</b>	インターフェイスの範囲に関する実行コンフィギュレーション情報を表示します。
<b>cpp</b>	仮想インターフェイスを表示します。
<b>fc slot/port</b>	(任意)Cisco MDS 9000 ファミリ スイッチのファイバチャネルインターフェイスを指定します。
<b>bay port   ext port</b>	(任意) Cisco MDS 9124 ファブリック スイッチ、Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem、および Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter のファイバチャネルインターフェイスを指定します。
<b>fc-tunnel tunnel-id</b>	指定した FC トンネル (1 ~ 4095) の説明を表示します。
<b>fcip fcip-number</b>	指定した Fibre Channel over IP (FCIP) インターフェイス (1 ~ 255 の範囲) の説明を表示します。
<b>gigabitethernet slot/port</b>	指定したスロットおよびポートのギガビット イーサネット インターフェイスの説明を表示します。
<b>iscsi slot/port</b>	指定したスロットおよびポートの iSCSI インターフェイスの説明を表示します。
<b>mgmt 0</b>	管理インターフェイスの説明を表示します。
<b>port-channel</b>	ポートチャネル インターフェイスの説明を表示します。
<b>sup-fc</b>	帯域内インターフェイスの詳細を表示します。
<b>svc</b>	Caching Services Module (CSM) モジュールに固有の仮想化インターフェイスを表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN 固有の情報を表示します。ID の範囲は 1 ~ 4093 です。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** 実行コンフィギュレーションがスタートアップ コンフィギュレーションと異なる場合、**show startup-config diff** コマンドを発行してその差異を表示します。

**例** 次に、現在スイッチで実行中のコンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show running-config
Building Configuration ...
  interface fc1/1
  interface fc1/2
  interface fc1/3
  interface fc1/4
  interface mgmt0
ip address 172.22.95.112 255.255.255.0
no shutdown
vsan database
boot system bootflash:isan-237; sup-1
boot kickstart bootflash:boot-237 sup-1
callhome
ip default-gateway 172.22.95.1
switchname switch
trunk protocol enable
username admin password 5 /AFDAMD4B2xK2 role network-admin
```

次に、実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションとの差異を表示する例を示します。

```
switch# show running-config diff
Building Configuration ...
*** Startup-config
--- Running-config
***** 1,16 ****
  fcip enable

  ip default-gateway 172.22.91.1

  iscsi authentication none
  iscsi enable

! iscsi import target fc

  iscsi virtual-target name vt
    pWWN 21:00:00:04:cf:4c:52:c1
  all-initiator-permit

--- 1,20 ----
  fcip enable

+ aaa accounting logsize 500
+
+
+

  ip default-gateway 172.22.91.1

  iscsi authentication none
  iscsi enable

! iscsi initiator name junk

  iscsi virtual-target name vt
    pWWN 21:00:00:04:cf:4c:52:c1
  all-initiator-permit
```

次に、指定したインターフェイス（この場合、管理インターフェイス）の実行コンフィギュレーション情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config interface mgmt0

interface mgmt0

    ip address 255.255.255.0 255.255.255.0
```

次に、指定したインターフェイス（この場合、VSAN [仮想 SAN]）の実行コンフィギュレーション情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config feature vsan
vsan database
vsan 2 suspend
vsan 3
vsan 4

vsan database
vsan 3 interface fc1/1
```

# show san-ext-tuner

Storage Area Network (SAN; ストレージエリア ネットワーク) 拡張チューナー情報を表示するには、**show san-ext-tuner** コマンドを使用します。

```
show san-ext-tuner {interface gigabitethernet slot/port [nport pwwn pwwn-id vsan vsan-id counters]
| nports}
```

## シンタックスの説明

<b>interface</b>	特定のギガビット イーサネット インターフェイスの SAN 拡張チューナー情報を表示します。
<b>gigabitethernet slot/port</b>	ギガビット イーサネット インターフェイスを指定します。
<b>nport</b>	N ポートを指定します。
<b>pwwn pwwn-id</b>	pWWN ID を指定します。フォーマットは、 <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> です。ここで、 <i>h</i> は 16 進数の数です。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>counters</b>	SAN 拡張チューナー カウンタを指定します。
<b>nports</b>	すべての N ポートの SAN 拡張チューナー情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
2.0(x)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、SAN 拡張チューナー N ポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show san-ext-tuner nports
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>san-ext-tuner</b>	SAN 拡張チューナー コンフィギュレーション モードを開始します。

# show santap module

Storage Services Module (SSM) の SANTap 設定を表示するには、EXEC モードで **show santap module** コマンドを使用します。

```
show santap module slot {avt [name | brief] | avtlun | cvt [cvt-id | brief] | dvt [name | brief] | dvtlun |
rvt [name | brief] | rvtlun | session [session-id | brief] | tech-support}
```

## シンタックスの説明

<b>slot</b>	指定したスロット内のモジュールの SANTap 設定を表示します。
<b>avt</b>	Appliance Virtual Target (AVT) 設定を表示します。
<b>avtlun</b>	AVT LUN 設定を表示します。
<b>cvt</b>	Control Virtual Target (CVT) 設定を表示します。
<i>cvt-id</i>	ユーザ設定の CVT ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 65536 です。
<b>dvt</b>	Data Virtual Target (DVT) 設定を表示します。
<b>dvtlun</b>	DVT LUN 設定を表示します。
<b>rvt</b>	Remote Virtual Target (RVT) 設定を表示します。
<b>rvtlun</b>	RVT LUN 設定を表示します。
<b>session</b>	SANTap セッション情報を表示します。
<i>session-id</i>	ユーザ設定のセッション ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 65536 です。
<i>name</i>	ユーザ名を指定します。
<b>brief</b>	表示を簡易形式版で表示。
<b>tech-support</b>	テクニカル サポート情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
2.1(1a)	このコマンドが導入されました。
3.1(2)	<b>tech-support</b> オプションが追加されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、SANTap AVT 設定を表示する例を示します。

```
switch# show santap module 2 avt

AVT Information :
  avt pwwn      = 2a:4b:00:05:30:00:22:25
  avt nwwn      = 2a:60:00:05:30:00:22:25
  avt id        = 12
  avt vsan      = 4
  avt if_index  = 0x1080000
  hi pwwn      = 21:00:00:e0:8b:07:61:aa
  tgt pwwn      = 22:00:00:20:37:88:20:ef
  tgt vsan      = 1
```

次に、SANTap AVT LUN 設定を表示する例を示します。

```
switch# show santap module 2 avtlun

AVT LUN Information :
  avt pwnn      = 2a:4b:00:05:30:00:22:25
  avt lun       = 0x0
  xmap id       = 16
  avt id        = 12
  tgt lun       = 0x0
```

次に、SANTap CVT 設定を表示する例を示します。

```
switch# show santap module 2 cvt

CVT Information :
  cvt pwnn      = 25:3c:00:05:30:00:22:25
  cvt nwnn      = 25:3d:00:05:30:00:22:25
  cvt id        = 1
  cvt xmap_id   = 2
  cvt vsan      = 10
```

次に、SANTap DVT 設定を表示する例を示します。

```
switch# show santap module 2 dvt

DVT Information :
  dvt pwnn      = 22:00:00:20:37:88:20:ef
  dvt nwnn      = 20:00:00:20:37:88:20:ef
  dvt id        = 3
  dvt mode      = 3
  dvt vsan      = 3
  dvt fp_port   = 0
  dvt if_index  = 0x1080000
  dvt name      = MYDVT
```

次に、SANTap DVT LUN 設定を表示する例を示します。

```
switch# show santap module 2 dvtlun

DVT LUN Information :
  dvt pwnn      = 22:00:00:20:37:88:20:ef
  dvt lun       = 0x0
  xmap id       = 8
  dvt id        = 3
  dvt mode      = 0
  dvt vsan      = 3
  tgt pwnn      = 22:00:00:20:37:88:20:ef
  tgt lun       = 0x0
  tgt vsan      = 1
```

次に、SANTap 設定のセッションを表示する例を示します。

```
switch# show santap module 2 session

Session Information :
  session id      = 1
  host pwn       = 21:00:00:e0:8b:07:61:aa
  dvt pwn        = 22:00:00:20:37:88:20:ef
  dvt lun        = 0x0
  tgt pwn        = 00:00:00:00:00:00:00:00
  tgt lun        = 0x0
  adt pwn        = 77:77:77:77:77:77:77:77
  adt lun        = 0x0
  num ranges     = 0
  dvt id         = 0
  vdisk id       = 0
  session state  = 0
  mrl requested  = 1
  pwl requested  = 1
  iol requested  = 0
```

次に、SANTap RVT 設定を表示する例を示します。

```
switch# show santap module 2 rvt

RVT Information :
  rvt pwn       = 2a:61:00:05:30:00:22:25
  rvt nwn       = 2a:62:00:05:30:00:22:25
  rvt id        = 17
  rvt vsan      = 4
  rvt if_index  = 0x1080000
```

次に、SANTap RVT LUN 設定を表示する例を示します。

```
switch# show santap module 2 rvtlun

RVT LUN Information :
  rvt pwn       = 2a:61:00:05:30:00:22:25
  rvt lun       = 0x0
  xmap id       = 22
  rvt id        = 17
  app pwn       = 22:00:00:20:37:39:b1:00
  app lun       = 0x0
  app vsan      = 1
```

次に、テクニカル サポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show santap module 4 tech-support

DVT Information :
  dvt pwn       = 22:00:00:20:37:39:b1:00
  dvt nwn       = 20:00:00:20:37:39:b1:00
  dvt id        = 0x83fe924
  dvt mode      = 3
  dvt vsan      = 1
  dvt if_index  = 0x1180000
  dvt fp_port   = 1
  dvt name      = MYDVT3
  dvt tgt-vsan  = 2
  dvt io timeout      = 10 secs
  dvt lun size handling = 1
  dvt app iofail behaviour = 0
  dvt quiesce behavior = 0
  dvt tgt iofail behavior = 0
  dvt appio failover time = 0 secs
  dvt inq data behavior = 0
```

```
DVT Information :
    dvt pwwn      = 22:00:00:20:37:88:20:ef
    dvt nwwn      = 20:00:00:20:37:88:20:ef
    dvt id        = 0x8405bbc
    dvt mode      = 3
    dvt vsan      = 1
    dvt if_index  = 0x1186000
    dvt fp_port   = 7
    dvt name      = MYDVT3
    dvt tgt-vsan  = 2
    dvt io timeout = 10 secs
    dvt lun size handling = 1
    dvt app iofail behaviour = 0
    dvt quiesce behavior = 0
    dvt tgt iofail behavior = 0
    dvt appio failover time = 0 secs
    dvt inq data behavior = 0
```

```
DVT Information :
    dvt pwwn      = 22:00:00:20:37:39:87:70
    dvt nwwn      = 20:00:00:20:37:39:87:70
    dvt id        = 0x8405b2c
    dvt mode      = 3
    dvt vsan      = 3
    dvt if_index  = 0x118c000
    dvt fp_port   = 13
    dvt name      = MYDVT3
    dvt tgt-vsan  = 2
    dvt io timeout = 10 secs
    dvt lun size handling = 1
    dvt app iofail behaviour = 0
    dvt quiesce behavior = 0
    dvt tgt iofail behavior = 0
    dvt appio failover time = 0 secs
    dvt inq data behavior = 0
```

```
CVT Information :
    cvt pwwn      = 29:5d:33:33:33:33:33:36
    cvt nwwn      = 29:5e:33:33:33:33:33:36
    cvt id        = 0x83b11e4
    cvt xmap_id   = 0x83b1204
    cvt vsan      = 2
    cvt name      =
```

```
-----
VSAN                USAGE COUNT
-----
2                    4
switch#
```

表 22-8 に、前の出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 22-8 show santap フィールドの説明

フィールド	説明
app lun	アプライアンス LUN を表示します。
app pwwn	アプライアンス ポートの World Wide Name (WWN) の機器を表示します。
app vsan	アプライアンス VSAN (仮想 SAN) 番号を表示します。
avt id	AVT ID 番号を表示します。
avt if_index	AVT インターフェイス インデックス番号を表示します。
avt lun	AVT LUN を表示します。
avt nwwn	AVT ノードのポート WWN を表示します。
avt pwwn	AVT ポートの WWN を表示します。

表 22-8 show santap フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
avt vsan	AVT VSAN 番号を表示します。
cvt id	CVT ID 番号を表示します。
cvt nwwn	CVT ノードのポート WWN を表示します。
cvt pwwn	CVT ポートの WWN を表示します。
cvt vsan	CVT VSAN 番号を表示します。
cvt xmap_id	CVT Xmap ID 番号を表示します。
dvt fp_port	DVT ファブリック ポート番号を表示します。
dvt id	DVT を表示します。
dvt if_index	DVT インターフェイス インデックス番号を表示します。
dvt lun	DVT LUN を表示します。
dvt mode	DVT モードを表示します。
dvt name	DVT 名を表示します。
dvt nwwn	DVT ノードのポート WWN を表示します。
dvt pwwn	DVT ポートの WWN を表示します。
dvt vsan	DVT VSAN 番号を表示します。
host pwwn	ホスト ポートの WWN を表示します。
num ranges	番号の範囲を表示します。
rvt id	RVT ID 番号を表示します。
rvt if_index	RVT インターフェイス インデックスを表示します。
rvt lun	RVT LUN を表示します。
rvt nwwn	RVT ノードのポート WWN を表示します。
rvt pwwn	RVT ポートの WWN を表示します。
rvt vsan	RVT VSAN 番号を表示します。
session id	セッション ID 番号を表示します。
session state	セッション ステートを表示します。
tgt lun	ターゲットの LUN を表示します。
tgt pwwn	ターゲットのポート WWN を表示します。
tgt vsan	ターゲットの VSAN 番号を表示します。
vdisk id	仮想ディスク ID 番号を表示します。
xmap id	Xmap ID 番号を表示します。

## 関連コマンド

コマンド	説明
santap module	機器が設定されている SSM と VSAN 間のマッピングを設定します。

# show santap module dvt brief

Storage Services Module (SSM) の SANTap Data Virtual Target (DVT) 設定を簡易形式で表示するには、EXEC モードで **show santap module dvt brief** コマンドを使用します。

```
show santap module dvt brief slot
```

シンタックスの説明	<i>slot</i>	指定したスロット内のモジュールの SANTap 設定を表示します。
デフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC モード	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.2(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	なし	

**例** 次に、スロット 13 の SANTap モジュール DVT の概略情報を表示する例を示します。

```
switch# show santap module 13 dvt brief
-----
DVT WWN                DVT ID                MD  DVT VSAN  DVTIFIDX
-----
50:06:0e:80:00:c3:e0:46 139639316            3   30        0x1604000
switch# attach module 13
Attaching to module 13 ...
To exit type 'exit', to abort type '$.'
Bad terminal type: "xterm". Will assume vt100.
```

次に、SANTap vttbl DVT 設定を表示する例を示します。

```
switch# attach module 2
module-3# show santap vttbl dvt 50:00:1f:e1:50:0c:3b:09
DVT Entry :
  Activated      : FALSE
  Number LUNs   : 16
  Possible Hosts :
    hi_pwwn = 10:00:00:00:c9:3f:90:21 : 4 LUNs
    hi_pwwn = 10:00:00:00:c9:4c:c0:e5 : 2 LUNs
    hi_pwwn = 21:00:00:e0:8b:0c:7d:21 : 2 LUNs
    hi_pwwn = 10:00:00:00:c9:56:ed:f2 : 2 LUNs
    hi_pwwn = 50:06:0b:00:00:60:2a:a0 : 4 LUNs
    hi_pwwn = 21:00:00:e0:8b:92:62:92 : 2 LUNs
```

次に、SANTap vttbl DVT ホスト設定を表示する例を示します。

```
switch# show santap vttbl dvt 50:00:1f:e1:50:0c:3b:09 host 10:00:00:00:c9:3f:90:21
HI-LIST Entry :
  State           : PRLI
  UA Power On    : 1
  FIT Created     : 1
  NVP Index      : 0x10000000c93f9021

  HI-LUNS Entry :
  Number of LUNs : 4
  DVT ID         : 0x83f978c
  HI Index       : 0
  LUNs Installed : TRUE
  Target Lun, DVT Lun pairs :

  (0, 0) (1, 1) (2, 2) (3, 3)
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<code>show santap vttbl</code>	SANTap vttbl 設定を表示します。

# show scheduler

コマンドスケジューラ情報を表示するには、**show scheduler** コマンドを使用します。

```
show scheduler {config | job [name jobname] | logfile | schedule [name schedulename]}
```

## シンタックスの説明

<b>config</b>	コマンドスケジューラ設定情報を表示します。
<b>job</b>	ジョブ情報を表示します。
<b>name jobname</b>	出力を特定のジョブ名だけに制限します。1 最大 31 文字まで可能です。
<b>logfile</b>	ログファイルを表示します。
<b>schedule</b>	スケジュール情報を表示します。
<b>name schedulename</b>	出力を特定のスケジュール名だけに制限します。1 最大 31 文字まで可能です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
2.0(x)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、**scheduler enable** コマンドを使用してコマンドスケジューラをイネーブルにする必要があります。

## 例

次に、コマンドスケジューラ設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show scheduler config
config terminal
  scheduler enable
end
```

次に、コマンドスケジューラのスケジュール情報を表示する例を示します。

```
switch# show scheduler schedule configureVsan99
Schedule Name : configureVsan99
-----
User Name : admin
Schedule Type : Run once on Tue Aug 10 09:48:00 2004
Last Execution Time: Tue Aug 10 09:48:00 2004
-----
Job Name      Status
-----
addMemVsan99  Success (0)
```

次に、コマンドスケジューラのログファイル情報を表示する例を示します。

```
switch# show scheduler logfile
Job Name : addMemVsan99 Job Status: Success (0)
Schedule Name : configureVsan99 User Name : admin
Completion time: Tue Aug 10 09:48:00 2004
----- Job Output -----
'config terminal'
'vsan database'
'vsan 99 interface fc1/1'
'vsan 99 interface fc1/2'
'vsan 99 interface fc1/3'
'vsan 99 interface fc1/4'
```

次に、コマンドスケジューラ設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show scheduler config
config terminal
  scheduler enable
  scheduler logfile size 512
end
config terminal
  scheduler job name addMemVsan99
  config terminal
    vsan database
    vsan 99 interface fc1/1
    vsan 99 interface fc1/2
    vsan 99 interface fc1/3
    vsan 99 interface fc1/4
  end
end
config terminal
  scheduler schedule name configureVsan99
  time start 2004:8:10:9:52
  job name addMemVsan99
end
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>scheduler enable</b>	コマンドスケジューラをイネーブルにします。
<b>scheduler job name</b>	コマンドスケジューラジョブを設定します。
<b>scheduler schedule name</b>	コマンドスケジューラを設定します。

# show scsi-flow

SCSI フロー情報を表示するには、**show scsi-flow** コマンドを使用します。

```
show scsi-flow [flow-id flow-id] statistics [flow-id flow-id {lun lun-number}]]
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<b>flow-id</b> <i>flow-id</i>	特定の SCSI フロー インデックスを表示します。
	<b>statistics</b>	SCSI フローの統計情報を表示します。
	<b>lun</b> <i>lun-number</i>	特定 LUN 番号の統計を表示します。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(2)	このコマンドが導入されました。

**例** 次に、すべての SCSI フロー ID の SCSI フロー サービス コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show scsi-flow
Flow Id: 3
  Initiator VSAN: 101
  Initiator WWN: 21:00:00:e0:8b:05:76:28
  Target VSAN: 102
  Target WWN: 21:00:00:20:37:38:7f:7d
  Target LUN: ALL LUNs
  Flow Verification Status:
  -----
  Initiator Verification Status: success
  Target Verification Status: success
  Initiator Linecard Status: success
  Target Linecard Status: success
  Feature Status:
  -----
  Write-Acceleration enabled
  Write-Acceleration Buffers: 1024
  Configuration Status: success
  Statistics enabled
  Configuration Status: success

Flow Id: 4
  Initiator VSAN: 101
  Initiator WWN: 21:00:00:e0:8b:05:76:28
  Target VSAN: 102
  Target WWN: 21:00:00:20:37:38:a7:89
  Target LUN: ALL LUNs
  Flow Verification Status:
  -----
  Initiator Verification Status: success
  Target Verification Status: success
  Initiator Linecard Status: success
  Target Linecard Status: success
  Feature Status:
  -----
  Write-Acceleration enabled
  Write-Acceleration Buffers: 1024
  Configuration Status: success
```

表 22-9 に、`show scsi-flow` コマンド出力に表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 22-9 show scsi-flow フィールドの説明

フィールド	説明
Initiator Verification Status	ローカル スイッチ上のイニシエータのネーム サーバ、Fabric Login (FLOGI) サーバ、およびゾーン サーバ情報が正しいかどうかを確認します。
Target Verification Status	ローカル スイッチ上のターゲットのネーム サーバおよびゾーン サーバ情報が正しいかどうかを確認します。
Initiator Linecard Status	イニシエータが SSM に接続されているか、また DPP プロビジョニングがモジュールに対してイネーブルになっているかを確認します。
Target Linecard Status	次の順に確認を行います。 1. ターゲット スイッチは、イニシエータの正しいネーム サーバおよびゾーン サーバ情報を参照しているか。 2. ターゲット スイッチは、ターゲットの正しいネーム サーバ、FLOGI サーバ、およびゾーン サーバを参照しているか。 3. ターゲットは SSM に接続され、DPP プロビジョニングがそのモジュールに対してイネーブルになっているか。

次に、特定 SCSI フロー ID の SCSI フロー サービス コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show scsi-flow flow-id 3
Flow Id: 3
  Initiator VSAN: 101
  Initiator WWN: 21:00:00:e0:8b:05:76:28
  Target VSAN: 102
  Target WWN: 21:00:00:20:37:38:7f:7d
  Target LUN: ALL LUNs
  Flow Verification Status:
  -----
    Initiator Verification Status:    success
    Target Verification Status:      success
    Initiator Linecard Status:       success
    Target Linecard Status:          success
  Feature Status:
  -----
    Write-Acceleration enabled
    Write-Acceleration Buffers: 1024
    Configuration Status:    success
    Statistics enabled
    Configuration Status:    success
```

次に、すべての SCSI フロー ID の SCSI フロー サービス統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-flow statistics

Stats for flow-id 4 LUN=0x0000
-----
Read Stats
  I/O Total count=2
  I/O Timeout count=0
  I/O Total block count=4
  I/O Max block count=2
  I/O Min response time=5247 usec
  I/O Max response time=10160 usec
  I/O Active Count=0

Write Stats
  I/O Total count=199935
  I/O Timeout count=0
  I/O Total block count=12795840
  I/O Max block count=64
  I/O Min response time=492 usec
  I/O Max response time=10056529 usec
  I/O Active Count=16

Non Read-Write Stats
  Test Unit Ready=4
  Report LUN=38
  Inquiry=50
  Read Capacity=3
  Mode Sense=0
  Request Sense=0

Total Stats
  Rx Frame Count=3792063
  Rx Frame Byte Count=6549984752
  Tx Frame Count=3792063
  Tx Frame Byte Count=6549984752

Error Stats
  SCSI Status Busy=0
  SCSI Status Reservation Conflict=0
  SCSI Status Task Set Full=0
  SCSI Status ACA Active=0
  Sense Key Not Ready=0
  Sense Key Medium Error=0
  Sense Key Hardware Error=0
  Sense Key Illegal Request=0
  Sense Key Unit Attention=28
  Sense Key Data Protect=0
  Sense Key Blank Check=0
  Sense Key Copy Aborted=0
  Sense Key Aborted Command=0
  Sense Key Volume Overflow=0
  Sense Key Miscompare=0
```

次に、特定 SCSI フロー ID の SCSI フロー サービス統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-flow statistics flow-id 4
```

```
Stats for flow-id 4 LUN=0x0000
```

```
-----  
Read Stats  
I/O Total count=2  
I/O Timeout count=0  
I/O Total block count=4  
I/O Max block count=2  
I/O Min response time=5247 usec  
I/O Max response time=10160 usec  
I/O Active Count=0  
  
Write Stats  
I/O Total count=199935  
I/O Timeout count=0  
I/O Total block count=12795840  
I/O Max block count=64  
I/O Min response time=492 usec  
I/O Max response time=10056529 usec  
I/O Active Count=16
```

# show scsi-target

既存の SCSI ターゲット コンフィギュレーションに関する情報を表示するには、**show scsi-target** コマンドを使用します。

```
show scsi-target {auto-poll | custom-list | devices [vsan vsan-id] [fcid fcid-id] | disk [vsan vsan-id] [fcid fcid-id] | lun [vsan vsan-id] [fcid fcid-id] [os [aix | all | hpux | linux | solaris | windows] | pwwn | status | tape [vsan vsan-id] [fcid fcid-id]}
```

## シンタックスの説明

<b>auto-poll</b>	SCSI ターゲット自動ポーリング情報を表示します。
<b>custom-list</b>	カスタマイズされた検出ターゲットを表示します。
<b>devices</b>	検出された SCSI ターゲット デバイス情報を表示します。
<b>disk</b>	検出されたディスク情報を表示します。
<b>lun</b>	検出された SCSI ターゲット Logical Unit Number (LUN) 情報を表示します。
<b>os</b>	指定したオペレーティングシステムを検出します。
<b>aix</b>	AIX オペレーティングシステムを指定します。
<b>all</b>	すべてのオペレーティングシステムを指定します。
<b>hpux</b>	HPUX オペレーティングシステムを指定します。
<b>linux</b>	Linux オペレーティングシステムを指定します。
<b>solaris</b>	Solaris オペレーティングシステムを指定します。
<b>windows</b>	Windows オペレーティングシステムを指定します。
<b>vsan vsan-range</b>	VSAN (仮想 SAN) ID または VSAN の範囲を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>fcid fcid-id</b>	表示する SCSI ターゲットの Fibre Channel (FC) ID を指定します。
<b>status</b>	SCSI ターゲット検出ステータスを表示します。
<b>tape</b>	検出されたテープ情報を表示します。
<b>pwwn</b>	各オペレーティングシステムの検出された pWWN 情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.3(4)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

オンライン SCSI ターゲットの自動検出を確認するには、**show scsi-target auto-poll** コマンドを使用します。

## 例

次に、SCSI 検出のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target status
discovery completed
```

次に、カスタマイズされた検出ターゲットを表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target custom-list
-----
VSAN DOMAIN
-----
1          56
```

次に、検出されたディスク情報を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target disk
-----
VSAN      FCID      PWWN      VENDOR    MODEL      REV
-----
1         0x9c03d6  21:00:00:20:37:46:78:97  Company 4  ST318203FC  0004
1         0x9c03d9  21:00:00:20:37:5b:cf:b9  Company 4  ST318203FC  0004
1         0x9c03da  21:00:00:20:37:18:6f:90  Company 4  ST318203FC  0004
1         0x9c03dc  21:00:00:20:37:5a:5b:27  Company 4  ST318203FC  0004
1         0x9c03e0  21:00:00:20:37:36:0b:4d  Company 4  ST318203FC  0004
1         0x9c03e1  21:00:00:20:37:39:90:6a  Company 4  ST318203  CLAR18  3844
1         0x9c03e2  21:00:00:20:37:18:d2:45  Company 4  ST318203  CLAR18  3844
1         0x9c03e4  21:00:00:20:37:6b:d7:18  Company 4  ST318203  CLAR18  3844
1         0x9c03e8  21:00:00:20:37:38:a7:c1  Company 4  ST318203FC  0004
1         0x9c03ef  21:00:00:20:37:18:17:d2  Company 4  ST318203FC  0004
```

次に、すべてのオペレーティングシステムで検出された LUN を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target lun os all

ST336607FC from SEAGATE (Rev 0006)
FCID is 0xed0001 in VSAN 7, PWWN is 21:00:00:04:cf:fb:42:f8
-----
OS  LUN      Capacity Status  Serial Number  Device-Id
      (MB)
-----
WIN 0x0    36704   Online  3JA1B9QA00007338  C:1 A:0 T:3 20:00:00:04:cf:fb:42:f8
AIX 0x0    36704   Online  3JA1B9QA00007338  C:1 A:0 T:3 20:00:00:04:cf:fb:42:f8
SOL 0x0    36704   Online  3JA1B9QA00007338  C:1 A:0 T:3 20:00:00:04:cf:fb:42:f8
LIN 0x0    36704   Online  3JA1B9QA00007338  C:1 A:0 T:3 20:00:00:04:cf:fb:42:f8
HP  0x0     36704   Online  3JA1B9QA00007338  C:1 A:0 T:3 20:00:00:04:cf:fb:42:f8
```

次に、Solaris OS で検出された LUN を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target lun os solaris

ST336607FC from SEAGATE (Rev 0006)
FCID is 0xed0001 in VSAN 7, PWWN is 21:00:00:04:cf:fb:42:f8
-----
OS  LUN      Capacity Status  Serial Number  Device-Id
      (MB)
-----
SOL 0x0    36704   Online  3JA1B9QA00007338  C:1 A:0 T:3 20:00:00:04:cf:fb:42:f8
```

次に、自動ポーリング情報を表示する例を示します。各ユーザは、Caching Services Module (CSM) または IP ストレージ モジュールがシャーシにあることを示す内部 UUID 番号で表示されます。

```
switch# show scsi-target auto-poll
auto-polling is enabled, poll_start:0 poll_count:1 poll_type:0
USERS OF AUTO POLLING
-----
uuid:54
```

次に、各オペレーティング システム (Windows、AIX、Solaris、Linux、HPUX) に割り当てられた pWWN を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target pwn
-----
OS      PWWN
-----
WIN     24:91:00:05:30:00:2a:1e
AIX     24:92:00:05:30:00:2a:1e
SOL     24:93:00:05:30:00:2a:1e
LIN     24:94:00:05:30:00:2a:1e
HP      24:95:00:05:30:00:2a:1e
```

# show sdv

SAN Device Virtualization (SDV; SAN デバイス バーチャライゼーション) 情報を表示するには、EXEC モードで **show sdv** コマンドを使用します。

```
show sdv {database [pending vsan vsan-id | vsan vsan-id] | merge status vsan vsan-id | pending-diff
vsan vsan-id | session status vsan vsan-id | statistics vsan vsan-id | virtual-device name
device-name vsan vsan-id | zone [active vsan vsan-id | vsan vsan-id]}
```

## シンタックスの説明

<b>database</b>	SDV データベースを表示します。
<b>pending</b>	未決定 SDV データベースを表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN (仮想 SAN) 数を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>merge status</b>	SDV 結合ステータスを表示します。
<b>pending-diff</b>	SDV 未決定の差異を表示します。
<b>session</b>	SDV セッション ステータスを表示します。
<b>statistics</b>	SDV 統計情報を表示します。
<b>virtual-device</b>	SDV 仮想デバイスを表示します。
<b>name device-name</b>	仮想ターゲット名を指定します。最大文字サイズは 32 です。
<b>zone</b>	ゾーンを指定します。
<b>active</b>	アクティブ VSAN を指定します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
3.1(2)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、SDV データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show sdv database vsan 2
virtual-device name vdev1 vsan 2
[ WWN:50:00:53:00:00:d2:e0:01 FCID:0x960001 Real-FCID:0x9f0201 ]
virtual-fcid 0x960001
pwwn 21:00:00:04:cf:cf:45:40 primary
pwwn 21:00:00:04:cf:cf:38:d6
```

次に、結合ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show sdv merge status vsan 1
Merge Status for VSAN      : 1
-----
Last Merge Time Stamp     : None
Last Merge State          : None
Last Merge Result         : SUCCESS
Last Merge Failure Reason : None [cfs_status: 0]
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
sdv enable	SDV 機能をイネーブルにします。
sdv virtual-device	仮想ターゲットを指定します。

## show sme cluster

Cisco SME クラスタに関する情報を表示するには、**show sme cluster** コマンドを使用します。

```
show sme {
  cluster {cluster name {detail | interface {node {{A.B.C.D | X:X::X | DNS name} sme slot/port }}
  sme slot/port | summary} | it-nexus | key database {detail | guid guid name {detail | summary } |
  summary} | node {{A.B.C.D | X:X::X | DNS name} | summary} | recovery officer {index | detail
  index | summary index} | summary | tape {detail | summary} | tape-bkgrp tape group name volgrp
  volume group name} | detail | summary}
```

## シンタックスの説明

<b>cluster</b> <i>cluster name</i>	Cisco SME クラスタ情報を表示します。最大 32 文字まで可能です。
<b>detail</b>	Cisco SME クラスタの詳細を表示します。
<b>interface</b>	Cisco SME クラスタ インターフェイスに関する情報を表示します。
<b>node</b>	Cisco SME クラスタ リモート インターフェイスに関する情報を表示します。
<i>A.B.C.D</i>	リモートスイッチの IP アドレスを IPv4 形式で指定します。
<i>X:X::X</i>	リモートスイッチの IP アドレスを IPv6 形式で指定します。
<i>DNS name</i>	リモートデータベース名を指定します。
<b>sme</b>	Cisco SME インターフェイスを指定します。
<i>slot</i>	MPS-18/4 モジュールのスロットを特定します。
<i>port</i>	Cisco SME ポートを特定します。
<b>interface summary</b>	Cisco SME クラスタ インターフェイスの概要を表示します。
<b>it-nexus</b>	Cisco SME クラスタのターゲット接続 (IT-nexus) に対するイニシエータを表示します。
<b>key database</b>	Cisco SME クラスタ キー データベースを表示します。
<b>detail</b>	Cisco SME クラスタ キー データベースの詳細を表示します。
<b>guid</b> <i>guid name</i>	Cisco SME クラスタ キー データベース GUID を表示します。最大 64 文字まで可能です。
<b>summary</b>	Cisco SME クラスタ キー データベースの概要を表示します。
<b>node summary</b>	Cisco SME クラスタ ノードの概要を表示します。
<b>recovery officer detail</b>	Cisco SME クラスタ リカバリ オフィサの詳細を表示します。
<b>recovery officer summary</b>	Cisco SME クラスタ リカバリ オフィサの概要を表示します。
<i>Index</i>	リカバリ オフィサ インデックスを指定します。有効範囲は 1 ~ 8 です。
<b>detail</b> <i>index</i>	リカバリ オフィサ詳細インデックスを指定します。有効範囲は 1 ~ 8 です。
<b>summary</b> <i>index</i>	リカバリ オフィサ概要インデックスを指定します。有効範囲は 1 ~ 8 です。
<b>tape detail</b>	Cisco SME テープの詳細を表示します。
<b>tape summary</b>	テープの概要を表示します。

<b>tape-bkgrp</b> <i>tape group name</i>	クリプトテープバックアップグループ名を表示します。最大 32 文字まで可能です。
<b>volgrp</b> <i>volume group name</i>	テープボリュームグループ名を表示します。最大 32 文字まで可能です。
<b>detail</b>	Cisco SME クラスタの詳細を表示します。
<b>summary</b>	Cisco SME クラスタの概要を表示します。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.2(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、クラスタに関する設定の詳細を表示する例を示します。

```
switch# show sme cluster c1
Cluster ID is 0x2b2a0005300035e1
Cluster status is online
Security mode is advanced
Total Nodes are 1
Recovery Scheme is 2 out of 5
Fabric[0] is Fabric_name-excall10
KMC server 10.21.113.117:8800 is provisioned, connection state is initializing

Master Key GUID is 10af119cfd79c17f-ee568878c049f94d, Version: 0
Shared Key Mode is Not Enabled
Auto Vol Group is Not Enabled
Tape Compression is Not Enabled
Tape Key Recycle Policy is Not Enabled
Key On Tape is Not Enabled
Cluster Infra Status : Operational
Cluster is Administratively Up
Cluster Config Version : 24
```

次に、クラスタ インターフェイス情報を表示する例を示します。

```
switch# show sme cluster clusternam1 interface it-nexus
-----
      Host WWN                VSAN    Status    Switch    Interface
      Target WWN
-----
10:00:00:00:c9:4e:19:ed,
2F:ff:00:06:2b:10:c2:e2      4093    online    switch    sme4/1
```

次に、クラスタの特定のリカバリ オフィサを表示する例を示します。

```
switch# show sme cluster clusternam1 recovery officer
Recovery Officer 1 is set
  Master Key Version is 0
  Recovery Share Version is 0
  Recovery Share Index is 1
  Recovery Scheme is 1 out of 1
  Recovery Officer Label is
  Recovery share protected by a password

Key Type is master key share
  Cluster is clusternam1, Master Key Version is 0
  Recovery Share Version is 0, Share Index is 1
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<code>show sme cluster</code>	Cisco SME クラスタに関する情報を表示します。
<code>clear sme</code>	Cisco SME 設定をクリアします。

## show sme transport

Cisco SME クラスタ転送情報を表示するには、`show sme transport` コマンドを使用します。

```
show sme transport cluster cluster name
```

#### シンタックスの説明

<code>cluster <i>cluster name</i></code>	Cisco SME クラスタを表示します。最大 32 文字まで可能です。
--	--------------------------------------

#### デフォルト

なし

#### コマンドモード

EXEC モード

#### コマンド履歴

リリース	変更内容
3.2(2)	このコマンドが導入されました。

#### 使用上のガイドライン

なし

#### 例

次に、内部クラスタ エラーを表示する例を示します。

```
switch# show sme transport cluster c1

SME Cluster is c1
Cluster ID is
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<code>show sme cluster</code>	Cisco SME クラスタのすべての情報を表示します。
<code>clear sme</code>	Cisco SME 設定をクリアします。

# show snmp

SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) ステータスおよび設定情報を表示するには、**show snmp** コマンドを使用します。

```
show snmp [community | engineID | group | host | sessions | trap | user [user-name]
           [engineID engine-id]]
```

## シンタックスの説明

<b>community</b>	SNMP コミュニティ ストリングを表示します。
<b>engineID</b>	SNMP エンジン ID を表示します。
<b>group</b>	SNMP グループを表示します。
<b>host</b>	SNMP ホストを表示します。
<b>sessions</b>	SNMP セッションを表示します。
<b>trap</b>	SNMP トラップを表示します。
<b>user</b>	SNMPv3 ユーザを表示します。
<i>user-name</i>	ユーザ名を指定します。最大は 32 です。
<b>engineID</b>	エンジン ID を表示します。
<i>engine-id</i>	エンジン ID を指定します。最大 128 文字まで可能です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。
2.0(x)	<b>engineid</b> 、 <b>group</b> 、および <b>sessions</b> キーワードが追加されました。
3.1(2)	<b>trap</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

なし

例 次に、SNMP 情報を表示する例を示します。

```
switch# show snmp
sys contact:
sys location:

1631 SNMP packets input
    0 Bad SNMP versions
    0 Unknown community name
    0 Illegal operation for community name supplied
    0 Encoding errors
    64294 Number of requested variables
    1 Number of altered variables
    1628 Get-request PDUs
    0 Get-next PDUs
    1 Set-request PDUs
152725 SNMP packets output
    0 Too big errors
    1 No such name errors
    0 Bad values errors
    0 General errors
```

Community	Access		
-----	-----		
public	rw		
User	Group	Auth	Priv
---	---	---	---
admin	network-admin	md5	no

次に、SNMP ユーザの詳細を表示する例を示します。

User	Group	Auth	Priv
---	---	---	---
steve	network-admin	md5	des
sadmin	network-admin	md5	des
stever	network-operator	md5	des

次に、SNMP コミュニティ情報を表示する例を示します。

```
switch# show snmp community
Community
-----
private          rw
public           ro
v93RACqPNH      ro
```

次に、SNMP ホスト情報を表示する例を示します。

```
switch# show snmp host
Host                               Port Version Level Type  SecName
-----
171.16.126.34                      2162 v2c     noauth trap public
171.16.75.106                      2162 v2c     noauth trap public
171.31.124.81                      2162 v2c     noauth trap public
171.31.157.193                    2162 v2c     noauth trap public
171.31.157.98                     2162 v2c     noauth trap public
171.31.49.25                      2162 v2c     noauth trap public
171.31.49.32                      2188 v2c     noauth trap public
171.31.49.49                      2162 v2c     noauth trap public
171.31.49.49                      3514 v2c     noauth trap public
171.31.49.54                      2162 v2c     noauth trap public
171.31.58.54                      2162 v2c     noauth trap public
171.31.58.81                      2162 v2c     noauth trap public
171.31.58.97                      1635 v2c     noauth trap public
171.31.58.97                      2162 v2c     auth trap public
171.31.58.97                      3545 v2c     auth trap public
172.22.00.43                      2162 v2c     noauth trap public
172.22.00.65                      2162 v2c     noauth trap public
172.22.05.234                    2162 v2c     noauth trap public
172.22.05.98                      1050 v2c     noauth trap public
```

次に、SNMP エンジン ID 情報を表示する例を示します。

```
switch# show snmp engineID
Local SNMP engineID: 800000090300053000A79E
```

次に、SNMP グループ情報を表示する例を示します。

```
switch# show snmp group
groupname: network-admin
security model: any
security level: noAuthNoPriv
readview: network-admin-rd
writeview: network-admin-wr
notifyview: network-admin-rd
storage-type: permanent
row status: active

groupname: network-admin
security model: any
security level: authNoPriv
readview: network-admin-rd
writeview: network-admin-wr
notifyview: network-admin-rd
storage-type: permanent
row status: active

groupname: network-operator
security model: any
security level: noAuthNoPriv
readview: network-operator-rd
writeview: network-operator-wr
notifyview: network-operator-rd
storage-type: permanent
row status: active

groupname: network-operator
security model: any
security level: authNoPriv
readview: network-operator-rd
writeview: network-operator-wr
notifyview: network-operator-rd
storage-type: permanent
row status: active
```

# show span drop-counters

SPAN 廃棄カウンタを表示するには、**show span drop-counters** コマンドを使用します。

**show span drop-counters**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.3(1a)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドは、ISOLA プラットフォームでのみ有効です。

**例** 次に、SPAN 廃棄カウンタを設定する例を示します。

```
switch#config
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# span drop-counters
SPAN Drop-Counters for module 3 is: 0x0
SPAN Drop-Counters for module 7 is: 0x0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show span max-queued-packets</b>	SPAN 最大キューイング パケットを表示します。

# show span max-queued-packets

SPAN 最大キューイング パケットを表示するには、**show span max-queued-packets** コマンドを使用します。

**show span max-queued-packets**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.3(1a)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドは、ISOLA プラットフォームでのみ有効です。

**例** 次に、SPAN 最大キューイング パケットを表示する例を示します。

```
switch# show span max-queued-packets
max-queued-packets for SPAN sessions: 1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	span max-queued-packets	SPAN 最大キューイング パケットを設定します。

# show span session

SPAN (スイッチドポートアナライザ) セッションについての特定情報を表示するには、**show span session** コマンドを使用します。

```
show span session [session-id [brief] | brief]
```

<b>シンタックスの説明</b>	<i>session-id</i>	SPAN セッション ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 16 です。
	<b>brief</b>	SPAN セッション コンフィギュレーションを簡略な形式で表示します。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

<b>コマンド履歴</b>	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	1.2(1)	このコマンドが導入されました。
	3.3(1a)	入力および出力両方向の SPAN トラフィックのサポートが追加されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、SPAN セッションを簡略な形式で表示する例を示します。

```
switch# show span session brief
-----
Session Admin      Oper      Destination
        State      State      Interface
-----
  7      no suspend  active    fc2/7
```

次に、特定の SPAN セッションの詳細を表示する例を示します。

```
switch# show span session 7
Session 7 (active)
  Destination is fc2/7
  No session filters configured
Ingress (rx) sources are
  fc1/5,
Egress (tx) sources are
  fc1/5,

switch# show span session 7
Session 7 (active)
  Destination is fc-tunnel 100
  No session filters configured
Ingress (rx) sources are
  fc1/5,
Egress (tx) sources are
  fc1/5,
```

次に、すべての SPAN セッションを表示する例を示します。

```
switch# show span session
Session 1 (inactive as no destination)
Destination is not specified
  Session filter vsans are 1
Ingress (rx) sources are
  fc1/5,
Egress (tx) sources are
  fc1/5,
```

次に、Fibre Channel (FC) トンネル インターフェイスにマッピングされた SPAN セッションを表示する例を示します。

```
switch# show span session
Session 2 (active)
  Destination is fc-tunnel 100
  No session filters configured
  Ingress (rx) sources are
  fc1/5,
Egress (tx) sources are
  fc1/5,
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<code>span session source interface</code>	入力 (rx) および出力 (tx) 両方向の SPAN トラフィックを設定します。

# show sprom

Field-Replaceable Unit (FRU) を追跡するのに使用できるベンダー ID、製品コンポーネント属性、シリアル番号情報を表示するには、**show sprom** コマンドを使用します。

```
show sprom {backplane backplane-index |
            clock clock-module-index |
            fan |
            mgmt-module |
            module module-number sprom-index |
            powersupply powersupply-index |
            sup}
```

シンタックスの説明	
<b>backplane</b> <i>backplane-index</i>	個別にスイッチを識別するのに使用できる属性を表示します。有効範囲は 1～2 です。
<b>clock</b> <i>clock-module-index</i>	クロック モジュールの属性を表示します。スイッチには 2 つのクロック モジュールがあります。このモジュールは MDS 9216 タイプ スイッチにはありません。有効範囲は 1～2 です。
<b>fan</b>	個別にファンを識別する属性を表示します。
<b>mgmt-module</b>	管理モジュールの属性を表示します。このモジュールは MDS 9216 タイプのスイッチだけにあります。
<b>module</b> <i>module-number sprom-index</i>	指定したスイッチング モジュールのベンダー ID、製品コンポーネント属性を表示します。モジュールには最大で 4 つのサブコンポーネントがあります。各サブコンポーネントにはそれに関連した SPROM があります。
<b>powersupply</b> <i>powersupply-index</i>	第 1 または第 2 電源装置の属性を表示します。これには、110 V および 220 V で使用した場合の電源装置の容量をそれぞれワット数で示した情報が含まれています。この情報は、パワー バジェット割り当てに使用されます。有効範囲は 1～2 です。
<b>sup</b>	現在のスーパーバイザ モジュールのベンダー ID、製品コンポーネント属性を表示します。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** 特定のモジュール、スーパーバイザ モジュール、スイッチ、電源モジュール、またはファン モジュールの個別情報を取得するには、**show sprom** コマンドを使用します。お客様がモジュール、スーパーバイザ モジュール、スイッチ、電源モジュール、またはファン モジュールでの問題を報告する必要があるものの管理ステーションにアクセスできない場合、**show sprom** からシリアル番号情報を取得できます。

例 次に、管理モジュール情報を表示する例を示します。このモジュールとコマンドは、Cisco MDS 9216 スイッチ専用です。

```
switch# show sprom mgmt-module
DISPLAY SAM sprom contents:
Common block:
  Block Signature :0xabab
  Block Version  :2
  Block Length   :156
  Block Checksum :0x1295
  EEPROM Size    :0
  Block Count    :2
  FRU Major Type :0x0
  FRU Minor Type :0x0
  OEM String     :Cisco Systems Inc
  Product Number :SAM SMITH
  Serial Number  :12345678901
  Part Number    :SAM-SMITH-06
  Part Revision  :A0
  Mfg Deviation  :
  H/W Version    :1.0
  Mfg Bits       :1
  Engineer Use   :0
  snmpOID        :0.0.0.0.0.0.0.0
  Power Consump  :-200
  RMA Code       :0-0-0-0
Linecard Module specific block:
  Block Signature :0x6003
  Block Version   :2
  Block Length    :103
  Block Checksum  :0x3c7
  Feature Bits    :0x0
  HW Changes Bits :0x0
  Card Index      :9009
  MAC Addresses   :00-12-34-56-78-90
  Number of MACs  :4
  Number of EOBC links :4
  Number of EPLD  :0
  Port Type-Num   :200-16
  SRAM size       :0
  Sensor #1       :0,0
  Sensor #2       :0,0
  Sensor #3       :0,0
  Sensor #4       :0,0
  Sensor #5       :0,0
  Sensor #6       :0,0
  Sensor #7       :0,0
  Sensor #8       :0,0
```

次に、スーパーバイザ モジュール情報を表示する例を示します。

```
switch# show sprom sup
DISPLAY supervisor sprom contents:
Common block:
  Block Signature : 0xabab
  Block Version  : 2
  Block Length   : 156
  Block Checksum : 0x10a8
  EEPROM Size    : 512
  Block Count    : 2
  FRU Major Type : 0x6002
  FRU Minor Type : 0x7d0
  OEM String     : Cisco Systems
  Product Number : DS-X9530-SF1-K9
  Serial Number  : abcdefgh
  Part Number    : 73-7523-06
  Part Revision  : 0.0
  Mfg Deviation  : 0.0
  H/W Version    : 0.0
  Mfg Bits       : 0
  Engineer Use   : 0
  snmpOID        : 9.5.1.3.1.1.2.2000
  Power Consump  : -524
  RMA Code       : 0-0-0-0
Supervisor Module specific block:
  Block Signature : 0x6002
  Block Version   : 2
  Block Length    : 103
  Block Checksum  : 0x927
  Feature Bits    : 0x0
  HW Changes Bits : 0x0
  Card Index      : 9003
  MAC Addresses   : 00-05-30-00-18-be
  Number of MACs  : 4
  Number of EPLD  : 1
  EPLD A          : 0x0
  Sensor #1       : 75,60
  Sensor #2       : 60,55
  Sensor #3       : -127,-127
  Sensor #4       : -127,-127
  Sensor #5       : -128,-128
  Sensor #6       : -128,-128
  Sensor #7       : -128,-128
  Sensor #8       : -128,-128
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
show hardware	スイッチの FRU のリストに関する要約情報を表示します。

---

# show ssh

Secure Shell (SSH; セキュア シェル) 情報を表示するには、**show ssh** コマンドを使用します。

```
show ssh {key [dsa | rsa | rsa1] | server}
```

シンタックスの説明	key	SSH 鍵を表示します。
	server	SSH サーバステータスを表示します。
	dsa	Digital Signature Algorithm (DSA) SSH 鍵を表示します。
	rsa	Rivest, Shamir, Adelman (RSA) SSH 鍵を表示します。
	rsa1	RSA1 SSH 鍵を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** 指定した鍵、または鍵が指定されていない場合にすべての鍵のホスト鍵ペアの詳細を表示するには、**show ssh key** コマンドを使用します。SSH プロトコルのステータス (イネーブルまたはディセーブル)、およびそのスイッチに対してイネーブルであるバージョンを表示するには、**show ssh server** コマンドを使用します。

**例** 次に、SSH サーバステータスを表示する例を示します。

```
switch# show ssh server
ssh is enabled
version 1 enabled
version 2 enabled
```

次に、ホスト鍵ペアの詳細を表示する例を示します。

```
switch# show ssh key
rsa1 Keys generated:Sun Jan 13 07:16:26 1980

1024 35

fingerprint:
1024 67:76:02:bd:3e:8d:f5:ad:59:5a:1e:c4:5e:44:03:07

could not retrieve rsa key information

dsa Keys generated:Sun Jan 13 07:40:08 1980

ssh-dss AAAAB3NzaC1kc3MAAABBAJTCRQOydNRel2v7uiO6Fix+OTn8eGdnnDVxw5eJs50cOEX0yjaW
cMMYsEgxc9ada1NElp8Wy7GPMWGOQYj9CU0AAAAVAMCcWhNN18zFNOIPo7cU3t7d0iEbAAAAQBdQ8UAO
i/Cti84qFb3kTqXlS9mEhdQUo0lHcH5bw5PKfj2Y/dLR437zCBKXetPj4p7mhQ6Fq5os8RZtJEyOsNsA
AABAA0oxZbPyWeR5NHATXiyXdPI7j9i8fgyn9FNipMkOF2Mn75Mi/lqQ4NIq0gQNvQ0x27uCeQlRts/Q
wI4q68/eaw==

fingerprint:
512 f7:cc:90:3d:f5:8a:a9:ca:48:76:9f:f8:6e:71:d4:ae
```

# show ssm provisioning

インストールされた Storage Services Module (SSM) の属性を表示するには、**show ssm provisioning** コマンドを使用します。

**show ssm provisioning**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**コマンドのデフォルト設定** なし

**コマンド モード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(2)	このコマンドが導入されました。
	2.1(1a)	表示に Provisioning Status カラムが追加されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、スイッチにインストールされた SSM の対応状況を表示する例を示します。

```
switch# show ssm provisioning
Module   Ports      Application      Provisioning Status
-----
         4         1-32            scsi-flow        success
```

表 22-10 に、**show ssm provisioning** コマンド出力に表示される重要フィールドの説明を示します。

**表 22-10 show ssm provisioning フィールドの説明**

フィールド	説明
Module	SSM がインストールされたスロット
Ports	SSM で利用できるポート
説明	SSM に設定された機能
Provisioning Status	SSM 属性のステータスの表示

関連コマンド	コマンド	説明
	ssm enable feature	SSM で SCSI フロー機能をイネーブルにします。

# show startup-config

スタートアップ コンフィギュレーション ファイルを表示するには、**show startup-config** コマンドを使用します。

**show startup-config [log]**

シンタックスの説明	<b>log</b>	最後に使用した ASCII スタートアップ コンフィギュレーションの実行ログを表示します。
デフォルト	なし	
コマンド モード	EXEC モード	
コマンド履歴	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	なし	
例	次に、スタートアップ時のスイッチ コンフィギュレーションを表示する例を示します。	

```
switch# show startup-config
vsan database
vsan 2
vsan 3
vsan 4
vsan 5
vsan 31
vsan 32 suspend
vsan 100
vsan 300

interface port-channel 1
switchport mode E
switchport trunk mode off

interface port-channel 2
fspf cost 100 vsan 2
switchport mode E
no switchport trunk allowed vsan all
switchport trunk allowed vsan add 1-99
switchport trunk allowed vsan add 101-4093

interface port-channel 3
switchport mode E
switchport trunk mode off

interface port-channel 4
switchport mode E
no switchport trunk allowed vsan all
switchport trunk allowed vsan add 1-99
switchport trunk allowed vsan add 101-4093

interface port-channel 5
switchport mode E
no switchport trunk allowed vsan all
switchport trunk allowed vsan add 1-10interface port-channel 5
```

```

switchport mode E
no switchport trunk allowed vsan all
switchport trunk allowed vsan add 1-10

interface port-channel 8
switchport mode E

interface vsan1

no shutdown

snmp-server community public rw
snmp-server user admin network-admin auth md5 0xe84b06201ae3bfb726a2eab9f485eb57
  localizedkey
snmp-server host 171.69.126.34 traps version 2c public udp-port 2162
snmp-server host 171.69.75.106 traps version 2c public udp-port 2162
vsan database
vsan 3 interface fc2/9
vsan 3 interface fc2/14
vsan 5 interface fc9/11
vsan 2 interface fc9/12
vsan 3 interface port-channel 3
vsan 3 interface port-channel 4
vsan 100 interface port-channel 8

boot system bootflash:/isan-8b-u sup-1
boot kickstart bootflash:/boot-3b sup-1
boot system bootflash:/isan-8b-u sup-2
boot kickstart bootflash:/boot-3b sup-2

ip default-gateway 172.22.90.1
power redundancy-mode combined force

username admin password 5 HyLyYqb4.q74Y role network-admin
zone name Z1 vsan 1
  member pwn 10:00:00:00:77:99:60:2c
  member pwn 21:00:00:20:37:a6:be:14

zone default-zone permit vsan 1
zoneset distribute full vsan 51-58

zoneset name ZS1 vsan 1
  member Z1

zoneset activate name ZS1 vsan 1

interface fc2/1
switchport mode E
switchport trunk mode off
no shutdown

interface fc2/2

interface fc2/3
channel-group 1 force
no shutdown

interface fc2/6
channel-group 2 force
no shutdown

interface fc2/7
switchport mode E
no shutdown
no switchport trunk allowed vsan all
switchport trunk allowed vsan add 1-25

interface fc2/9
switchport mode E

```

```
switchport trunk mode off
no shutdown

interface fc2/10
channel-group 3 force
no shutdown

interface fc2/12
channel-group 4 force
no shutdown

interface fc2/14
switchport mode E
no shutdown
no switchport trunk allowed vsan all
switchport trunk allowed vsan add 1-99
switchport trunk allowed vsan add 101-4093

interface fc2/15
channel-group 6 force
no shutdown

interface fc2/16
channel-group 6 force
no shutdown
.
.
.
interface fc9/10
switchport mode F
no shutdown

interface fc9/11
switchport trunk mode off
no shutdown

interface fc9/12
switchport mode E
switchport speed 1000
switchport trunk mode off
no shutdown

interface fc9/15
no shutdown
no switchport trunk allowed vsan all
switchport trunk allowed vsan add 1-99
switchport trunk allowed vsan add 101-4093

interface fc9/16
switchport mode FL
no shutdown

interface mgmt0
ip address 172.22.90.38 255.255.255.0
no shutdown
```

# show switchname

スイッチのネットワーク名を表示するには、**show switchname** コマンドを使用します。

**show switchname [serialnum]**

<b>シンタックスの説明</b>	<b>serialnum</b>	スイッチのシリアル番号を表示します。
------------------	------------------	--------------------

<b>デフォルト</b>	なし
--------------	----

<b>コマンドモード</b>	EXEC モード
----------------	----------

<b>コマンド履歴</b>	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

<b>使用上のガイドライン</b>	なし
-------------------	----

<b>例</b>	次に、スイッチ名を表示する例を示します。
----------	----------------------

```
switch# show switchname
switch-123
```

次に、スイッチ名およびシリアル番号を表示する例を示します。

```
switch# show switchname
switch-123
Serial Number #1   : FOX0712S007
Serial Number #2   :
```

# show system

システム情報を表示するには、**show system** コマンドを使用します。

```
show system {cores | default {switchport | zone} | directory information | error-id {hex-id | list} |
exception-info | pss shrink status [details] | redundancy status | reset-reason [module slot] |
resources | standby manual-boot | uptime}
```

## シンタックスの説明

<b>cores</b>	コア転送オプションを表示します。
<b>default</b>	システムのデフォルト値を表示します。
<b>switchport</b>	スイッチポート属性のデフォルト値を表示します。
<b>zone</b>	ゾーンのデフォルト値を表示します。
<b>directory information</b>	システム マネージャのディレクトリ情報
<b>error-id</b>	エラーに関する記述を表示します。
<i>hex-id</i>	エラー ID を 16 進数形式で指定します。有効範囲は 0x0 ~ 0xffffffff です。
<b>list</b>	すべてのエラー ID を指定します。
<b>exception-info</b>	最後の例外ログ情報を表示します。
<b>pss shrink status</b>	最後の PSS 縮小ステータスを表示します。
<b>details</b>	最後の PSS 縮小ステータスに関する詳細情報を表示します。
<b>redundancy status</b>	冗長ステータス
<b>reset-reason</b>	最新の 4 つのリセット理由コードを表示します。
<i>module slot</i>	リセット理由コードを表示するためのモジュール番号を指定します。
<b>resources</b>	CPU およびメモリ統計情報を表示します。
<b>standby manual-boot</b>	スタンバイ マニュアル ブート オプションを表示します。
<b>uptime</b>	システムが起動し、稼働している期間を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。
3.0(1)	<b>zone</b> オプションが追加されました。
3.0(1)	<b>standby manual-boot</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

システムがすでにスイッチオーバー可能であることを確認するには、**show system redundancy status** コマンドを使用します。

## 例

次に、システム冗長ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show system redundancy status
Redundancy mode
-----
      administrative:  HA
      operational:    None

This supervisor (sup-2)
-----
      Redundancy state:  Active
      Supervisor state:  Active
      Internal state:    Active with no standby

Other supervisor (sup-1)
-----
      Redundancy state:  Not present
```

次に、**system default switchport mode f** コマンドが実行された後のポートステータスの例を示します。

```
switch# show system default switchport
System default port state is down
System default trunk mode is on
System default port mode is F
```

次に、指定した ID のエラー情報を表示する例を示します。

```
switch# show system error-id 0x401D0019
Error Facility: module
Error Description: Failed to stop Linecard Async Notification.
```

次に、システムヘルス情報を表示する例を示します。

```
switch# show system health
Current health information for module 2.
```

Test	Frequency	Status	Action
Bootflash	10 Sec	Enabled	Enabled
EOBC	5 Sec	Enabled	Enabled
Loopback	5 Sec	Enabled	Enabled
CF checksum	7 Sec	Enabled	Enabled
CF re-flash	30 Sec	Enabled	Enabled

```
Current health information for module 3.
```

Test	Frequency	Status	Action
Bootflash	10 Sec	Enabled	Enabled
EOBC	5 Sec	Enabled	Enabled
Loopback	5 Sec	Enabled	Enabled

```
Current health information for module 5.
```

Test	Frequency	Status	Action
InBand	5 Sec	Enabled	Enabled
Bootflash	10 Sec	Enabled	Enabled
EOBC	5 Sec	Enabled	Enabled
Management Port	5 Sec	Enabled	Enabled
CF checksum	7 Sec	Halted	Enabled
CF re-flash	30 Sec	Halted	Enabled

次に、システムリセット情報を表示する例を示します。

```
switch# show system reset reason
----- reset reason for module 6 -----
1) At 520267 usecs after Tue Aug  5 16:06:24 1980
   Reason: Reset Requested by CLI command reload
   Service:
   Version: 1.2(0.73a)
2) At 653268 usecs after Tue Aug  5 15:35:24 1980
   Reason: Reset Requested by CLI command reload
   Service:
   Version: 1.2(0.45c)
3) No time
   Reason: Unknown
   Service:
   Version: 1.2(0.45c)
4) At 415855 usecs after Sat Aug  2 22:42:43 1980
   Reason: Power down triggered due to major temperature alarm
   Service:
   Version: 1.2(0.45c)
```

次に、システム関連 CPU およびメモリ統計を表示する例を示します。

```
switch# show system resources
Load average:  1 minute: 0.43   5 minutes: 0.17   15 minutes: 0.11
Processes   :   100 total,  2 running
CPU states  :   0.0% user,   0.0% kernel,  100.0% idle
Memory usage: 1027628K total,   313424K used,   714204K free
              3620K buffers,   22278K cache
```

次に、システムのアップタイムを表示する例を示します。

```
switch# show system uptime
Start Time: Sun Oct 13 18:09:23 2030
Up Time:    0 days, 9 hours, 46 minutes, 26 seconds
```

現在設定されているコアのコピー用スキームを表示するには、**show system cores** コマンドを使用します。

```
switch# show system cores
Transfer of cores is enabled
```

ゾーンのデフォルト値を表示するには、**show system default zone** コマンドを使用します。

```
switch# show system default zone
system default zone default-zone permit
system default zone distribute active only
```

# show system default zone

設定されたデフォルトゾーン値を確認するには、**show system default zone** コマンドを使用します。

**show system default zone**

<b>シンタックスの説明</b>	このコマンドには、引数またはキーワードはありません。	
<b>デフォルト</b>	なし	
<b>コマンドモード</b>	EXEC モード	
<b>コマンド履歴</b>	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。
	3.2(1)	<b>basic default zoning mode</b> オプションが追加されました。
<b>使用上のガイドライン</b>	なし	
<b>例</b>	次に、デフォルト値として default-zone が deny、distribute が active only、zone mode が basic に設定されている例を示します。	
	<pre>switch# show system default zone system default zone default-zone deny system default zone distribute active only system default zone mode basic</pre>	
	次に、デフォルト値として default-zone を permit、distribute を full、zone mode を enhanced にそれぞれ設定されている例を示します。	
	<pre>switch# show system default zone system default zone default-zone permit system default zone distribute active full system default zone mode enhanced</pre>	
<b>関連コマンド</b>	<b>コマンド</b>	<b>説明</b>
	system default zone mode enhanced	zone mode のデフォルト値を enhanced に設定します。
	no system default zone mode enhanced	zone mode のデフォルト値を basic に設定します。
	system default zone distribute full	distribute のデフォルト値を full に設定します。
	system default zone distribute active only	distribute のデフォルト値を active only に設定します。
	system default zone default-zone permit	default-zone のデフォルト値を permit に設定します。
	no system default zone default-zone permit	default-zone のデフォルト値を deny に設定します。

# show system health

設定された Online System Health Management (OSHM) 情報を表示するには、**show system health** コマンドを使用します。

```
show system health [loopback frame-length | module slot | statistics loopback [interface fc slot/port |
module slot timelog | timelog]]
```



(注)

Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem および Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter では、構文は **interface fc slot/port** ではなく、次のようになります。

```
interface {bay port | ext port}
```

## シンタックスの説明

<b>loopback</b>	OHMS ループバック テスト統計情報を表示します。
<b>frame-length</b>	ループバック フレーム長を表示します。
<b>module slot</b>	モジュール情報を表示します。
<b>statistics</b>	OHMS 統計情報を表示します。
<b>interface</b>	必要インターフェイスを指定します。
<b>fc slot/port</b>	(任意) Cisco MDS 9000 ファミリ スイッチのファイバ チャンネル インターフェイスを指定します。
<b>bay port   ext port</b>	(任意) Cisco MDS 9124 ファブリック スイッチ、Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem、および Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter のファイバ チャンネル インターフェイスを指定します。
<b>iscsi slot/port</b>	指定したスロットおよびポートの iSCSI インターフェイスを指定します。
<b>timelog</b>	ループバック往復時間を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.3(4)	このコマンドが導入されました。
3.1(2)	<b>bay port   ext port</b> キーワードおよび引数が追加されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、スイッチのすべてのモジュールの現在のヘルスを表示する例を示します。

```
switch# show system health
```

```
Current health information for module 1.
```

Test	Frequency	Status	Action
Bootflash	10 Sec	Running	Enabled
EOBC	5 Sec	Running	Enabled
Loopback	5 Sec	Running	Enabled
CF checksum	7 Days	Halted	Enabled
CF re-flash	30 Days	Halted	Enabled

```
Current health information for module 2.
```

Test	Frequency	Status	Action
Bootflash	10 Sec	Running	Enabled
EOBC	5 Sec	Running	Enabled
Loopback	5 Sec	Running	Enabled

```
Current health information for module 5.
```

Test	Frequency	Status	Action
Bootflash	10 Sec	Running	Enabled
EOBC	5 Sec	Running	Enabled
Loopback	5 Sec	Running	Enabled

```
Current health information for module 6.
```

Test	Frequency	Status	Action
Bootflash	10 Sec	Running	Enabled
EOBC	5 Sec	Running	Enabled
Loopback	5 Sec	Running	Enabled
CF checksum	7 Days	Halted	Enabled
CF re-flash	30 Days	Halted	Enabled

```
Current health information for module 7.
```

Test	Frequency	Status	Action
InBand	5 Sec	Running	Enabled
Bootflash	10 Sec	Running	Enabled
EOBC	5 Sec	Running	Enabled
Management Port	5 Sec	Running	Enabled

```
Current health information for module 8.
```

Test	Frequency	Status	Action
InBand	5 Sec	Running	Enabled
Bootflash	10 Sec	Running	Enabled
EOBC	5 Sec	Running	Enabled

```
Current health information for module 10.
```

Test	Frequency	Status	Action
Bootflash	10 Sec	Running	Enabled

EOBC	5 Sec	Running	Enabled
Loopback	5 Sec	Running	Enabled

-----

Current health information for module 11.

Test	Frequency	Status	Action
-----	-----	-----	-----
Bootflash	10 Sec	Running	Enabled
EOBC	5 Sec	Running	Enabled
Loopback	5 Sec	Running	Enabled
CF checksum	7 Days	Halted	Enabled
CF re-flash	30 Days	Halted	Enabled

-----

Current health information for module 12.

Test	Frequency	Status	Action
-----	-----	-----	-----
Bootflash	10 Sec	Running	Enabled
EOBC	5 Sec	Running	Enabled
Loopback	5 Sec	Running	Enabled

-----

Current health information for module 13.

Test	Frequency	Status	Action
-----	-----	-----	-----
Bootflash	10 Sec	Running	Enabled
EOBC	5 Sec	Running	Enabled

-----

次に、すべてのモジュールのヘルス統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show system health statistics
```

```
Test statistics for module # 1
```

```
-----
Test Name          State          Freq(s)    Run    Pass    Fail  CFail  Errs
-----
Bootflash          Running        5s         12900  12900    0      0      0
EOBC               Running        5s         12900  12900    0      0      0
Loopback           Running        5s         12900  12900    0      0      0
-----
```

```
Test statistics for module # 3
```

```
-----
Test Name          State          Freq(s)    Run    Pass    Fail  CFail  Errs
-----
Bootflash          Running        5s         12890  12890    0      0      0
EOBC               Running        5s         12890  12890    0      0      0
Loopback           Running        5s         12892  12892    0      0      0
-----
```

```
Test statistics for module # 5
```

```
-----
Test Name          State          Freq(s)    Run    Pass    Fail  CFail  Errs
-----
InBand             Running        5s         12911  12911    0      0      0
Bootflash          Running        5s         12911  12911    0      0      0
EOBC               Running        5s         12911  12911    0      0      0
Management Port   Running        5s         12911  12911    0      0      0
-----
```

```
Test statistics for module # 6
```

```
-----
Test Name          State          Freq(s)    Run    Pass    Fail  CFail  Errs
-----
InBand             Running        5s         12907  12907    0      0      0
Bootflash          Running        5s         12907  12907    0      0      0
EOBC               Running        5s         12907  12907    0      0      0
-----
```

```
Test statistics for module # 8
```

```
-----
Test Name          State          Freq(s)    Run    Pass    Fail  CFail  Errs
-----
Bootflash          Running        5s         12895  12895    0      0      0
EOBC               Running        5s         12895  12895    0      0      0
Loopback           Running        5s         12896  12896    0      0      0
-----
```

次に、モジュールの統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show system health statistics module 3

Test statistics for module # 3
-----
Test Name          State          Freq(s)    Run    Pass    Fail  CFail  Errs
-----
Bootflash          Running        5s         12932  12932    0      0      0
EOBC               Running        5s         12932  12932    0      0      0
Loopback           Running        5s         12934  12934    0      0      0
-----
```

次に、スイッチ全体のループバック テスト統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show system health statistics loopback
-----
Mod Port Status          Run    Pass    Fail    CFail  Errs
-----
 1  16 Running          12953  12953    0        0      0
 3  32 Running          12945  12945    0        0      0
 8   8 Running          12949  12949    0        0      0
-----
```

次に、指定したインターフェイスのループバック テスト統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show system health statistics loopback interface fc 3/1
-----
Mod Port Status          Run    Pass    Fail    CFail  Errs
-----
 3   1 Running            0        0        0        0      0
-----
```

表 22-11 で、各モジュールのステータス値について説明します。

表 22-11 各モジュールのステータス値の表示

ステータス	説明
Running	OHMS テストが実行され、エラーは検知されていません。
Failing	OHMS テストが開始されましたが失敗したか、失敗処理中です。
Failed	OHMS テストは失敗しました。
Stopped	OHMS テストは停止しました。これは一時的な状態です (たとえば、アップグレードおよびダウングレード中など)。
Exited	OHMS テストの実行中に OHMS テストプロセスまたはスレッドが終了しました。
Not Configured	このモジュールでは、OHMS テストを実行しないように設定されています。
Int Failed	内部障害により OHMS テストは失敗しました。
Diag Failed	診断の実行時に OHMS テストは失敗しました。
Suspended	エラー状態の頻発により OHMS テストは中断されました。OHMS はハードウェアのステータスを確認するためのテストを完了できません。
Halted	このモジュールでは OHMS テストの実行を想定していないため、OHMS テストは停止されました (たとえば、テストが実行されている特定のハードウェアがモジュール上で見つからないなど)。
Enabled	OHMS はユーザによってディセーブルになっていますが、テストはディセーブルになっていません。
Disabled	OHMS テストはユーザによってディセーブルになっています。



(注) モジュール固有のループバック テストがエラーまたは障害を報告しない限り、インターフェイス固有のカウンタはゼロのままになります。

次に、すべてのモジュールのループバック テスト時間のログを表示する例を示します。

```
switch# show system health statistics loopback timelog
-----
Mod      Samples   Min(usecs)  Max(usecs)  Ave (usecs)
-----
1         1872      149         364         222
3         1862      415         743         549
8         1865      134         455         349
-----
```

次に、指定したモジュールのループバック テスト統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show system health statistics loopback module 8 timelog
-----
Mod      Samples   Min(usecs)  Max(usecs)  Ave (usecs)
-----
8         1867      134         455         349
-----
```

次に、Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem 上のインターフェイスのループバック テスト統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show system health statistics loopback interface bay1
-----
Mod Port Status          Run    Pass    Fail    CFail Errs
-----
1  16 Running          0      0      0      0      0
-----
```

次に、単一モジュールでの CRC チェックサム テストおよびフラッシュ アップデートの頻度とステータスを表示する例を示します。

```
switch# show system health module 5

Current health information for module 5.

Test                Frequency      Status      Action
-----
Bootflash           10 Sec        Running     Enabled
EOBC                 5 Sec         Running     Enabled
Loopback            5 Sec         Running     Enabled
CF checksum         7 Days        Running     Enabled
CF re-flash         30 Days       Running     Enabled
-----
```

次に、全モジュールの CRC チェックサム テストおよびフラッシュ アップデート統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show system health statistics
```

```
Test statistics for module 2
```

Test Name	State	Frequency	Run	Pass	Fail	CFail	Errs
Bootflash	Running	10s	1130	1130	0	0	0
EOBC	Running	5s	2268	2268	0	0	0
Loopback	Running	5s	2279	2279	0	0	0
CF checksum	Failed	20s	11	0	23	12	0
CF re-flash	Suspended	30s	12	0	0	0	12

```
Test statistics for module 3
```

Test Name	State	Frequency	Run	Pass	Fail	CFail	Errs
Bootflash	Running	10s	1295	1295	0	0	0
EOBC	Running	5s	2591	2591	0	0	0

```
Test statistics for module 4
```

Test Name	State	Frequency	Run	Pass	Fail	CFail	Errs
Bootflash	Running	10s	1299	1299	0	0	0
EOBC	Running	5s	2598	2598	0	0	0
Loopback	Running	5s	2598	2598	0	0	0
CF checksum	Running	7s	2275	2274	0	0	0
CF re-flash	Running	30s	434	434	0	0	0

```
Test statistics for module 5
```

Test Name	State	Frequency	Run	Pass	Fail	CFail	Errs
InBand	Running	5s	2615	2615	0	0	0
Bootflash	Running	10s	1307	1307	0	0	0
EOBC	Running	5s	2615	2615	0	0	0
Management Port	Running	5s	2615	2615	0	0	0
CF checksum	Running	7s	2289	2289	0	0	0
CF re-flash	Running	30s	437	436	0	0	0

## 関連コマンド

コマンド	説明
system health module	Online Health Management System (OHMS) 機能を設定を表示します。

# show tacacs+

Terminal Access Controller Access Control System Plus (TACACS+) Cisco Fabric Services (CFS) 配信ステータスおよびその他の詳細を表示するには、**show tacacs+** コマンドを使用します。

**show tacacs+ {distribution status | pending | pending-diff}**

シンタックスの説明	オプション	説明
	<b>distribution status</b>	TACACS+ CFS 配信のステータスを表示します。
	<b>pending</b>	まだ適用されていない未決定コンフィギュレーションを表示します。
	<b>pending-diff</b>	アクティブ コンフィギュレーションと未決定コンフィギュレーションの差異を表示します。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドを使用するには、**tacacs+ enable** コマンドを使用して TACACS+ をイネーブルにする必要があります。

**例** 次に、TACACS+ 配信ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show tacacs+ distribution status
session ongoing: no
session db: does not exist
merge protocol status: merge activation done

last operation: none
last operation status: none
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>tacacs+ enable</b>	TACACS+ をイネーブルにします。
	<b>tacacs+ distribute</b>	TACACS+ コンフィギュレーション配信を開始します。

# show tacacs-server

すべての設定された TACACS+ サーバ パラメータを表示するには、**show tacacs-server** コマンドを使用します。

```
show tacacs-server [server-name | ipv4-address | ipv6-address]
                  [directed-request | groups | sorted | statistics]
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<i>server-name</i>	TACACS+ サーバの Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム) 名を指定します。最大は 256 です。
	<i>ipv4-address</i>	フォーマット <i>A.B.C.D</i> で TACACS+ サーバの IP アドレスを指定します。
	<i>ipv6-address</i>	フォーマット <i>X::X::X</i> で TACACS+ サーバの IP アドレスを指定します。
	<b>directed-request</b>	イネーブルになっている指定要求 TACACS+ サーバ コンフィギュレーションを表示します。
	<b>groups</b>	設定した TACACS+ サーバ グループ情報を表示します。
	<b>sorted</b>	名前ですортされた TACACS+ サーバ情報を表示します。
	<b>statistics</b>	指定の TACACS+ サーバの TACACS+ 統計情報を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.3(1)	このコマンドが導入されました。
	3.0(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li><i>server-name</i>、<i>ipv4-address</i>、および <i>ipv6-address</i> 引数が追加されました。</li> <li><b>directed-request</b> および <b>statistics</b> オプションが追加されました。</li> </ul>

使用上のガイドライン なし

例 次に、設定された TACACS+ サーバ情報を表示する例を示します。

```
switch# show tacacs-server
Global TACACS+ shared secret:tacacsPword
timeout value:30
total number of servers:3

following TACACS+ servers are configured:
  171.71.58.91:
    available on port:2
  cisco.com:
    available on port:49
  171.71.22.95:
    available on port:49
    TACACS+ shared secret:MyKey
```

次に、設定された TACACS+ サーバ グループ情報を表示する例を示します。

```
switch# show tacacs-server groups
total number of groups:1

following TACACS+ server groups are configured:
  group TacServer:
    server 171.71.58.91 on port 2
```

# show tech-support

問題を報告するときにテクニカル サポートにとって有益な情報を表示するには、EXEC モードで **show tech-support** コマンドを使用します。

```
show tech-support [acl |
  bootvar |
  brief |
  cfs [name application-name] |
  details |
  device-alias
  fcdomain |
  fcip |
  ficon |
  fspf |
  fta |
  interface {fc slot/port | gigabitethernet slot/port} vsan vsan-id |
  ip |
  iscsi [detail] |
  islb [detail] |
  license |
  module module number |
  port |
  port-channel |
  prefpath |
  qos |
  snmp |
  sysmgr |
  vrrp |
  vsan vsan-id |
  zone vsan-id]
```



(注) Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem および Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter では、構文は **interface fc slot/port** ではなく、次のようになります。

```
interface {bay port | ext port}
```

## シンタックスの説明

<b>acl</b>	Access Control List (ACL; アクセス制御リスト) のトラブルシューティング情報を表示します。
<b>bootvar</b>	bootvar のトラブルシューティング情報を表示します。
<b>brief</b>	スイッチの現在の実行状態の概要を表示します。
<b>cfs</b>	Cisco Fabric Services (CFS) のトラブルシューティング情報を表示します。
<b>name application-name</b>	CFS 情報を使用するアプリケーションを指定します。1 最大 64 文字まで可能です。
<b>details</b>	各 <b>show</b> コマンドの詳細情報が表示されます。
<b>device-alias</b>	デバイス エイリアス情報を表示します。
<b>fcdomain</b>	FC ドメインのトラブルシューティング情報を表示します。
<b>fcip</b>	Fibre Channel over IP (FCIP) のトラブルシューティング情報を表示します。

<b>ficon</b>	Fibre Connection (FICON) のトラブルシューティング情報を表示します。
<b>fspf</b>	Fabric Shortest Path First (FSPF) のトラブルシューティング情報を表示します。
<b>fta</b>	FTA のトラブルシューティング情報を表示します。
<b>interface</b>	インターフェイスのトラブルシューティング情報を表示します。
<b>fc slot/port</b>	(任意) Cisco MDS 9000 ファミリ スイッチのファイバチャネルインターフェイスを指定します。
<b>bay port   ext port</b>	(任意) Cisco MDS 9124 ファブリック スイッチ、Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem、および Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter のファイバチャネルインターフェイスを指定します。
<b>gigabitethernet slot/port</b>	指定したスロットおよびポートのギガビットイーサネットインターフェイスを指定します。
<b>ip</b>	IP のトラブルシューティング情報を表示します。
<b>iscsi</b>	iSCSI のトラブルシューティング情報を表示します。
<b>islb</b>	iSCSI server load balancing (iSLB) のトラブルシューティング情報を表示します。
<b>license</b>	ライセンスのトラブルシューティング情報を表示します。
<b>logging</b>	ロギングのトラブルシューティング情報を表示します。
<b>module</b>	モジュールステータスのトラブルシューティング情報を表示します。
<b>port</b>	ポートマネージャのトラブルシューティング情報を表示します。
<b>port-channel</b>	ポートチャネルのトラブルシューティング情報を表示します。
<b>prefpath</b>	優先パスのトラブルシューティング情報を表示します。
<b>qos</b>	Quality of Service (QoS; サービス品質) のトラブルシューティング情報を表示します。
<b>snmp</b>	SNMP のトラブルシューティング情報を表示します。
<b>sysmgr</b>	システムマネージャのトラブルシューティング情報を表示します。
<b>vrrp</b>	Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP) のトラブルシューティング情報を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN (仮想 SAN) のトラブルシューティング情報を表示します。VSAN ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>zone vsan-id</b>	ゾーンサーバのトラブルシューティング情報を表示します。VSAN ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

## デフォルト

**show tech-support** コマンドのデフォルト出力には、以下の **show** コマンドの出力が含まれています。

- show version
- show environment
- show module
- show hardware
- show running-config
- show interface
- show accounting log
- show process
- show process log
- show processes log details
- show flash

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.3(4)	このコマンドが導入されました。
	3.0(1)	<b>fcdomain</b> 、 <b>port-channel</b> 、 <b>zone</b> オプションが追加されました。
	3.0(3)	<b>cfs</b> 、 <b>fcip</b> 、 <b>fspf</b> 、 <b>fta</b> 、 <b>ip</b> 、 <b>license</b> 、 <b>prefpath</b> 、 <b>vrrp</b> オプションが追加されました。
	3.1(1)	<b>device-alias</b> キーワードが追加されました。
	3.1(2)	<b>bay port</b>   <b>ext port</b> キーワードおよび引数が追加されました。

**使用上のガイドライン** トラブルシューティングを行う目的でスイッチに関する情報を大量に収集する際に、**show tech-support** コマンドは便利です。このコマンドの出力は、問題を報告する際にテクニカルサポート担当者に提供できます。

**show tech-support** コマンドは、複数の **show** コマンドの出力を同時に表示します。このコマンドからの出力は、設定によって変化します。問題を報告するときにスイッチに関する一般的な情報を表示するには、EXEC モードで **show tech-support** コマンドを使用します。

各コマンドの詳細情報を取得するのか、または特定のインターフェイス、モジュール、または VSAN の出力を指定することを選択できます。

## 例

次に、特定モジュールのテクニカル サポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show tech-support module 1

'terminal length 0'

'show module '
Mod  Ports  Module-Type                Model                Status
---  ---
1    16      1/2 Gbps FC/Supervisor    DS-X9216-K9-SUP    active *
2    32      1/2 Gbps FC Module        DS-X9032            ok

Mod  Sw          Hw          World-Wide-Name(s) (WWN)
---  ---
1    1.0(0.271)  0.0        20:01:00:05:30:00:21:9e to 20:10:00:05:30:00:21:9e
2    1.0(0.271)  0.0        20:41:00:05:30:00:21:9e to 20:60:00:05:30:00:21:9e

Mod  MAC-Address(es)                Serial-Num
---  ---
1    00-05-30-00-40-b6 to 00-05-30-00-40-ba
2    00-05-30-00-11-22 to 00-05-30-00-11-26

* this terminal session

'show environment '
Clock:
-----
Clock          Model                Hw          Status
-----
A              Clock Module        --          ok/active
B              Clock Module        --          ok/standby

Fan:
-----
Fan            Model                Hw          Status
-----
Chassis        DS-2SLOT-FAN        0.0        ok
PS-1           --                  --          ok
PS-2           --                  --          absent

Temperature:
-----
Module  Sensor  MajorThresh  MinorThres  CurTemp  Status
        (Celsius)  (Celsius)  (Celsius)
-----
1       1       75           60          30       ok
1       2       65           50          28       ok
1       3       -127        -127        40       ok
1       4       -127        -127        36       ok

2       1       75           60          32       ok
2       2       65           50          26       ok
2       3       -127        -127        41       ok
2       4       -127        -127        31       ok
```

**show tech-support brief** コマンドでは、スイッチの現在の実行状態の概要が表示されます。

```
switch# show tech-support brief
Switch Name       : vegas01
Switch Type       : DS-X9216-K9-SUP
Kickstart Image   : 1.3(2a) bootflash:///m9200-ek9-kickstart-mz.1.3.1.10.bin
System Image      : 1.3(2a) bootflash:///m9200-ek9-mz.1.3.1.10.bin
IP Address/Mask   : 10.76.100.164/24
Switch WWN        : 20:00:00:05:30:00:84:9e
No of VSANs      : 9
Configured VSANs : 1-6,4091-4093

VSAN 1:  name:VSAN0001, state:active, interop mode:default
         domain id:0x6d(109), WWN:20:01:00:05:30:00:84:9f [Principal]
         active-zone:VR, default-zone:deny

VSAN 2:  name:VSAN0002, state:active, interop mode:default
         domain id:0x7d(125), WWN:20:02:00:05:30:00:84:9f [Principal]
         active-zone:<NONE>, default-zone:deny

VSAN 3:  name:VSAN0003, state:active, interop mode:default
         domain id:0xbe(190), WWN:20:03:00:05:30:00:84:9f [Principal]
         active-zone:<NONE>, default-zone:deny

VSAN 4:  name:VSAN0004, state:active, interop mode:default
         domain id:0x5a(90), WWN:20:04:00:05:30:00:84:9f [Principal]
         active-zone:<NONE>, default-zone:deny

VSAN 5:  name:VSAN0005, state:active, interop mode:default
         domain id:0x13(19), WWN:20:05:00:05:30:00:84:9f [Principal]
         active-zone:<NONE>, default-zone:deny

VSAN 6:  name:VSAN0006, state:active, interop mode:default
         domain id:0x1f(31), WWN:20:06:00:05:30:00:84:9f [Principal]
         active-zone:<NONE>, default-zone:deny

VSAN 4091: name:VSAN4091, state:active, interop mode:default
          domain id:0x08(8), WWN:2f:fb:00:05:30:00:84:9f [Principal]
          active-zone:<NONE>, default-zone:deny

VSAN 4092: name:VSAN4092, state:active, interop mode:default
          domain id:0x78(120), WWN:2f:fc:00:05:30:00:84:9f [Principal]
          active-zone:<NONE>, default-zone:deny

VSAN 4093: name:VSAN4093, state:active, interop mode:default
          domain id:0x77(119), WWN:2f:fd:00:05:30:00:84:9f [Principal]
          active-zone:<NONE>, default-zone:deny
```

```
-----
Interface  Vsan   Admin  Admin  Status      FCOT  Oper  Oper  Port
          Mode   Mode   Trunk                Mode  Speed Channel
          Mode                                     (Gbps)
-----
fc1/1      1       auto   on     fcotAbsent   --    --    --
fc1/2      1       auto   on     fcotAbsent   --    --    --
fc1/3      1       auto   on     fcotAbsent   --    --    --
fc1/4      1       auto   on     fcotAbsent   --    --    --
fc1/5      1       auto   on     notConnected swl   --    --
fc1/6      1       auto   on     fcotAbsent   --    --    --
fc1/7      1       auto   on     fcotAbsent   --    --    --
fc1/8      1       auto   on     fcotAbsent   --    --    --
fc1/9      1       auto   on     fcotAbsent   --    --    --
fc1/10     1       auto   on     fcotAbsent   --    --    --
fc1/11     1       auto   on     fcotAbsent   --    --    --
fc1/12     1       auto   on     fcotAbsent   --    --    --
fc1/13     1       auto   on     fcotAbsent   --    --    --
fc1/14     1       auto   on     fcotAbsent   --    --    --
fc1/15     1       auto   on     fcotAbsent   --    --    --
```

```

fc1/16      1      auto  on      fcotAbsent  --      --      --
-----
Interface          Status          Speed
                   (Gbps)
-----
sup-fc0            up              1
-----
Interface          Status          IP Address          Speed          MTU
-----
mgmt0              up              10.76.100.164/24   100 Mbps      1500

Power Supply:
-----
PS  Model          Power          Power          Status
    (Watts)        (Amp @42V)
-----
1   WS-CAC-950W     919.38         21.89          ok
2   --              --              --              absent

Mod Model          Power          Power          Power          Power          Status
    Requested      Requested      Allocated      Allocated
    (Watts)        (Amp @42V)    (Watts)        (Amp @42V)
-----
1   DS-X9216-K9-SUP 220.08         5.24           220.08         5.24           powered-up
2   DS-X9032         199.92         4.76           199.92         4.76           powered-up

Power Usage Summary:
-----
Power Supply redundancy mode:          redundant

Total Power Capacity                   919.38  W

Power reserved for Supervisor(s) [-]   220.08  W
Power reserved for Fan Module(s) [-]   47.88   W
Power currently used by Modules [-]    199.92  W

-----
Total Power Available                   451.50

```

次に、VSAN 1 のゾーン サーバ情報を表示する例を示します。

```

switch# show tech-support zone vsan 1
`show zone status vsan 1`
VSAN: 1 default-zone: permit distribute: active only Interop: default
      mode: basic merge-control: allow session: none
      hard-zoning: enabled
Default zone:
      qos: disabled broadcast: disabled ronly: disabled
Full Zoning Database :
      Zonesets:0 Zones:0 Aliases: 0
Active Zoning Database :
      Name: vhost-zone Zonesets:1 Zones:9
Status: Activation failed [Error: Unknown error Dom 21]:
      at 23:36:44 UTC Dec 19 2005

```

次に、**show tech-support device-alias** コマンドからの出力例の一部を示します。

```
switch# show tech-support device-alias
`show device-alias database`
device-alias name dev2 pwnn 10:00:00:00:c9:2e:31:37
device-alias name sdv1 pwnn 50:00:53:00:00:85:c0:01
device-alias name svc1 pwnn 20:0f:00:05:30:00:eb:48
device-alias name sdv-1 pwnn 50:00:53:00:00:e9:7f:a1
device-alias name sdv-2 pwnn 50:00:53:00:01:4e:af:a1
device-alias name sdv-3 pwnn 50:00:53:00:01:da:2f:a1
device-alias name sdv-4 pwnn 50:00:53:00:01:cb:af:a1
device-alias name qloGics pwnn 21:00:00:e0:8b:06:61:d4
device-alias name sdv-501 pwnn 50:00:53:00:00:85:c1:f5
device-alias name sym-hba1 pwnn 50:06:04:82:ca:e1:26:83
device-alias name fred-hba1 pwnn 22:00:00:20:37:d2:03:ed
device-alias name fred-hba2 pwnn 22:00:00:20:37:d2:10:f9
device-alias name sdv1-4001 pwnn 50:00:53:00:01:0f:0f:a1
device-alias name sdv2-4001 pwnn 50:00:53:00:00:66:4f:a1
device-alias name HDS33074-C pwnn 50:06:0e:80:03:81:32:06
device-alias name clarion2345 pwnn 50:06:01:61:10:60:14:f5
device-alias name iscsi-alias pwnn 27:09:00:08:00:ad:00:03
device-alias name seaGate0306 pwnn 22:00:00:20:37:d2:03:d6

Total number of entries = 18
```

# show tech-support sme

Cisco SME テクニカル サポートを表示するには、**show tech-support sme** コマンドを使用します。

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.3(1a)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、SME テクニカル サポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show tech-support sme
'show startup-config'
version 3.3(1a)
fcdomain fcid database
  vsan 1 wwn 24:74:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef0000 dynamic
  vsan 1 wwn 24:75:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef0001 dynamic
  vsan 1 wwn 24:76:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef0002 dynamic
  vsan 1 wwn 24:77:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef0003 dynamic
  vsan 1 wwn 24:78:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef0004 dynamic
  vsan 1 wwn 24:79:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef0005 dynamic
  vsan 1 wwn 24:7a:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef0006 dynamic
  vsan 1 wwn 24:7b:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef0007 dynamic
  vsan 1 wwn 24:7c:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef0008 dynamic
  vsan 1 wwn 24:7d:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef0009 dynamic
  vsan 1 wwn 24:40:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef000a dynamic
  vsan 1 wwn 24:41:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef000b dynamic
  vsan 1 wwn 24:7e:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef000c dynamic
  vsan 1 wwn 24:7f:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef000d dynamic
  vsan 1 wwn 24:80:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef000e dynamic
  vsan 1 wwn 24:81:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef000f dynamic
  vsan 1 wwn 24:92:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef0010 dynamic
  vsan 1 wwn 24:93:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef0011 dynamic
  vsan 1 wwn 24:94:00:05:30:00:07:23 fcid 0xef0012 dynamic
```

# show telnet server

Telnet アクセス コンフィギュレーションの状態を表示するには、**show telnet server** コマンドを使用します。

**show telnet server**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、Telnet サーバのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show telnet server
telnet service enabled
```

# show terminal

端末情報を表示するには、**show terminal** コマンドを使用します。

**show terminal**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、端末情報を表示する例を示します。

```
switch# show terminal
TTY: Type: 砺 t100i
Length: 25 lines, Width: 80 columns
Session Timeout: 30 minutes
```

# show tlport

設定された Translative Loop (TL) ポート情報を表示するには、**show tlport** コマンドを使用します。

```
show tlport {alpa-cache | discapp fcid fcid-id [vsan vsan-id] [verbose] | interface fc slot/port {all | private | proxied | topology | unsupported} | list [vsan vsan-id]}
```

## シンタックスの説明

<b>alpa-cache</b>	Arbitrated Loop Physical Address (ALPA) キャッシュの内容を表示します。
<b>discapp</b>	プライベート N ポート パラメータを表示します。
<b>fcid</b> <i>fcid-id</i>	N ポートの Fibre Channel ID (FCID) を指定します。
<b>verbose</b>	verbose モードを指定します。
<b>vsan</b> <i>vsan-id</i>	N ポート VSAN (仮想 SAN) ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>interface</b>	選択したインターフェイスの TL ポートを表示します。
<b>fc slot/port</b>	指定したスロットおよびポートのファイバ チャネル インターフェイスを指定します。
<b>all</b>	この TL ポートにあるすべてのプロキシおよびプライベート デバイスを表示します。
<b>private</b>	この TL ポートにあるすべてのプライベート デバイスを表示します。
<b>proxied</b>	この TL ポートにあるすべてのプロキシ デバイスを表示します。
<b>topology</b>	この TL ポートのループ トポロジを表示します。
<b>unsupported</b>	この TL ポートにあるすべての未サポート デバイスを表示します。
<b>list</b>	すべての VSAN の TL ポートを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show tlport** コマンドは、TL ポート インターフェイス コンフィギュレーションを表示します。このコマンドは、ボックス内に設定されているすべての TL ポートのリストを提供し、関連 VSAN (仮想 SAN)、ポートの FDIC (ドメインとエリアのみ有効)、および TL ポートの現在の動作ステート (動作中または初期化中) を表示します。

## 例

次に、すべての VSAN の TL ポートを表示する例を示します。

```
switch# show tlport list
-----
Interface Vsan FC-ID      State
-----
fc1/16    1      0x420000 Init
fc2/26    1      0x150000 Up
```

次に、特定の TL ポートの詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show tlport interface fc1/16 all
fc1/16 is up, vsan 1, FCID 0x420000
-----
alpa pWWN                                nWWN                                SCSI Type Device  FC-ID
-----
0x01 20:10:00:05:30:00:4a:de 20:00:00:05:30:00:4a:de Initiator Proxied 0xffffc42
0x73 22:00:00:20:37:39:ae:54 20:00:00:20:37:39:ae:54 Target Private 0x420073
0xef 20:10:00:05:30:00:4a:de 20:00:00:05:30:00:4a:de Initiator Switch 0x0000ef
```

次に、プライベートデバイスの TL ポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show tlport int fc1/16 pri
fc1/16 is up, vsan 1, FCID 0x420000
-----
alpa pWWN                                nWWN                                SCSI Type FC-ID
-----
0x73 22:00:00:20:37:39:ae:54 20:00:00:20:37:39:ae:54 Target 0x420073
0x74 22:00:00:20:37:38:d3:de 20:00:00:20:37:38:d3:de Target 0x420074
```

次に、プロキシデバイスの TL ポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show tlport int fc1/16 prox
fc1/16 is up, vsan 1, FCID 0x420000
-----
alpa pWWN                                nWWN                                SCSI Type FC-ID
-----
0x01 20:10:00:05:30:00:4a:de 20:00:00:05:30:00:4a:de Initiator 0xffffc42
0x02 21:00:00:e0:8b:01:95:e7 20:00:00:e0:8b:01:95:e7 Initiator 0x420100
```

次に、ALPA キャッシュの内容を表示する例を示します。

```
switch# show tlport alpa-cache
-----
alpa                pWWN                Interface
-----
0x02 22:00:00:20:37:46:09:bd fc1/2
0x04 23:00:00:20:37:46:09:bd fc1/2
```

# show topology

接続されたスイッチのトポロジ情報を表示するには、**show topology** コマンドを使用します。

**show topology [vsan vsan-id]**

シンタックスの説明	<b>vsan vsan-id</b>	VSAN（仮想 SAN）の情報を表示します。有効範囲は1～4093です。
デフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC モード	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	なし	

**例** 次に、トポロジ情報を表示する例を示します。

```
switch# show topology
```

```
FC Topology for VSAN 1 :
```

Interface	Peer Domain	Peer Interface	Peer IP Address
fc1/1	0xef (239)	fc2/15	172.22.46.220
fc1/5	0xe6 (230)	fc1/5	172.22.46.222
fc1/6	0xe6 (230)	fc1/6	172.22.46.222
fc1/7	0xe6 (230)	fc1/7	172.22.46.222
fc1/8	0xe3 (227)	fc1/1	172.22.46.233
fc1/10	0xe6 (230)	fc1/10	172.22.46.222
fc1/11	0xe6 (230)	fc1/11	172.22.46.222
fc1/12	0xe6 (230)	fc1/12	172.22.46.222
fc1/13	0xe6 (230)	fc1/13	172.22.46.222
fc1/14	0xe6 (230)	fc1/14	172.22.46.222
fc1/15	0xe6 (230)	fc1/15	172.22.46.222
fc1/16	0xe6 (230)	fc1/16	172.22.46.222
fcip2	0xef (239)	fcip2	172.22.46.220

```
FC Topology for VSAN 73 :
```

Interface	Peer Domain	Peer Interface	Peer IP Address
fc1/1	0x65 (101)	fc2/15	172.22.46.220
fcip2	0x65 (101)	fcip2	172.22.46.220

FC Topology for VSAN 4001 :

Interface	Peer Domain	Peer Interface	Peer IP Address
fc1/1	0xef (239)	fc2/15	172.22.46.220
fc1/5	0xeb (235)	fc1/5	172.22.46.222
fc1/6	0xeb (235)	fc1/6	172.22.46.222
fc1/7	0xeb (235)	fc1/7	172.22.46.222
fc1/8	0xed (237)	fc1/1	172.22.46.233
fc1/10	0xeb (235)	fc1/10	172.22.46.222
fc1/11	0xeb (235)	fc1/11	172.22.46.222
fc1/12	0xeb (235)	fc1/12	172.22.46.222
fc1/13	0xeb (235)	fc1/13	172.22.46.222
fc1/14	0xeb (235)	fc1/14	172.22.46.222
fc1/15	0xeb (235)	fc1/15	172.22.46.222
fc1/16	0xeb (235)	fc1/16	172.22.46.222
fcip2	0xef (239)	fcip2	172.22.46.220

FC Topology for VSAN 4002 :

Interface	Peer Domain	Peer Interface	Peer IP Address
fc1/1	0xeb (235)	fc2/15	172.22.46.220
fc1/5	0xe9 (233)	fc1/5	172.22.46.222
fc1/6	0xe9 (233)	fc1/6	172.22.46.222
fc1/7	0xe9 (233)	fc1/7	172.22.46.222
fc1/8	0x1c (28)	fc1/1	172.22.46.233
fc1/10	0xe9 (233)	fc1/10	172.22.46.222
fc1/11	0xe9 (233)	fc1/11	172.22.46.222
fc1/12	0xe9 (233)	fc1/12	172.22.46.222
fc1/13	0xe9 (233)	fc1/13	172.22.46.222
fc1/14	0xe9 (233)	fc1/14	172.22.46.222
fc1/15	0xe9 (233)	fc1/15	172.22.46.222
fc1/16	0xe9 (233)	fc1/16	172.22.46.222
fcip2	0xeb (235)	fcip2	172.22.46.220

FC Topology for VSAN 4003 :

Interface	Peer Domain	Peer Interface	Peer IP Address
fc1/1	0xdd (221)	fc2/15	172.22.46.220
fc1/5	0xdb (219)	fc1/5	172.22.46.222
fc1/6	0xdb (219)	fc1/6	172.22.46.222
fc1/7	0xdb (219)	fc1/7	172.22.46.222
fc1/8	0x60 (96)	fc1/1	172.22.46.233
fc1/10	0xdb (219)	fc1/10	172.22.46.222
fc1/11	0xdb (219)	fc1/11	172.22.46.222
fc1/12	0xdb (219)	fc1/12	172.22.46.222
fc1/13	0xdb (219)	fc1/13	172.22.46.222
fc1/14	0xdb (219)	fc1/14	172.22.46.222
fc1/15	0xdb (219)	fc1/15	172.22.46.222
fc1/16	0xdb (219)	fc1/16	172.22.46.222
fcip2	0xdd (221)	fcip2	172.22.46.220

FC Topology for VSAN 4004 :

Interface	Peer Domain	Peer Interface	Peer IP Address
fc1/9	0x01 (1)	Port 1	172.22.46.226

# show trunk protocol

トランク プロトコル ステータスを表示するには、**show trunk protocol** コマンドを使用します。

**show trunk protocol**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、トランク プロトコル ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show trunk protocol
Trunk protocol is enabled
```

# show user-account

ユーザ アカウントに関して設定された情報を表示するには、**show user-account** コマンドを使用します。

```
show user-account [user-name | iscsi]
```

## シンタックスの説明

<i>user-name</i>	ユーザ名を指定します。
<b>iscsi</b>	iSCSI ユーザ アカウント情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、指定されたユーザの情報を表示する例を示します。

```
switch# show user-account user1
user:user1
    this user account has no expiry date
    roles:network-operator
no password set. Local login not allowed
Remote login through RADIUS is possible
```

次に、すべてのユーザの情報を表示する例を示します。

```
switch# show user-account
show user-account
user:admin
    this user account has no expiry date
    roles:network-admin

user:usam
    expires on Sat May 31 00:00:00 2003
    roles:network-admin network-operator

user:msam
    this user account has no expiry date
    roles:network-operator

user:user1
    this user account has no expiry date
    roles:network-operator
no password set. local login not allowed
Remote login through RADIUS is possible
```

# show users

現在スイッチにアクセスしているすべてのユーザを表示するには、**show users** コマンドを使用します。

**show users**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、すべてのユーザを表示する例を示します。

```
switch# show users
admin pts/7 Jan 12 20:56 (10.77.202.149)
admin pts/9 Jan 12 23:29 (modena.cisco.com)
admin pts/10 Jan 13 03:05 (dhcp-171-71-58-120.cisco.com)
admin pts/11 Jan 13 01:53 (dhcp-171-71-49-49.cisco.com)
```

# show version

現在スイッチで動作しているシステム ソフトウェアのバージョンを表示するには、**show version** コマンドを使用します。

```
show version [clock-module epld | epld url | image {bootflash: | slot0: | volatile:} image-filename |
             module slot [epld]]
```

## シンタックスの説明

<b>clock-module</b>	クロック モジュールにあるすべての Electrically Programmable Logical Device (EPLD) の現在のバージョンを表示します。
<b>epld</b>	指定したモジュールにあるすべての EPLD の現在のバージョンを表示します。
<b>epld url</b>	指定した URL (bootflash:、ftp:、sep:、sftp:、slot0:、tftp:、volatile:) で使用可能なすべての EPLD バージョンを表示します。
<b>image</b>	指定したイメージのソフトウェア バージョンを表示します。
<b>bootflash:</b>	内部ブートフラッシュ メモリを指定します。
<b>slot0:</b>	コンパクトフラッシュ メモリまたは PCMCIA カードを指定します。
<b>volatile:</b>	揮発性ディレクトリを指定します。
<b>image-filename</b>	システムまたはキックスタート イメージの名前を指定します。
<b>module slot</b>	指定したスロットのモジュールのソフトウェア バージョンを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。
1.0(3)	コマンドが変更されました。
3.0(1)	<b>clock-module</b> オプションが追加されました。

## 使用上のガイドライン

イメージをロードする前にイメージの完全性を確認するには、**show version image** コマンドを使用します。このコマンドは、システムおよびキックスタート イメージの両方で使用可能です。

アップグレードの前後にアクティブおよびスタンバイ スーパーバイザ モジュールのバージョンを確認するには、**show version** コマンドを使用します。

**例** 次に、システム、キックスタート、および障害のあるイメージのバージョンを表示する例を示します。

```
switch(boot)# show version image bootflash:system_image <-----system image
  image name: m9500-sflek9-mz.1.0.3.bin
  system:      version 1.0(3)
  compiled:    10/25/2010 12:00:00

switch(boot)# show version image bootflash:kickstart_image <-----kickstart image
  image name: m9500-sflek9-kickstart-mz.1.0.3.upg.bin
  kickstart:   version 1.0(3)
  loader:      version 1.0(3)
  compiled:    10/25/2010 12:00:00

switch# show version image bootflash:bad_image <-----failure case
Md5 Verification Failed
Image integrity check failed
```

次に、指定したモジュールの現在の EPLD バージョンを表示する例を示します。

```
switch# show version module 2 epld
Module Number          2
EPLD Device            Version
-----
Power Manager          0x06
XBUS IO                0x07
UD chip Fix            0x05
Sahara                 0x05
```

次に、使用可能な EPLD バージョンを表示する例を示します。

```
switch# show version epld bootflash:m9000-epld-2.0.1b.img
MDS series EPLD image, built on Mon Sep 20 16:39:36 2004
Module Type                               EPLD Device                               Version
-----
MDS 9500 Supervisor 1                     XBUS 1 IO                                 0x09
                                           XBUS 2 IO                                 0x0c
                                           UD Flow Control                           0x05
                                           PCI ASIC I/F                               0x04
1/2 Gbps FC Module (16 Port)               XBUS IO                                    0x07
                                           UD Flow Control                           0x05
                                           PCI ASIC I/F                               0x05
1/2 Gbps FC Module (32 Port)               XBUS IO                                    0x07
                                           UD Flow Control                           0x05
                                           PCI ASIC I/F                               0x05
Advanced Services Module                   XBUS IO                                    0x07
                                           UD Flow Control                           0x05
                                           PCI ASIC I/F                               0x05
                                           PCI Bridge                                 0x05
IP Storage Services Module (8 Port)        Power Manager                              0x07
                                           XBUS IO                                    0x03
                                           UD Flow Control                           0x05
                                           PCI ASIC I/F                               0x05
                                           Service Module I/F                         0x0a
                                           IPS DB I/F                                 0x1a
IP Storage Services Module (4 Port)        Power Manager                              0x07
                                           XBUS IO                                    0x03
                                           UD Flow Control                           0x05
                                           PCI ASIC I/F                               0x05
                                           Service Module I/F                         0x1a
Caching Services Module Power              Manager                                    0x08
                                           XBUS IO                                    0x03
                                           UD Flow Control                           0x05
                                           PCI ASIC I/F                               0x05
                                           Service Module I/F                         0x72
                                           Memory Decoder 0                           0x02
                                           Memory Decoder 1                           0x02
MDS 9100 Series Fabric Switch              XBUS IO                                    0x03
                                           PCI ASIC I/F                               0x40000003
2x1GE IPS, 14x1/2Gbps FC Module           Power Manager                              0x07
                                           XBUS IO                                    0x05
                                           UD Flow Control                           0x05
                                           PCI ASIC I/F                               0x07
                                           IPS DB I/F                                 0x1a
```

次に、show version コマンドの出力全体を表示する例を示します。

```
switch# show version
Cisco Storage Area Networking Operating System (SAN-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2006, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained herein are owned by
other third parties and are used and distributed under license.
Some parts of this software may be covered under the GNU Public
License or the GNU Lesser General Public License. A copy of
each such license is available at
http://www.gnu.org/licenses/gpl.html and
http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html

Software
  BIOS:          version 1.1.0
  loader:        version 1.2(2)
  kickstart:     version 3.0(3) [gdb]
  system:        version 3.0(3) [gdb]

  BIOS compile time:      10/24/03
  kickstart image file is: bootflash:///boot-3.0.3
  kickstart compile time: 9/15/2006 10:00:00 [10/02/2006 06:26:25]
  system image file is:   bootflash:///isan-3.0.3
  system compile time:    9/15/2006 10:00:00 [10/02/2006 06:45:25]

Hardware
  cisco MDS 9509 ("Supervisor/Fabric-1")
  Intel(R) Pentium(R) III CPU with 1028604 kB of memory.

  bootflash: 251904 kB
  slot0:     251904 kB

172.22.31.238 kernel uptime is 0 days 0 hour 2 minute(s) 2 second(s)

Last reset at 744021 usecs after Tue Oct 21 14:55:11 1980
Reason: Reset Requested by CLI command reload
System version: 4.0(0.432)
Service:
```

次に、ローダバージョンのアップデート前後でのバージョン比較を表示する例を示します。

```
switch# show version
Cisco Storage Area Networking Operating System (SAN-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2006, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained herein are owned by
other third parties and are used and distributed under license.
Some parts of this software may be covered under the GNU Public
License or the GNU Lesser General Public License. A copy of
each such license is available at
http://www.gnu.org/licenses/gpl.html and
http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html

Software
  BIOS:      version 1.1.0
  loader:    version 1.2(1) <-----existing version
  kickstart: version 3.0(3) [gdb]
  system:    version 3.0(3) [gdb]

  BIOS compile time:      10/24/03
  kickstart image file is: bootflash://boot-3.0.3
  kickstart compile time: 9/15/2006 10:00:00 [10/02/2006 06:26:25]
  system image file is:   bootflash://isan-3.0.3
  system compile time:    9/15/2006 10:00:00 [10/02/2006 06:45:25]
```

```
switch# show version
Cisco Storage Area Networking Operating System (SAN-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2006, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained herein are owned by
other third parties and are used and distributed under license.
Some parts of this software may be covered under the GNU Public
License or the GNU Lesser General Public License. A copy of
each such license is available at
http://www.gnu.org/licenses/gpl.html and
http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html

Software
  BIOS:      version 1.1.0
  loader:    version 1.2(2) <-----new version
  ....
```

次に、指定したモジュールのバージョンの詳細を表示する例を示します。

```
switch# show ver mod 4
Mod No   Mod Type   SW Version           SW Interim Version
 4       LC         1.0(3)               1.0(3)
```

# show vrrp

Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP) コンフィギュレーション情報を表示するには、**show vrrp** コマンドを使用します。

```
show vrrp [ipv6 vr group-id [interface {gigabitethernet slot/port {configuration | statistics | status} |
mgmt 0 {configuration | statistics | status} | port-channel port-channel {configuration | statistics
| status} | vsan vsan-id {configuration | statistics | status}}]] | statistics [vr group-id [interface
{gigabitethernet slot/port {configuration | statistics | status} | mgmt 0 {configuration | statistics
| status} | port-channel port-channel {configuration | statistics | status} | vsan vsan-id
{configuration | or statistics | status}}]]
```

## シンタックスの説明

<b>ipv6</b>	IPv6 仮想ルータ情報を表示します。
<b>vr</b>	仮想ルータ情報を表示します。
<b>group-id</b>	グループ ID を指定します。有効範囲は 1 ～ 255 です。
<b>interface</b>	インターフェイスタイプを表示します。
<b>gigabitethernet</b>	ギガビットイーサネットインターフェイスを表示します。
<b>slot/port</b>	スロットおよびポートを指定します。
<b>configuration</b>	VRRP コンフィギュレーションを表示します。
<b>statistics</b>	累積 VRRP 統計情報を表示します。
<b>status</b>	VRRP 操作ステータスを表示します。
<b>mgmt 0</b>	mgmt0 インターフェイスを表示します。
<b>port-channel</b>	ポートチャネルインターフェイスを表示します。
<b>port-channel</b>	ポートチャネルを指定します。
<b>vsan</b>	VSAN (仮想 SAN) インターフェイスを表示します。
<b>vsan-id</b>	VSAN ID を指定します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。
3.0(1)	IPv6 オプションが追加されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、VRRP 設定済み情報を表示する例を示します。

```
switch# show vrrp vr 7 interface vsan 2 configuration
vr id 7 configuration
admin state down
priority 100
no authentication
advertisement-Interval 1
preempt yes
tracking interface vsan1 priority 2
protocol IP
```

次に、VRRP ステータス情報を表示する例を示します。

```
switch# show vrrp vr 7 interface vsan 2 status
vr id 7 status
MAC address 00:00:5e:00:01:07
Operational state: init
```

次に、VRRP 統計を表示する例を示します。

```
switch# show vrrp vr 7 interface vsan 2 statistics
vr id 7 statistics
Become master 0
Advertisement 0
Advertisement Interval Error 0
Authentication Failure 0
TTL Error 0
Priority 0 Received 0
Priority 0 Sent 0
Invalid Type 0
Mismatch Address List 0
Invalid Authentication Type 0
Mismatch Authentication 0
Invalid Packet Length 0
```

次に、VRRP 累積統計を表示する例を示します。

```
switch# show vrrp statistics
Invalid checksum 0
Invalid version 0
Invalid VR ID 0
```

次に、VRRP IPv6 の設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show vrrp ipv6 vr 1 interface gigabitethernet 4/8 configuration
IPv6 vr id 1 configuration
admin state up
priority 100
associated ip: 2550:1::3:408:1 accept
advertisement-interval 100
preempt no
protocol IPv6
```

次に、VRRP IPv6 の統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show vrrp ipv6 vr 1 interface gigabitethernet 4/8 statistics
IPv6 vr id 1 statistics
Become master 1
Advertisement 0
Advertisement Interval Error 0
TTL Error 0
Priority 0 Received 0
Priority 0 Sent 0
Invalid Type 0
Mismatch Address List 0
Invalid Packet Length 0
```

次に、VRRP IPv6 のステータス情報を表示する例を示します。

```
switch# show vrrp ipv6 vr 1 interface gigabitethernet 4/8 status
IPv6 vr id 1 status
MAC address 00:00:5e:00:02:01
Operational state: master
Up time 17 hour(s), 21 min, 43 sec
Master IP address: fe80::20c:30ff:fe0c:f6c7
```

# show vsan

設定された VSAN（仮想 SAN）に関する情報を表示するには、**show vsan** コマンドを使用します。

```
show vsan [vsan-id [membership] | membership interface {fc slot/port | fcip fcip-id |
fv slot/dpp-number/fv-port | iscsi slot/port |
portchannel portchannel-number.subinterface-number}] | usage]
```



(注) Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem および Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter では、構文は次のようになります。

```
interface {bay port | ext port}
```

## シンタックスの説明

<b>vsan</b> <i>vsan-id</i>	指定 VSAN ID の情報を表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>membership</b>	メンバシップ情報を表示します。
<b>interface</b>	インターフェイス タイプを指定します。
<b>fc</b> <i>slot/port</i>	(任意) Cisco MDS 9000 ファミリ スイッチのファイバチャネルインターフェイスを指定します。
<b>bay</b>   <b>ext</b> <i>port</i>	(任意) Cisco MDS 9124 ファブリック スイッチ、Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem、および Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter のファイバチャネルインターフェイスを指定します。
<b>fcip</b> <i>fcip-id</i>	Fibre Channel over IP (FCIP) インターフェイス ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 255 です。
<b>fv</b> <i>slot/dpp-number/fv-port</i>	指定されたスロットの仮想 F ポート (FV ポート) インターフェイスを Data Path Processor (DPP) 番号と FV ポート番号とともに設定します。
<b>iscsi</b> <i>slot/port</i>	Cisco MDS 9000 ファミリ スイッチにある指定スロット / ポートの iSCSI インターフェイスを指定します。
<b>port-channel</b> <i>portchannel-number.subinterface-number</i>	ポートチャンネル番号の後にドット (.) インジケータとサブインターフェイス番号を付けて指定したポートチャンネルインターフェイスを指定します。
<b>usage</b>	システムでの VSAN の使用状況を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2(2)	このコマンドは変更されました。
3.1(2)	<b>bay</b>   <b>ext</b> インターフェイスが追加されました。

**使用上のガイドライン**

**show vsan membership interface** コマンドの場合、インターフェイスがこの VSAN 上に設定されていない場合インターフェイス情報は表示されません。

インターフェイスの範囲は昇順で、オーバーラップなしです。ハイフンを使用して範囲を指定することも、コンマを使用して複数のインターフェイスを指定することもできます。

- FC インターフェイス範囲のインターフェイス範囲形式は、以下のとおりです。  
**fcslot/port - port , fcslot/port , fcslot/port**  
(たとえば、**show int fc1/1 - 3 , fc1/5 , fc2/5** など)
- FV インターフェイス範囲のインターフェイス範囲形式は、以下のとおりです。  
**fvslot/dpp/fvport - fvport , fvslot/dpp/port , fvslot/dpp/port**  
(たとえば、**show int fv2/1/1 - 3 , fv2/1/5 , fv2/2/5** など)
- ポートチャネルの形式は、以下のとおりです。  
**port-channel portchannel-number.subinterface-number**  
(たとえば、**show int port-channel 5.1** など)

**例**

次に、設定された VSAN 情報を表示する例を示します。

```
switch# show vsan 1
vsan 1 information
    name:VSAN0001 state:active
    interoperability mode:yes fl verify mode
    loadbalancing:src-id/dst-id/oxid
    operational state:up

switch# show vsan usage
4 vsan configured
configured vsans:1-4
vsans available for configuration:5-4093

switch # show vsan 1 membership
vsan 1 interfaces:
    fc1/1  fc1/2  fc1/3  fc1/4  fc1/5  fc1/6  fc1/7  fc1/9
    fc1/10 fc1/11 fc1/12 fc1/13 fc1/14 fc1/15 fc1/16 port-channel 99
```

次に、すべての VSAN のメンバシップ情報を表示する例を示します。

```
switch # show vsan membership
vsan 1 interfaces:
    fc2/16 fc2/15 fc2/14 fc2/13 fc2/12 fc2/11 fc2/10 fc2/9
    fc2/8  fc2/7  fc2/6  fc2/5  fc2/4  fc2/3  fc2/2  fc2/1
    fc1/16 fc1/15 fc1/14 fc1/13 fc1/12 fc1/11 fc1/10 fc1/9
    fc1/7  fc1/6  fc1/5  fc1/4  fc1/3  fc1/2  fc1/1
vsan 2 interfaces:
vsan 7 interfaces:
    fc1/8
vsan 100 interfaces:
vsan 4094(isolated vsan) interfaces:
```

次に、指定したインターフェイスのメンバシップ情報を表示する例を示します。

```
switch # show vsan membership interface fc1/1
fc1/1
    vsan:1
    allowed list:1-4093

switch# show vsan
vsan 1 information
    name:VSAN0001 state:active
    interoperability mode:default
    loadbalancing:src-id/dst-id/oxid
    operational state:up

vsan 2 information
    name:VmVSAN state:active
    interoperability mode:default
    loadbalancing:src-id/dst-id/oxid
    operational state:up

vsan 3 information
    name:Disk_A state:active
    interoperability mode:default
    loadbalancing:src-id/dst-id/oxid
    operational state:up

vsan 4 information
    name:Host_B state:active
    interoperability mode:default
    loadbalancing:src-id/dst-id/oxid
    operational state:up

vsan 4094:isolated_vsan

switch# show vsan membership interface fv 2/1/3 , fv2/1/5 - 7
fv2/1/3
    vsan:2
    allowed list:1-4093
fv2/1/5
    vsan:3
    allowed list:1-4093
fv2/1/6
    vsan:4
    allowed list:1-4093
fv2/1/7
    vsan:4
    allowed list:1-409

switch# sh vsan membership interface bay 12
bay12
    vsan:1
    allowed list:1-4093
```

# show wwn

World Wide Name (WWN) コンフィギュレーションのステータスを表示するには、**show wwn** コマンドを使用します。

```
show wwn {status block-id number | switch | vsan-wwn}
```

シンタックスの説明	
<b>status block-id number</b>	指定したブロック ID の WWN 使用状況およびアラーム ステータスを表示します。有効範囲は、34 ~ 1793 です。
<b>switch</b>	スイッチ WWN を表示します。
<b>vsan-wwn</b>	すべてのユーザ設定 VSAN WWN を表示します。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。
	3.0(1)	<b>vsan-wwn</b> キーワードが追加されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、スイッチの WWN を表示する例を示します。

```
switch# show wwn switch
Switch WWN is 20:01:ac:16:5e:52:00:01
```

次に、ユーザ設定 VSAN WWN を表示する例を示します。

```
switch# show wwn vsan-wwn
vsan wwn configured by user
-----
100 20:64:08:00:88:0d:5f:81
```

# show zone

ゾーン情報を表示するには、**show zone** コマンドを使用します。

## show zone

```
[active [vsan vsan-id] |
ess [vsan vsan-id] |
member {fcalias alias-name | fcid fcid-id [lun lun-id] | pwwn wwn [lun lun-id]} [active | vsan
vsan-id] |
name string [active] [vsan vsan-id] |
statistics [lun-zoning [vsan vsan-id] | read-only-zoning [vsan vsan-id] | vsan vsan-id] |
status [vsan vsan-range]
vsan [vsan vsan-id]]
```

### シンタックスの説明

<b>active</b>	アクティブゾーンセットの一部であるゾーンを表示します。
<b>ess</b>	ESS 情報を表示します。
<b>member</b>	指定したメンバーがその一部であるすべてのゾーンを表示します。
<b>name</b>	指定したゾーンのメンバーを表示します。
<b>statistics</b>	ゾーンサーバ統計を表示します。
<b>status</b>	ゾーンサーバの現在のステータスを表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	指定 VSAN（仮想 SAN）ID に属するゾーンを表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>lun lun-id</b>	Logical Unit Number（LUN）ID を指定します。
<b>lun-zoning</b>	LUN ゾーン分割関連統計を表示します。
<b>read-only-zoning</b>	読み取り専用のゾーン分割関連統計を表示します。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
1.3(4)	このコマンドが導入されました。
2.1(1a)	<b>show zone status</b> 表示を変更しました。

### 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、設定されたゾーン情報を表示する例を示します。

```
switch# show zone
zone name Zone3 vsan 1
  pwwn 21:00:00:20:37:6f:db:dd
  pwwn 21:00:00:20:37:9c:48:e5
zone name Zone2 vsan 2
  fwwn 20:41:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:42:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:43:00:05:30:00:2a:1e
zone name Zone1 vsan 1
  pwwn 21:00:00:20:37:6f:db:dd
  pwwn 21:00:00:20:37:a6:be:2f
  pwwn 21:00:00:20:37:9c:48:e5
  fcalias Alias1
zone name Techdocs vsan 3
  ip-address 10.15.0.0 255.255.255.0
```

次に、特定の VSAN のゾーン情報を表示する例を示します。

```
switch# show zone vsan 1
zone name Zone3 vsan 1
  pwwn 21:00:00:20:37:6f:db:dd
  pwwn 21:00:00:20:37:9c:48:e5
zone name Zone2 vsan 1
  fwwn 20:41:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:42:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:43:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:44:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:45:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:46:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:47:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:48:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:49:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:4a:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:4b:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:4c:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:4d:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:4e:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:4f:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:50:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:51:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:52:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:53:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:54:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:55:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:56:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:57:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:58:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:59:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:5a:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:5b:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:5c:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:5d:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:5e:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:5f:00:05:30:00:2a:1e
  fwwn 20:60:00:05:30:00:2a:1e
zone name Zone1 vsan 1
  pwwn 21:00:00:20:37:6f:db:dd
  pwwn 21:00:00:20:37:a6:be:2f
  pwwn 21:00:00:20:37:9c:48:e5
  fcalias Alias1
```

次に、特定のゾーンのメンバーを表示する例を示します。

```
switch# show zone name Zone1
zone name Zone1 vsan 1
  pwn 21:00:00:20:37:6f:db:dd
  pwn 21:00:00:20:37:a6:be:2f
  pwn 21:00:00:20:37:9c:48:e5
  fcalias Alias1
```

次に、Fibre Channel ID (FCID) を使用して、メンバーが属しているすべてのゾーンを表示する例を示します。

```
switch# show zone member pwn 21:00:00:20:37:9c:48:e5
      VSAN: 1
zone Zone3
zone Zone1
fcalias Alias1
```

次に、他のスイッチと交換された制御フレーム数を表示する例を示します。

```
switch# show zone statistics
Statistics For VSAN: 1
*****
Number of Merge Requests Sent: 24
Number of Merge Requests Recvd: 25
Number of Merge Accepts Sent: 25
Number of Merge Accepts Recvd: 25
Number of Merge Rejects Sent: 0
Number of Merge Rejects Recvd: 0
Number of Change Requests Sent: 0
Number of Change Requests Recvd: 0
Number of Change Rejects Sent: 0
Number of Change Rejects Recvd: 0
Number of GS Requests Recvd: 0
Number of GS Requests Rejected: 0
Statistics For VSAN: 2
*****
Number of Merge Requests Sent: 4
...
Number of GS Requests Rejected: 0
```

次に、LUN ゾーン分割の詳細を表示する例を示します。

```
switch# show zone statistics lun-zoning
LUN zoning statistics for VSAN: 1
*****
S-ID: 0x123456, D-ID: 0x22222, LUN: 00:00:00:00:00:00:00:00
-----
Number of Inquiry commands received:          10
Number of Inquiry data No LU sent:           5
Number of Report LUNs commands received:     10
Number of Request Sense commands received:   1
Number of Other commands received:           0
Number of Illegal Request Check Condition sent: 0

S-ID: 0x123456, D-ID: 0x22222, LUN: 00:00:00:00:00:00:00:01
-----
Number of Inquiry commands received:          1
Number of Inquiry data No LU sent:           1
Number of Request Sense commands received:   1
Number of Other commands received:           0
Number of Illegal Request Check Condition sent: 0
```

次に、読み取り専用ゾーンの詳細を表示する例を示します。

```
switch# show zone statistics read-only-zoning
Read-only zoning statistics for VSAN: 2
*****
S-ID: 0x333333, D-ID: 0x111111, LUN: 00:00:00:00:00:00:00:64
-----
Number of Data Protect Check Condition Sent: 12
```

次に、設定されたゾーンのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show zone status
VSAN: 1 default-zone: deny distribute: active only Interop: default
      mode: basic merge-control: allow session: none
      hard-zoning: enabled
Default zone:
      qos: low broadcast: disabled ronly: disabled
Full Zoning Database :
      Zonesets:0 Zones:0 Aliases: 0
Active Zoning Database :
      Database Not Available
Status:
.....
VSAN: 3 default-zone: deny distribute: active only Interop: default
      mode: basic merge-control: allow session: none
      hard-zoning: enabled
Default zone:
      qos: low broadcast: disabled ronly: disabled
Full Zoning Database :
      Zonesets:0 Zones:0 Aliases: 0
Active Zoning Database :
      Database Not Available
Status:
```

次に、**zoneset distribute vsan** コマンドのステータスを確認して、指定の VSAN またはすべてのアクティブな VSAN のデフォルトのゾーン属性を表示する例を示します。

```
switch# show zone status vsan 1
VSAN:1 default-zone:deny distribute:active only Interop:default
      mode:basic merge-control:allow session:none
      hard-zoning:enabled
Default zone:
      qos:low broadcast:disabled ronly:disabled
Full Zoning Database :
      Zonesets:0 Zones:0 Aliases:0
Active Zoning Database :
      Database Not Available
Status:
```

表 22-12 に、`show zone status vsan` で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 22-12 show zone status フィールドの説明

フィールド	説明
VSAN :	表示される VSAN の番号
default-zone :	デフォルトのゾーン ポリシーで、許可 (permit) または拒否 (deny)
Default zone:	指定した VSAN の属性を表示するデフォルトのゾーンフィールド。属性には、Quality of Service (QoS) レベル、ブロードキャストゾーン分割のイネーブル / ディセーブル、読み取り専用のゾーン分割のイネーブル / ディセーブル、が含まれます。
distribute :	フルゾーンセット (アクティブ専用) またはアクティブゾーンセット (フル) の配信
Interop :	インターオペラビリティ モードの表示。100 = デフォルト、1 = 標準、2 および 3 = 他社ベンダー
mode :	基本 (basic) または拡張 (enhanced)、いずれかのゾーン分割モードの表示
merge control :	許可 (allow) または制限 (restrict)、いずれかの結合ポリシーの表示
Hard zoning is enabled	ハードウェアリソース (TCAM) が満杯になった場合、ハードゾーン分割は自動的にディセーブルになります
Full Zoning Database :	ゾーンデータベースの値の表示
Active Zoning Database:	アクティブゾーンデータベースの値の表示
Status :	最終ゾーン配信のステータスの表示

# show zone analysis

ゾーン分割データベースに関する詳細分析および統計情報を表示するには、**show zone analysis** コマンドを使用します。

```
show zone analysis {active vsan vsan-id | vsan vsan-id | zoneset name vsan vsan-id} |
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<b>active</b>	アクティブゾーンセットの分析情報を表示します。
	<b>vsan vsan-id</b>	指定 VSAN (仮想 SAN) ID の分析情報を表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
	<b>zoneset name</b>	指定ゾーンセットのゾーンセット分析情報を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、アクティブゾーン分割データベースの詳細統計情報および分析を表示する例を示します。

```
switch# show zone analysis active vsan 1
Zoning database analysis vsan 1
Active zoneset : zsl [* | -]
Activated at: 14:36:56 UTC Oct 04 2005
Activated From: Local [CLI / SNMP / GS / CIM / INTERNAL] or
Merge [interface] or
Remote [Domain, IP-Address]
[Switch name]
Default zone policy: permit/deny
Number of devices zoned in vsan: 8/10 (Unzoned: 2 | Default-zone: #)
Number of zone members resolved: 11/16 (Unresolved: 5)
Num zones: 1
Number of IVR zones: 2
Number of IPS zones: 3
Formatted database size: < 1 Kb / 2000 kb ( < 1% usage)
```

表 22-13 で、アクティブゾーン分割データベースの **show zone analysis** コマンドの出力で表示されるフィールドについて説明します。

表 22-13 アクティブゾーン分割データベースの show zone analysis フィールドの説明

フィールド	説明
Active zoneset	アクティブゾーンセット名を表示します。ゾーンセットがフルゾーン分割データベースに変更された場合、アスタリスク (*) がゾーンセット名の後ろに付きます。ゾーンセットがフルゾーン分割データベースにない場合、マイナス記号 (-) がゾーンセット名の後ろに付きます。
Activated at	ゾーンセットがアクティブになった時間を表示します。

表 22-13 アクティブゾーン分割データベースの show zone analysis フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Activated from	<p>アクティブゾーン分割データベースを直近で変更したエージェントを表示します。エージェントには次の 3 種類があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Local:</b> 以下のいずれかのアプリケーションからの設定変更を通じて、アクティブデータベースが最後にローカルで変更されたことを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– <b>CLI:</b> アクティブゾーン分割データベースがユーザによってコマンドラインインターフェイスから変更されました。</li> <li>– <b>SNMP:</b> アクティブゾーン分割データベースがユーザによって SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) を通じて変更されました。</li> <li>– <b>GS:</b> アクティブゾーン分割データベースが Generic Services (GS; 汎用サービス) から変更されました。</li> <li>– <b>CIM:</b> アクティブゾーン分割データベースがアプリケーションによって Common Information Model (CIM) を使用して変更されました。</li> <li>– <b>INTERNAL:</b> アクティブゾーン分割データベースが、Inter-VSAN Routing (IVR) または IP ストレージサービス マネージャからの内部のアクティベーションによって変更されました。</li> </ul> </li> <li>• <b>Merge:</b> アクティブデータベースが結合プロトコルによって最後に変更されたことを示します。結合が発生したインターフェイスも表示されます。</li> <li>• <b>Remote:</b> アクティブデータベースが、リモートスイッチから開始された変更プロトコルによって最後に変更されたことを示します。変更を開始したスイッチのドメイン、IP アドレス、およびスイッチ名も表示されます。</li> </ul> <p> <b>(注)</b> スイッチ名が設定されている場合のみ、スイッチ名は次の行に、ドメインと並んで表示されます。デフォルトのスイッチ名 <i>switch</i> および <i>ip-address</i> は表示されません。</p>
Default zoning policy: permit/deny	この VSAN のデフォルトのゾーン分割ポリシー ステータスを表示します。
Number of devices zoned in vsan:a/b (Unzoned: c   Default-zone: d)	<p>ゾーン分割設定にあるデバイス数を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>a</b> = アクティブデータベース内で個別に解決されたメンバーの数。</li> <li>• <b>b</b> = ログインしているデバイス数で、Fibre Channel Name Server (FCNS; ファイバチャネル ネーム サーバ) データベース内のエントリ数と同じです。</li> <li>• <b>c</b> = ログインしているものの、ゾーン分割設定にゾーン設定されていないデバイス数。</li> <li>• <b>d</b> = デフォルトゾーン内のデバイス数。デフォルトゾーン分割ポリシーが許可されている場合のみ <b>d</b> が表示されます。</li> </ul>

表 22-13 アクティブゾーン分割データベースの show zone analysis フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Number of zone members resolved:a/b (Unresolved: c)	この形式の VSAN で解決されるメンバー数を表示します。ゾーンセット内の b メンバーから a が解決されます。  解決されたメンバー数は、一意である必要はありません。たとえば、pWWN メンバーと fWWN メンバーが同じ FC ID で解決される場合、そのメンバーは存在する 2 メンバーの中から 2 つの解決済メンバーとしてカウントされます。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• a = 解決済のメンバー数。</li> <li>• b = 存在する合計メンバー数</li> <li>• c = 未解決の合計メンバー数</li> </ul>
Num zones	アクティブゾーンセット内にあるゾーンの合計数を表示します。
Number of IVR zones	IVR によって追加され、アクティブ化されたゾーン数を表示します。
Number of IPS zones	IP Storage services manager (IPS-MGR; IP ストレージサービスマネージャ) によって追加され、アクティブ化されたゾーン数を表示します。
Formatted database size	フォーマット時にワイヤを通じて送信されたアクティブデータベースの合計サイズを表示します。  フォーマット化されたデータベースサイズは、次のような形式を使用してキロバイト (KB) 単位で表示されます。 < X KB / Y KB。たとえば次のようになります。 Formatted database size:< 1 KB/2000 KB  この例では、フォーマット化されたデータベースサイズは最大サイズ 2000 KB の内の 1 KB 未満です。

次に、フルゾーン分割データベースの詳細統計情報および分析を表示する例を示します。

```
switch# sh zone analysis vsan 1
Zoning database analysis vsan 1
  Full zoning database
    Last updated at: 14:36:56 UTC Oct 04 2005
    Last updated by: Local [CLI / SNMP / GS / CIM / INTERNAL] or
                    Merge [interface] or
                    Remote [Domain, IP-Address]
                    [Switch name]

    Num zonesets: 1
    Num zones: 1
    Num aliases: 0
    Num attribute groups: 0
    Formatted database size: < 1 Kb / 2000 kb ( < 1% usage)

Unassigned zones:
  zone name z1 vsan 1
```

表 22-14 で、フルゾーン分割データベースの **show zone analysis** コマンドの出力で表示されるフィールドについて説明します。

表 22-14 フルゾーン分割データベースの show zone analysis フィールドの説明

フィールド	説明
Last updated at	フルゾーン分割データベースが最後に更新された時を示すタイムスタンプを表示します。
Last Updated by	フルゾーン分割データベースを直近で変更したエージェントを表示します。エージェントには次の3種類があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Local:</b> 以下のいずれかのアプリケーションからの設定変更を通じて、フルデータベースが最後にローカルで変更されたことを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– <b>CLI:</b> フルゾーン分割データベースがユーザによってコマンドラインインターフェイスから変更されました。</li> <li>– <b>SNMP:</b> フルゾーン分割データベースがユーザによって SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) を通じて変更されました。</li> <li>– <b>GS:</b> フルゾーン分割データベースが Generic Services (GS; 汎用サービス) から変更されました。</li> <li>– <b>CIM:</b> フルゾーン分割データベースがアプリケーションによって Common Information Model (CIM) を使用して変更されました。</li> <li>– <b>INTERNAL:</b> フルゾーン分割データベースが、IVR または IP ストレージ サービス マネージャから内部のアクティベーションによって変更されました。</li> </ul> </li> <li>• <b>Merge:</b> フルデータベースが結合プロトコルによって最後に変更されたことを示します。この場合、結合が発生したインターフェイスも表示されます。</li> <li>• <b>Remote:</b> フルゾーンセットの配信が可能である場合、フルデータベースが、リモートスイッチから開始された変更プロトコルによって最後に変更されたことを示します。変更を開始したスイッチのドメイン、IP アドレス、およびスイッチ名も表示されます。</li> </ul> <p> <b>(注)</b> スイッチ名が設定されている場合のみ、スイッチ名は次の行に、ドメインと並んで表示されます。デフォルトのスイッチ名 <i>switch</i> および <i>ip-address</i> は表示されません。</p>
Num zonesets	データベース内の合計ゾーン数を表示します。
Num zones	未割当ゾーンを含む、データベース内の合計ゾーン数を表示します。
Num aliases	未割当 FC エイリアスを含む、データベース内の合計エイリアス数を表示します。
Num attribute groups	データベース内にある属性グループの合計数を表示します。このフィールドは、拡張ゾーン分割が使用されているときにのみ適用されます。

表 22-14 フル ゾーン分割データベースの show zone analysis フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Formatted database size	<p>フォーマット時にワイヤを通じて送信されたフル データベースの合計サイズを表示します。</p> <p>フォーマット化されたデータベース サイズは、次のような形式を使用してキロバイト単位で表示されます。 &lt;XKB/YKB。たとえば次のようになります。 Formatted database size:&lt; 1 KB/2000 KB</p> <p>この例では、フォーマット化されたデータベース サイズは最大サイズ 2000 KB の内の 1 KB 未満です。</p>
Unassigned zones	<p>VSAN 内のすべての未割当ゾーンを表示します。ゾーン名のみが表示されます。ゾーンのメンバーに関する詳細はこのセクションでは表示されません。</p>

次に、ゾーンセット分析情報を表示する例を示します。この例で使用されているフィールドの説明については、表 22-14 を参照してください。

```
switch# show zone analysis zoneset zsl vsan 1
Zoning database analysis vsan 1
  Zoneset analysis: zsl
    Num zonesets: 1
    Num zones: 0
    Num aliases: 0
    Num attribute groups: 0
    Formatted size: 20 bytes / 2048 Kb
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
zone compact database	VSAN 内のゾーン データベースを圧縮します。

# show zone-attribute-group

デバイス名情報を表示するには、**show zone-attribute-group** コマンドを使用します。

```
show zone-attribute-group [name group-name] | [pending] | [vsan vsan-id]
```

シンタックスの説明	name group-name	デバイス名データベース全体を表示します。
	pending	未決定のデバイス名データベース情報を表示します。
	vsan vsan-id	VSAN（仮想 SAN）ID を指定します。有効範囲は 1 ～ 4093 です。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、未決定ゾーン属性グループの内容を表示する例を示します。

```
switch# show zone-autoboot-group pending
zone-attribute-group name $default_zone_attr_group$ vsan 4061
zone-attribute-group name admin-group vsan 4061
  broadcast
```

関連コマンド	コマンド	説明
	zone-attribute-group name	ゾーンアトリビュートグループを設定します。

# show zoneset

設定されたゾーンセットを表示するには、**show zoneset** コマンドを使用します。

```
show zoneset [[active [vsan vsan-id]] |
              [brief [active [vsan vsan-id] | vsan vsan-id]] |
              [name zoneset-name
               [active vsan vsan-id] |
               [brief [active vsan vsan-id | vsan vsan-id]] |
               [pending [active vsan vsan-id | brief [active vsan vsan-id | vsan vsan-id]] |
               [vsan vsan-id]] |
              [pending
               [active vsan vsan-id] |
               [brief [active vsan vsan-id | vsan vsan-id]] |
               [vsan vsan-id]] |
              [vsan vsan-id]]
```

## シンタックスの説明

<b>active</b>	アクティブゾーンセットのみ表示します。
<b>vsan</b>	VSAN（仮想 SAN）を表示します。
<i>vsan-id</i>	VSAN の VSAN ID を指定します。有効値は 1 ～ 4093 です。
<b>brief</b>	概略リスト内のゾーンセットメンバーを表示します。
<b>name</b>	指定したゾーンセットのメンバーを表示します。
<i>zoneset-name</i>	ゾーンセット名を指定します。最大は 64 です。
<b>pending</b>	セッション内のゾーンセットメンバーを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2(2)	このコマンドは変更されました。

## 使用上のガイドライン

なし

## 例

次に、設定されたゾーンセット情報を表示する例を示します。

```
switch# show zoneset vsan 1
zoneset name ZoneSet2 vsan 1
  zone name Zone2 vsan 1
    fwwn 20:4e:00:05:30:00:2a:1e
    fwwn 20:4f:00:05:30:00:2a:1e
    fwwn 20:50:00:05:30:00:2a:1e
    fwwn 20:51:00:05:30:00:2a:1e
    fwwn 20:52:00:05:30:00:2a:1e
  zone name Zone1 vsan 1
    pwwn 21:00:00:20:37:6f:db:dd
    pwwn 21:00:00:20:37:a6:be:2f
    pwwn 21:00:00:20:37:9c:48:e5
    fcalias Alias1
zoneset name ZoneSet1 vsan 1
  zone name Zone1 vsan 1
    pwwn 21:00:00:20:37:6f:db:dd
    pwwn 21:00:00:20:37:a6:be:2f
    pwwn 21:00:00:20:37:9c:48:e5
    fcalias Alias1
```

次に、特定の VSAN の設定済みゾーンセット情報を表示する例を示します。

```
switch# show zoneset vsan 2-3
zoneset name ZoneSet2 vsan 1
  zone name Zone2 vsan 1
    fwwn 20:52:00:05:30:00:2a:1e
    fwwn 20:53:00:05:30:00:2a:1e
    fwwn 20:54:00:05:30:00:2a:1e
    fwwn 20:55:00:05:30:00:2a:1e
    fwwn 20:56:00:05:30:00:2a:1e
  zone name Zone1 vsan 1
    pwwn 21:00:00:20:37:6f:db:dd
    pwwn 21:00:00:20:37:a6:be:2f
    pwwn 21:00:00:20:37:9c:48:e5
    fcalias Alias1
zoneset name ZoneSet1 vsan 1
  zone name Zone1 vsan 1
    pwwn 21:00:00:20:37:6f:db:dd
    pwwn 21:00:00:20:37:a6:be:2f
    pwwn 21:00:00:20:37:9c:48:e5
    fcalias Alias1
```